

東京都産業廃棄物経年変化実態調査報告書

(令和2年度実績)

令和5年3月

目 次

第1編 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査対象期間	1
3 調査対象廃棄物	1
4 調査対象業種	3
5 調査項目	4
6 産業廃棄物の処理フロー	5
7 調査方法	8

第2編 都内から排出される産業廃棄物の状況（全業種拡大推計結果）

1 排出状況	15
2 処理・処分状況	18
3 再生利用・減量化・最終処分状況	24
4 広域処分状況（中間処理及び最終処分）	38
5 特別管理産業廃棄物の排出・処理の概況	44

第3編 都内から排出される産業廃棄物の状況（業種別拡大推計結果）

1 農業、林業	47
2 建設業	51
3 製造業	55
4 情報通信業	59
5 上下水道業	63
6 電気・ガス・熱供給業	67
7 運輸業、郵便業	71
8 卸売業、小売業	75
9 不動産業、物品賃貸業	79
10 学術研究、専門・技術サービス業	83
11 宿泊業、飲食サービス業	87
12 生活関連サービス業、娯楽業	91
13 教育、学習支援業	95
14 医療、福祉	99
15 サービス業	103
16 自動車整備業	107

第4編 産業廃棄物量の推移

- 1 排出量の推移 111
- 2 再生利用・減量化・最終処分の状況の推移 117

第5編 東京都資源循環・廃棄物処理計画に示す処分量等削減目標の状況

- 1 各目標値の達成状況等 133

資料編

- 1 業種別種類別不要物等発生量・排出量 135
- 2 種類別処理処分総括表 137
- 3 種類別処理処分詳細表 155
- 4 種類別広域処理状況 173
- 5 種類別広域処分状況（全業種） 209

第 1 編 調査概要

1 調査の目的

本調査は、産業廃棄物施策の基礎資料を得るため、令和2年度における都内の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を含む。)の排出量、処理量等を推計し、処理状況を把握するとともに今後の廃棄物発生量予測を行うことを目的とする。

2 調査対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

3 調査対象廃棄物

(1) 産業廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和45年法律第137号。以下「廃棄物処理法」という。)及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」(昭和46年政令第300号。以下「廃棄物処理法施行令」という。)に定められた産業廃棄物及び混合廃棄物で、表1-1に示すものを調査対象とした。

表 1-1 調査の対象とする産業廃棄物の種類

種類		備考
産業 廃 棄 物	燃え殻	それぞれ廃棄物処理法第2条第4項第1号及び廃棄物処理法施行令第2条第1項第1号から第13号に定めるものをいう。 また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則(昭和64年厚生省令第35号)第7条の2の3で規定する石綿含有廃棄物についても調査対象とする。 なお、汚泥及びがれき類にあつては、それぞれ細目ごとに調査を行った。 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずは、本文中では「ガラス・陶磁器くず」と略した。
	水銀含有ばいじん等	
	上水汚泥	
	下水汚泥	
	建設汚泥	
	その他の汚泥	
	水銀含有ばいじん等	
	廃油	
	廃酸	
	水銀含有ばいじん等	
	廃アルカリ	
	水銀含有ばいじん等	
	廃プラスチック類	
	ゴムくず	
	金属くず	
	水銀使用製品産業廃棄物	
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	水銀使用製品産業廃棄物	
	鉱さい	
	水銀含有ばいじん等	
	コンクリート塊	
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他のがれき類	
	石綿含有廃棄物	
	ばいじん	
	水銀含有ばいじん等	
	紙くず	
	木くず	
	繊維くず	
	動物性残さ	
	動物系固形不要物	
	動物のふん尿	
	動物の死体	
	政令13号物(上記廃棄物の処理物であつてこれらに該当しないもの)	
	混合廃棄物	工作物の新築、改築又は除去に伴つて発生した産業廃棄物のうち、分別が困難等の理由により排出事業者が分別を行わずに排出したもの。
	分類が困難な廃棄物	上記の分類に当てはめることが困難な産業廃棄物

(2) 特別管理産業廃棄物

廃棄物処理法施行令第2条の4に定められた特別管理産業廃棄物で、表 1-2 に示すものを調査対象とした。

表 1-2 調査の対象とする特別管理産業廃棄物の種類

種類		備考
特別管理産業廃棄物	廃油	それぞれ廃棄物処理法施行令第2条の4に定めるもの。 なお、特定有害産業廃棄物にあつては、「廃PCB等」、「PCB汚染物」、「PCB処理物」を一括りとして調査した。 それ以外についてはそれぞれ細目ごとに調査を行った。
	廃酸	
	廃アルカリ	
	感染性産業廃棄物	
	廃PCB等	
	PCB汚染物	
	PCB処理物	
	廃水銀等	
	指定下水汚泥	
	鉍さい	
	産廃石綿等	
	燃え殻	
	ばいじん	
	廃油（廃溶剤）	
	汚泥（金属等を含むもの）	
	廃酸（金属等を含むもの）	
	廃アルカリ（金属等を含むもの）	

4 調査対象業種

日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改定）に基づく業種区分を基本に、東京都における産業構造や業種の特性から、主な産業廃棄物の発生が見込まれる表 1-3 に示す業種を対象とした。

表 1-3 調査対象とする業種

業 種	備 考
農業，林業	耕種農業、畜産農業、農業サービス業、園芸サービス業、育林業、林業サービス業など (日本標準産業分類の大分類Aに該当する事業者)
建設業	総合工事業、職別工事業、設備工事業 (日本標準産業分類の大分類Dに該当する事業者)
製造業	食料・飲料品、商業製品、工業製品、化学製品、鉄鋼・金属製品の製造業など (日本標準産業分類の大分類Eに該当する事業者)
上下水道業	上水道業、工業用水道業、下水道業 (日本標準産業分類の大分類Fに該当する事業者のうち、中分類36(水道業)に該当する事業者)
電気・ガス・熱供給業	電気業、ガス業、熱供給業 (日本標準産業分類の大分類Fに該当する事業者のうち、中分類36(水道業)を除く事業者)
情報通信業	通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報製作業 (日本標準産業分類の大分類Gに該当する事業者)
運輸業，郵便業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、郵便業など (日本標準産業分類の大分類Hに該当する事業者)
卸売業，小売業	各種商品の卸売業、各種商品の小売業など (日本標準産業分類の大分類Iに該当する事業者)
不動産業，物品賃貸業	不動産取引業、不動産賃貸業・管理業、各種物品賃貸業など (日本標準産業分類の大分類Kに該当する事業者)
学術研究，専門・技術サービス業	学術・開発研究機関、他に分類されない専門・技術サービス業、広告業 (日本標準産業分類の大分類Lに該当する事業者)
宿泊業，飲食サービス業	宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業 (日本標準産業分類の大分類Mに該当する事業者)
生活関連サービス業，娯楽業	選沢・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業、娯楽施設等 (日本標準産業分類の大分類Nに該当する事業者)
教育，学習支援業	高等教育業など (日本標準産業分類の大分類Oに該当する事業者)
医療，福祉	病院、一般診療所、歯科診療所、保健所、児童福祉事業、老人福祉・介護事業など (日本標準産業分類の大分類Pに該当する事業者)
サービス業	自動車整備業を除くサービス業 (日本標準産業分類の大分類Rに該当する事業者のうち、中分類89(自動車整備業)を除く事業者)
自動車整備業	自動車一般整備業、その他自動車整備業 (日本標準産業分類の大分類Rに該当する事業者のうち、中分類89(自動車整備業)に該当する事業者)

5 調査項目

(1) 産業廃棄物の発生量等

産業廃棄物の処理状況について表 1-4 に示す調査項目について推計し、これを業種別、種類別及びこれらの組合せごとに集計した。

表 1-4 調査項目

区分	内容	項目
排出事業者	産業廃棄物に関する内容	種類、不要物等発生量、有償売却量、排出量、自己中間処理量、自己中間処理後量、自己減量化量、自己未処理量、自己未処理再生利用量、自己中間処理後再生利用量、自己中間処理後自己最終処分量、自己未処理自己最終処分量、委託処理量、委託中間処理量、委託直接最終処分量、自己中間処理地、自己最終処分地、委託中間処理地、委託最終処分地
	事業活動に関する内容	産業廃棄物の発生量の推計に利用する事業活動量指標 (元請完成工事高、製造品出荷額、患者数、従業者数など)
処理業者	産業廃棄物に関する内容	種類、委託直接最終処分量、委託中間処理量、委託減量化量、委託中間処理後量、委託中間処理後再生利用量、委託中間処理後最終処分量、委託中間処理地、委託最終処分地
全体	産業廃棄物に関する内容	再生利用量、減量化量、最終処分量

(2) 広域処分状況

中間処理及び最終処分について、種類別都内都外処理状況を表 1-5 に示す地域ごとに集計した。

表 1-5 地域の区分

地域	都府県
北海道	-
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
甲信越	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
東海・中部	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

6 産業廃棄物の処理フロー

産業廃棄物の発生から最終処分までの一連の流れは、図 1-1 及び図 1-2 に示すとおりである。

また、各用語の定義は表 1-6 に示すとおりである。

「図 1-1 処理処分の流れ図」は、排出量を起点として、中間処理量や最終的な再生利用量、最終処分量等、廃棄物の処理・処分の流れを総括的に整理したものである。

「図 1-2 処理処分の詳細流れ図」は、不要物等発生量を起点として、自己中間処理、委託中間処理など処理処分の主体を区分する等、廃棄物の流れを整理したものである。

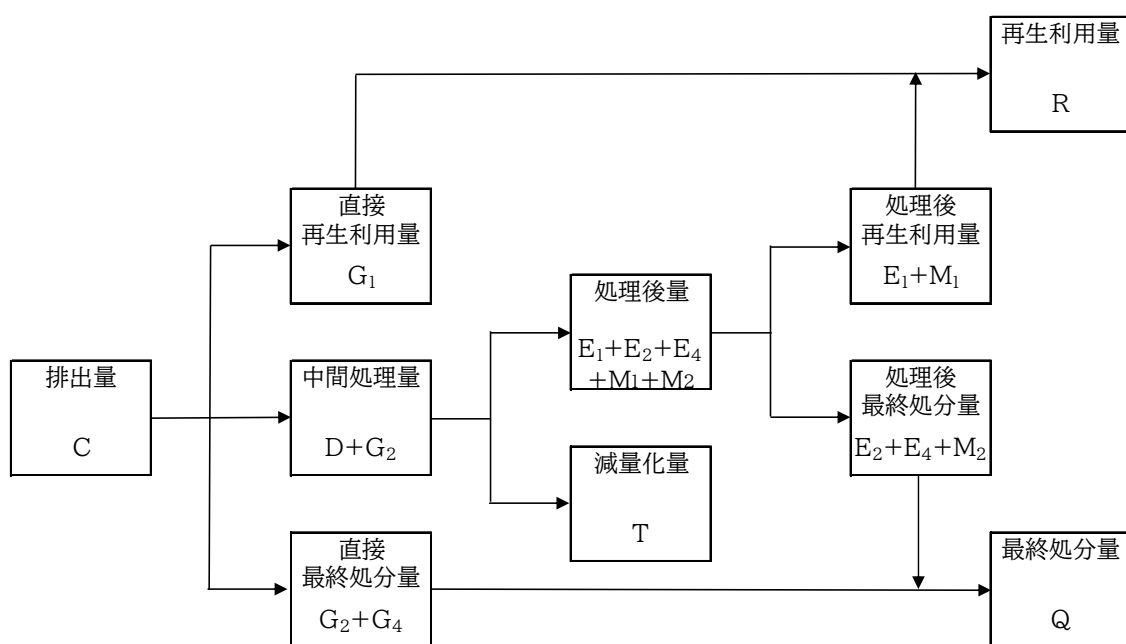


図 1-1 処理処分の流れ図

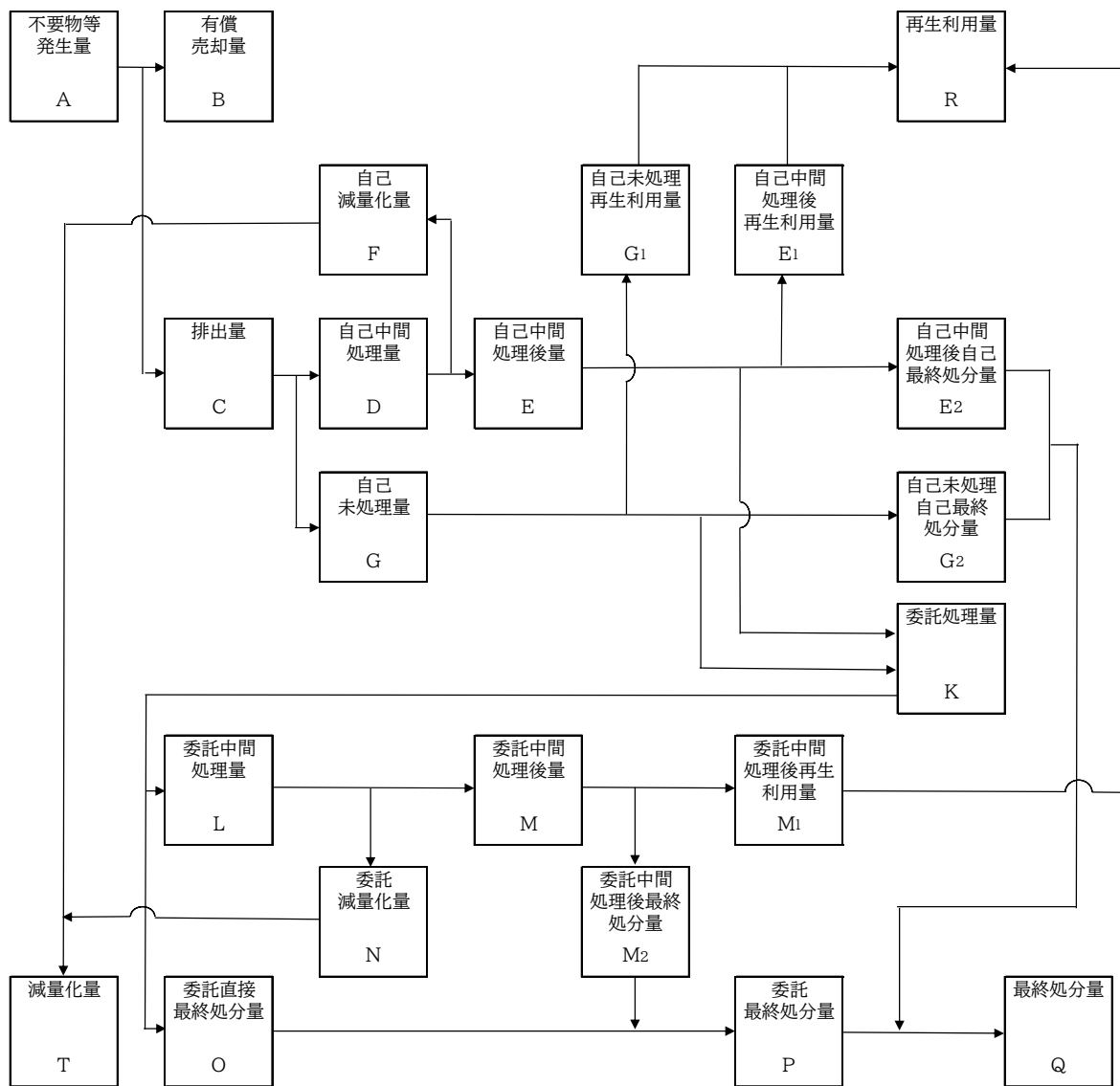


図 1-2 処理処分の詳細流れ図

表 1-6 流れ図の用語の定義

用語	定義
(A) 不要物等発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償売却量
(B) 有償売却量	不要物等発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
(C) 排出量	不要物等発生量のうち、有償売却量を除いた量
(D) 自己中間処理量	排出量のうち、排出事業者自らが中間処理した廃棄物量で処理前の量
(E) 自己中間処理後量	自己で中間処理した後の廃棄物量
(E ₁) 自己中間処理後再生利用量	自己中間処理後量のうち、自ら利用し、又は他者に有償で売却した量
(E ₂) 自己中間処理後自己最終処分量	自己中間処理後量のうち、自己の埋立地に処分した量
(E ₃) 自己中間処理後委託中間処理量	自己中間処理後量のうち、中間処理を他者に委託した量
(E ₄) 自己中間処理後委託直接最終処分量	自己中間処理後量のうち、中間処理されることなく他者の埋立地に処分した量
(F) 自己減量化量	自己中間処理量から自己中間処理後量を差し引いた量
(G) 自己未処理量	排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G ₁) 自己未処理再生利用量 (直接再生利用量)	自己未処理量のうち、自ら再利用した量
(G ₂) 自己未処理自己最終処分量	自己未処理量のうち、自己の埋立地に処分した量
(G ₃) 自己未処理委託中間処理量	自己未処理量のうち、中間処理を他者に委託した量
(G ₄) 自己未処理委託直接最終処分量	自己未処理量のうち、中間処理されることなく他者の埋立地に処分した量
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を他者に委託した量
(L) 委託中間処理量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(M) 委託中間処理後量	処理業者等で委託中間処理された後の廃棄物量
(M ₁) 委託中間処理後再生利用量	委託中間処理後量のうち、処理業者等が自ら利用、又は他者に有償で売却した量
(M ₂) 委託中間処理後最終処分量	委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	委託中間処理量から委託中間処理後量を差し引いた量
(O) 委託直接最終処分量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者又は処理業者等で再生利用された量
(T) 減量化量	排出事業者又は処理業者等の中間処理により減量された量

7 調査方法

(1) 発生量の推計方法

産業廃棄物の不要物等発生量及び排出量等は、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書（令和2年度実績）及びアンケート調査結果（アンケート調査票）を活用して推計した。

具体的な推計方法は表 1-7 に示すとおりである。

表 1-7 都内産業廃棄物の発生量の推計方法（概要）

事業者	推 計 方 法
多量排出事業者※	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書（令和2年度実績）及びアンケート調査結果を集計する。
多量排出事業者以外の事業者（その他事業者）	アンケート調査結果を活用して推計する。 ・原単位：アンケート調査で得られた発生原単位を使用 ・活動量指標：令和2年度の活動量指標値を使用 上記の原単位に活動量指標値を乗じて算出した。ただし、都内の活動指標量から多量排出事業者の活動指標量を除いた分をその他の事業者の活動指標量の母集団とした。

※ 多量排出事業者：廃棄物処理法では、前年度に産業廃棄物を 1,000 トン（特別管理産業廃棄物については 50 トン）以上排出した事業者は、産業廃棄物（又は特別管理産業廃棄物）処理計画書の提出が義務付けられており、また前年度に産業廃棄物（又は特別管理産業廃棄物）処理計画書を提出した事業者は、その実施状況の報告も義務付けられている。

なお、発生量の推計方法の概要は図 1-3 に示すとおりである。

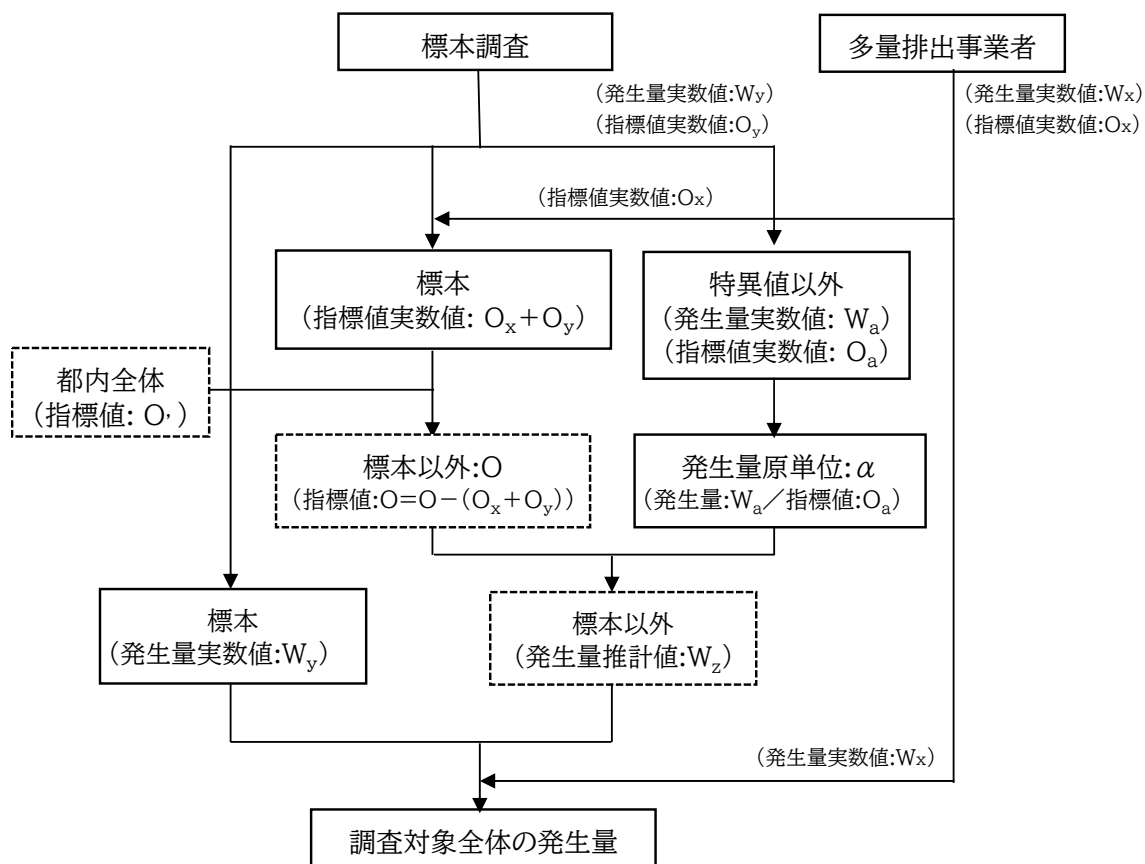


図 1-3 発生量推計の流れ

活動量指標単位当たりの産業廃棄物発生量を示す発生原単位については、アンケート調査によって得られた標本（特異値を除く。）の業種別、種類別の集計産業廃棄物量と、業種別の集計活動量指標値から次式により算出した。活動量指標値は、表 1-8 に示す指標を使用した。

なお、特異値とは、同業他社と比較し発生・処理状況が大きく異なる等、特殊な標本のことを指す。

発生原単位

$$\alpha = W_a / O_a$$

α ：発生原単位

W_a ：特異値以外の集計発生量

O_a ：特異値以外の集計活動量指標値

標本以外の発生量推計値

$$W_z = \alpha \times O$$

W_z ：標本以外の発生量推計値

α ：発生原単位

O ：標本以外の活動量指標値

（都全体の母集団指標値から標本調査で捕捉した指標値を除いた残り）

表 1-8 業種別の活動量指標

産業分類	活動量指標	出典
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告(国土交通省)
製造業	製造品出荷額等	工業統計(東京都)
医療・福祉	患者数	医療施設調査・病院報告(厚生労働省)
その他の業種	従業者数	経済センサス(総務省)

(2) 処理量の推計方法

処理処分の流れ図（図 1-1 及び図 1-2）の各項目の処理量は、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書（令和 2 年度実績）及びアンケート調査結果（アンケート調査票）を活用して、表 1-9 の方法により推計した。

表 1-9 処理・処分量等推計方法一覧

項 目		多量排出事業者	その他事業者
自己処理	自己中間処理量(D)	実施状況報告書及びアンケート調査結果を集計	アンケート調査結果より排出量に対する各項目量の比率を集計し、その比率を排出量に乗じて算出 不明なものについては、令和元年度実績より排出量に対する活動指標の伸び率を算出し、その比率を排出量に乗じて算出
	自己中間処理後量(E)		
	自己中間処理後再生利用量(E ₁)		
	自己中間処理後自己最終処分量(E ₂)		
	自己中間処理後委託中間処理量(E ₃)		
	自己中間処理後委託直接最終処分量(E ₄)		
	自己未処理再生利用量(G ₁)		
	自己未処理自己最終処分量(G ₂)		
	自己未処理委託中間処理量(G ₃)		
	自己未処理委託直接最終処分量(G ₄)		
	自己減量化量(D－E＝F)		
	自己未処理量(G)		
委託処理	委託処理量(K)	集計又は推計された他の処理・処分量から加算・減算して算出	
	委託減量化量(L－M＝N)		
	委託中間処理後再生利用量(M ₁)		
	委託直接最終処分量(O)	実施状況報告書及びアンケート調査結果を集計 不明なものについては、令和元年度実績より排出量に対する各項目量の比率を算出し、その比率を排出量に乗じて算出	アンケート調査結果から排出量に対する各項目量の比率を算出し、その比率を排出量に乗じて算出
	委託中間処理量(L)		
	委託中間処理後量(M)		
	委託中間処理後最終処分量(M ₂)		
直接再生利用量(G ₁)		集計又は推計された他の処理・処分量から加算・減算して算出	
直接最終処分量(G ₂ ＋G ₄)			
中間処理量(D＋G ₃)			
処理後量(E ₁ ＋E ₂ ＋E ₄ ＋M ₁ ＋M ₂)			
減量化量(F＋N＝T)			
中間処理後再生利用量(E ₁ ＋M ₁)			
中間処理後最終処分量(E ₂ ＋ E ₄ ＋M ₂)			
再生利用量(E ₁ ＋G ₁ ＋M ₁ ＝R)			
最終処分量(E ₂ ＋ E ₄ ＋G ₂ ＋G ₄ ＋M ₂ ＝Q)			

なお、広域処分の状況については、上記調査結果のほか、令和 3 年度に提出された令和 2 年度実績報告書を基に集計された「令和 2 年度産業廃棄物処理業実績報告書」の産業廃棄物別・処分地域別の収集運搬量、最終処分量等の比率を参考とした。

(3) アンケート調査の対象及び回収方法

ア 多量排出事業者

多量排出事業者の産業廃棄物排出状況及び処理状況は、廃棄物処理法で定められた「産業廃棄物（又は特別管理産業廃棄物）実施状況報告書」及びアンケート調査票により把握した。

なお、多量排出事業者からの「産業廃棄物（又は特別管理産業廃棄物）処理計画書（実施状況報告書）」の提出数は表 1-10 に示すとおりである。

表 1-10 多量排出事業者の事業所数

業種	普通報告	普通計画	特管報告	特管計画
農業、林業	0	0	0	0
建設業	436	426	24	22
製造業	90	86	26	25
上下水道業	19	16	1	0
電気・ガス・熱供給業	5	5	9	10
情報通信業	1	1	0	0
運輸業	2	2	0	0
卸売業、小売業	2	2	0	0
不動産業、物品賃貸業	6	6	0	0
学術研究、専門・技術サービス業	0	0	3	3
宿泊業、飲食サービス業	1	1	0	0
生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0
教育、学習支援業	0	0	4	4
医療、福祉	3	3	115	115
サービス業	3	3	0	0
自動車整備業	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	568	551	182	179

注) 普通報告：産業廃棄物処理計画実施状況報告書
 普通計画：産業廃棄物処理計画書
 特管報告：特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書
 特管計画：特別管理産業廃棄物処理計画書

イ アンケート調査

アンケート調査は、アの多量排出事業者を含む 2,510 事業所（表 1-11）にアンケート調査票を送付することにより実施した。多量排出事業者以外については、総務省統計局の事業所母集団データベースの令和元年次フレームから、業種別、事業所規模別に事業所を抽出し、得られたリストから多量排出事業者の重複を除き、無作為に調査対象事業者を抽出した。

表 1-11 アンケート対象事業所数

業種	調査対象事業所数		
	件	多量排出事業所数	その他事業所数
		件	件
農業、林業	0	0	0
建設業	1,022	477	545
製造業	1,115	115	1,000
上下水道業	17	17	0
電気・ガス・熱供給業	18	18	0
情報通信業	1	1	0
運輸業	2	2	0
卸売業、小売業	2	2	0
不動産業、物品賃貸業	7	7	0
宿泊業、飲食サービス業	1	1	0
学術研究、専門・技術サービス業	4	4	0
生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0
教育、学習支援業	2	2	0
医療、福祉	316	116	200
サービス業	3	3	0
自動車整備業	0	0	0
合計	2,510	765	1,745

ウ 回収状況

アンケート調査票の回収状況は表 1-12 に示すとおりである。

表 1-12 アンケート調査票の回収状況

業種	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
	調査対象事業所数	回収事業所数	有効回答数	多量事業者回答数	集計排出量	推計排出量	捕捉率
	(件)	(件)	(件)	(件)	(千t/年)	(千t/年)	(E)÷(F)
農業、林業	0	0	0	0	0	38	0.0%
建設業	1,022	330	330	226	4,822	8,789	54.9%
製造業	1,115	247	247	66	810	1,047	77.3%
上下水道業	17	15	15	15	13,480	14,322	94.1%
電気・ガス・熱供給業	18	3	3	3	0	18	0.3%
情報通信業	1	1	1	0	0	19	0.0%
運輸業	2	0	0	0	0	52	0.0%
卸売業、小売業	2	1	1	1	0	129	0.3%
不動産業、物品賃貸業	7	0	0	0	0	54	0.0%
宿泊業、飲食サービス業	1	1	1	1	0	28	1.6%
学術研究、専門・技術サービス業	4	2	2	2	0	28	1.1%
生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	3	0.0%
教育、学習支援業	2	2	2	2	2	26	7.0%
医療、福祉	316	130	130	56	32	59	54.5%
サービス業	3	3	3	1	6	25	23.6%
自動車整備業	0	0	0	0	0	8	0.0%
合計	2,510	735	735	373	19,154	24,645	77.7%

(4) その他（調査結果の利用上の留意事項）

ア 単位に関する表示

本報告書の調査結果表に記載している量は、全て1年間の量であるため、原則として「千t」単位で記述している。

イ 報告書における数値の処理

本文に記載されている千t表示及び構成比(%)の数値は、四捨五入の関係で合計と個々の数値の計とが一致しないものがある。

また、構成比(%)についても、千t以下の値も利用して計算しているため、標記上の数値と構成比の関係が一致しないものがある。

第2編 都内から排出される産業廃棄物の状況（全業種拡大推計結果）

1 排出状況

(1) 業種別排出量

令和2年度における東京都の産業廃棄物の排出量総計は24,645千tである。

上下水道業の排出量は14,322千t、建設業は8,789千tで、両業種併せて23,111千tとなり都内の全産業廃棄物排出量総計の93.8%を占め、これに製造業の1,047千tを加えると24,158千tとなり、排出量総計の98.0%を占めている。

また、上下水道業を除く排出量でみると、建設業から排出される廃棄物が全体の85.1%を占めている。

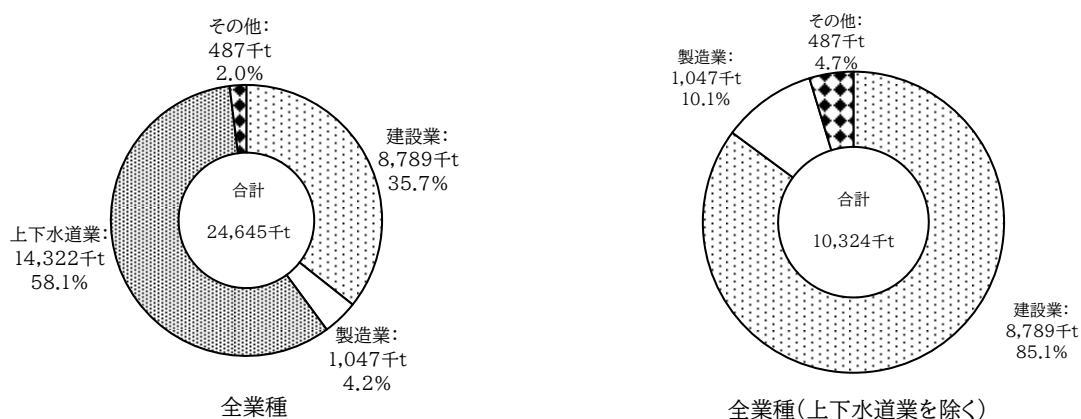
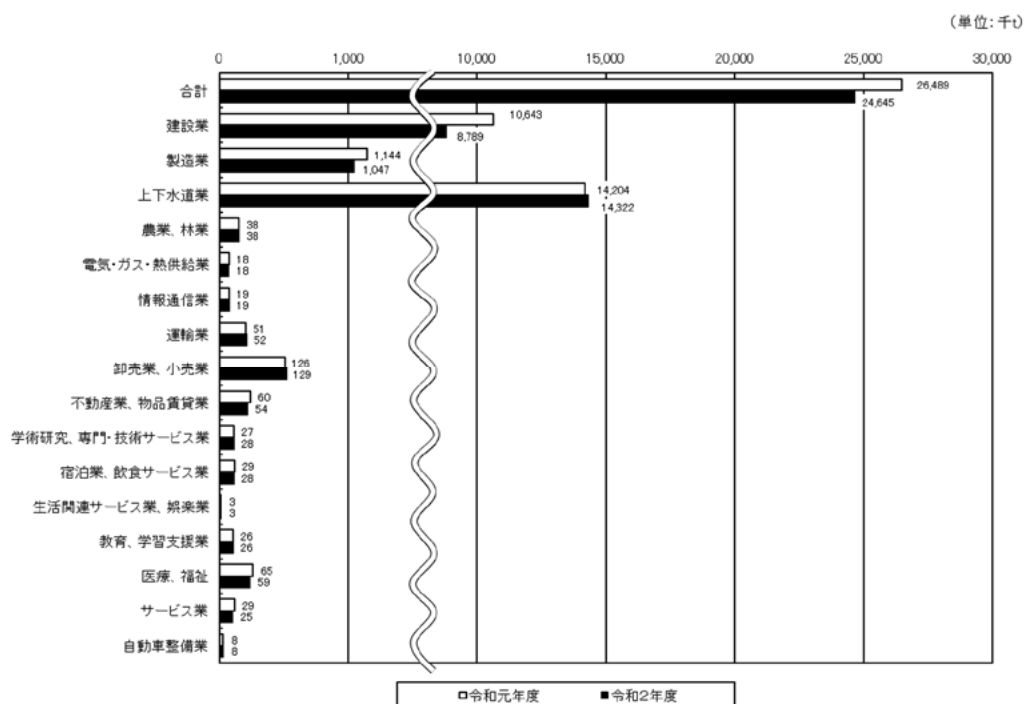


図 2-1 業種別排出量

令和元年度と令和2年度の排出量を比較すると、全排出量は26,489千tから24,645千tとなり7.0%減少した。



注) 排出量の少ない業種があるため、数値目盛りを変更して表示。

各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

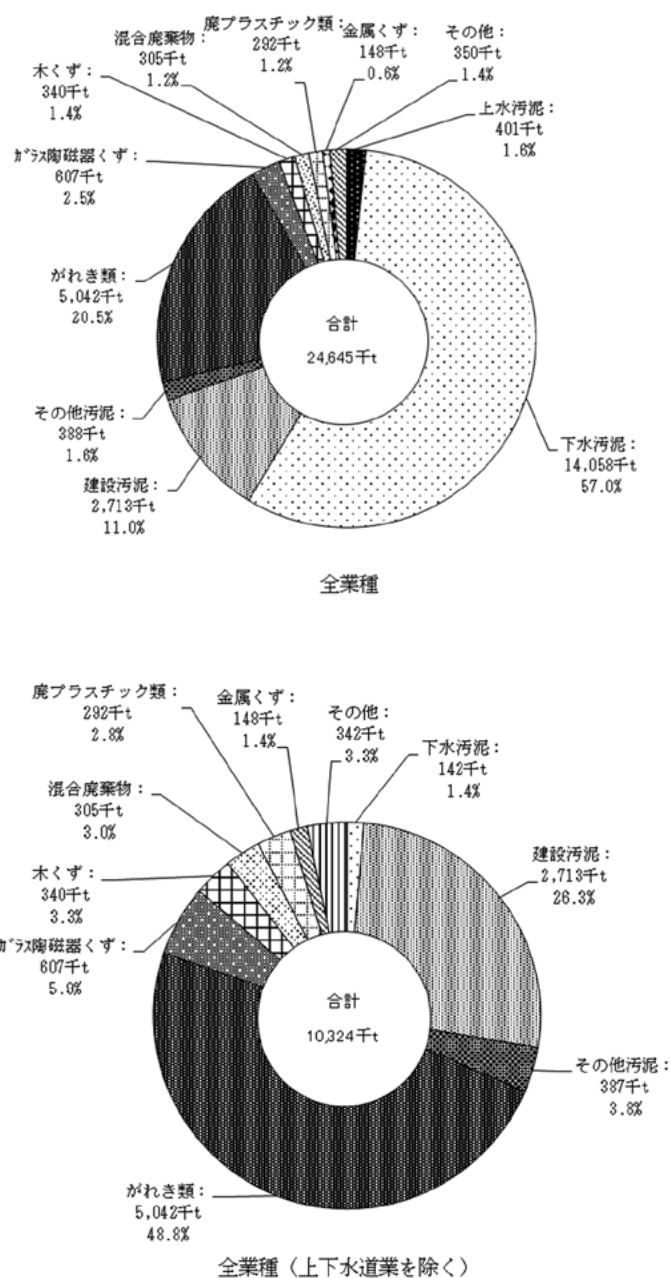
図 2-2 業種別排出量の比較

(2) 種類別排出量

産業廃棄物の種類別の排出量では、汚泥が 71.3%にあたる 17,560 千 t を占め、がれき類が 20.5%にあたる 5,042 千 t と、この 2 品目で総排出量の 91.7%にあたる 22,603 千 t を占めている。

汚泥のうち、下水汚泥は全種類の中で最も多く 57.0%にあたる 14,058 千 t を占め、次いで建設汚泥が 11.0%にあたる 2,713 千 t、その他汚泥が 1.6%にあたる 388 千 t、上水汚泥が 1.6%にあたる 401 千 t となっている。

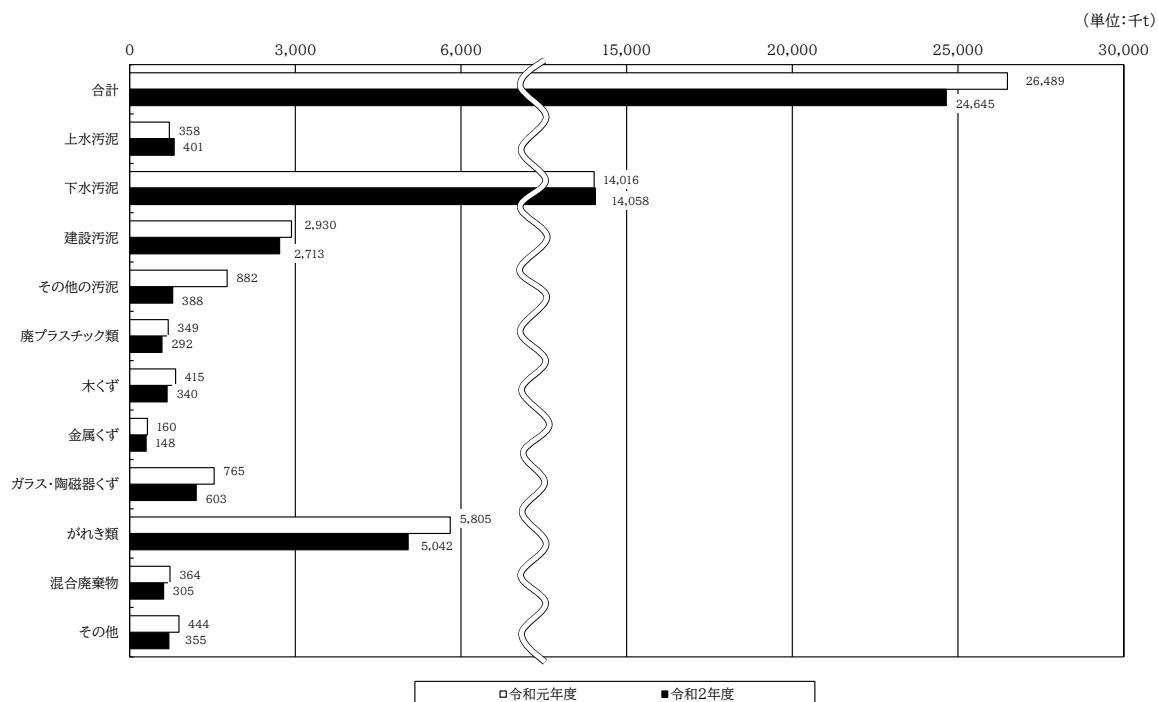
また、上下水道業を除いた排出量は 10,324 千 t で、そのうち建設汚泥とその他汚泥の合計は 30.1%にあたる 3,101 千 t、がれき類が 48.8%にあたる 5,042 千 t と、この 3 品目で 78.9%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-3 種類別排出量

令和元年度と令和２年度の種別別排出量を比較すると、建設汚泥、その他汚泥、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類、混合廃棄物は減少しており、上水汚泥、下水汚泥は増加している。



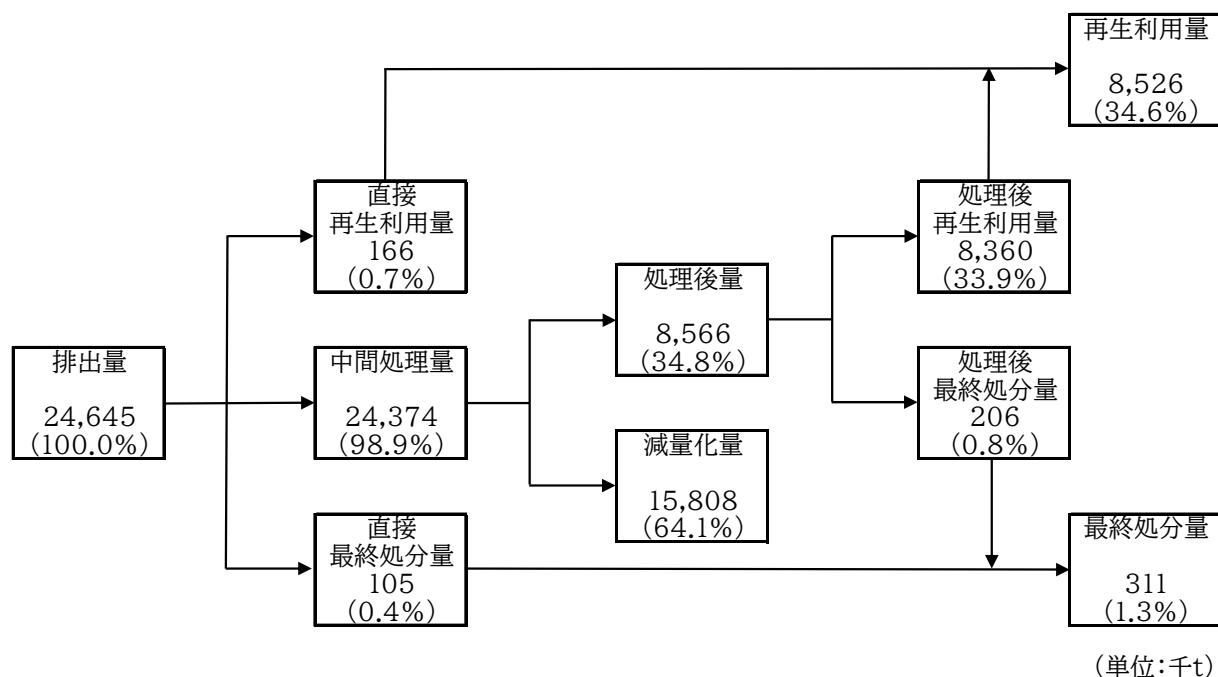
注) 排出量の少ない業種があるため、数値目盛りを変更して表示。
各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-4 種別別排出量の比較

2 処理・処分状況

産業廃棄物の排出量 24,645 千 t のうち、98.9%にあたる 24,374 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは 0.7%にあたる 166 千 t、直接最終処分されたのは 0.4%にあたる 105 千 t である。中間処理される 24,374 千 t の産業廃棄物は、脱水、焼却等の中間処理を経て 8,566 千 t に減量化され、そのうち 8,360 千 t が再生利用、206 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 34.6%にあたる 8,526 千 t が再生利用、64.1%にあたる 15,808 千 t が減量化、1.3%にあたる 311 千 t が最終処分されている。

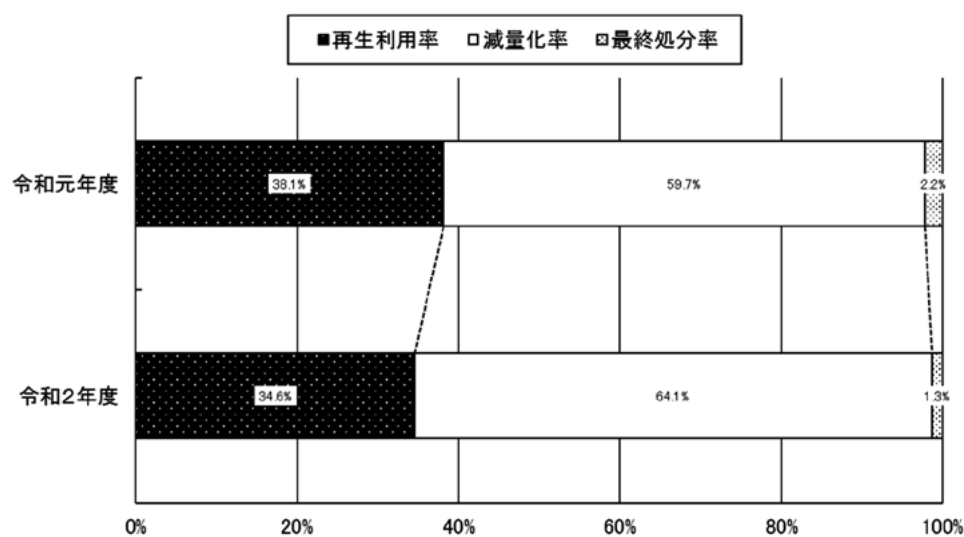
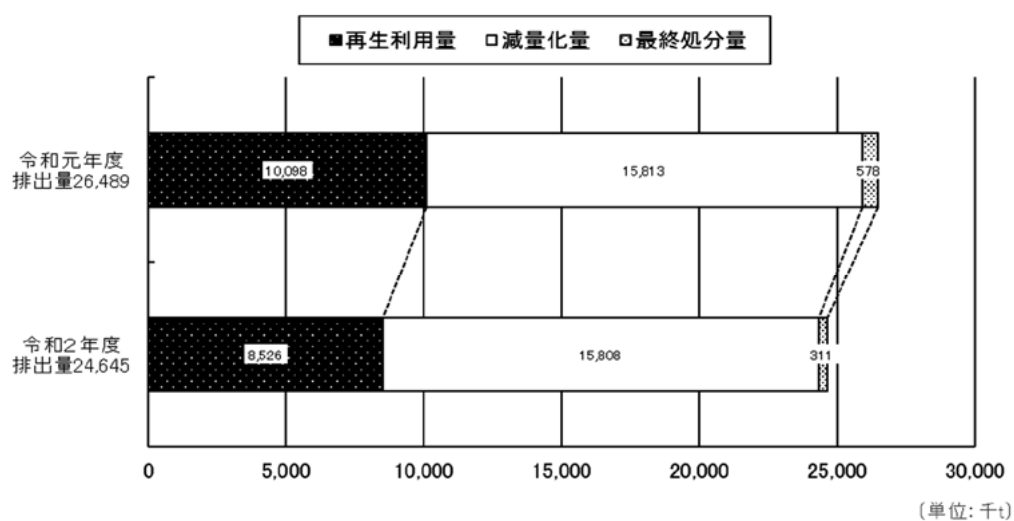


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-5 処理・処分の流れ図

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は3.5%減少、減量化率は4.4%増加、最終処分率は0.9%減少している。



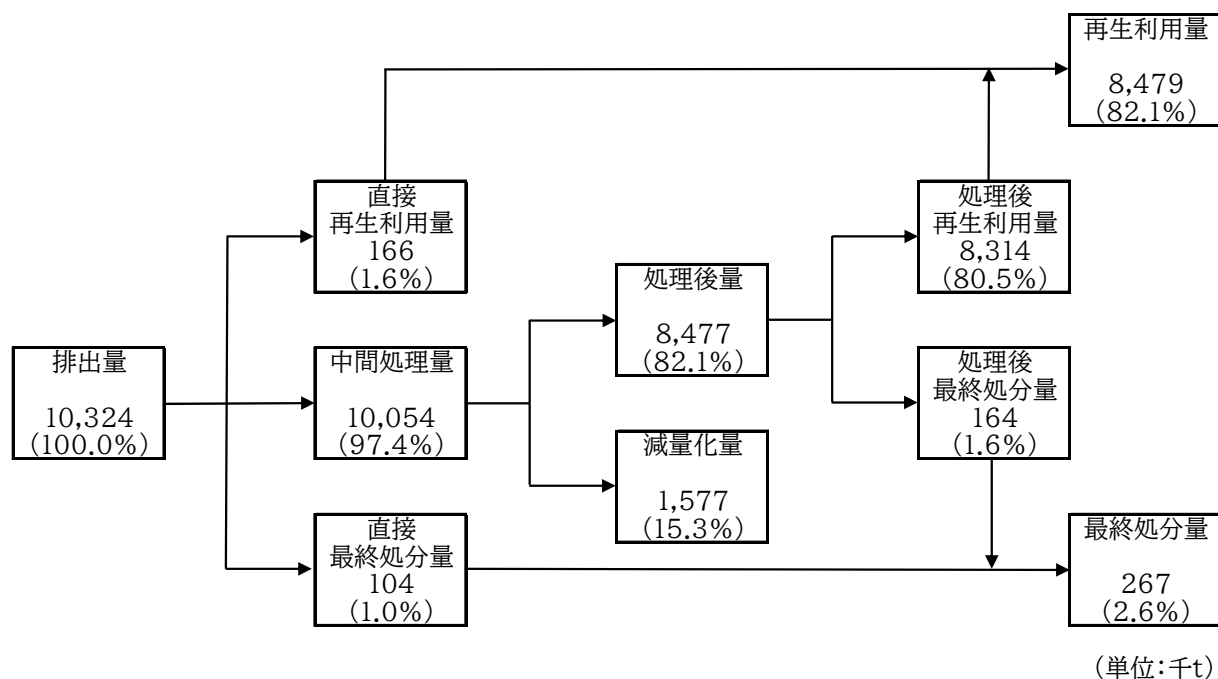
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-6 再生利用・減量化・最終処分状況

(上: 処理・処分量 下: 処理・処分割合 排出量を100%とする。)

また、上下水道業を除いた場合では、排出量の 97.4%にあたる 10,054 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは 1.6%にあたる 166 千 t、直接最終処分されたのは 1.0%にあたる 104 千 t である。中間処理される 10,054 千 t の産業廃棄物は、脱水、焼却等の中間処理を経て 8,477 千 t に減量化され、そのうち 8,314 千 t が再生利用、164 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 82.1%にあたる 8,479 千 t が再生利用、15.3%にあたる 1,577 千 t が減量化、2.6%にあたる 267 千 t が最終処分されている。

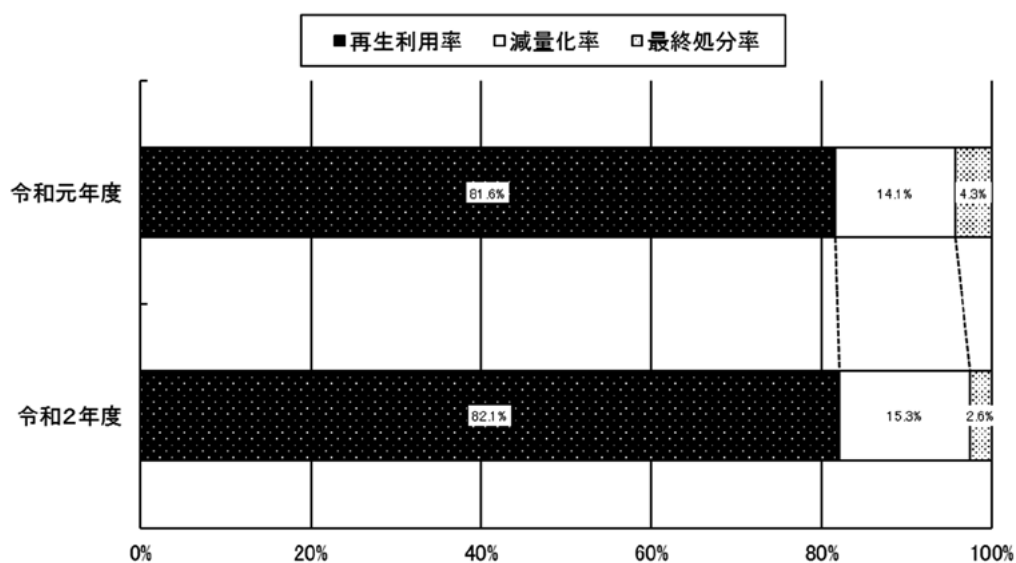
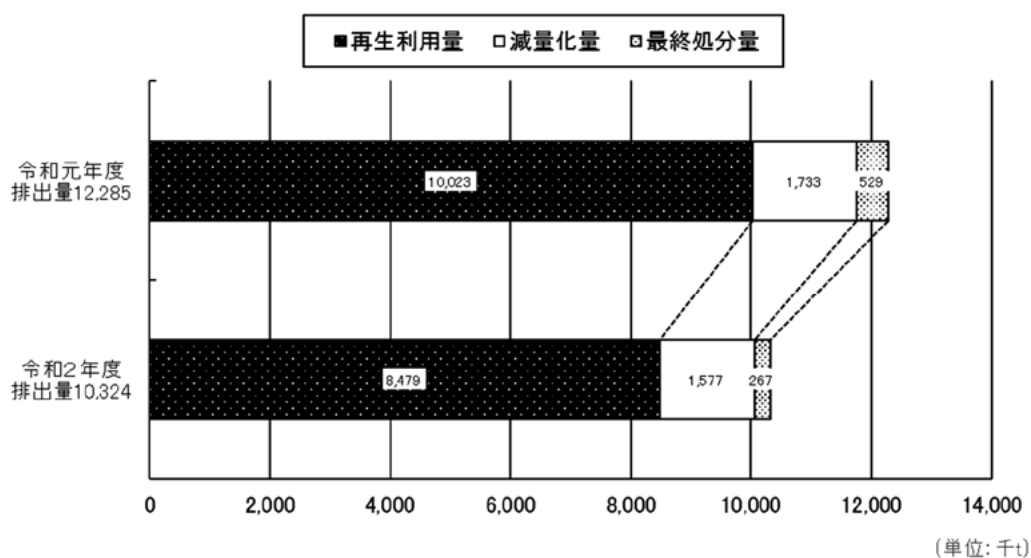


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-7 処理・処分の流れ図 (上下水道業を除く。)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は0.5%増加、減量化率は1.2%増加、最終処分率は1.7%減少している。

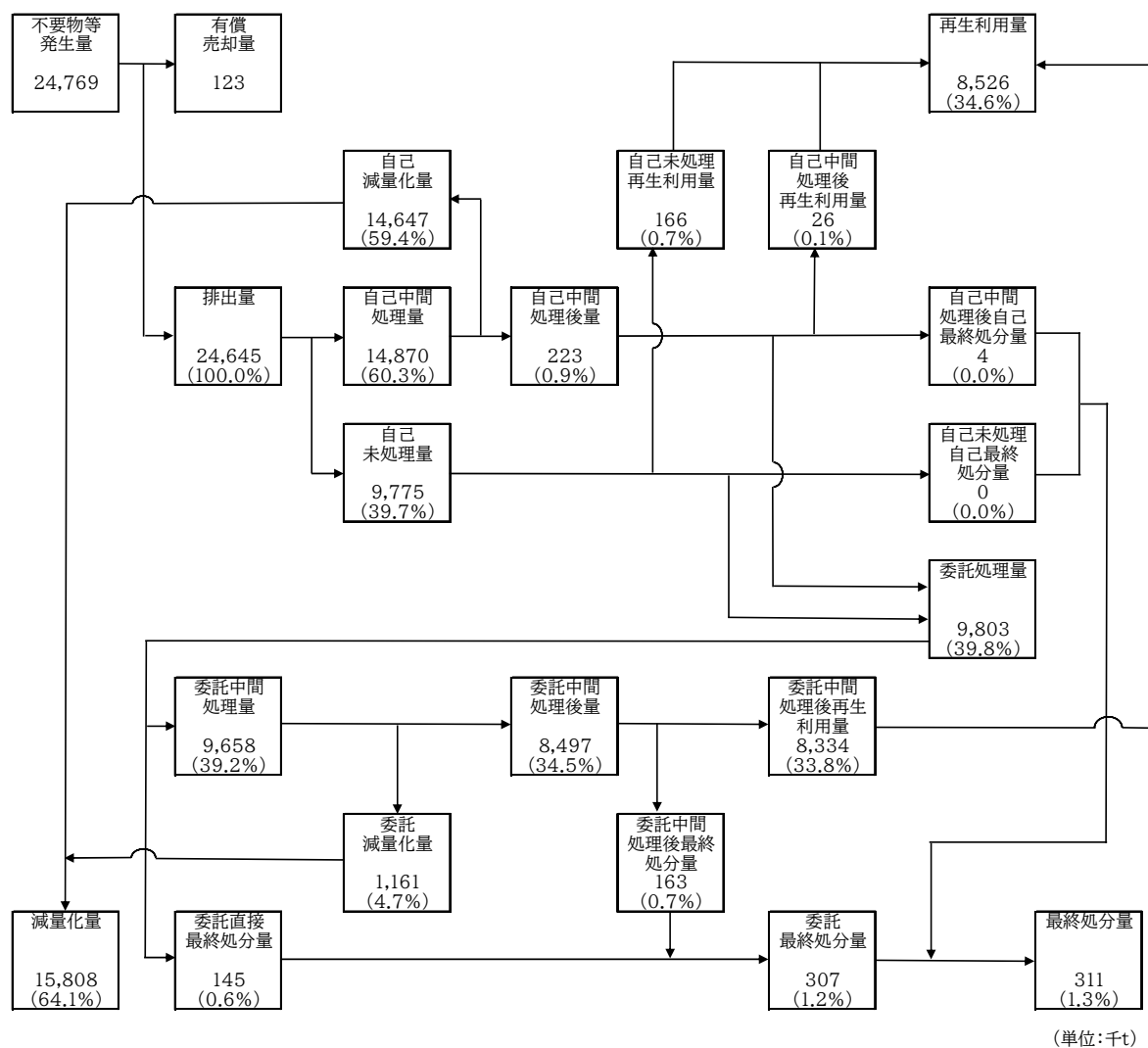


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-8 再生利用・減量化・最終処分状況（上下水道業を除く。）

（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする。）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を次に示す。

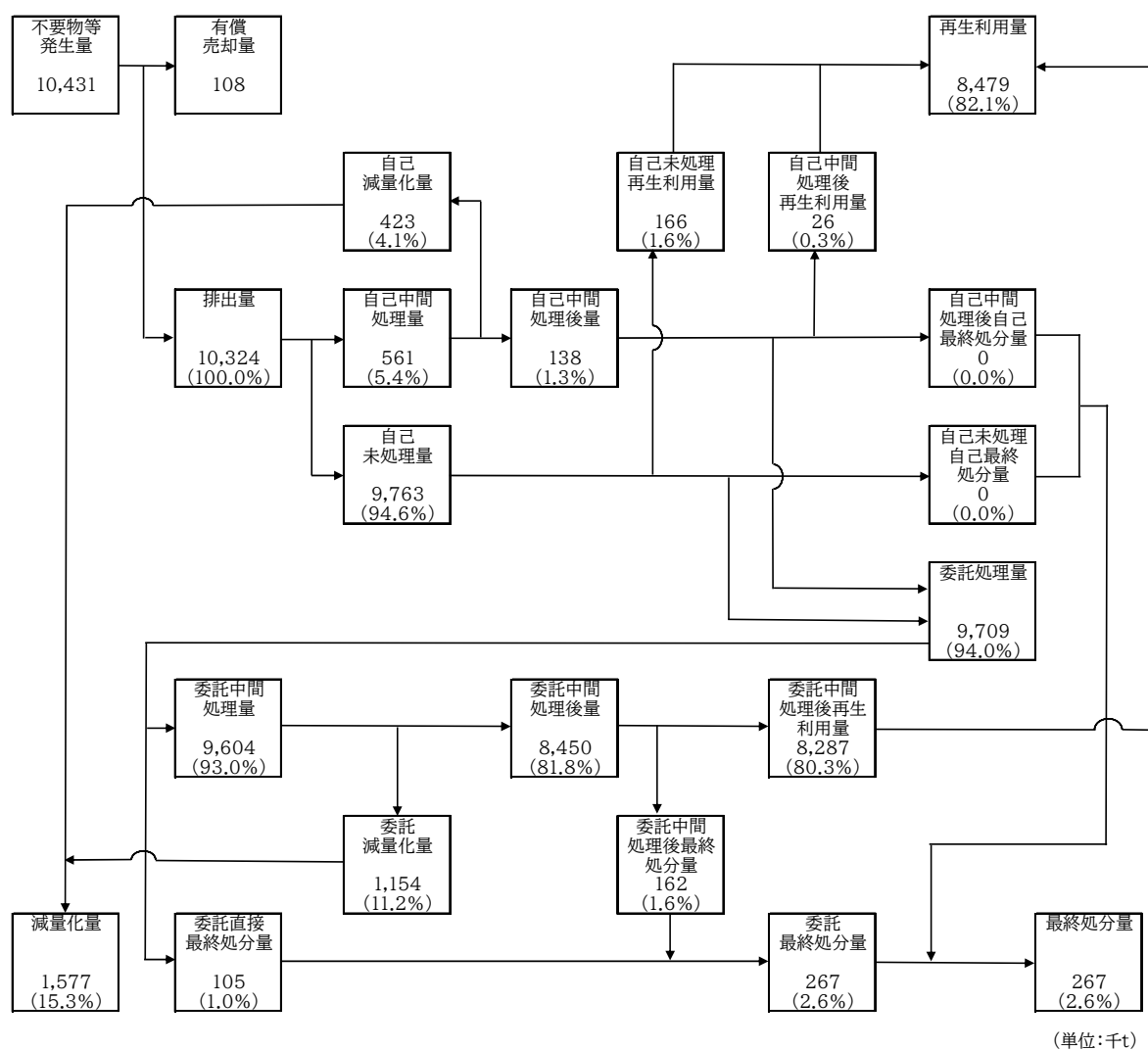


（ ）内の数字は排出量に対する割合を示す。

注）各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-9 処理・処分の詳細流れ図

上下水道業を除く廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を次に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-10 処理・処分の詳細流れ図 (上下水道業等を除く。)

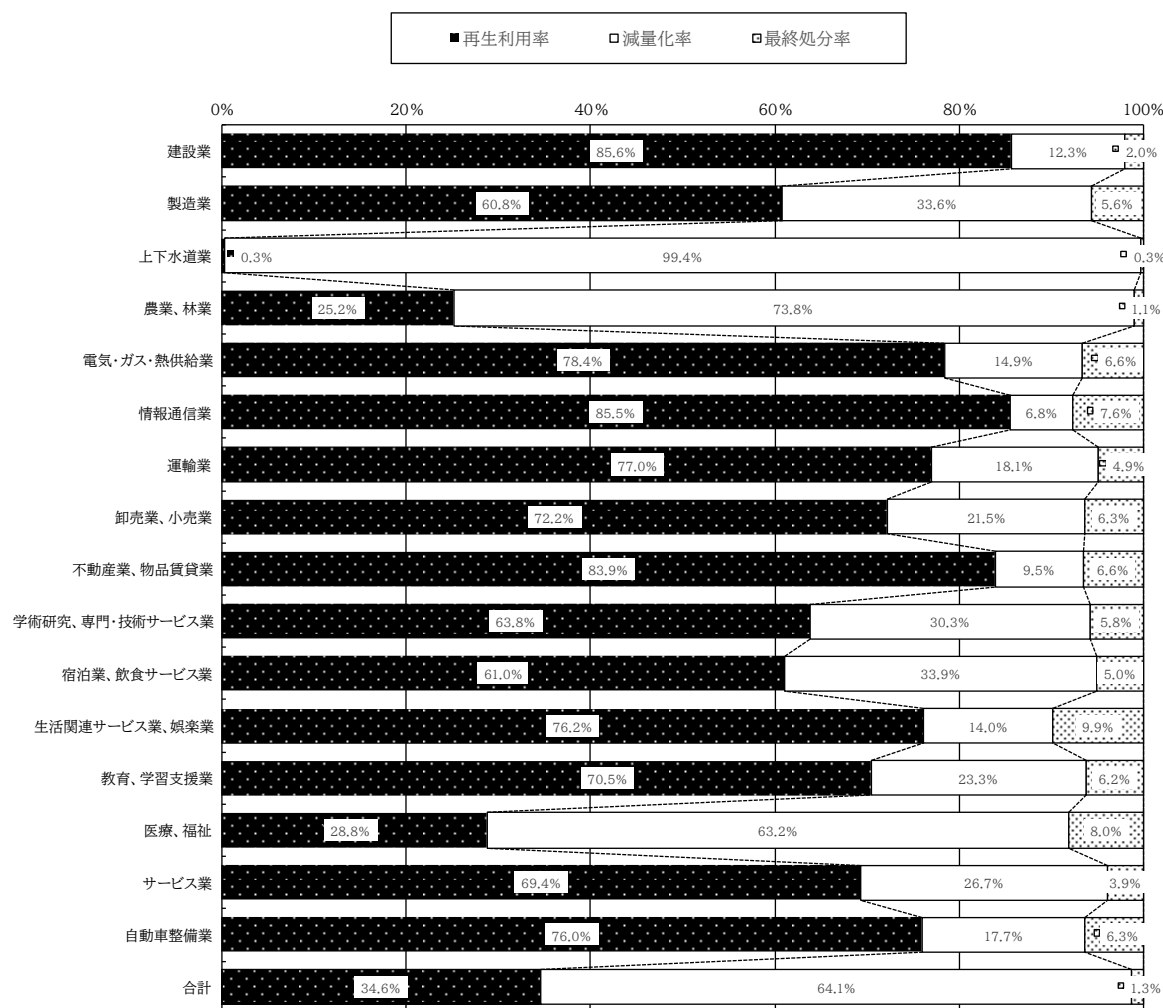
3 再生利用・減量化・最終処分状況

(1) 再生利用・減量化・最終処分割合

ア 業種別処理状況

業種別に処理状況をみると、再生利用される割合（再生利用率）が高い業種は建設業が 85.6%、次いで情報通信業が 85.5%である。減量化率の最も高い業種は上下水道業が 99.4%、次いで農業、林業が 73.8%となっている。

また、最終処分率の最も高い業種は生活関連サービス業、娯楽業が 9.9%、次いで医療、福祉が 8.0%である。

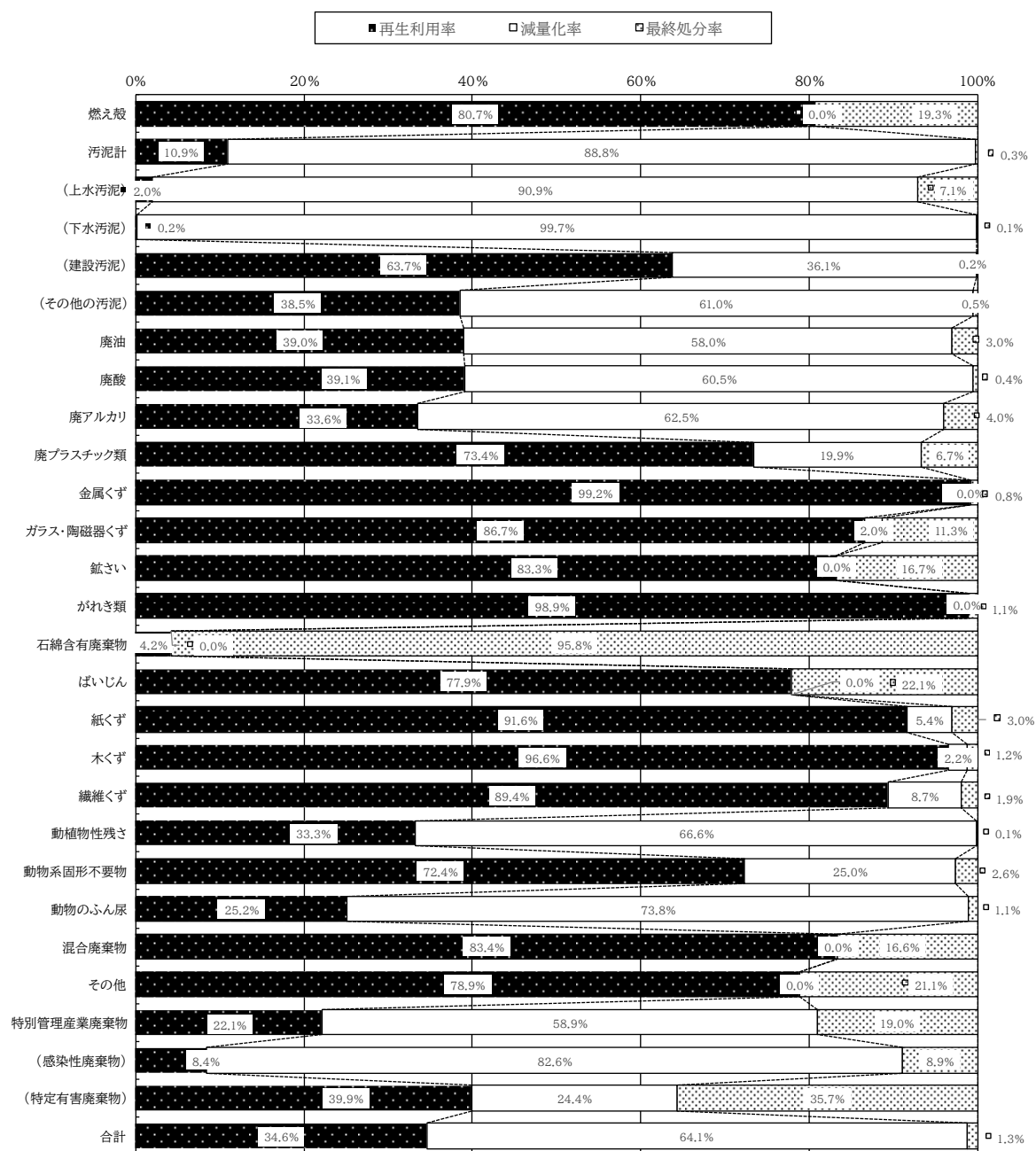


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-11 業種別再生利用・減量化・最終処分状況

イ 種類別処理状況

産業廃棄物の種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合は下図のとおりである。特に、金属くず、がれき類、木くず、紙くずは再生利用率が高く、建設汚泥を除く汚泥、感染性廃棄物、動物のふん尿は減量化率が高く、石綿含有産業廃棄物は最終処分率が高くなっている。



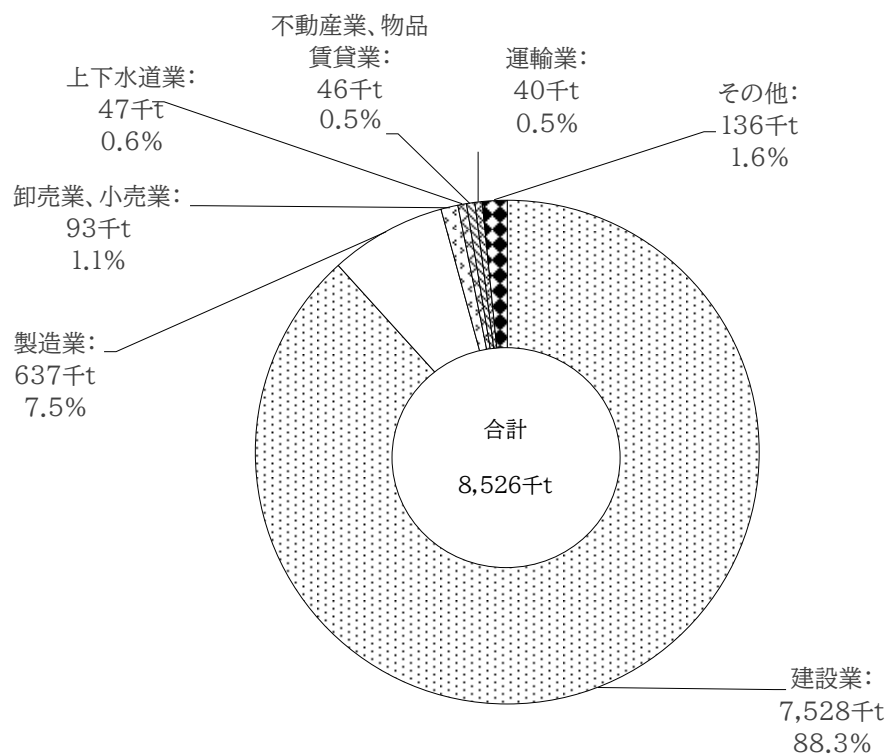
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-12 種類別再生利用・減量化・最終処分状況

(2) 再生利用状況

ア 業種別再生利用状況

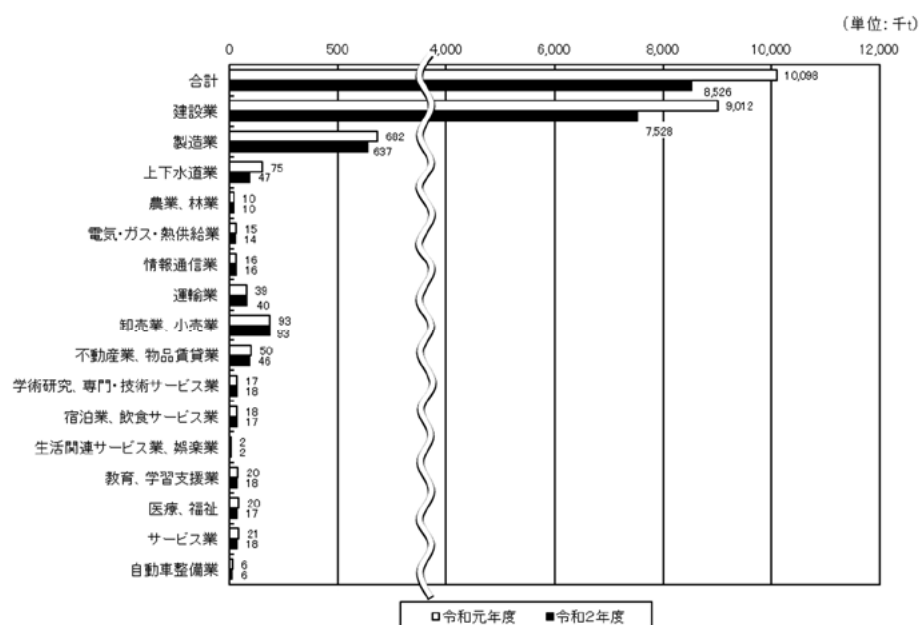
産業廃棄物の全再生利用量は 8,526 千 t で、業種別では建設業が最も多く、7,528 千 t で全体の 88.3% を占めている。次いで製造業が 7.5% にあたる 637 千 t である。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

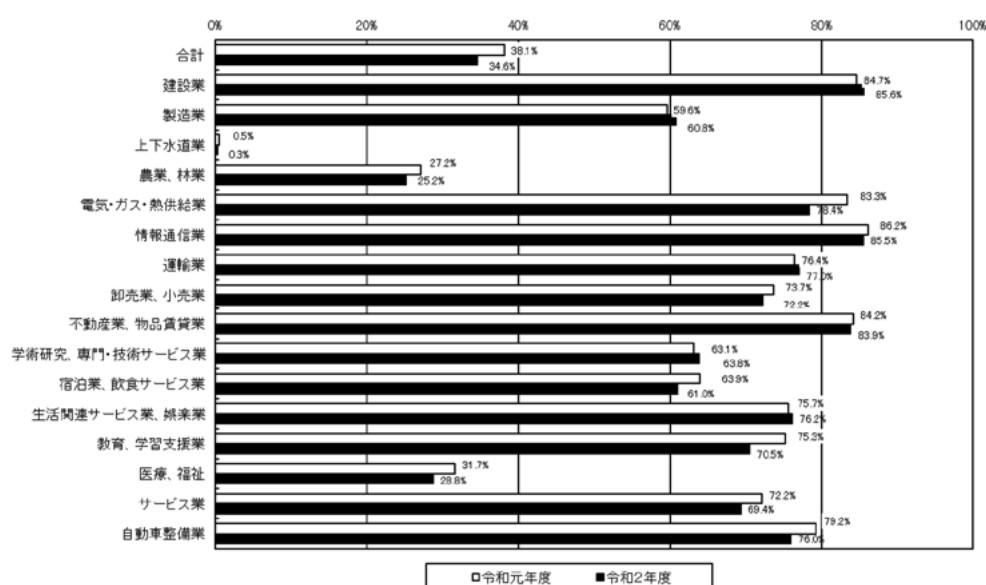
図 2-13 業種別再生利用量

令和元年度と令和2年度の業種別の再生利用状況を比較すると、再生利用量、再生利用率ともに減少しているのは、上下水道、農業、林業、電気・ガス・熱供給業、不動産業、物品賃貸業、宿泊業、飲食サービス業、教育、学習支援業、医療・福祉、サービス業、自動車整備業であり、建設業及び製造業は、再生利用量は減少しているが、再生利用率が増加している。



注) 排出量の少ない業種があるため、数値目盛りを変更して表示。
各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-14 業種別再生利用量の比較



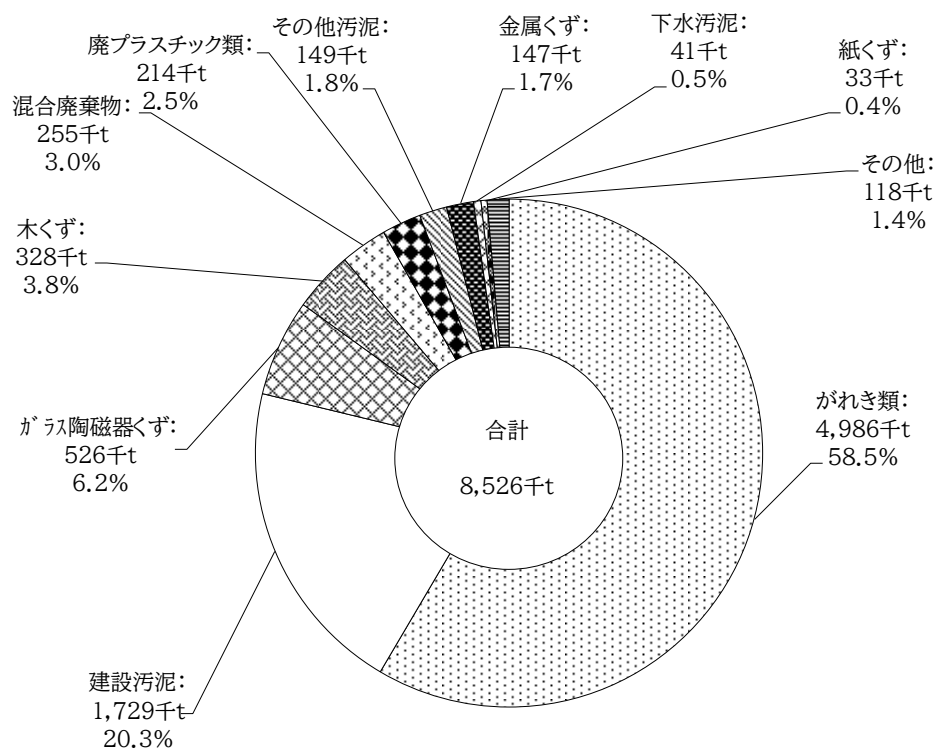
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-15 業種別再生利用率の比較

(再生利用割合 排出量を 100%とする。)

イ 種類別再生利用状況

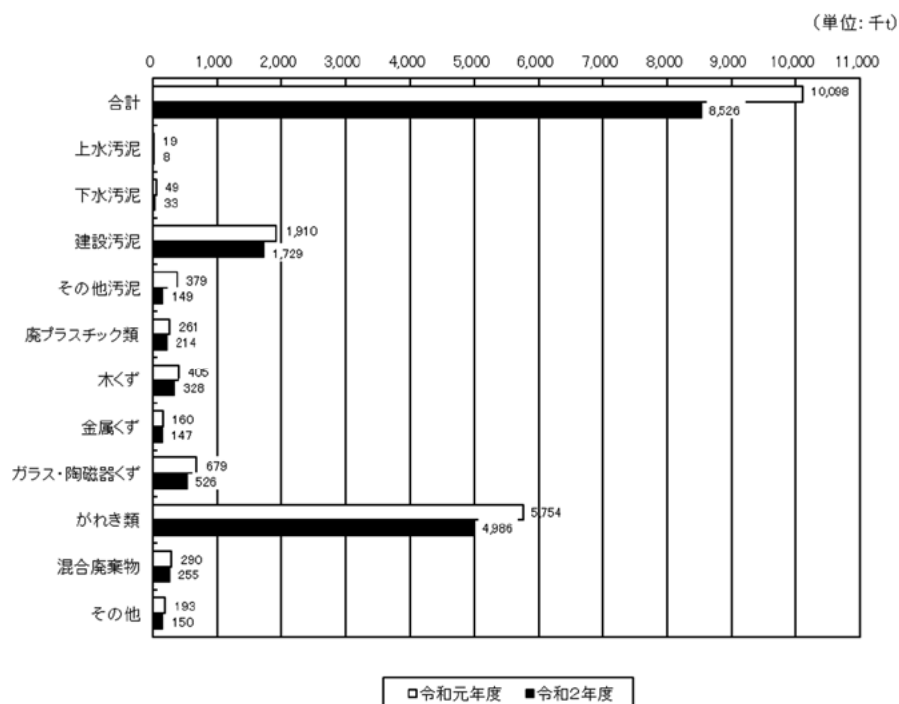
産業廃棄物の種類別では、がれき類の再生利用量が最も多く、4,986 千 t で全体の 58.5%を占めている。次いで建設汚泥が 20.3%にあたる 1,729 千 t、ガラス陶磁器くずが 6.2%にあたる 526 千 t である。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

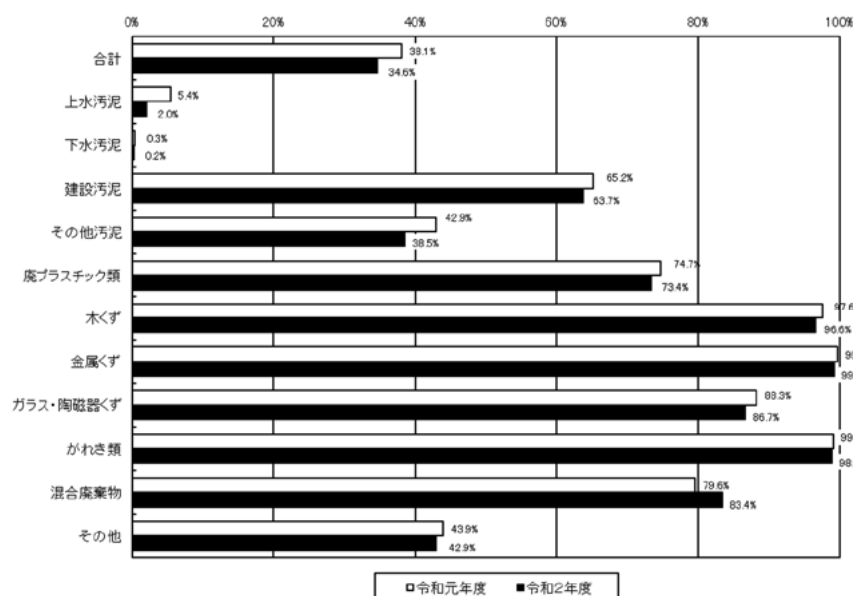
図 2-16 種類別再生利用量

令和元年度と令和2年度の種別別の再生利用状況を比較すると、いずれも再生利用量が減少している。再生利用率は、混合廃棄物においては増加しており、それ以外の種類では減少している。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-17 種別別再生利用量の比較



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

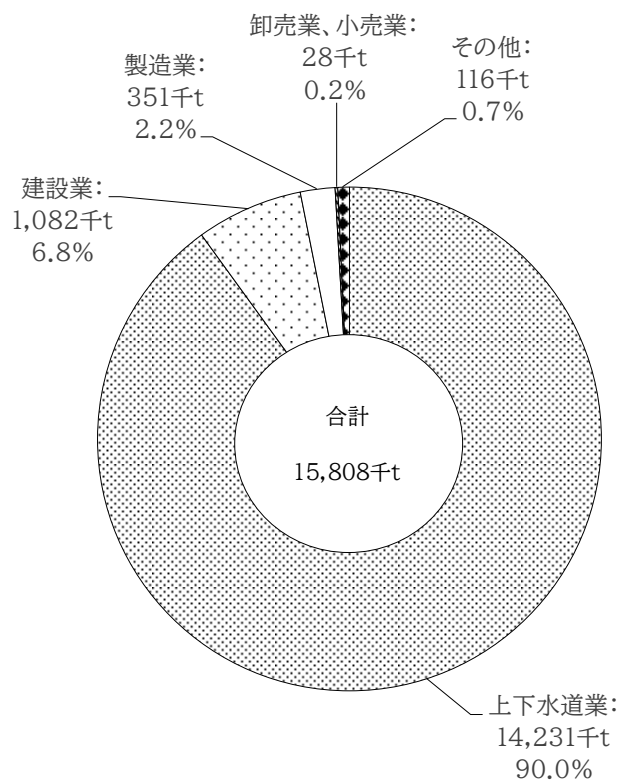
図 2-18 種別別再生利用率の比較

(再生利用割合 排出量を 100% とする。)

(3) 減量化状況

ア 業種別減量化状況

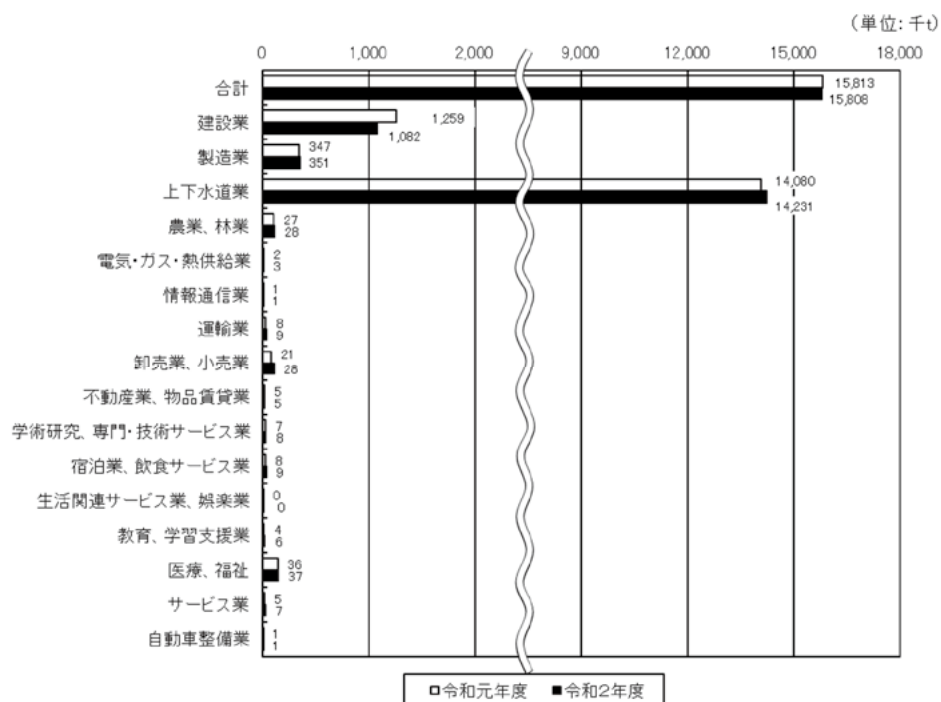
産業廃棄物の全減量化量は 15,808 千 t で、業種別では上下水道業が最も多く、14,231 千 t で全体の 90.0% を占めている。次いで建設業が 6.8% にあたる 1,082 千 t である。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

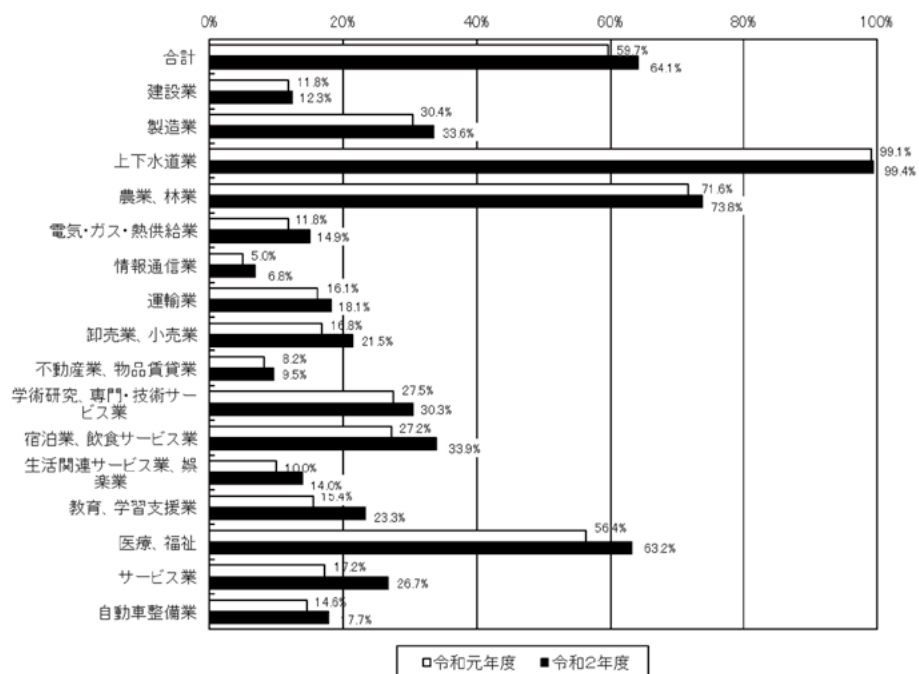
図 2-19 業種別減量化量

令和元年度と令和2年度の業種別の減量化状況を比較すると、建設業の減量化量が減少していることを除き、減量化量、減量化率ともに増加している。



注) 排出量の少ない業種があるため、数値目盛りを変更して表示
各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-20 業種別減量化量の比較



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

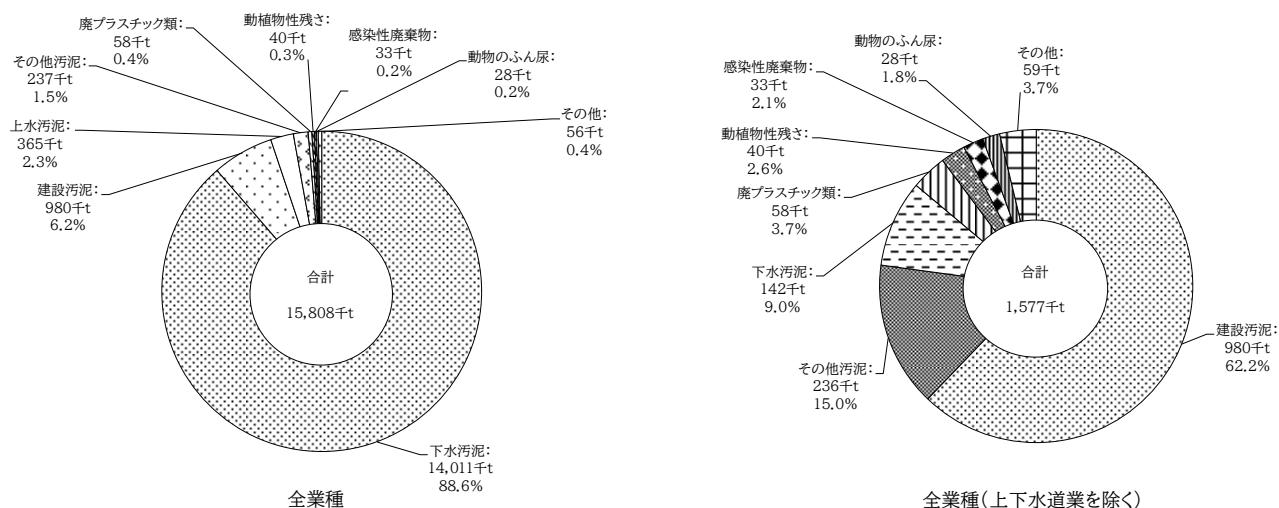
図 2-21 業種別減量化率の比較

(減量化割合 排出量を 100%とする。)

イ 種類別減量化状況

産業廃棄物の種類別では、下水汚泥の減量化量が最も多く、14,011 千 t で全体の 88.6% を占めている。次いで建設汚泥が 6.2% にあたる 980 千 t、上水汚泥が 2.3% にあたる 365 千 t である。

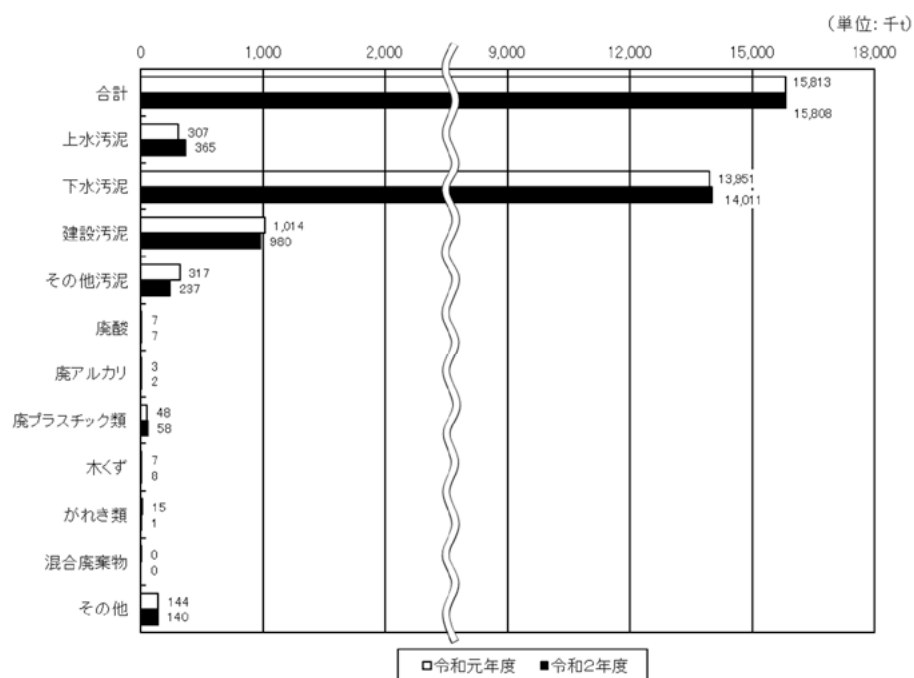
また、上下水道業を除いた減量化量は 1,577 千 t で、建設汚泥の減量化量が最も多く、980 千 t で全体の 62.2% を占めている。次いで、その他汚泥が 15.0% にあたる 236 千 t、下水汚泥が 9.0% にあたる 142 千 t である。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

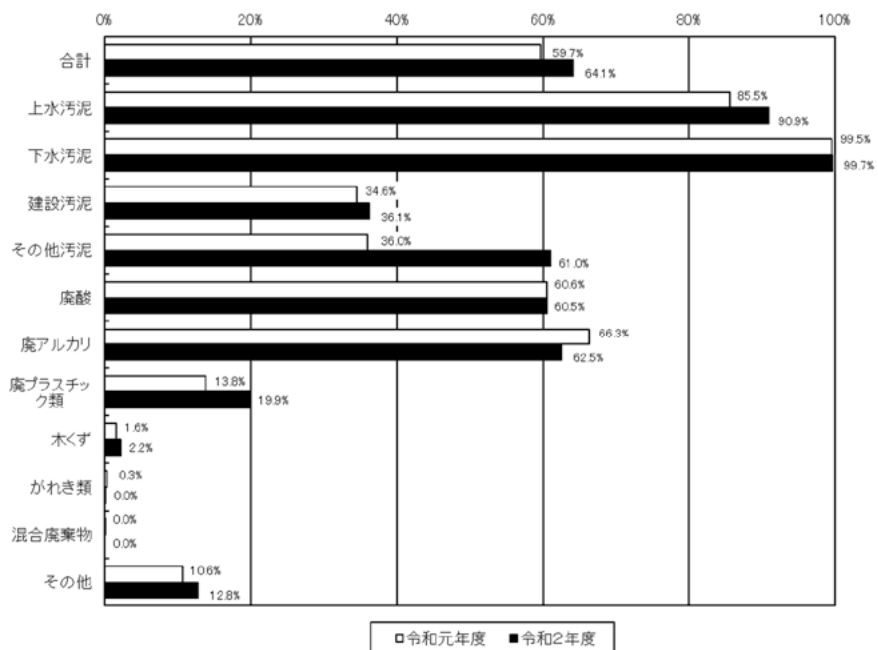
図 2-22 種類別減量化量

令和元年度と令和2年度の種別別の減量化状況を比較すると、減量化量、減量化率ともに増加しているのは、上水汚泥、下水汚泥、廃プラスチック類、木くずであり、減量化量は減少しているが、減量化率が増加しているのは、建設汚泥、その他汚泥であり、廃酸、廃アルカリ、がれき類はともに減少している。



注) 排出量の少ない業種があるため、数値目盛りを変更して表示。
各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-23 種別別減量化量の比較



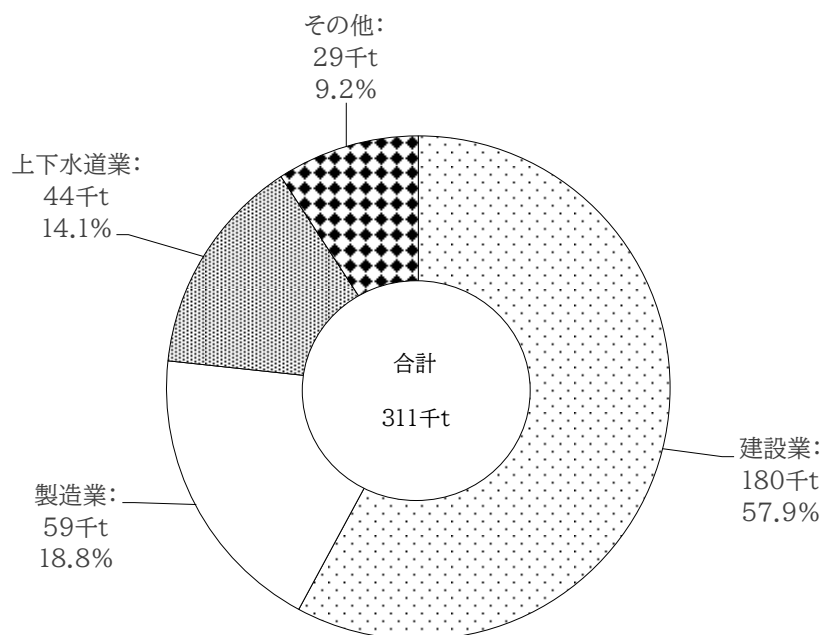
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-24 種別別減量化率の比較
(減量化割合 排出量を 100% とする。)

(4) 最終処分状況

ア 業種別最終処分状況

産業廃棄物の全最終処分量は 311 千 t で、業種別では建設業が最も多く、180 千 t で全体の 57.9% を占めている。次いで製造業が全体の 18.8% の 59 千 t、上下水道業は全体の 14.1% にあたる 44 千 t である。



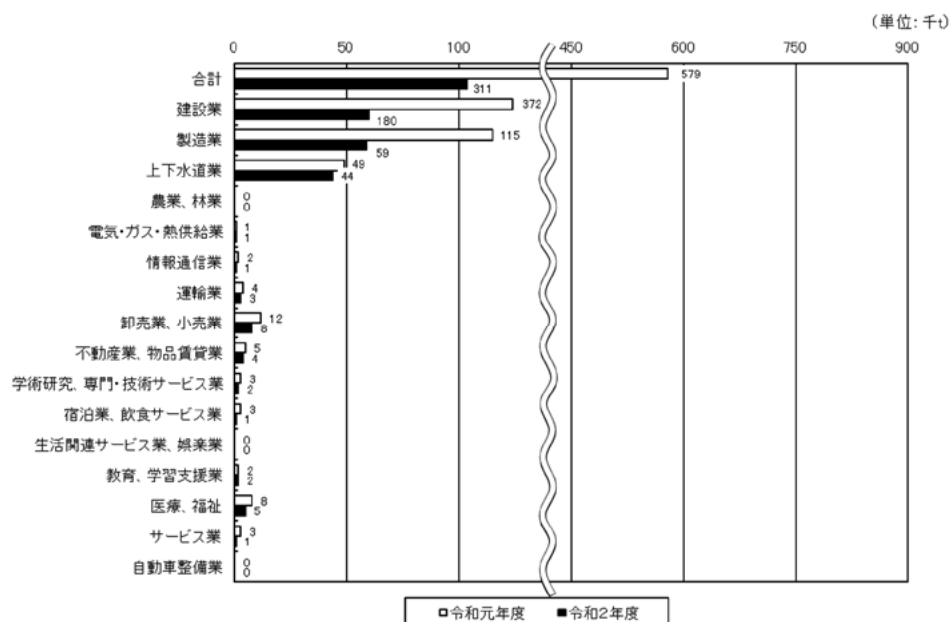
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-25 業種別最終処分量

令和元年度と令和2年度の業種別の最終処分状況を比較すると、最終処分量、最終処分率ともに減少しているのは、建設業、製造業、上下水道業、情報通信業、運輸業、卸売業、小売業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業である。

農業、林業、生活関連サービス業、娯楽業、自動車整備業はともに変化がない。

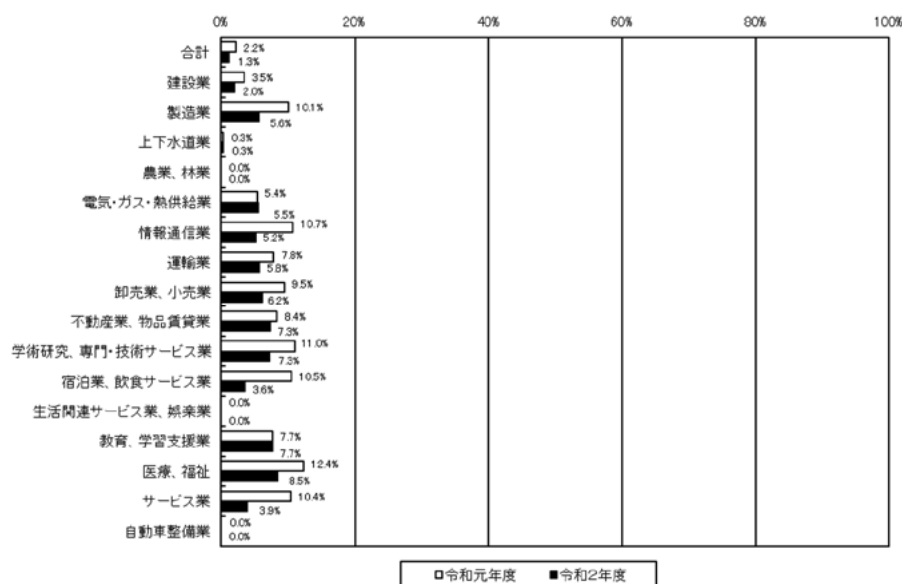
電気・ガス・熱供給業、教育、学習支援業は最終処分量に変化はないが、最終処分率が増加している。



注) 排出量の少ない業種があるため、数値目盛りを変更して表示。

各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-26 業種別最終処分量の比較



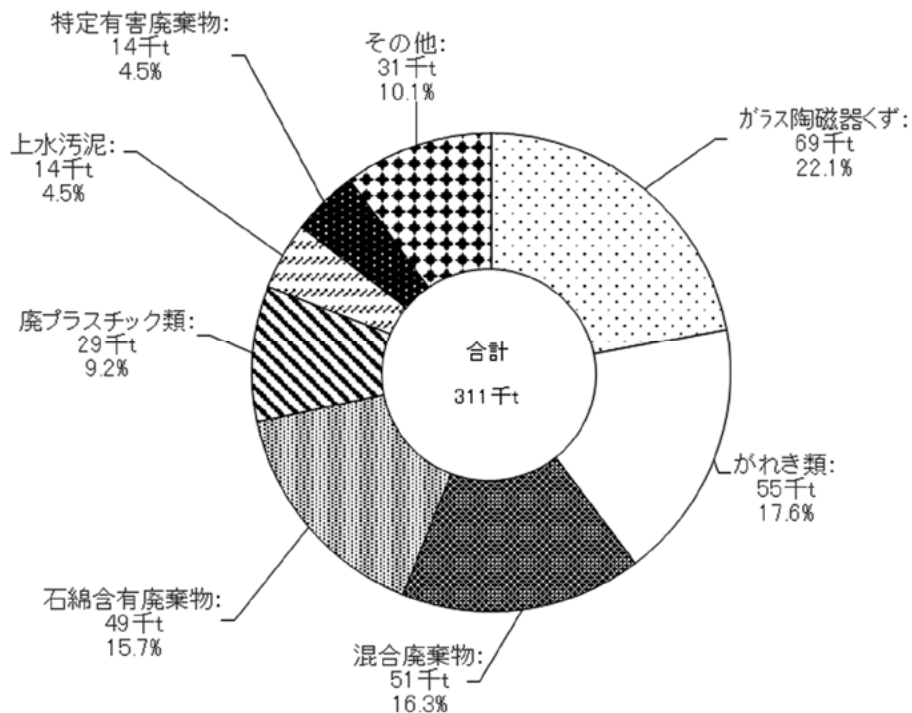
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-27 業種別最終処分率の比較

(最終処分割合 排出量を100%とする。)

イ 種類別最終処分状況

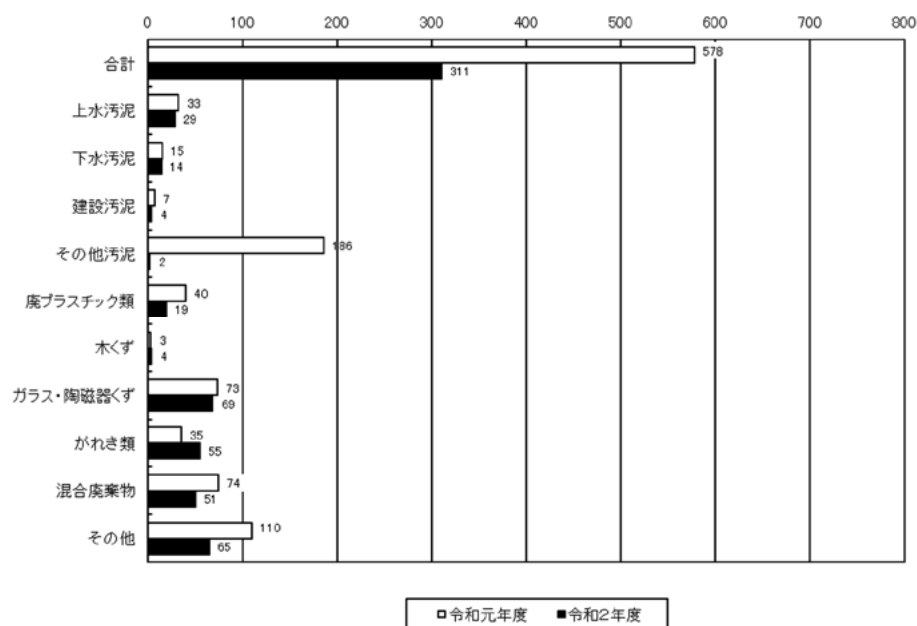
産業廃棄物の種類別では、ガラス・陶磁器くずの最終処分量が最も多く、69 千 t で全体の 22.1%を占めている。次いでがれき類が 17.6%にあたる 55 千 t、混合廃棄物が 16.3%にあたる 51 千 t である。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

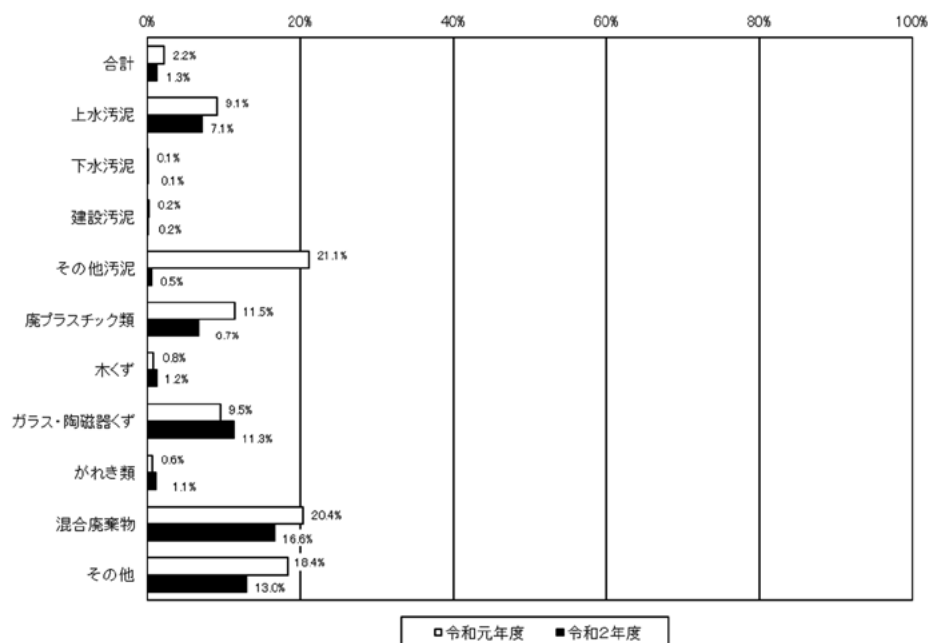
図 2-28 種類別最終処分量

令和元年度と令和２年度の種別別の最終処分状況を比較すると、最終処分量、最終処分率ともに増加しているのは、木くず、がれき類、混合廃棄物であり、ガラス・陶磁器くずは、最終処分量は減少する一方で最終処分率は増加している。それ以外の種類はともに減少している。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-29 種別別最終処分量の比較



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-30 種別別最終処分率の比較

(最終処分割合 排出量を 100%とする。)

4 広域処分状況（中間処理及び最終処分）

(1) 広域処理状況（中間処理）

中間処理量 24,528 千 t のうち、都内で中間処理されている量は 19,911 千 t で全体の 81.2%である。

上下水道業を除いた中間処理量は 10,165 千 t で、このうち都内で中間処理されている量は 5,551 千 t で全体の 54.6%である。

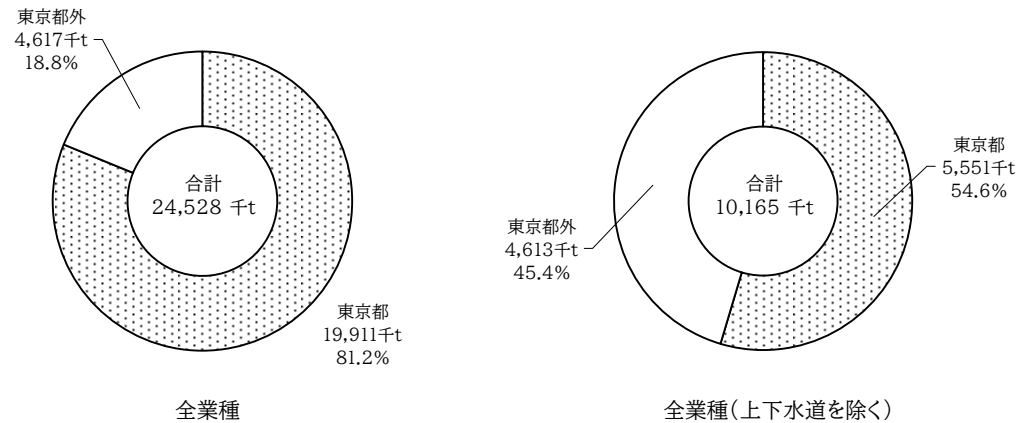


図 2-31 広域処理状況

令和元年度と令和2年度の広域処理の状況を比較すると次のとおりである。

令和2年度に都内で中間処理された量は 19,911 千 t で、令和元年度の 20,698 千 t と比較すると 787 千 t (3.8%) 減少している。都内処理率は 1.4% 増加している。

上下水道業の上下水汚泥を除いた場合、令和2年度は 5,551 千 t で、令和元年度の 6,490 千 t と比較すると 939 千 t (14.5%) 減少している。都内処理率も 0.7% 減少している。

表 2-1 種類別広域処理の比較

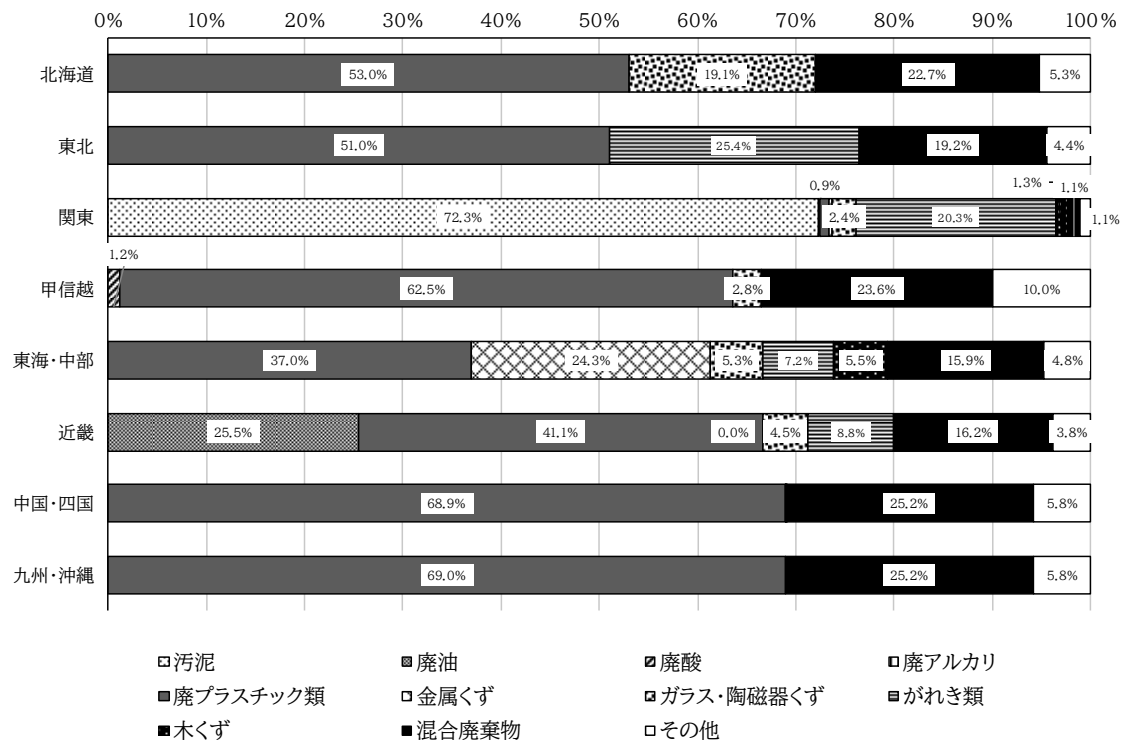
(単位: 千t)

種類	東京都内				東京都外			
	令和元年度		令和2年度		令和元年度		令和2年度	
	中間処理量	都内処理率	中間処理量	都内処理率	中間処理量	都外処理率	中間処理量	都外処理率
汚泥	14,824	83.1%	14,913	84.6%	3,011	16.9%	2,708	15.4%
上水汚泥	361	100.0%	411	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
下水汚泥	14,022	100.0%	14,092	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
建設汚泥	194	7.6%	206	7.6%	2,351	92.4%	2,502	92.4%
その他の汚泥	247	27.2%	204	49.8%	660	72.8%	206	50.2%
廃油	7	36.8%	7	36.5%	13	63.2%	12	63.5%
廃酸	1	12.1%	5	41.7%	11	87.9%	6	58.3%
廃アルカリ	4	100.0%	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
廃プラスチック類	147	43.9%	134	46.2%	188	56.1%	156	53.8%
金属くず	50	49.5%	52	47.9%	51	50.5%	56	52.1%
ガラス・陶磁器くず	270	34.8%	195	32.9%	505	65.2%	398	67.1%
がれき類	4,660	80.3%	3,974	80.0%	1,144	19.7%	992	20.0%
木くず	304	73.9%	243	72.9%	108	26.1%	90	27.1%
混合廃棄物	184	53.9%	160	52.9%	157	46.1%	142	47.1%
特別管理産業廃棄物	89	92.3%	64	94.6%	7	7.7%	4	5.4%
感染性廃棄物	40	100.0%	38	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	158	72.0%	160	75.4%	61	28.0%	52	24.6%
合計	20,698	79.7%	19,911	81.2%	5,256	20.3%	4,617	18.8%
上下水道の上下水汚泥を除く計	6,490	55.3%	5,551	54.6%	5,251	44.7%	4,613	45.4%

中間処理量 24,528 千 t のうち 99.3% の 24,360 千 t は関東地方で処理されている。
 関東地方で中間処理された産業廃棄物の内、最も多いのが汚泥の 17,622 千 t
 (72.3%) であり、次いでがれき類の 4,955 千 t (20.3%) である。

表 2-2 地域別中間処理量

廃棄物の種類	北海道	東北	関東	甲信越	東海・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
汚泥	0	0	17,622	0	0	0	0	0	17,622
廃油	0	0	15	0	0	5	0	0	20
廃酸	0	0	11	0	0	0	0	0	11
廃アルカリ	0	0	4	0	0	0	0	0	4
廃プラスチック類	2	2	219	12	43	8	2	2	290
金属くず	0	0	80	0	29	0	0	0	108
ガラス・陶磁器くず	1	0	585	1	6	1	0	0	593
がれき類	0	1	4,955	0	8	2	0	0	4,966
木くず	0	0	326	0	6	0	0	0	333
混合廃棄物	1	1	273	4	19	3	1	1	302
その他	0	0	271	2	6	1	0	0	280
合計	4	4	24,360	19	117	19	3	2	24,528
割合	0.0%	0.0%	99.3%	0.1%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-32 地域別・種類別の中間処理量の割合

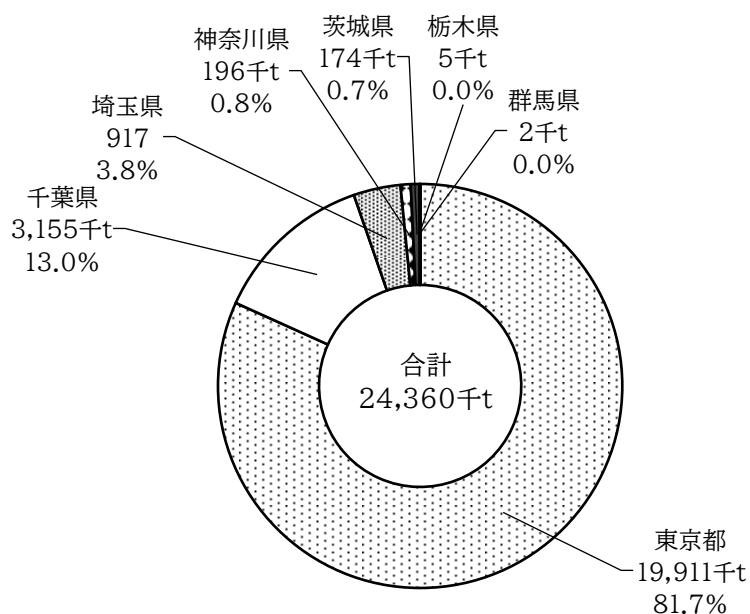
関東地方の中間処理量 24,360 千 t の 81.7% にあたる 19,911 千 t は東京都で処理されている。

次いで千葉県が 13.0% の 3,155 千 t、埼玉県が 3.8% の 917 千 t、神奈川県が 0.8% の 196 千 t で、1 都 3 県で関東地方の 99.3% にあたる 24,179 千 t を占めている。

表 2-3 関東地方の中間処理量の内訳

(単位:千t)

廃棄物の種類	中間処理量	1都3県
東京都	19,911	24,179
千葉県	3,155	
埼玉県	917	
神奈川県	196	
茨城県	174	
栃木県	5	
群馬県	2	
合計	24,360	99.3%



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-33 関東地方の中間処理量

(2) 広域処分状況（最終処分）

最終処分量 311 千 t のうち、都内で中間処理されている量は 100 千 t で全体の 32.3% である。

上下水道業を除いた処理量は 267 千 t で、このうち都内で最終処分されている量は 58 千 t で全体の 21.6% である。

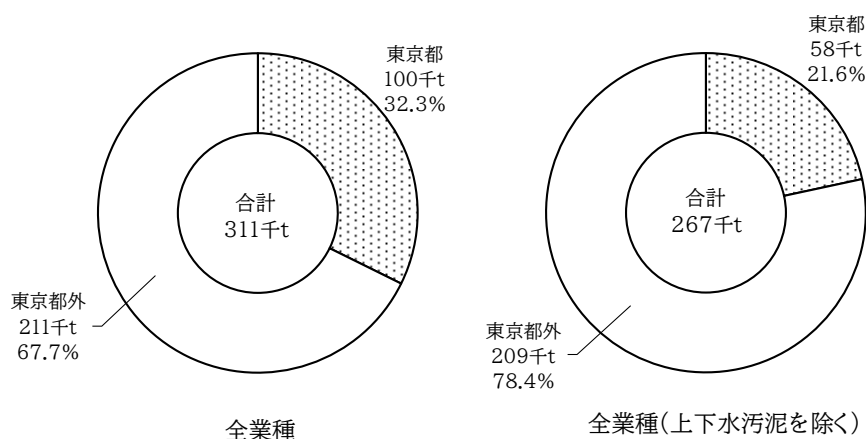


図 2-34 広域最終処分状況

令和元年度と令和 2 年度の広域処分の状況を比較すると次のとおりである。

令和 2 年度に都内で最終処分された量は 100 千 t で、令和元年度の 131 千 t と比較すると 31 千 t (23.4%) 減少している。都内処分率は 9.6% 増加している。

上下水道業の上下水汚泥を除いた場合、令和 2 年度は 58 千 t で、令和元年度の 83 千 t と比較すると、25 千 t (30.5%) 減少している。都内処分率は 7.5% 増加している。

表 2-4 種類別広域最終処分の比較

(単位: 千t)

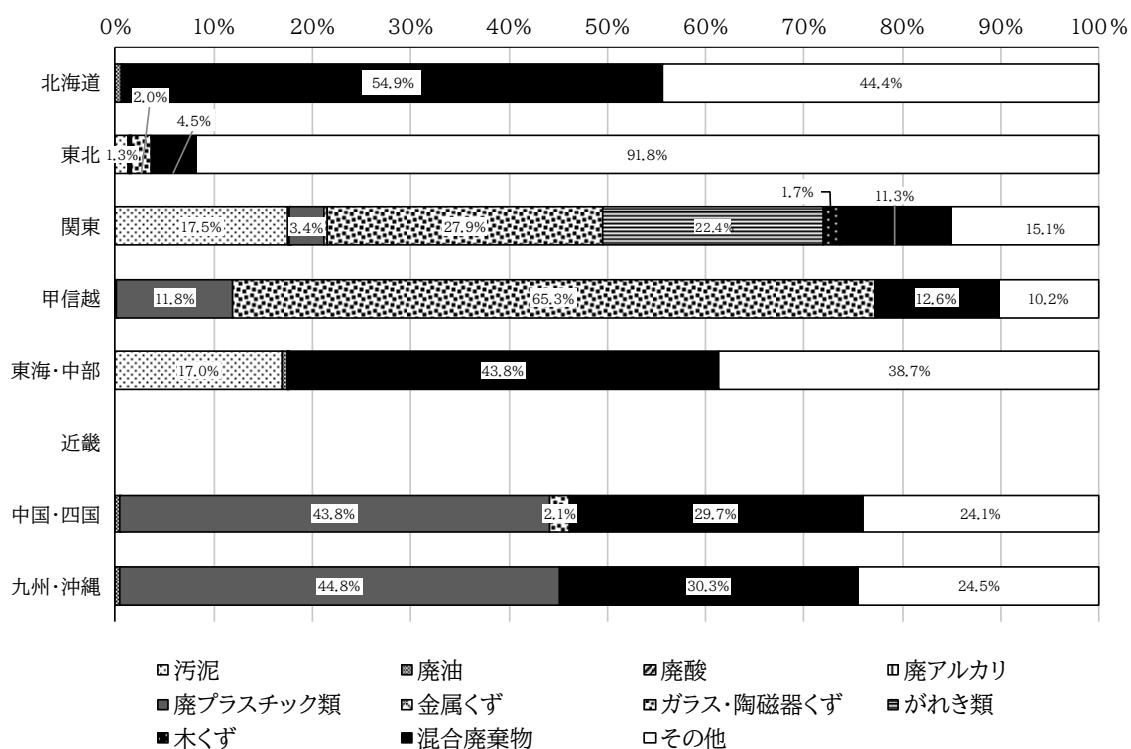
種類	東京都内				東京都外			
	令和元年度		令和2年度		令和元年度		令和2年度	
	最終処分量	都内 処分率	最終処分量	都内 処分率	最終処分量	都外 処分率	最終処分量	都外 処分率
汚泥	51	21.1%	43	87.7%	190	78.9%	6	12.3%
上水汚泥	33	100.0%	29	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
下水汚泥	15	100.0%	14	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
建設汚泥	0	1.5%	0	1.5%	7	98.5%	4	98.5%
その他の汚泥	3	1.5%	0	1.5%	183	98.5%	2	98.5%
廃油	0	31.9%	0	32.0%	0	68.1%	0	68.0%
廃酸	0	31.9%	0	32.0%	0	68.1%	0	68.0%
廃アルカリ	1	100.0%	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
廃プラスチック類	1	1.9%	0	1.9%	39	98.1%	19	98.1%
金属くず	0	87.1%	1	86.4%	0	12.9%	0	13.6%
ガラス・陶磁器くず	7	10.0%	8	11.4%	66	90.0%	61	88.6%
がれき類	0	0.0%	0	0.0%	35	100.0%	55	100.0%
木くず	3	99.9%	4	99.9%	0	0.1%	0	0.1%
混合廃棄物	24	31.9%	16	32.0%	51	68.1%	34	68.0%
特別管理産業廃棄物	19	98.8%	14	98.8%	0	1.2%	0	1.2%
感染性廃棄物	6	98.8%	4	98.8%	0	1.2%	0	1.2%
その他	25	27.9%	14	28.5%	65	72.1%	35	71.5%
合計	131	22.7%	100	32.3%	447	77.3%	211	67.7%
上下水汚泥を除く計	83	14.1%	58	21.6%	508	85.9%	209	78.4%

最終処分量 311 千 t のうち 78.5% の 244 千 t は関東地方で処分されている。

また、関東地方で処分された産業廃棄物のうち、ガラス・陶磁器くず由来のものが最も多く、68 千 t (27.9%) であり、次いでがれき類が 55 千 t (22.4%) を占めている。

表 2-5 地域別最終処分量

廃棄物の種類	北海道	東北	関東	甲信越	東海・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
汚泥	0	0	43	0	6	0	0	0	49
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	1
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	8	0	0	0	8	3	19
金属くず	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ガラス・陶磁器くず	0	0	68	0	0	0	0	0	69
がれき類	0	0	55	0	0	0	0	0	55
木くず	0	0	4	0	0	0	0	0	4
混合廃棄物	0	0	28	0	15	0	6	2	51
その他	0	6	37	0	14	0	5	1	63
合計	0	7	244	0	35	0	19	6	311
割合	0.0%	2.1%	78.5%	0.0%	11.2%	0.0%	6.2%	1.9%	100.0%



※1%未満の値は表示を割愛

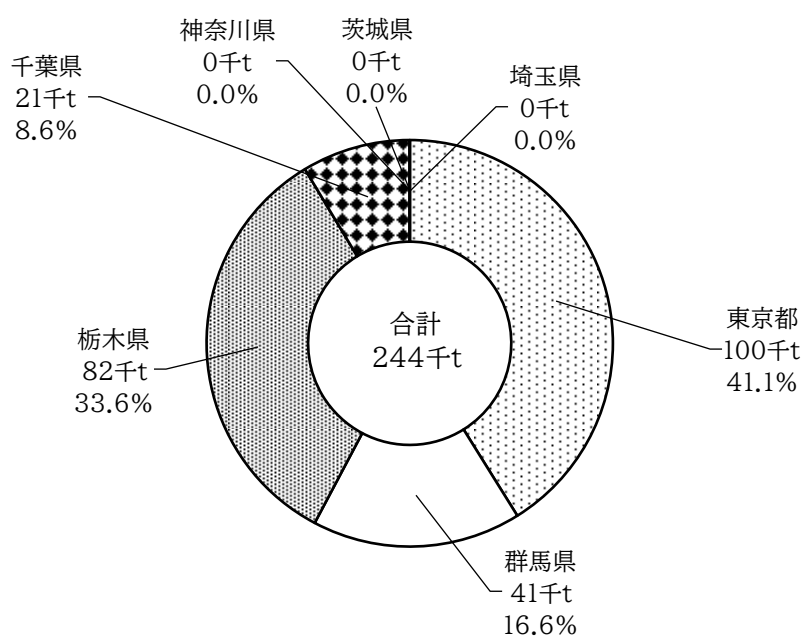
図 2-35 地域別・種類別の最終処分量の割合

関東地方の最終処分量 244 千 t の 41.1% にあたる 100 千 t は東京都で処分されており、最も多くを占める。次いで、栃木県が 82 千 t (33.6%)、群馬県が 41 千 t (16.6%) を占めている。

表 2-6 関東地方の最終処分量の内訳

(単位:千t)

廃棄物の種類	最終処分量
東京都	100
群馬県	41
栃木県	82
千葉県	21
神奈川県	0
茨城県	0
埼玉県	0
合計	244



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

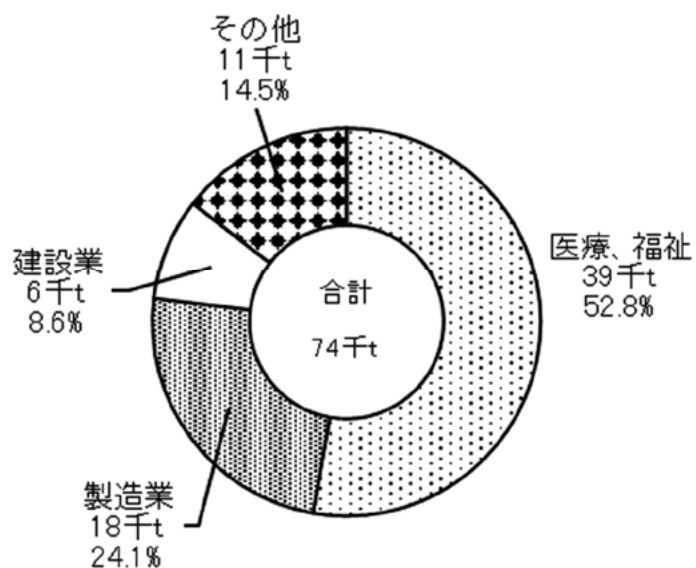
図 2-36 関東地方の最終処分処理量

5 特別管理産業廃棄物の排出・処理の概況

(1) 排出状況

特別管理産業廃棄物の排出量は74千tで、このうち52.8%にあたる39千tが医療、福祉から排出され、次いで製造業から24.1%にあたる18千tが排出されている。この2業種で全体の76.9%にあたる57千tを占めている。

医療、福祉から排出される特別管理産業廃棄物は感染性廃棄物で、製造業から排出される特別管理産業廃棄物の多くは廃酸である。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

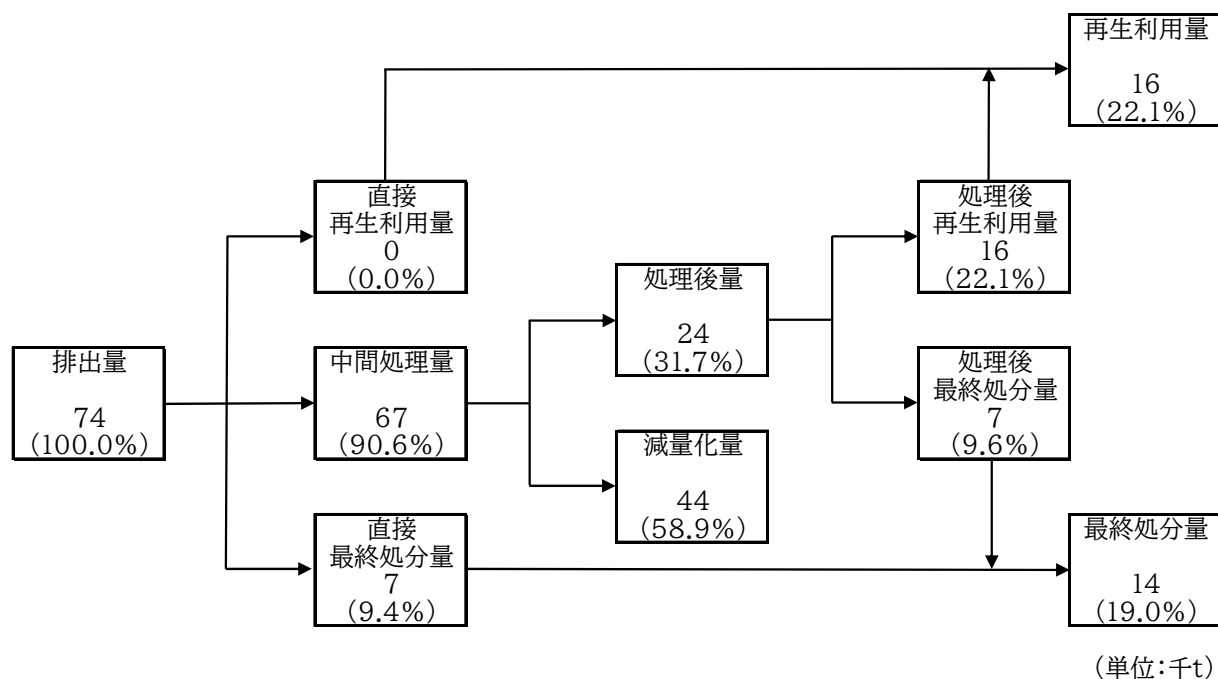
図 2-37 業種別排出状況

(2) 処理・処分状況

特別管理産業廃棄物の排出量 74 千 t のうち、90.6%にあたる 67 千 t が中間処理され、直接最終処分されたのは 9.4%にあたる 7 千 t である。

中間処理される 67 千 t の特別管理産業廃棄物は焼却処分等の中間処理を経て 24 千 t に減量化され、そのうち 16 千 t が再生利用、7 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 22.1%にあたる 16 千 t が再生利用、58.9%にあたる 44 千 t が減量化、19.0%にあたる 14 千 t が最終処分されている。

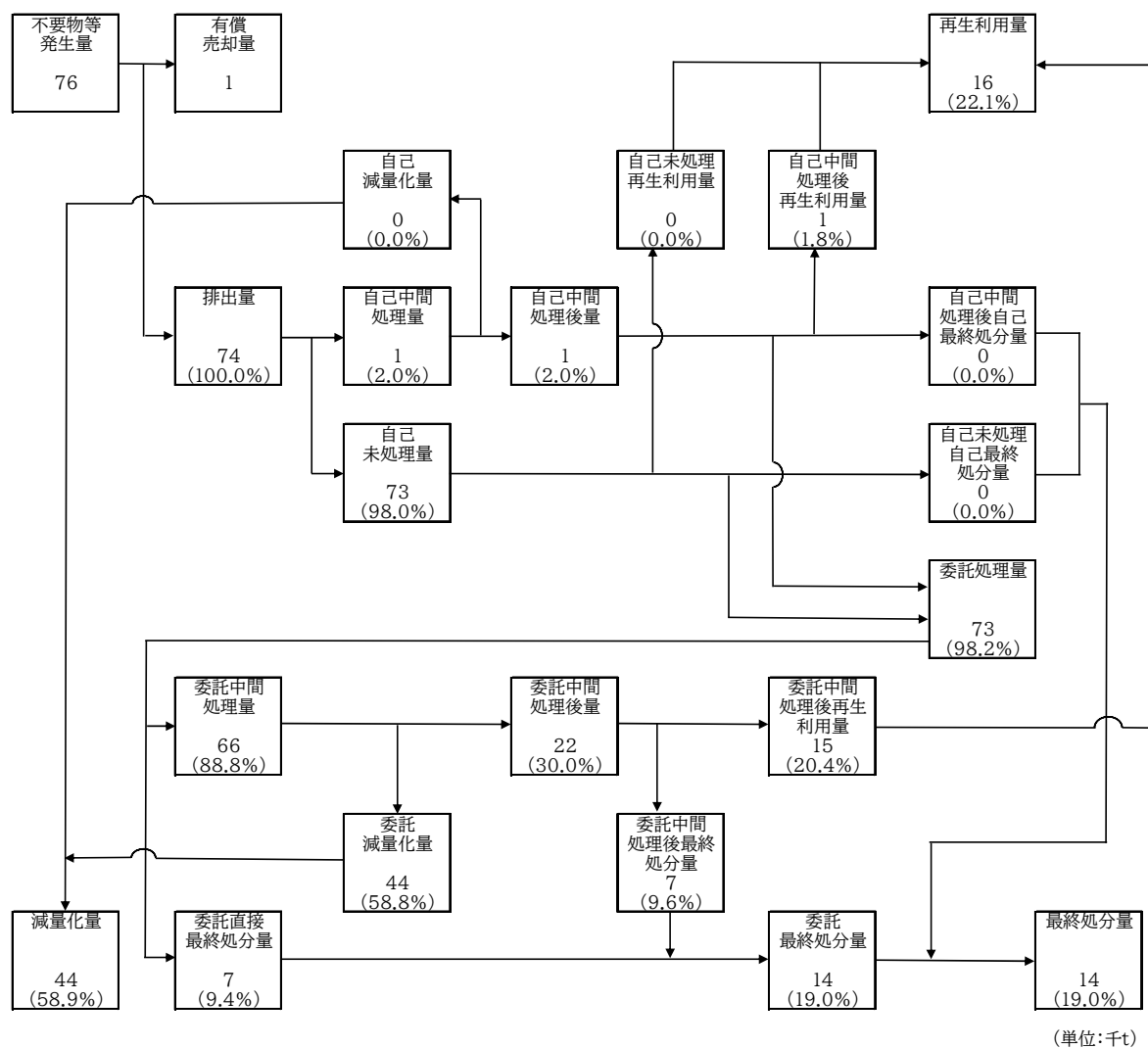


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 2-38 処理・処分の流れ図 (特別管理産業廃棄物)

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を次に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

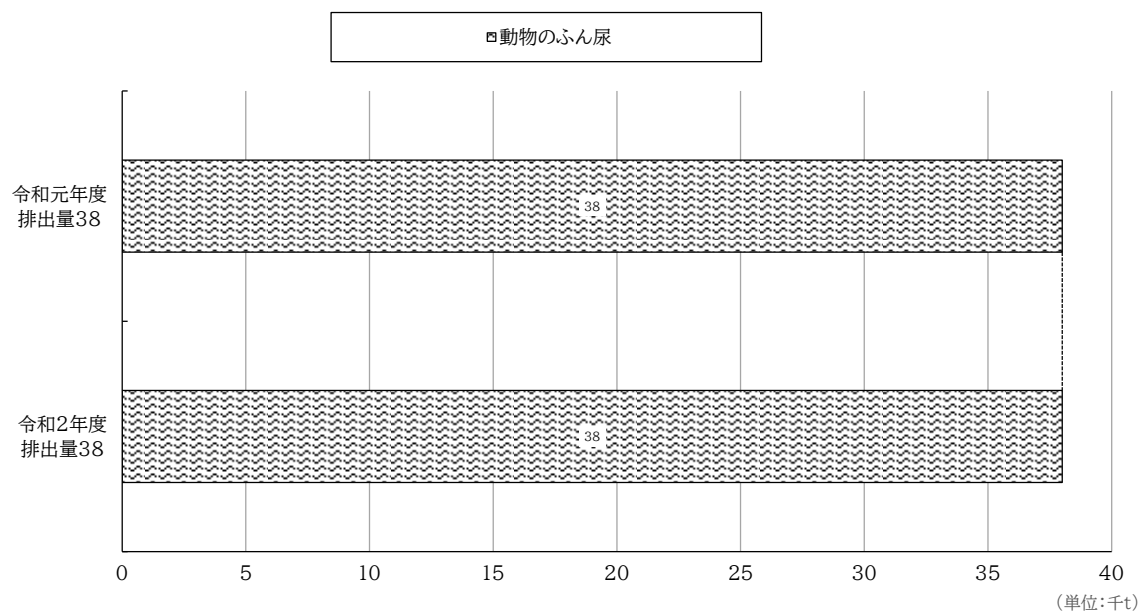
図 2-39 処理・処分の詳細流れ図（特別管理産業廃棄物）

第3編 都内から排出される産業廃棄物の状況（業種別拡大推計結果）

1 農業，林業

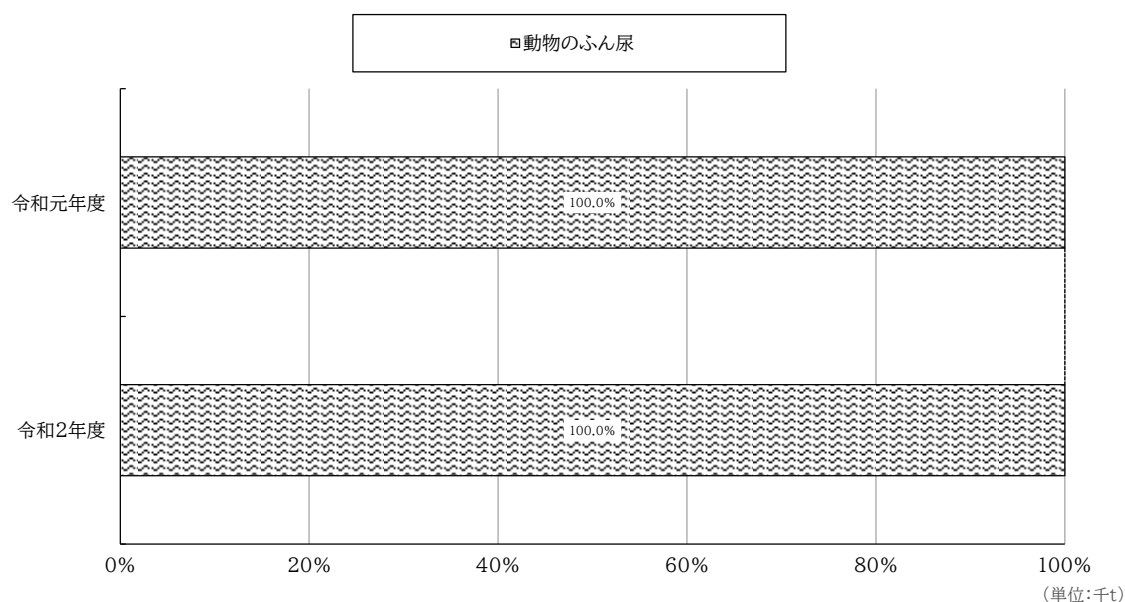
(1) 種類別排出状況

令和2年度の農業，林業の排出量は38千tで、令和元年度と同じである。
廃棄物の種類は動物のふん尿のみである。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-1 種類別排出量（農業，林業）



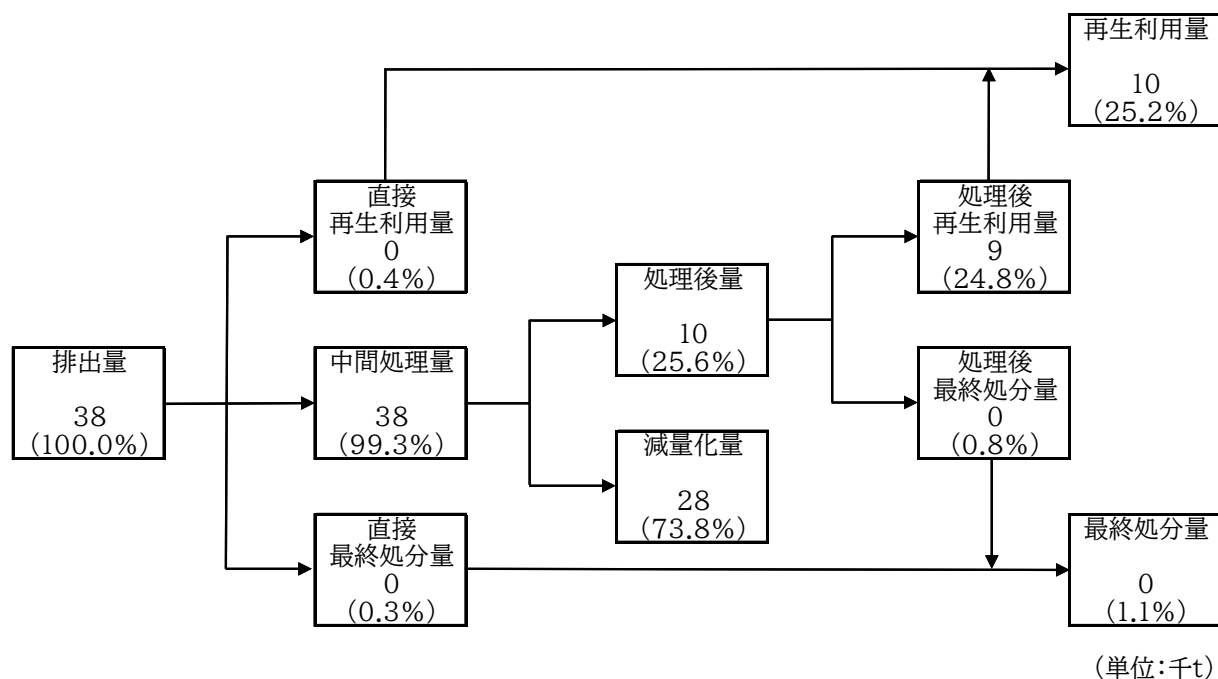
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-2 種類別排出割合（農業，林業）

(2) 処理・処分状況

農業、林業の排出量 38 千 t のうち、99.3%にあたる 38 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは 0.4%にあたる 0.1 千 t、直接最終処分されたのは 0.3%にあたる 0.1 千 t である。中間処理される 38 千 t の産業廃棄物は、焼却、脱水等の中間処理を経て 10 千 t に減量化され、そのうち 9 千 t が再生利用、0.3 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 25.2%にあたる 10 千 t が再生利用、73.8%にあたる 28 千 t が減量化されており、1.1%にあたる 0.4 千 t が最終処分されている。

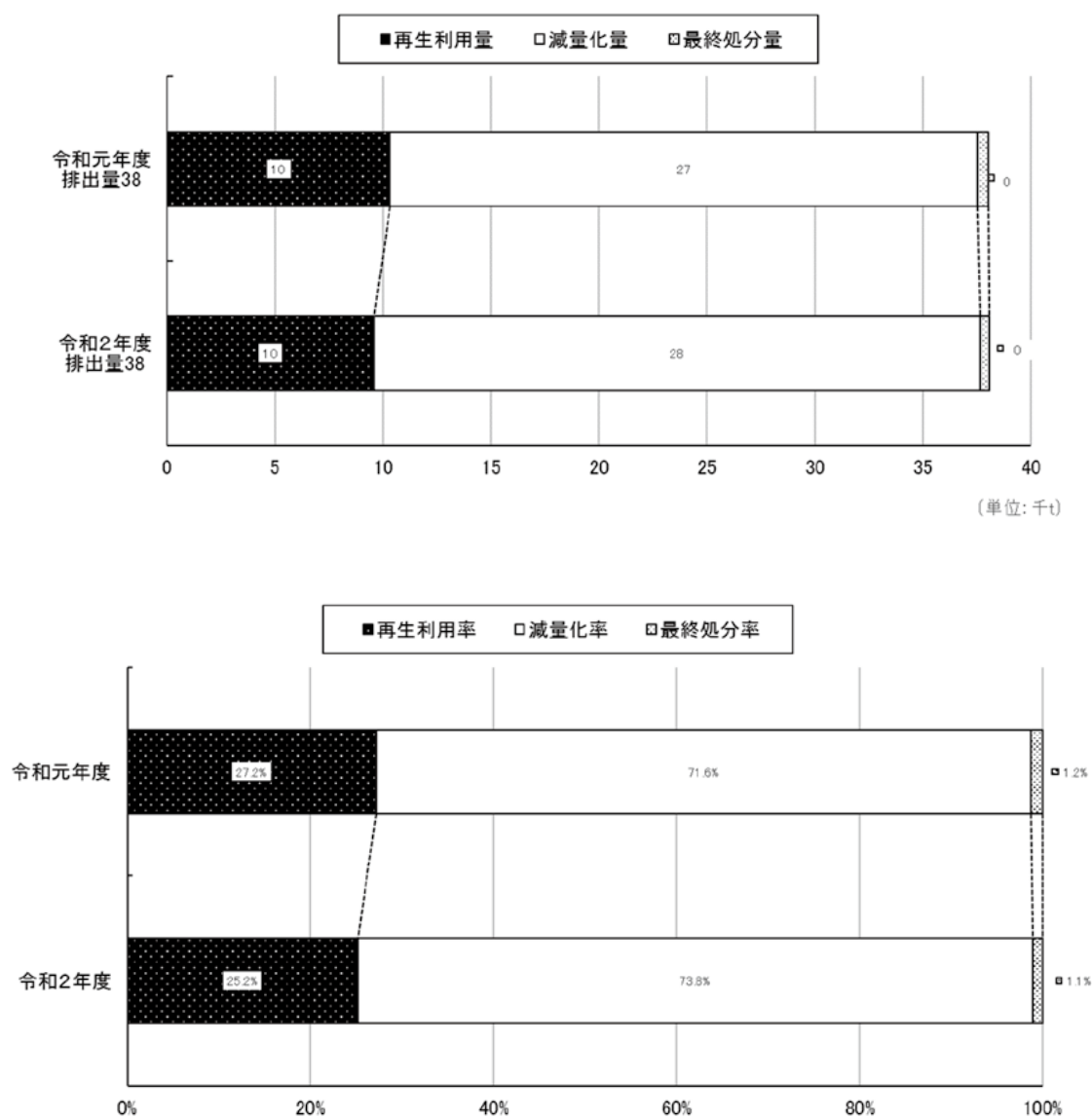


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-3 処理・処分の流れ図 (農業, 林業)

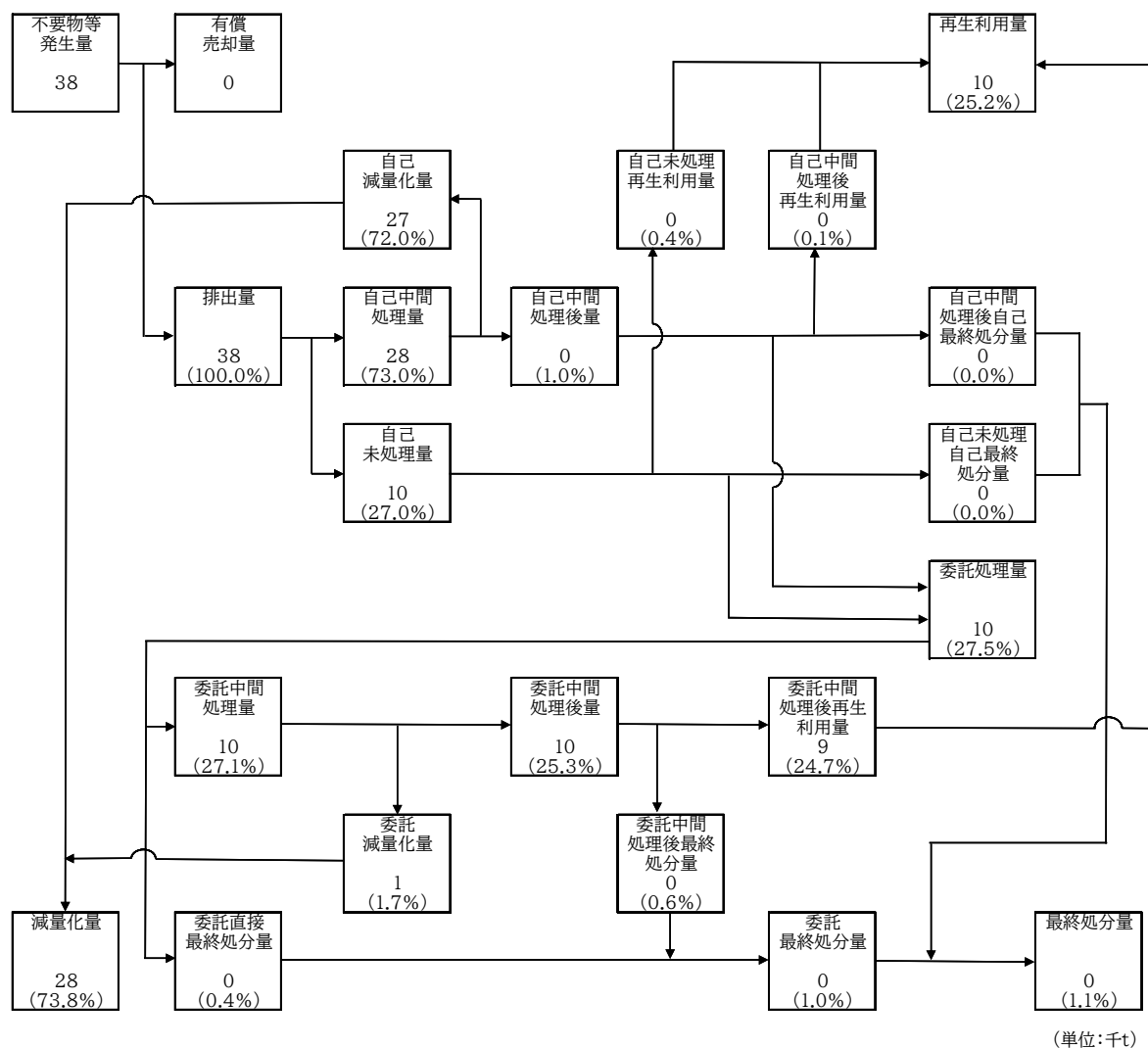
令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は2.0%減少、減量化率は2.2%増加、最終処分率は0.2%減少している。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-4 再生利用・減量化・最終処分状況（農業，林業）
（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする。）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を次に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

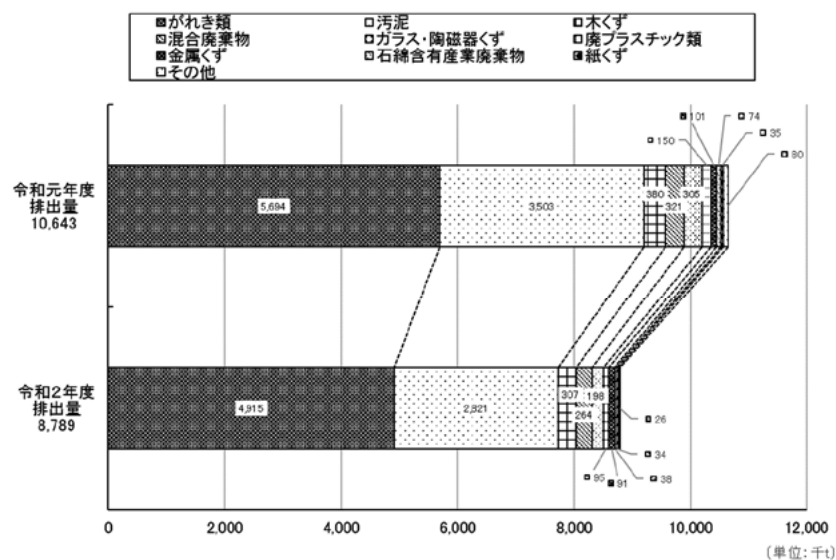
図 3-5 処理・処分の詳細流れ図（農業，林業）

2 建設業

(1) 種類別排出状況

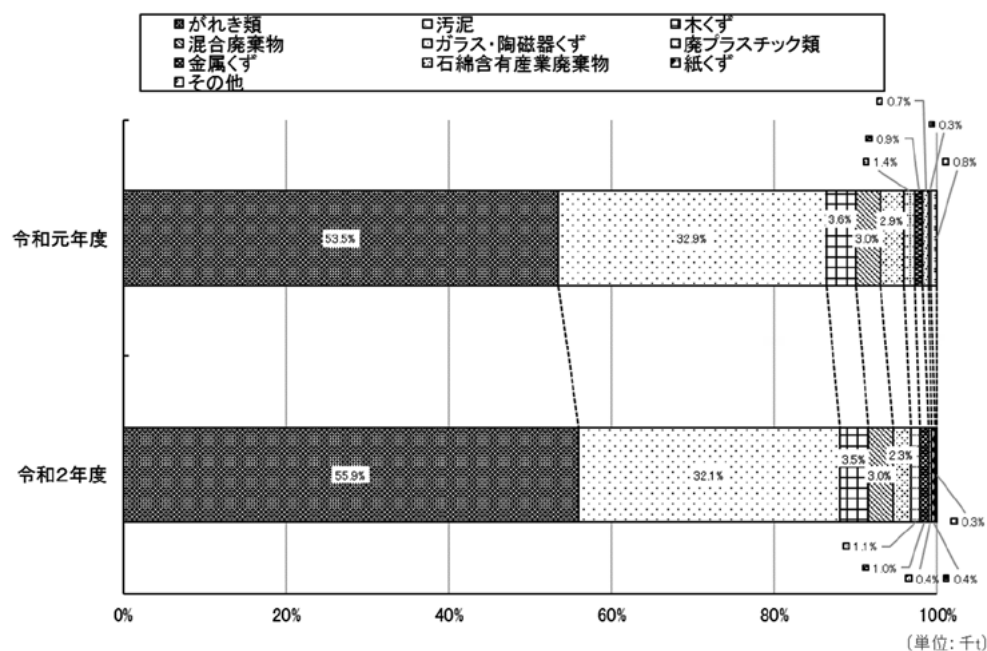
令和2年度の建設業の排出量は8,789千tで、令和元年度の10,643千tと比較すると1,854千t（17.4%）減少している。

廃棄物の種類別にみると、がれき類が全体の55.9%にあたる4,915千t、次いで汚泥が32.1%にあたる2,821千tであり、この2品目で全排出量の88.0%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-6 種類別排出量（建設業）



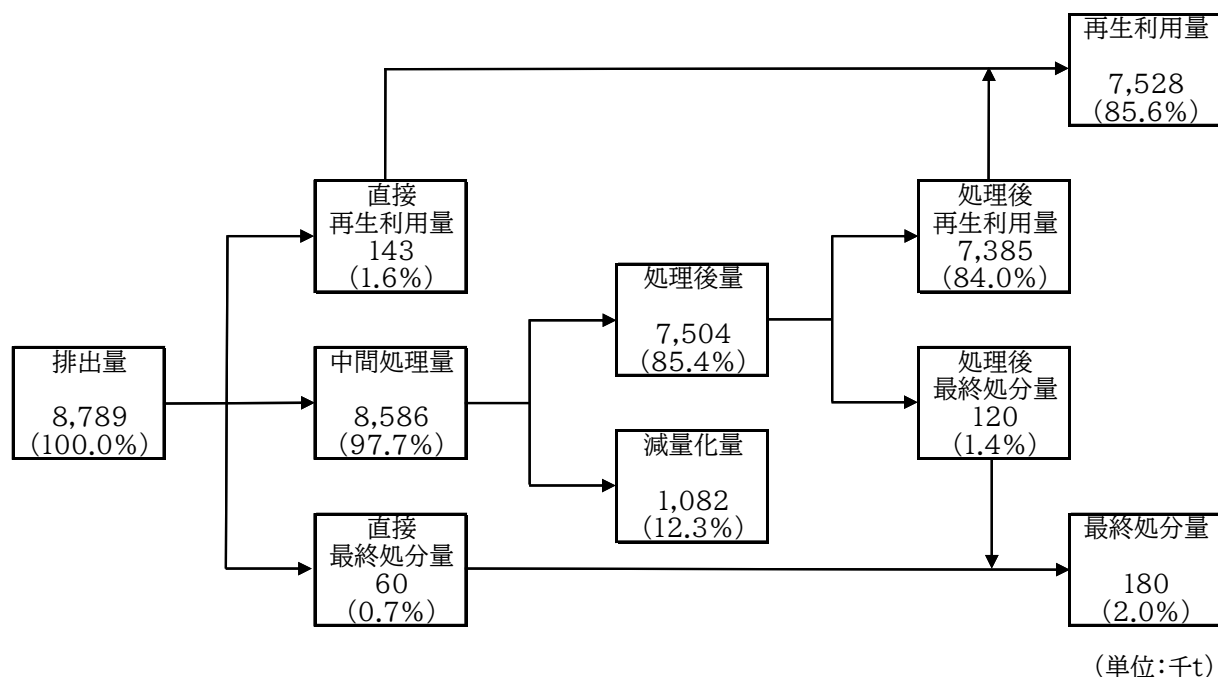
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-7 種類別排出割合（建設業）

(2) 処理・処分状況

建設業の排出量 8,789 千 t のうち、97.7%にあたる 8,586 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは排出量の 1.6%にあたる 143 千 t、直接最終処分されたのは 0.7%にあたる 60 千 t である。中間処理される 8,586 千 t の産業廃棄物は、破碎、脱水等の中間処理を経て 7,504 千 t に減量化され、そのうち 7,385 千 t が再生利用、120 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 85.6%にあたる 7,528 千 t が再生利用、12.3%にあたる 1,082 千 t が減量化、2.0%にあたる 180 千 t が最終処分されている。

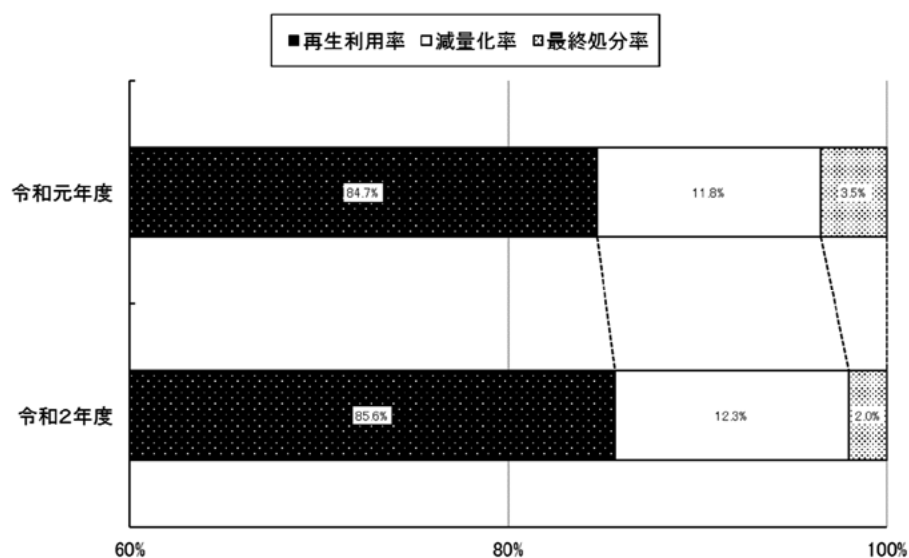
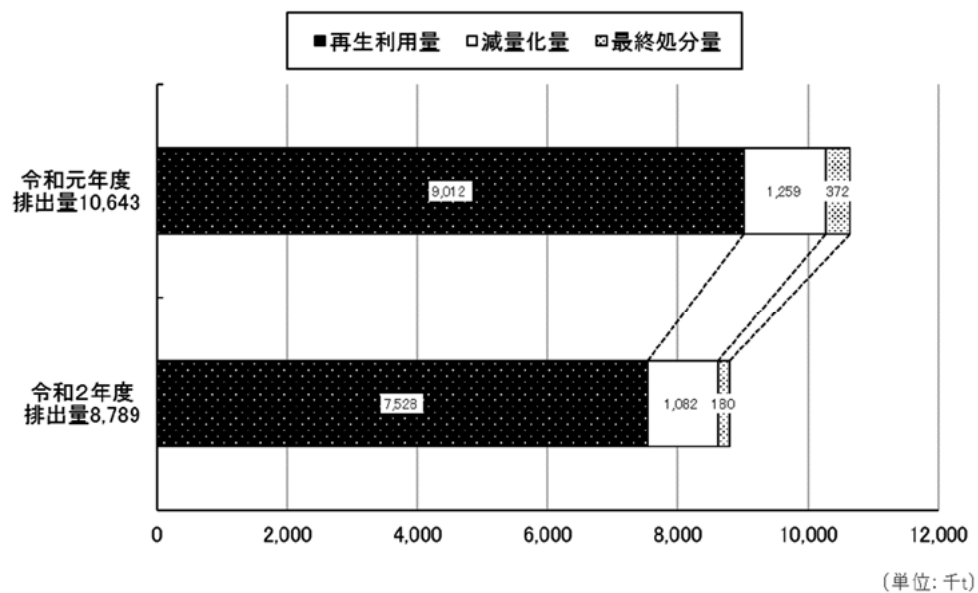


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-8 処理・処分の流れ図 (建設業)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は1.0%増加、減量化率は0.5%増加、最終処分率は1.4%減少している。

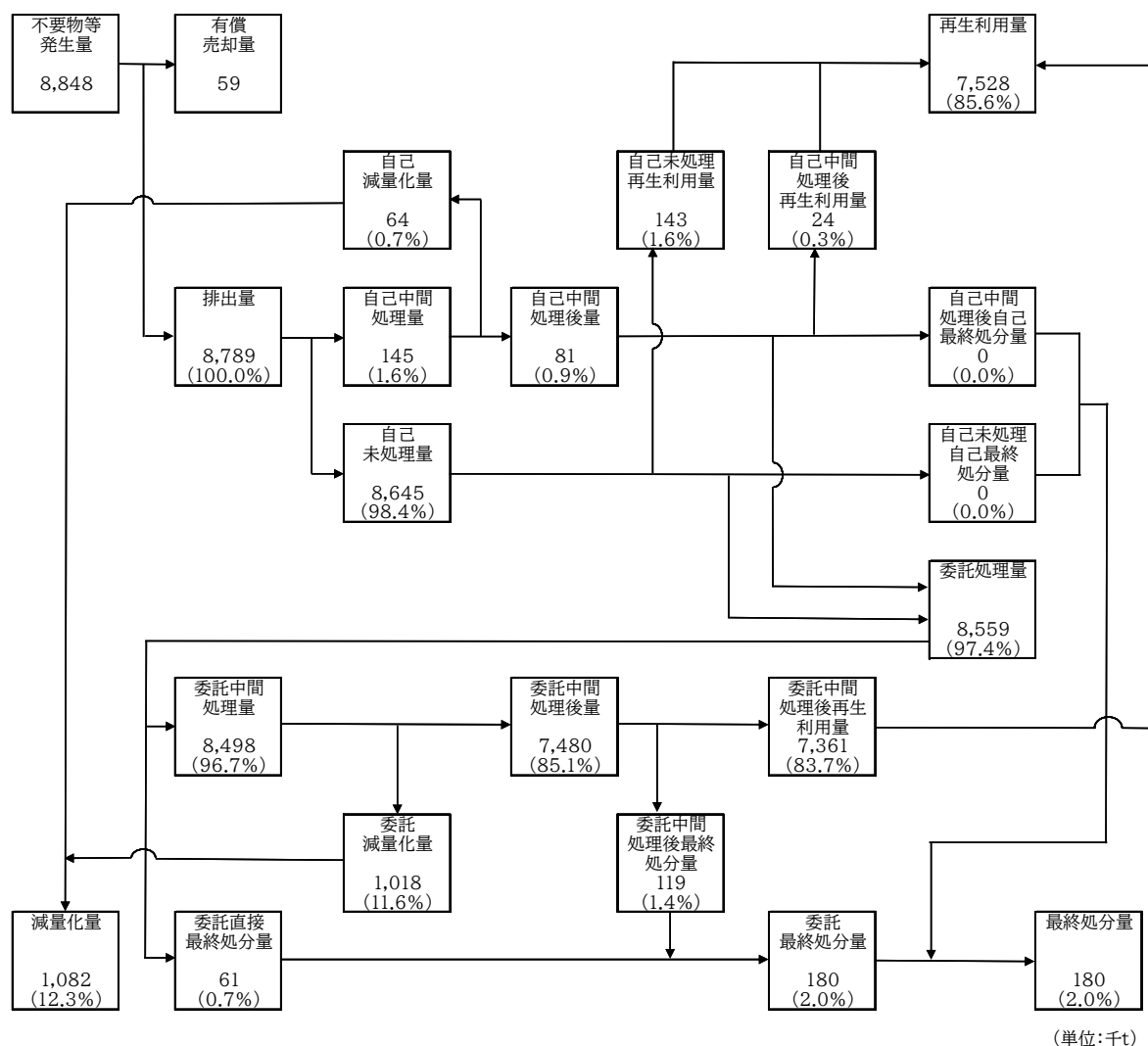


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-9 再生利用・減量化・最終処分状況 (建設業)

(上: 処理・処分量 下: 処理・処分割合 排出量を100%とする。)

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

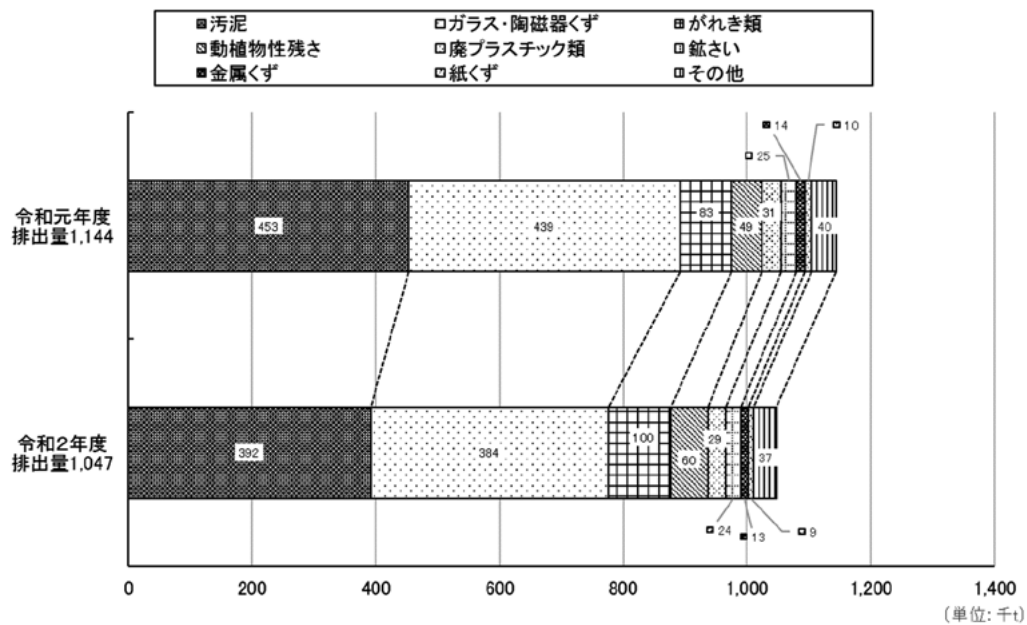
図 3-10 処理・処分の詳細流れ図（建設業）

3 製造業

(1) 種類別排出状況

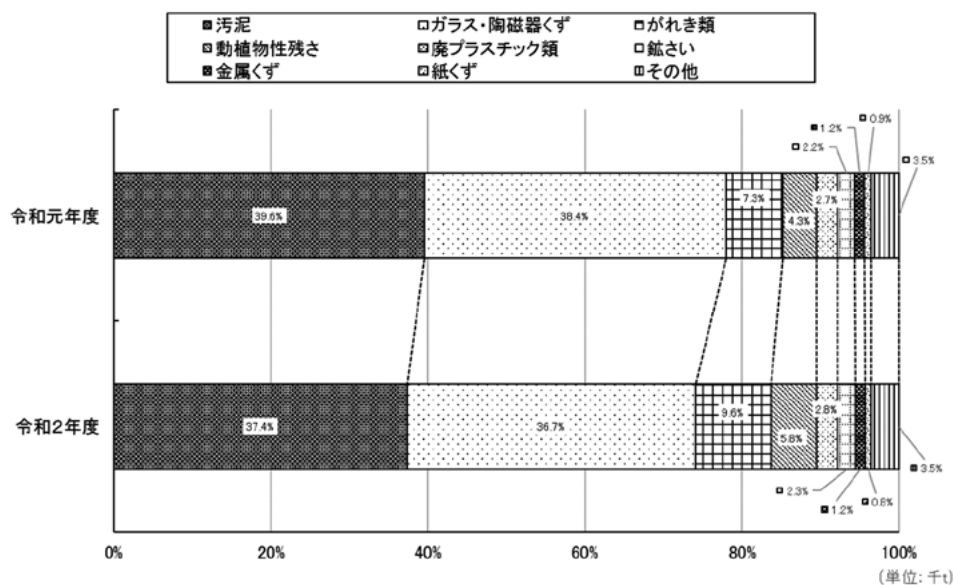
令和2年度の製造業の排出量は1,047千tで、令和元年度の1,144千tと比較すると97千t（8.5%）減少している。

廃棄物の種類別にみると、汚泥が全体の37.4%にあたる392千t、次いでガラス・陶磁器くずが36.7%にあたる384千tであり、この2品目で全排出量の74.1%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-11 種類別排出量（製造業）



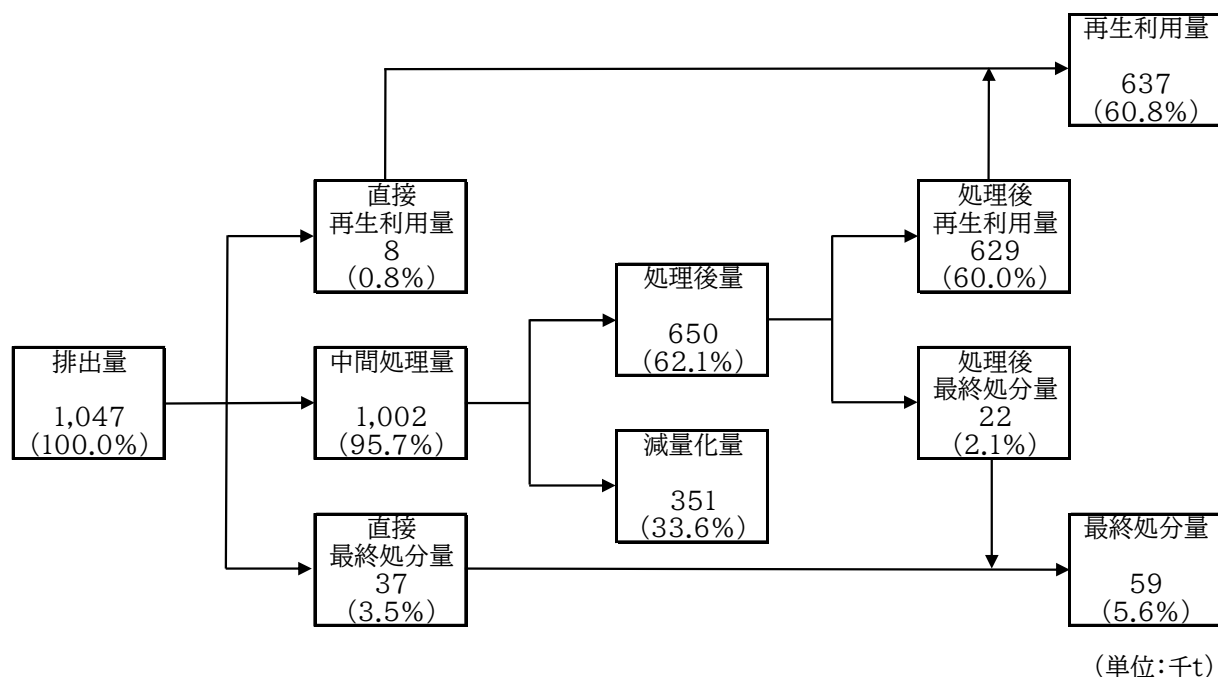
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-12 種類別排出割合（製造業）

(2) 処理・処分状況

製造業の排出量 1,047 千 t のうち、95.7%にあたる 1,002 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは 0.8%にあたる 8 千 t、直接最終処分されたのは 3.5%にあたる 37 千 t である。中間処理される 1,002 千 t の産業廃棄物は、破碎、焼却、脱水等の中間処理を経て 650 千 t に減量化され、そのうち 629 千 t が再生利用、22 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 60.8%にあたる 637 千 t が再生利用、33.6%にあたる 351 千 t が減量化、5.6%にあたる 59 千 t については最終処分されている。

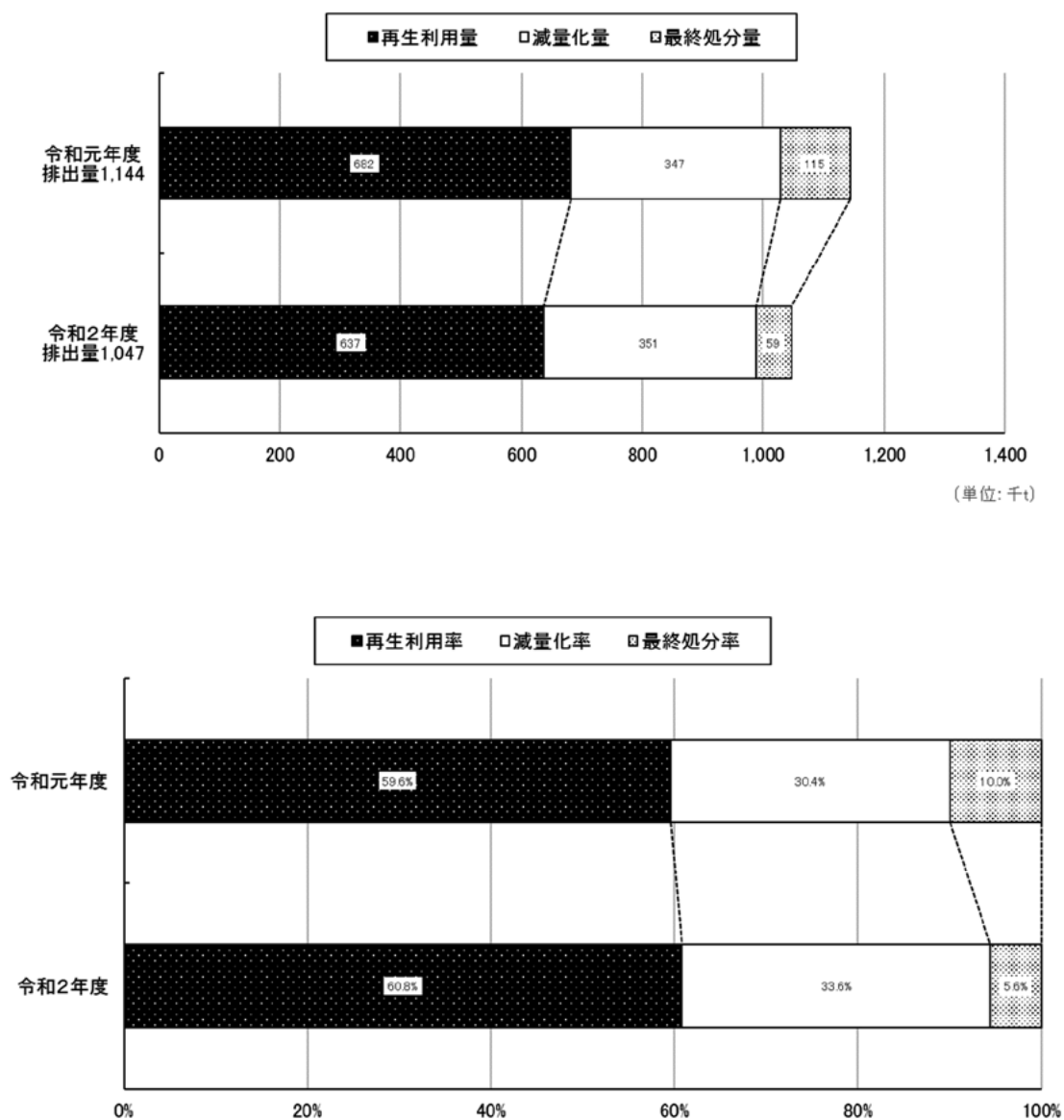


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-13 処理・処分の流れ図（製造業）

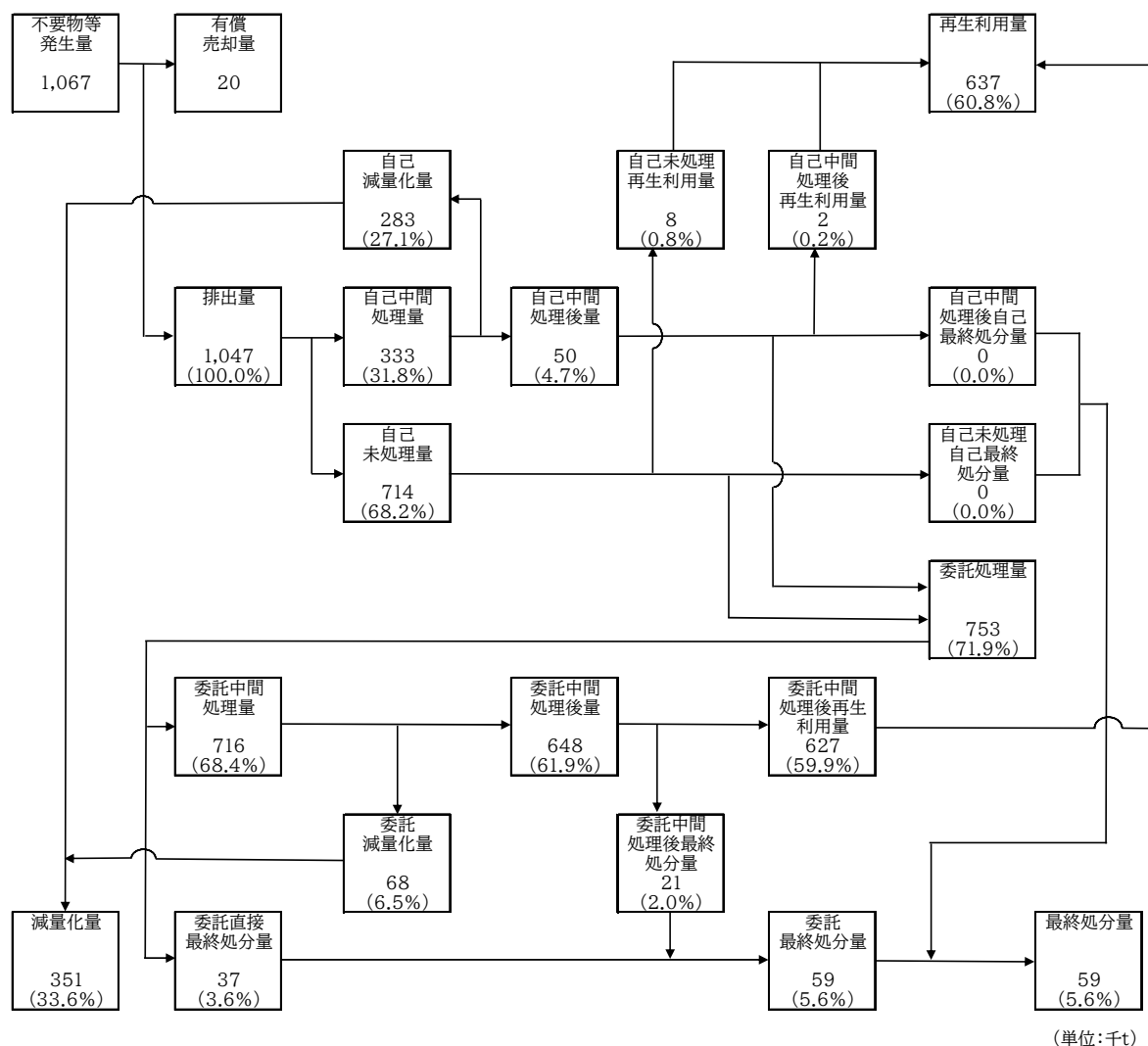
令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は1.2%増加、減量化率は3.2%増加、最終処分率は4.4%減少している。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-14 再生利用・減量化・最終処分状況（製造業）
（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

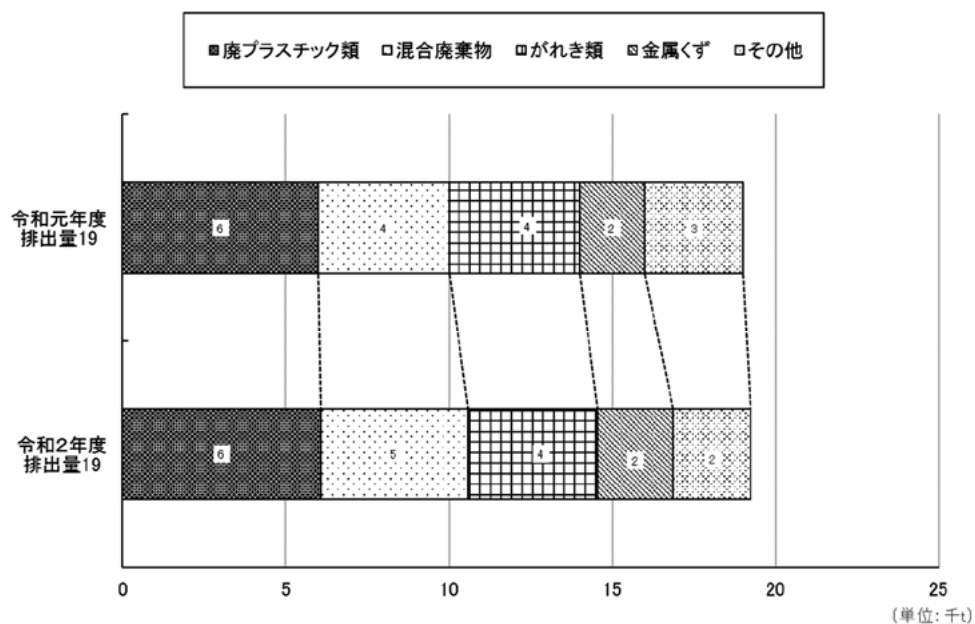
図 3-15 処理・処分の詳細流れ図（製造業）

4 情報通信業

(1) 種類別排出状況

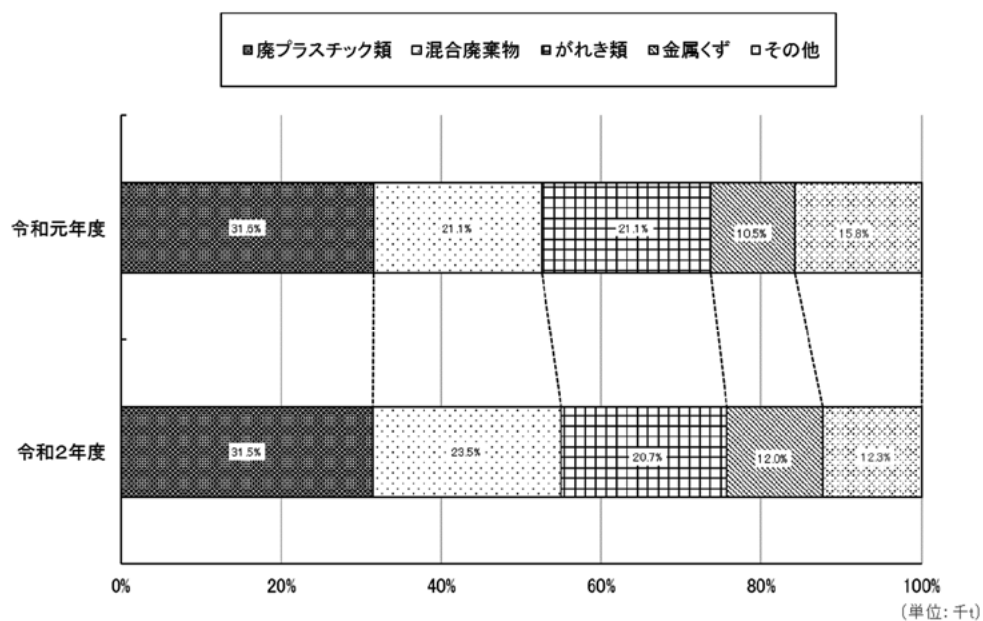
令和2年度の情報通信業の排出量は19千tで、令和元年度と同じである。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の31.5%にあたる6千t、次いで混合廃棄物が23.5%にあたる5千tであり、この2品目で全排出量の55.0%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-16 種類別排出量 (情報通信業)



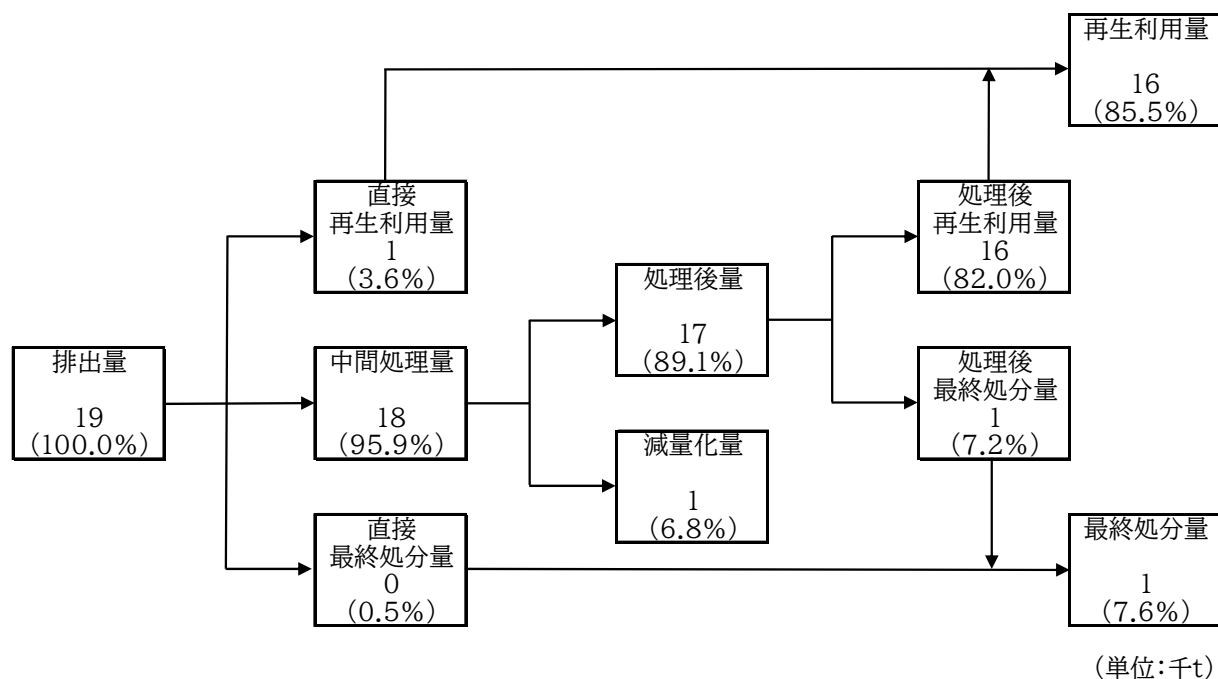
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-17 種類別排出割合 (情報通信業)

(2) 処理・処分状況

情報通信業の排出量 19 千 t のうち 95.9%にあたる 18 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは 3.6%にあたる 1 千 t、直接最終処分されたのは 0.5%にあたる 0.1 千 t である。中間処理される 18 千 t の産業廃棄物は、破碎、焼却等の中間処理を経て 17 千 t に減量化され、そのうち 16 千 t が再生利用、1 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 85.5%にあたる 16 千 t が再生利用、6.8%にあたる 1 千 t が減量化され、7.6%にあたる 1 千 t については、最終処分されている。

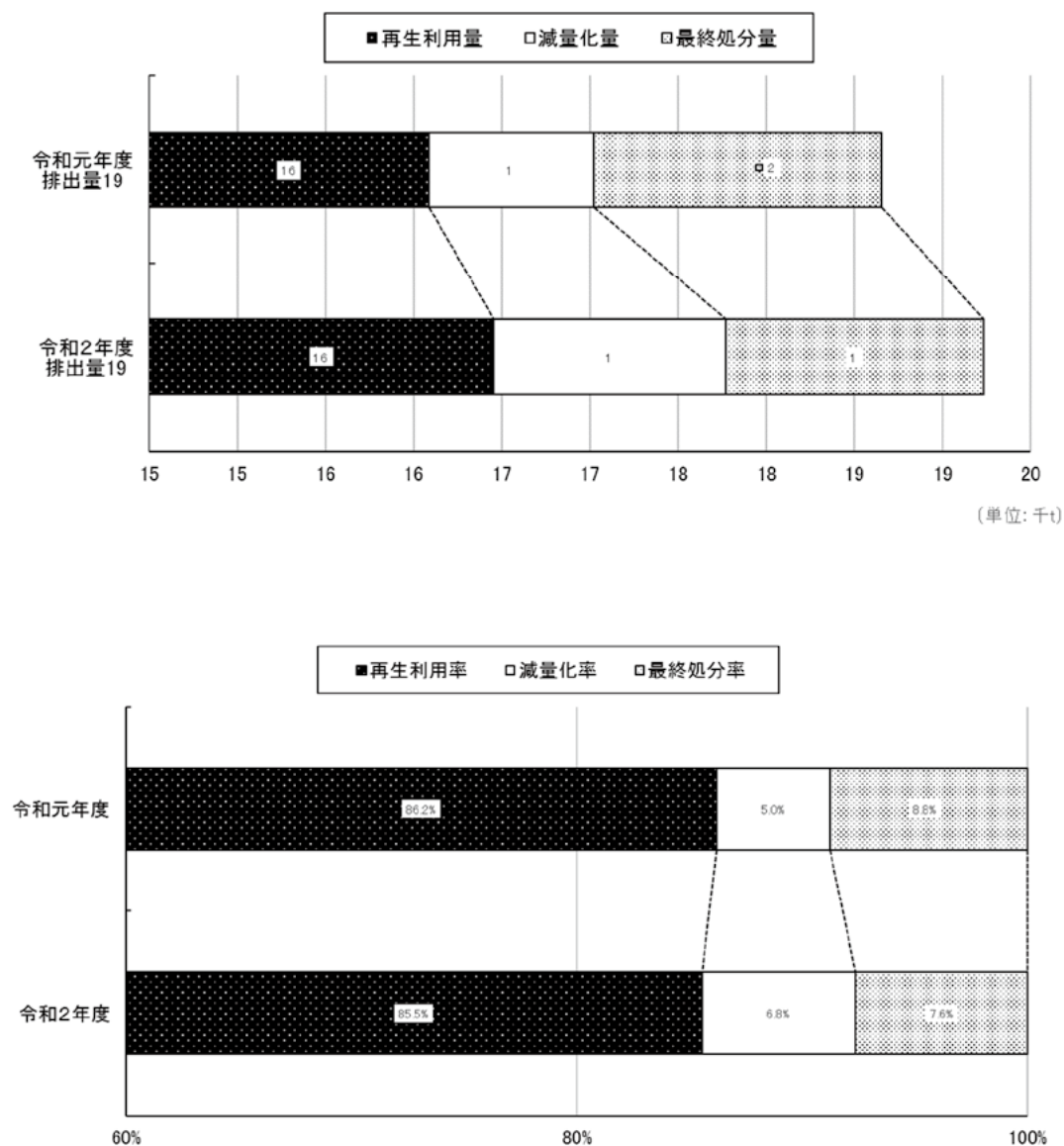


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-18 処理・処分の流れ図 (情報通信業)

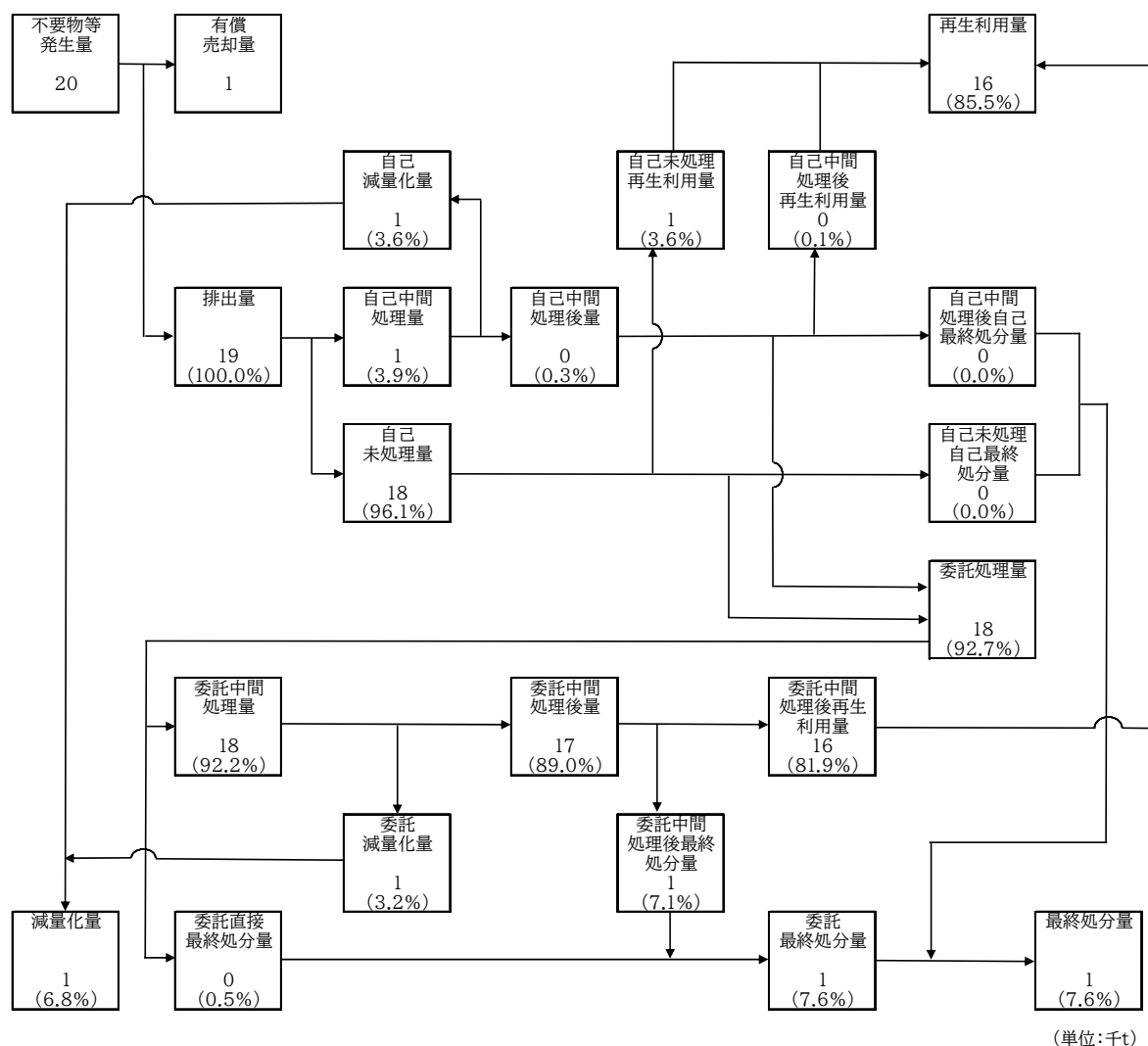
令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は0.7%減少、減量化率は1.8%増加、最終処分率は1.1%減少している。



注）各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-19 再生利用・減量化・最終処分状況（情報通信業）
（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

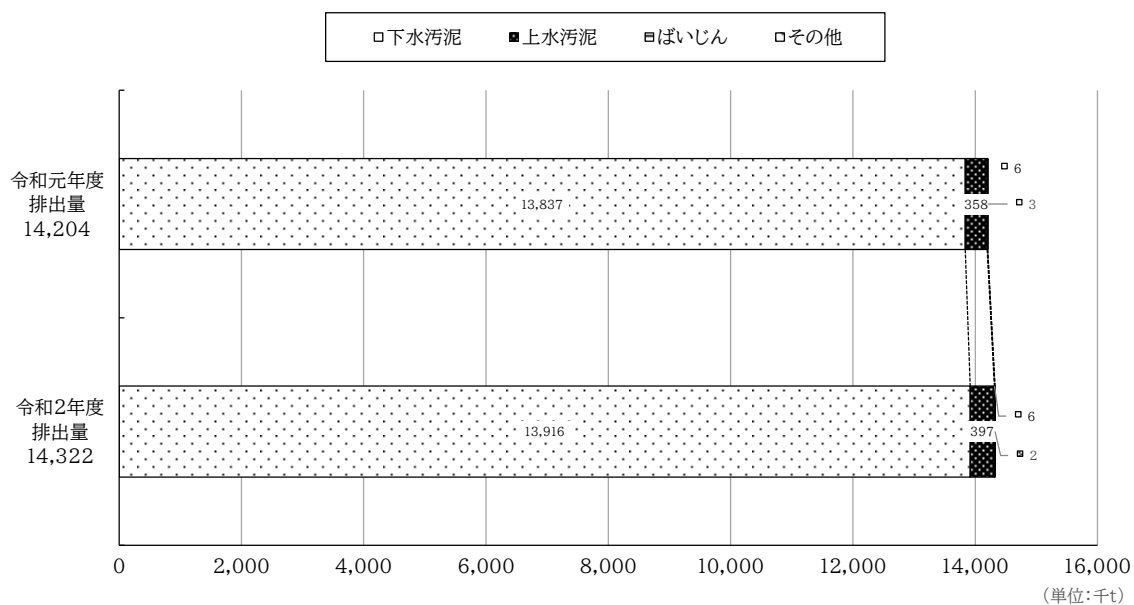
図 3-20 処理・処分の詳細流れ図 (情報通信業)

5 上下水道業

(1) 種類別排出状況

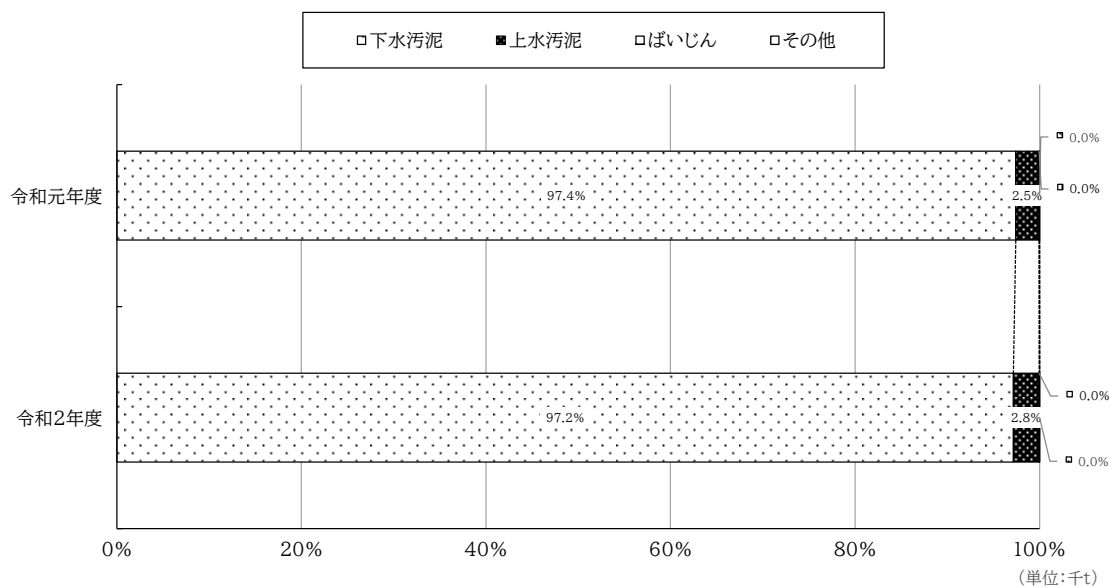
令和2年度の上下水道業の排出量は14,322千tで、令和元年度の14,204千tと比較すると118千t（0.8%）増加している。

廃棄物の種類別にみると、下水汚泥が13,916千tで全体の97.2%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-21 種類別排出量（上下水道業）



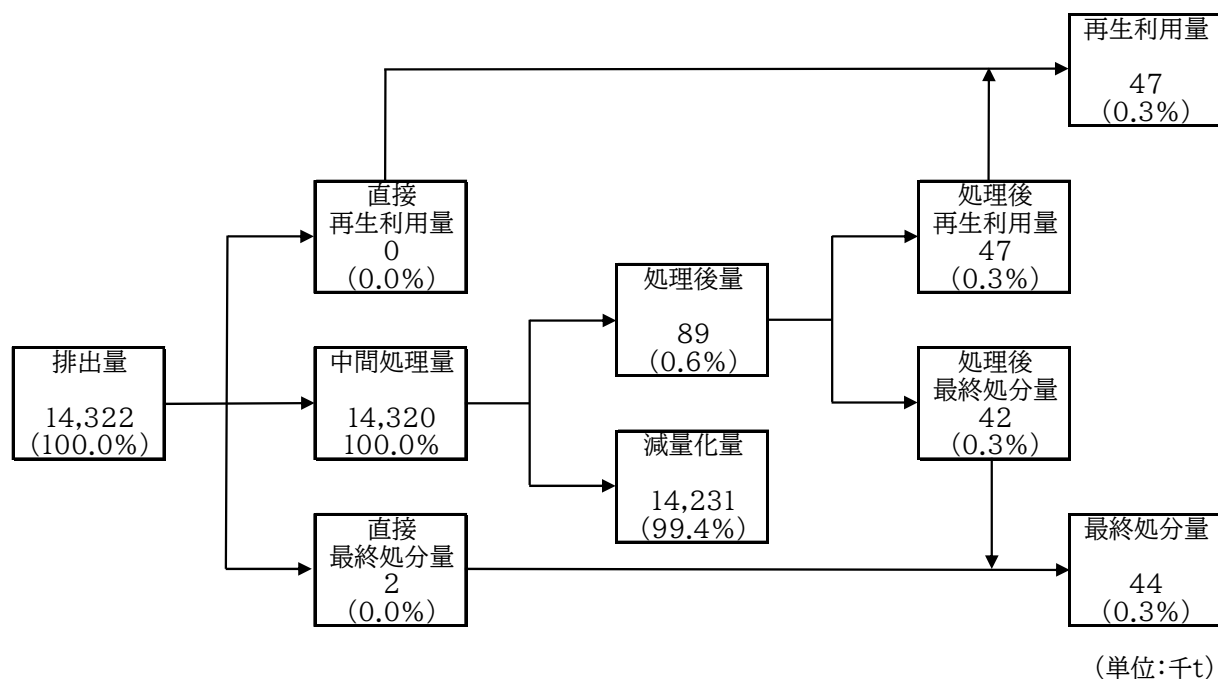
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-22 種類別排出割合（上下水道業）

(2) 処理・処分状況

上下水道業の排出量 14,322 千 t のうちほぼ全量にあたる 14,320 千 t が中間処理され、直接再生利用された量はなく、直接最終処分されたのは 0.01% にあたる 2 千 t である。中間処理される 14,320 千 t の産業廃棄物は、中間処理を経て 89 千 t に減量化され、そのうち 47 千 t が再生利用、42 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 0.3% にあたる 47 千 t が再生利用、99.4% にあたる 14,231 千 t が減量化、0.3% にあたる 44 千 t が最終処分されている。

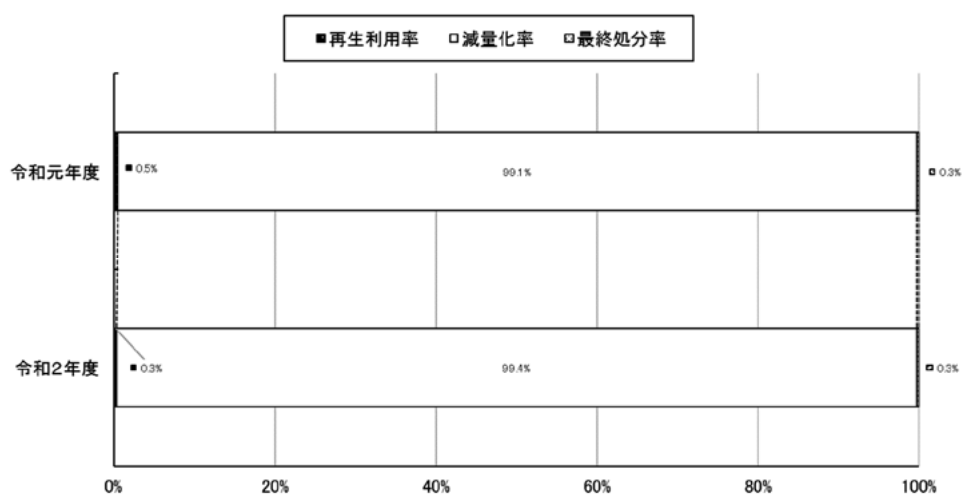
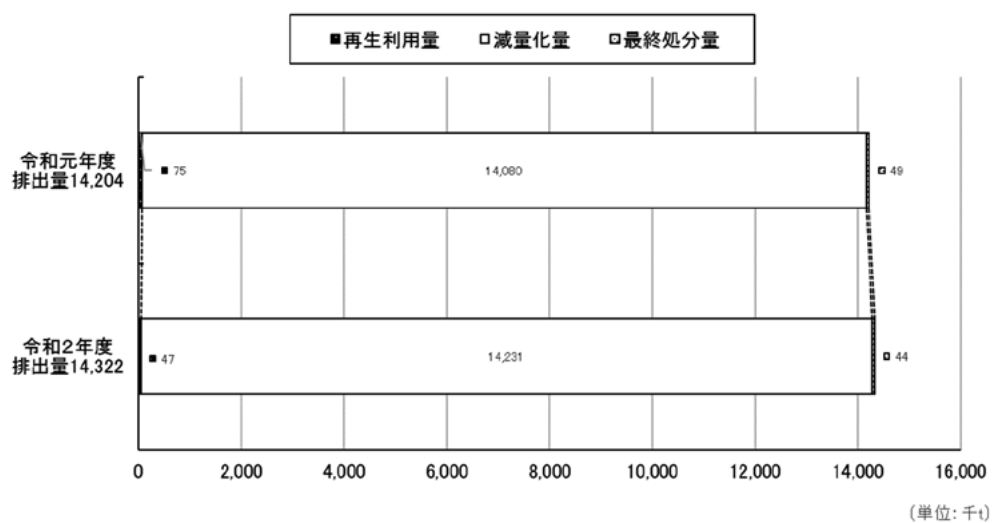


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-23 処理・処分の流れ図 (上下水道業)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は0.2%減少、減量化率は0.2%増加、最終処分率は横ばいである。

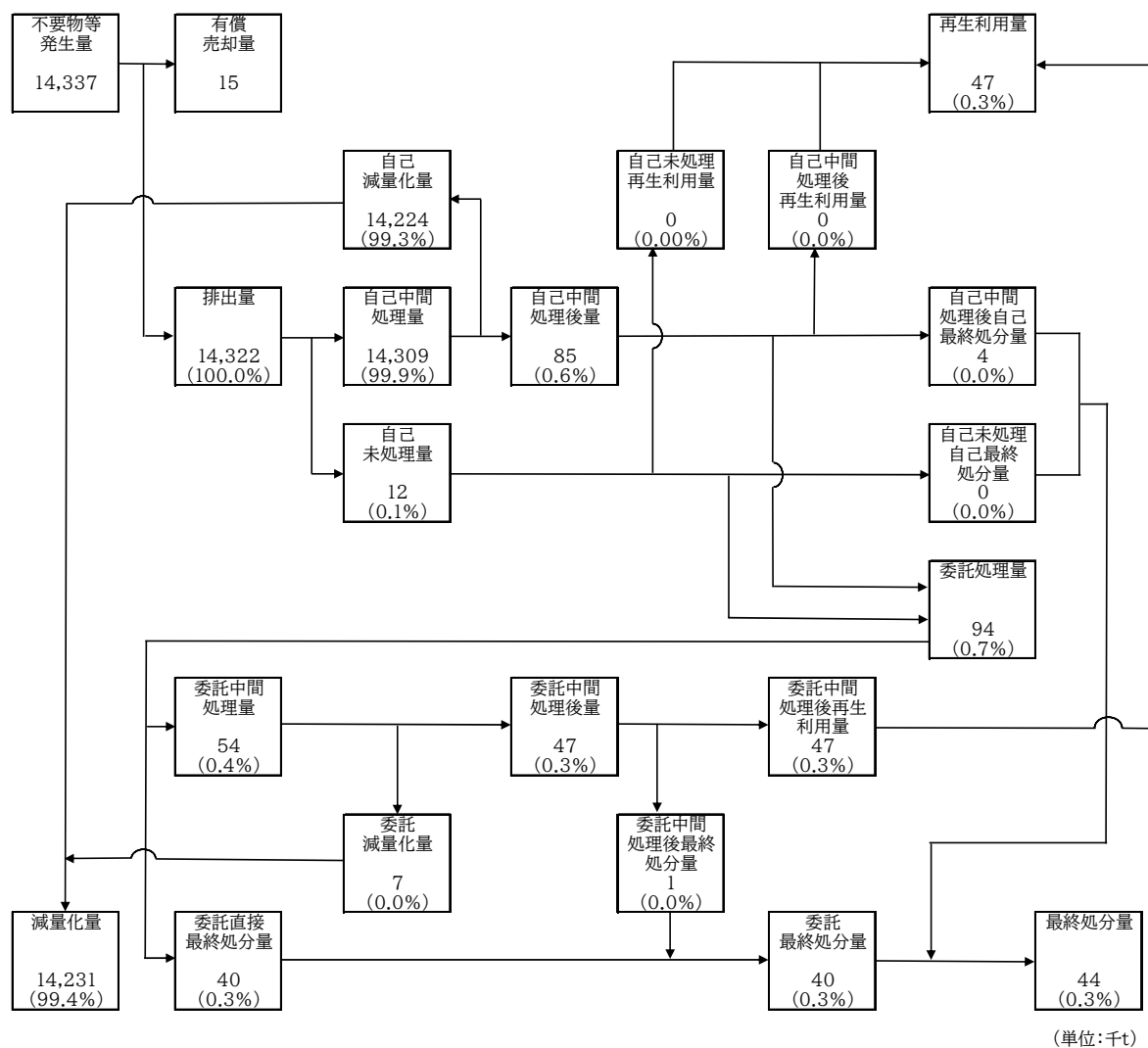


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-24 再生利用・減量化・最終処分状況（上下水道業）

（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

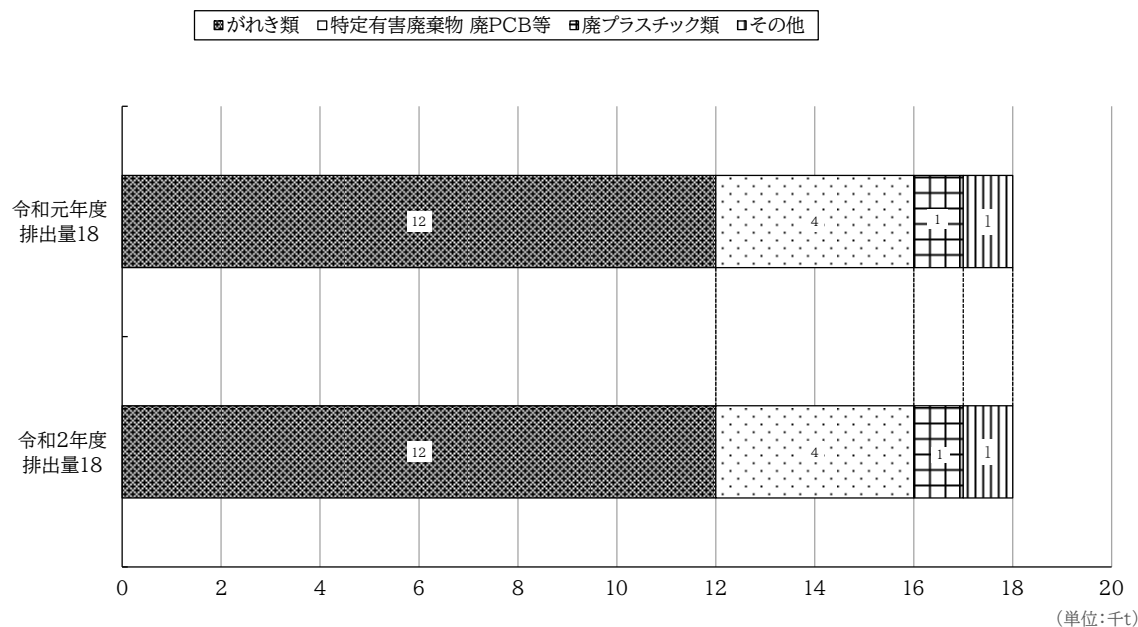
図 3-25 処理・処分の詳細流れ図（上下水道業）

6 電気・ガス・熱供給業

(1) 種類別排出状況

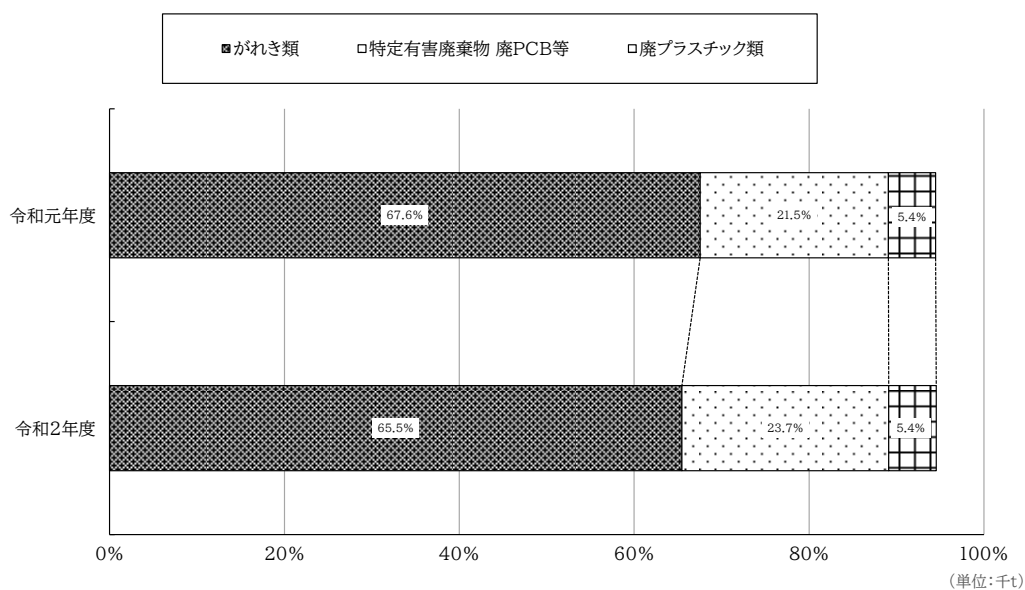
令和2年度の情報通信業の排出量は18千tで、令和元年度と同様である。

廃棄物の種類別にみると、がれき類が全体の65.5%にあたる12千t、次いで特定有害廃棄物・廃PCB等が23.7%にあたる4千tであり、この2品目で全排出量の89.1%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-26 種類別排出量（電気・ガス・熱供給業）



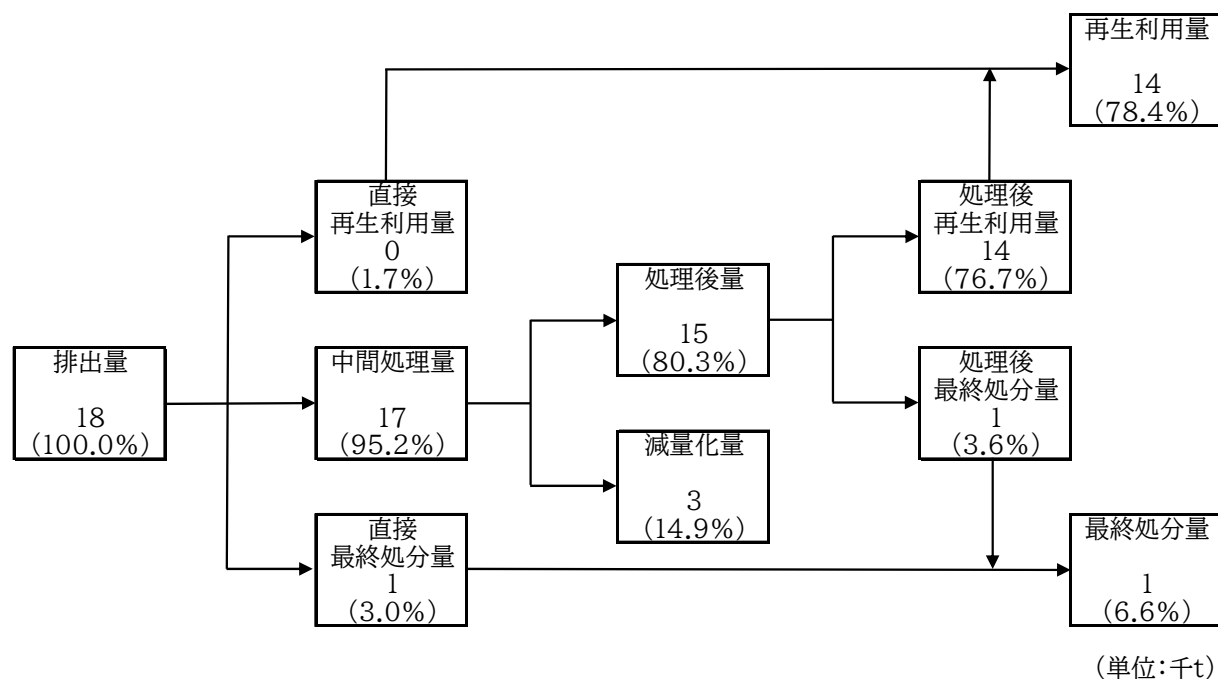
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-27 種類別排出割合（電気・ガス・熱供給業）

(2) 処理・処分状況

電気・ガス・熱供給業の排出量 18 千 t のうち、95.2%にあたる 17 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは 1.7%にあたる 0.3 千 t、直接最終処分されたのは 3.0%にあたる 1 千 t である。中間処理される 17 千 t の産業廃棄物は、破碎、焼却、脱水等の中間処理を経て 15 千 t に減量化され、そのうち 14 千 t が再生利用、1 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 78.4%にあたる 14 千 t が再生利用、14.9%にあたる 3 千 t が減量化、6.6%にあたる 1 千 t については最終処分されている。

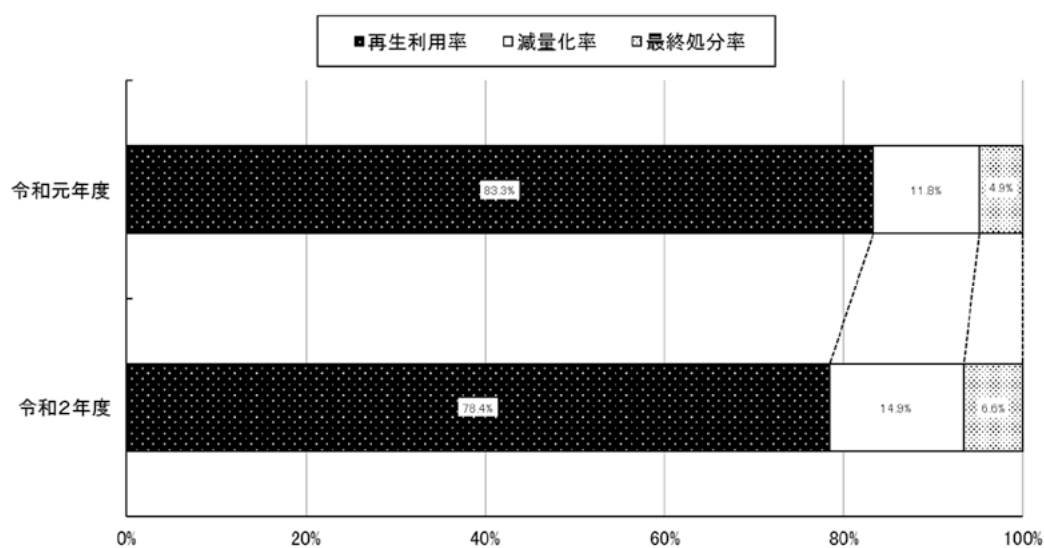
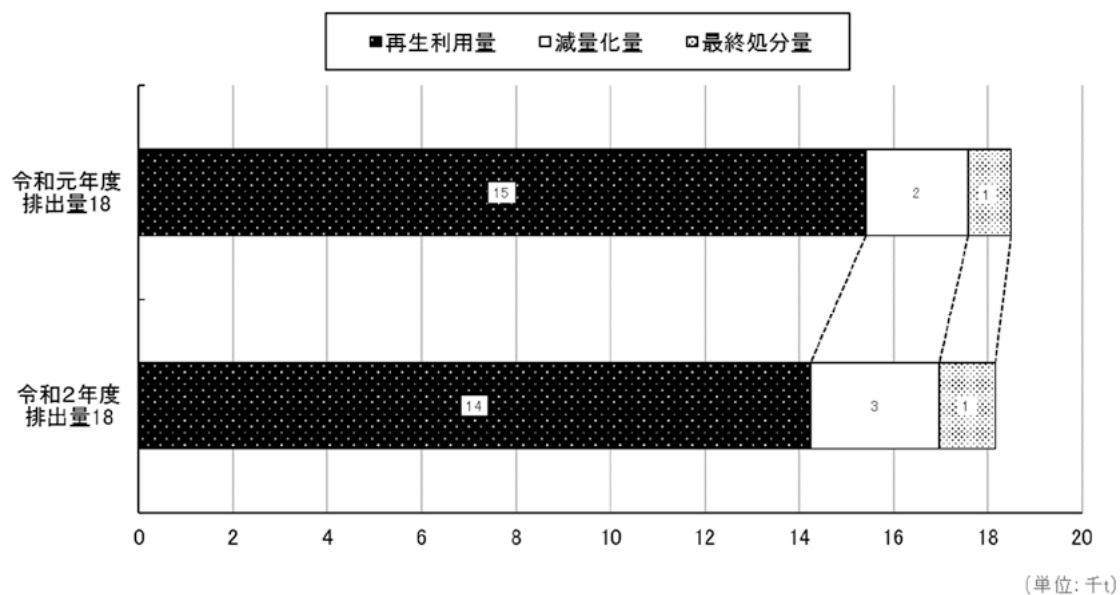


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-28 処理・処分の流れ図 (電気・ガス・熱供給業)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は4.9%減少し、減量化率は3.1%増加、最終処分率は1.7%増加している。

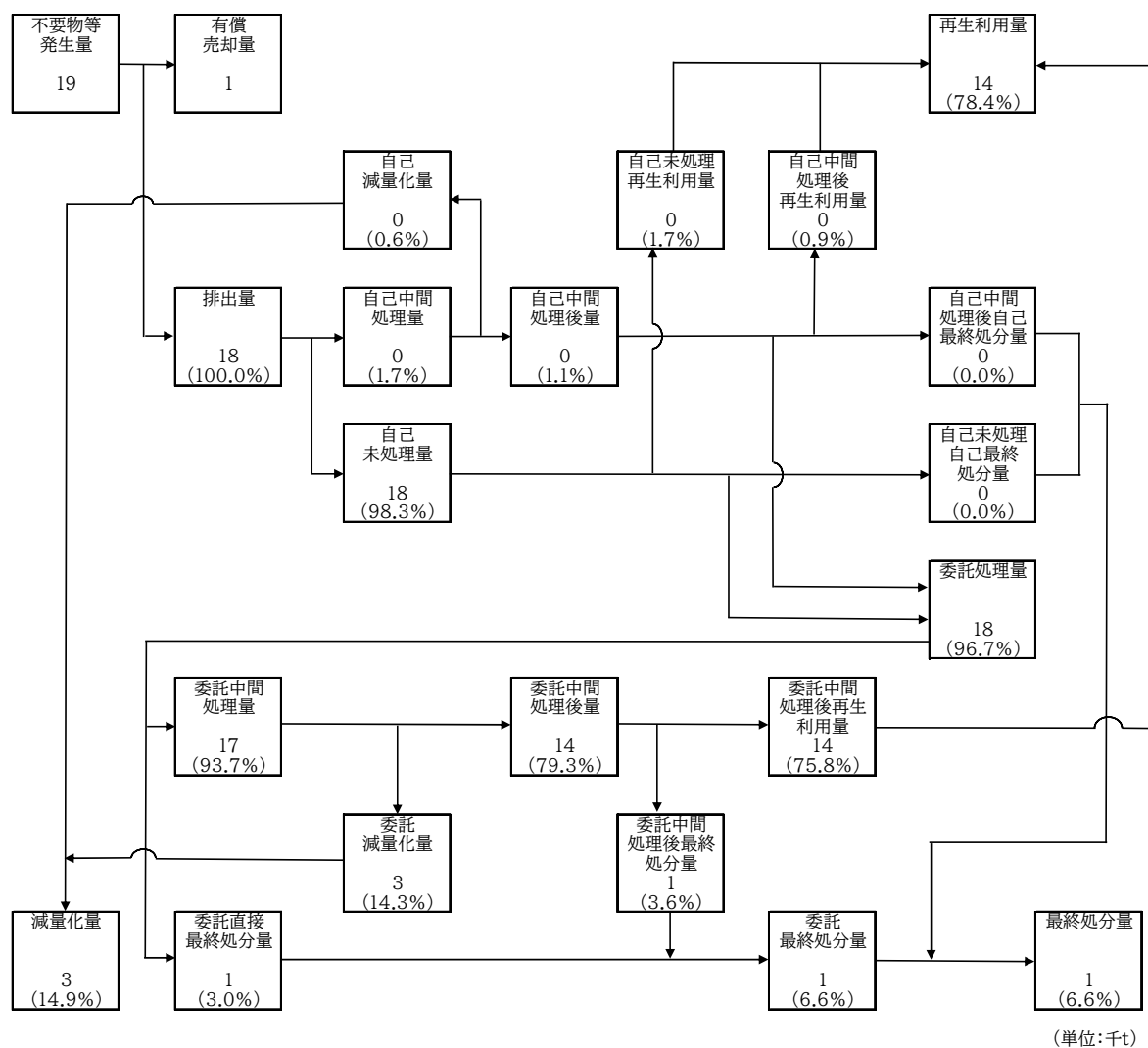


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-29 再生利用・減量化・最終処分状況 (電気・ガス・熱供給業)

(上: 処理・処分量 下: 処理・処分割合 排出量を100%とする)

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

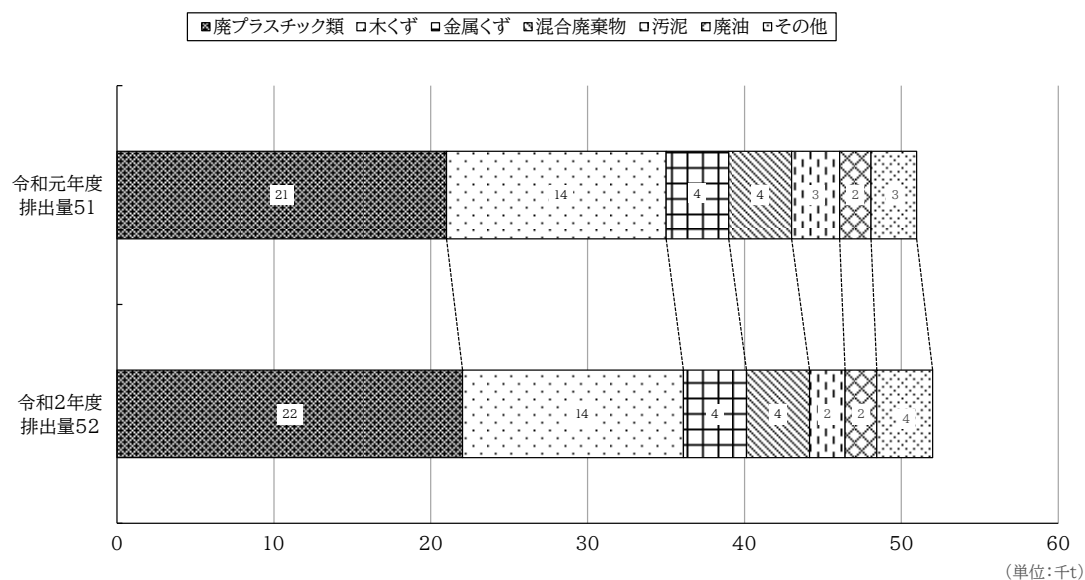
図 3-30 処理・処分の詳細流れ図 (電気・ガス・熱供給業)

7 運輸業、郵便業

(1) 種類別排出状況

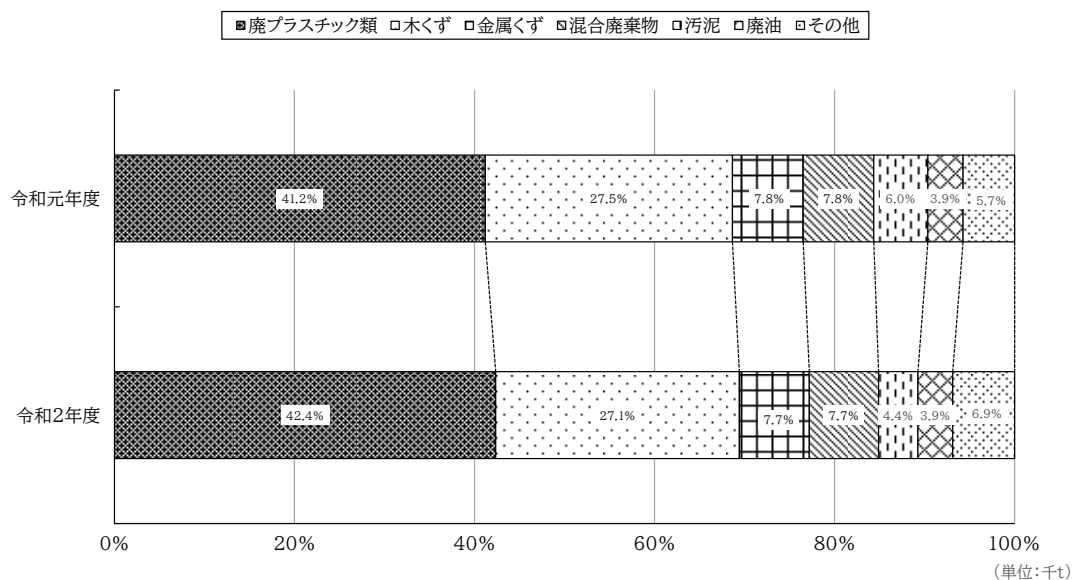
令和2年度の運輸業、郵便業の排出量は52千tで、令和元年度の51千tと比較すると1千t（2.0%）増加している。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の42.4%にあたる22千t、次いで木くずが27.1%にあたる14千tであり、この2品目で全排出量の69.5%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-31 種類別排出量（運輸業，郵便業）



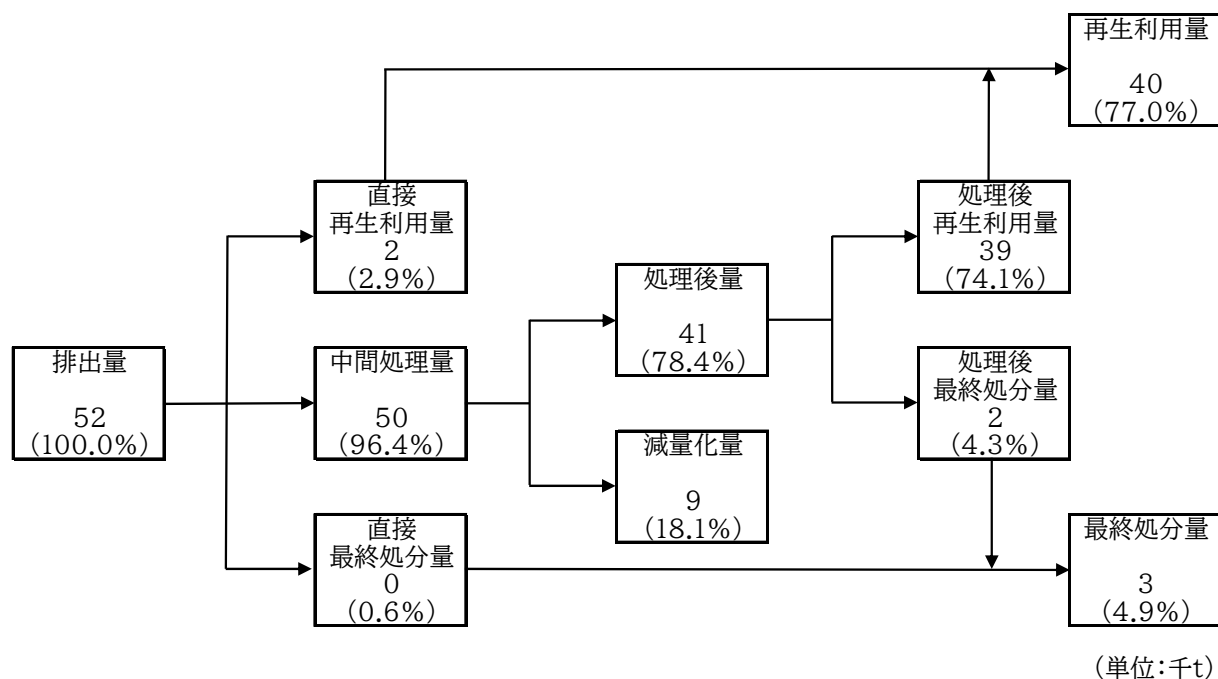
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-32 種類別排出割合（運輸業，郵便業）

(2) 処理・処分状況

運輸業、郵便業の排出量52千tのうち、96.4%にあたる50千tが中間処理され、直接再生利用されたのは2.9%にあたる2千t、直接最終処分されたのは0.6%にあたる0.3千tである。中間処理される50千tの産業廃棄物は、破碎、焼却等の中間処理を経て41千tに減量化され、そのうち39千tが再生利用、2千tが最終処分されている。

その結果、排出量の77.0%にあたる40千tが再生利用、18.1%にあたる9千tが減量化、4.9%にあたる3千tが最終処分されている。

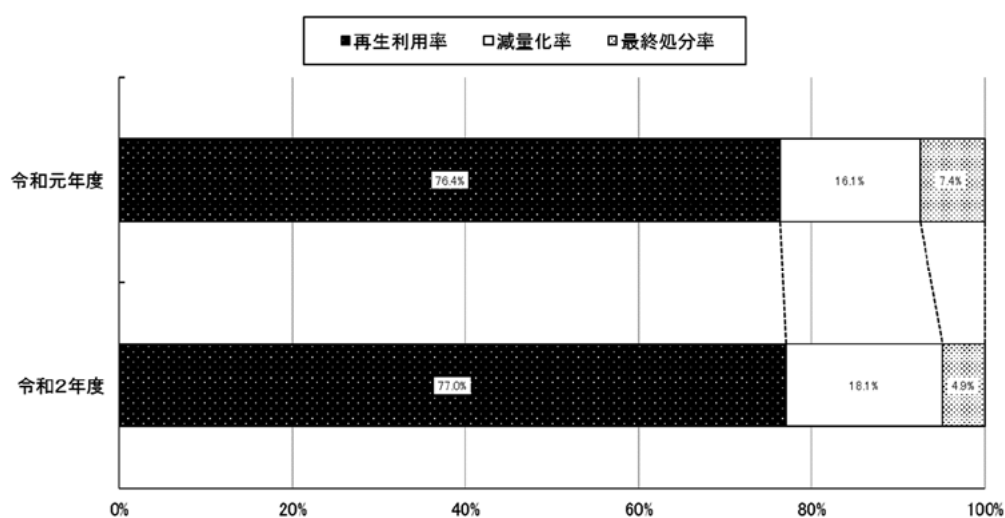
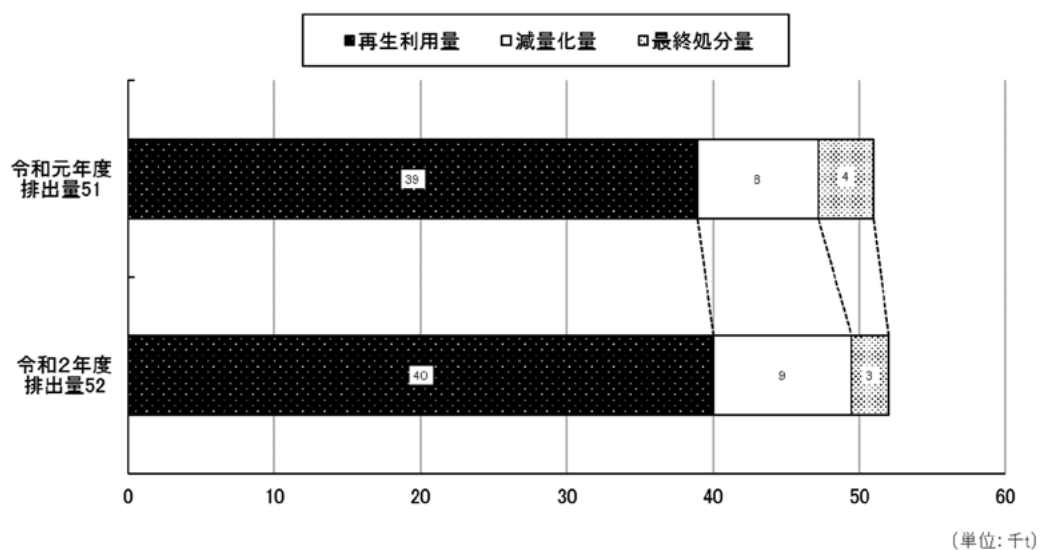


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-33 処理・処分の流れ図（運輸業、郵便業）

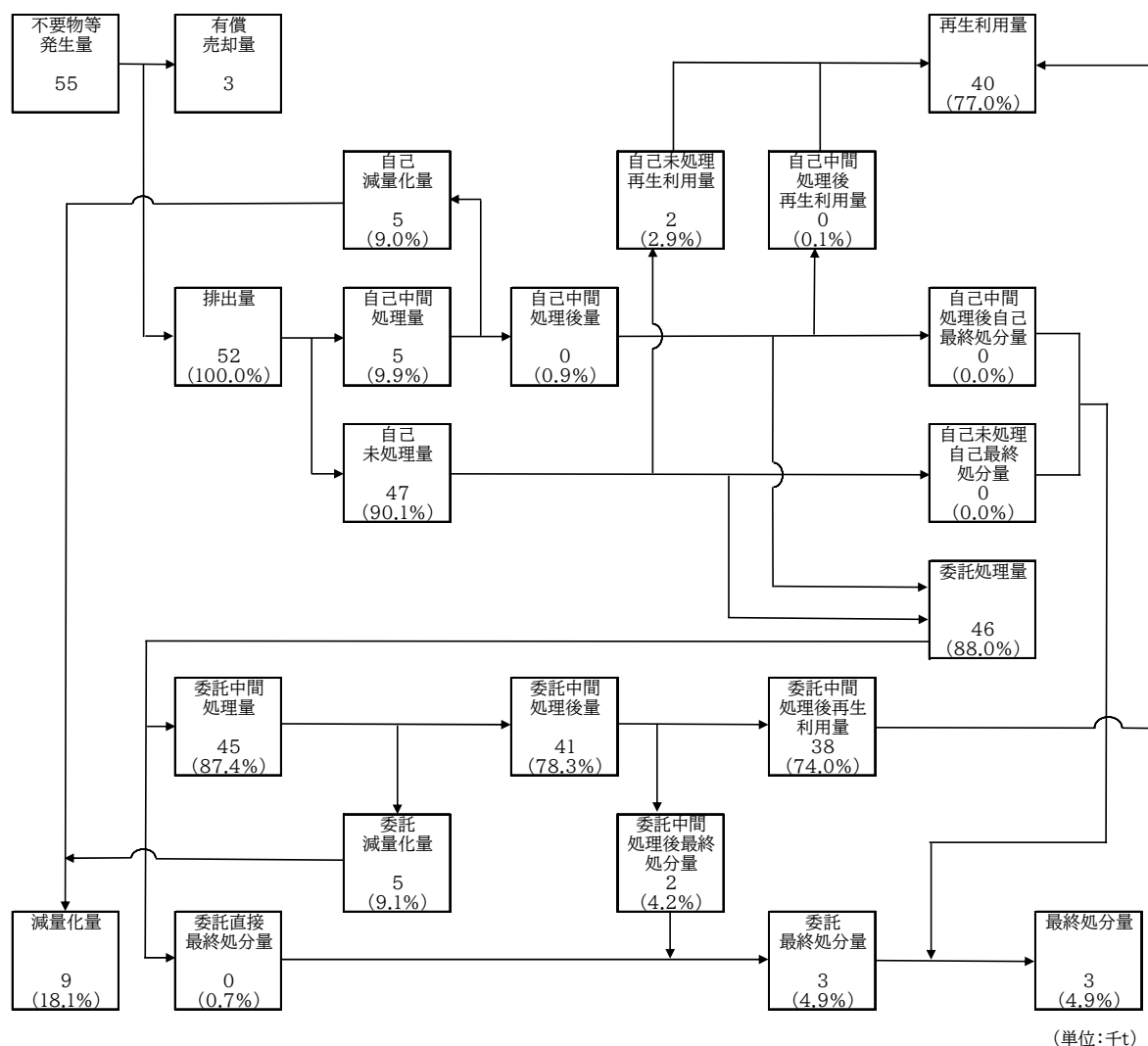
令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は 0.6%増加、減量化率は 1.9%増加、最終処分率は 2.5%減少している。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-34 再生利用・減量化・最終処分状況（運輸業，郵便業）
（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を 100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

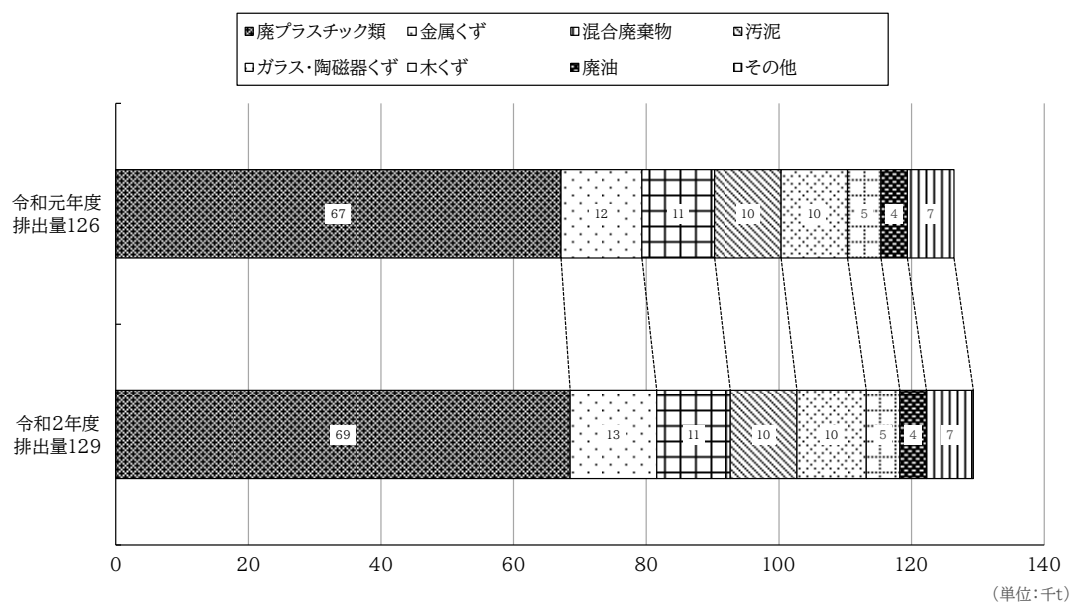
図 3-35 処理・処分の詳細流れ図 (運輸業, 郵便業)

8 卸売業、小売業

(1) 種類別排出状況

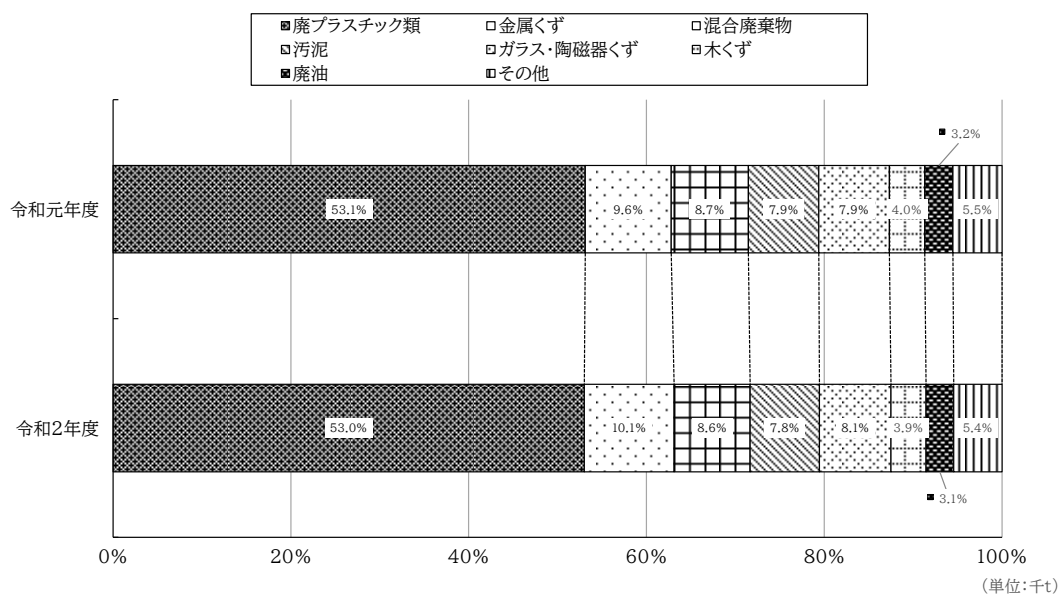
令和2年度の卸売業、小売業の排出量は129千tで、令和元年度の126千tと比較すると3千t（2.3%）増加している。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の53.0%にあたる69千t、次いで金属くずが10.1%にあたる13千tを占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-36 種類別排出量（卸売業、小売業）



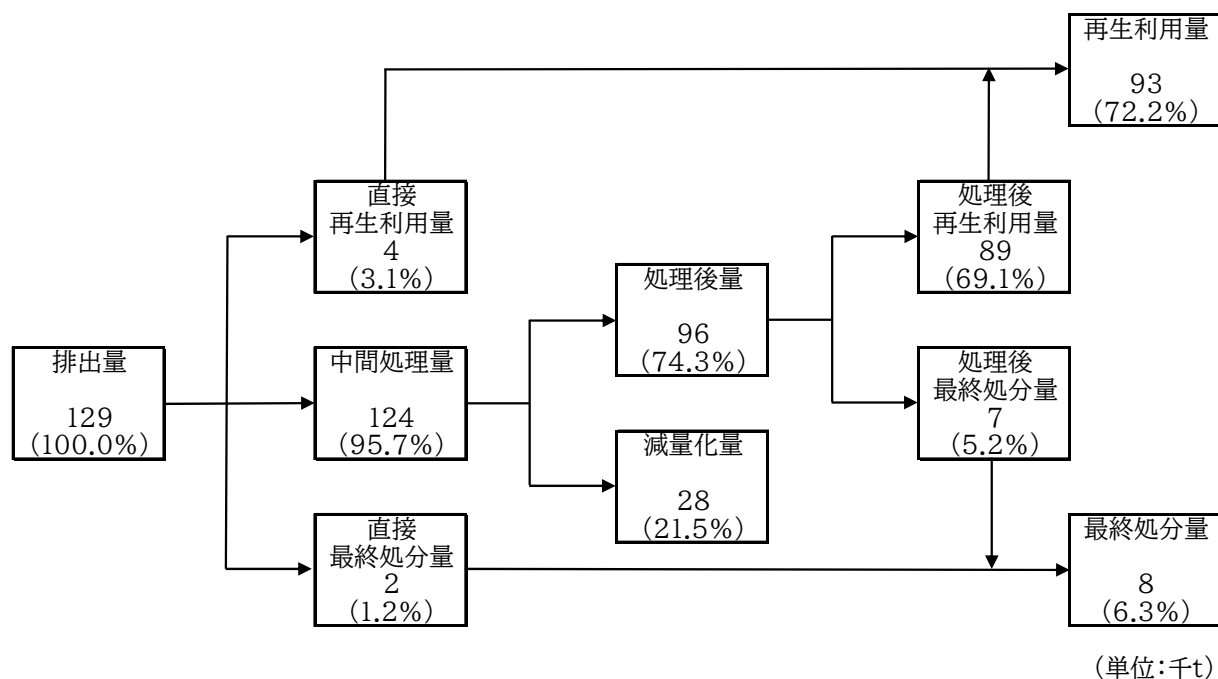
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-37 種類別排出割合（卸売業、小売業）

(2) 処理・処分状況

卸売業、小売業の排出量129千tのうち95.7%にあたる124千tが中間処理され、直接再生利用されるのは、排出量の3.1%にあたる4千t、直接最終処分された量は1.2%にあたる2千tである。中間処理される124千tの産業廃棄物は、破碎、焼却等の中間処理を経て96千tに減量化され、そのうち89千tが再生利用、7千tが最終処分されている。

その結果、排出量の72.2%にあたる93千tが再生利用、21.5%にあたる28千tが減量化、6.3%にあたる8千tが最終処分されている。

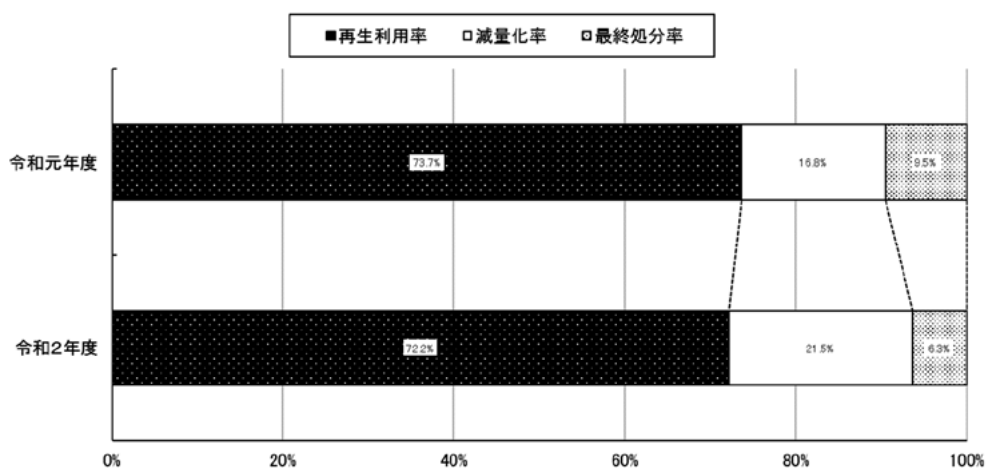
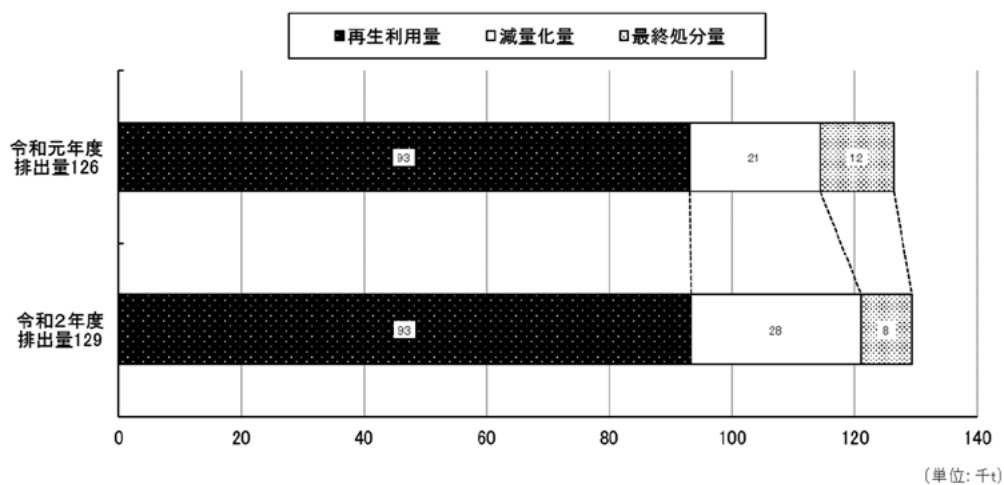


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-38 処理・処分の流れ図(卸売業,小売業)

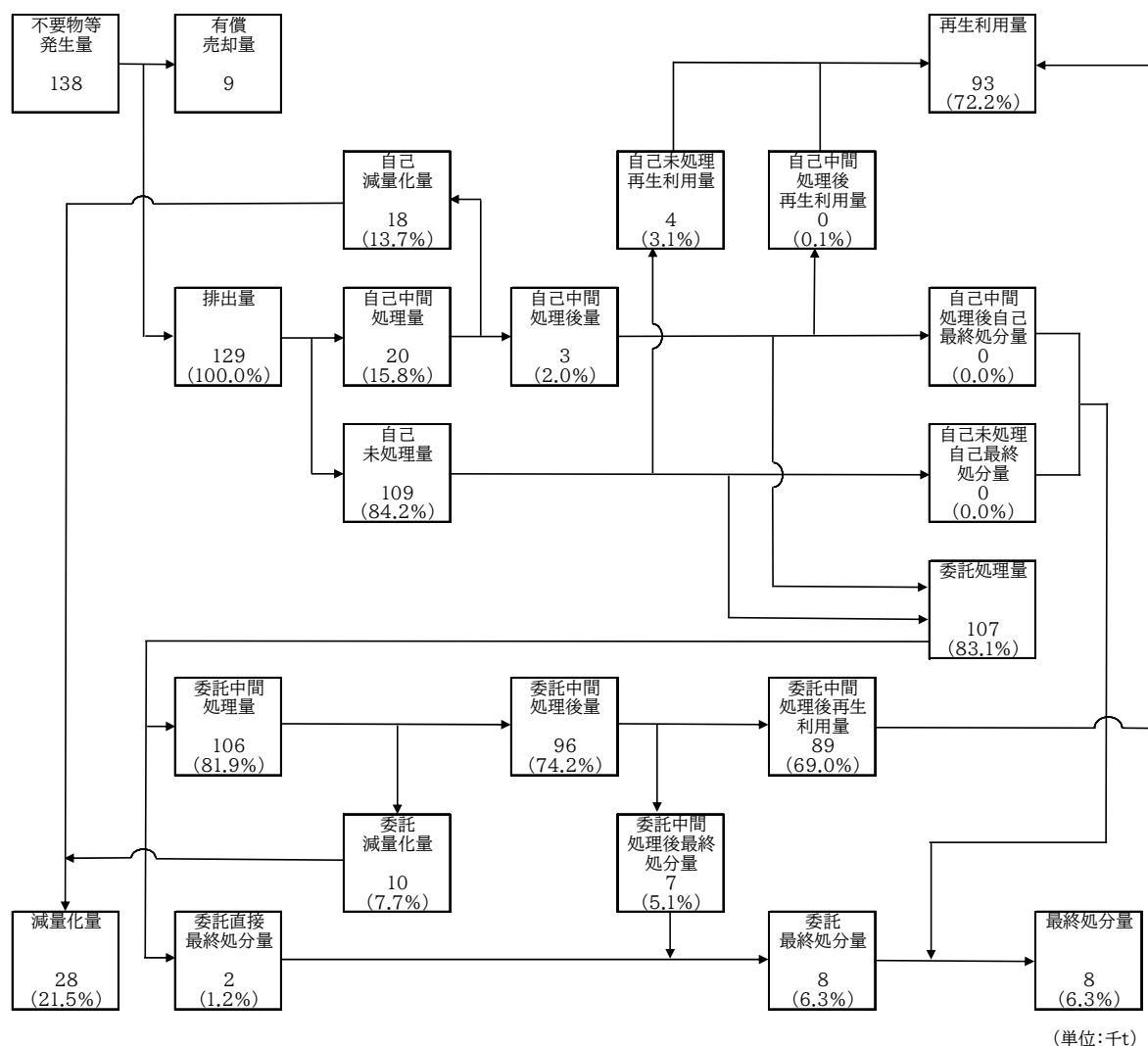
令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は1.5%減少、減量化率は4.7%増加、最終処分率は3.2%減少している。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-39 再生利用・減量化・最終処分状況（卸売業, 小売業）
（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

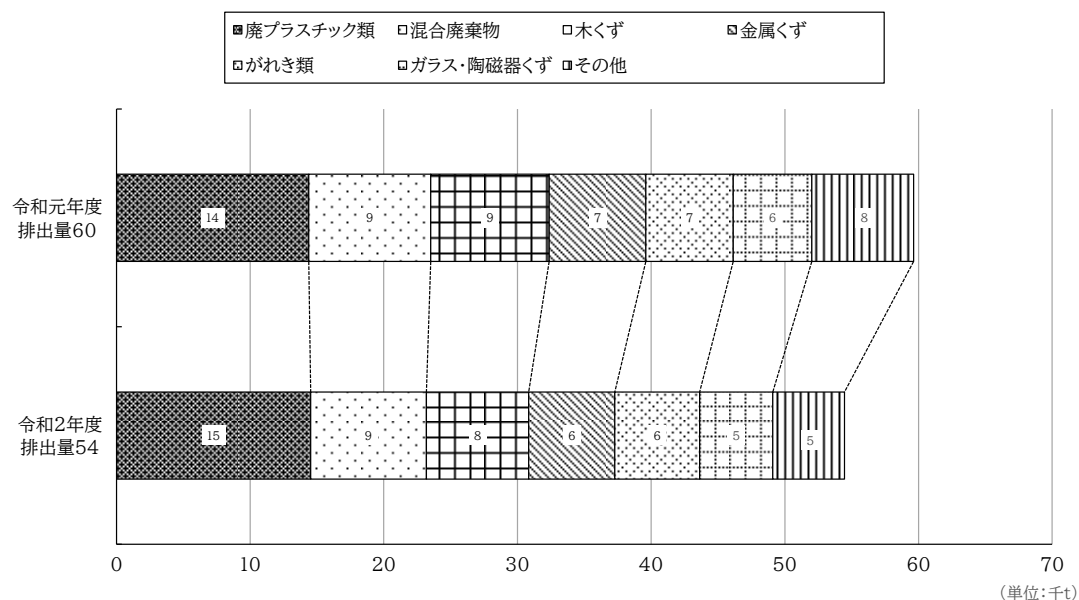
図 3-40 処理・処分の詳細流れ図 (卸売業, 小売業)

9 不動産業，物品賃貸業

(1) 種類別排出状況

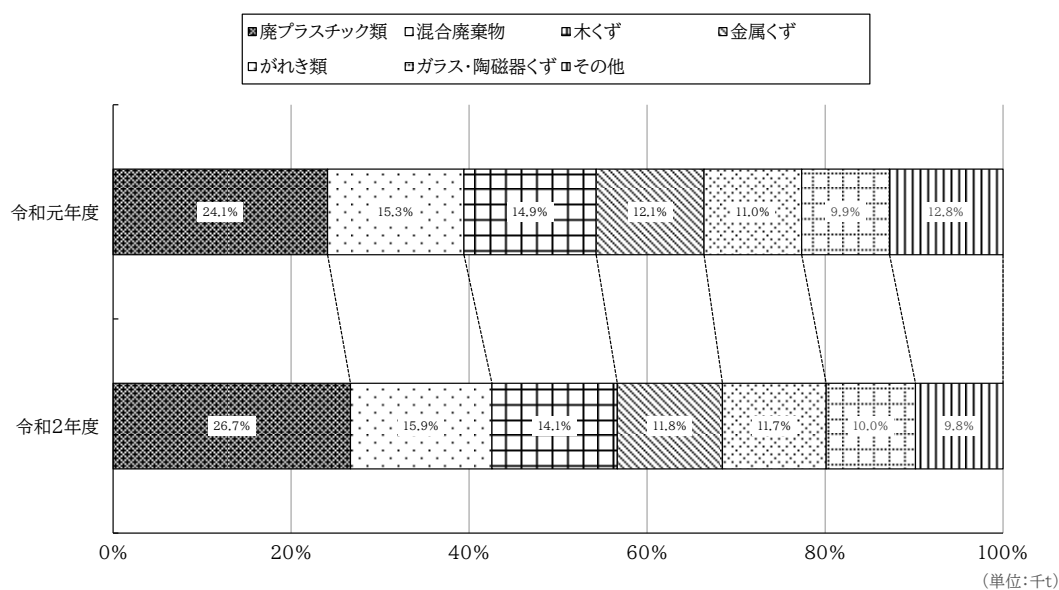
令和2年度の不動産業，物品賃貸業の排出量は54千tで、令和元年度の60千tと比較すると6千t（8.7%）減少している。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の26.7%にあたる15千t、次いで混合廃棄物が15.9%にあたる9千tを占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-41 種類別排出量（不動産業，物品賃貸業）



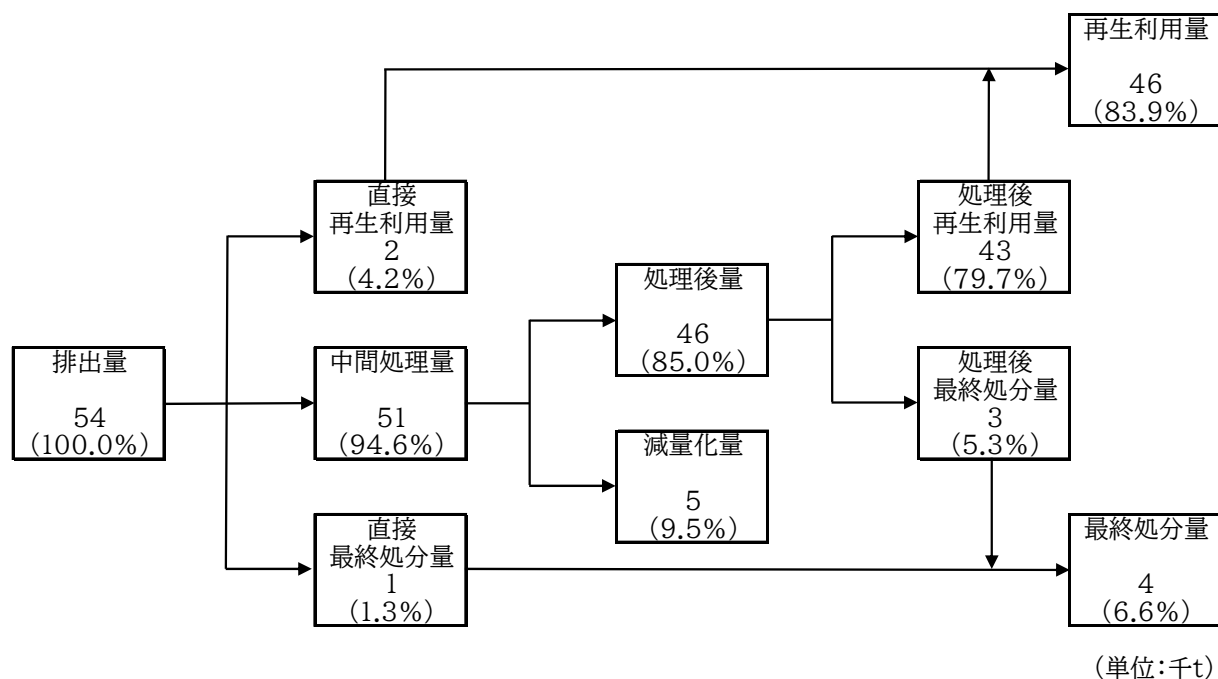
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-42 種類別排出割合（不動産業，物品賃貸業）

(2) 処理・処分状況

不動産業、物品賃貸業の排出量 54 千 t のうち、94.6%にあたる 51 千 t が中間処理され、直接再生利用されるのは、排出量の 4.2%にあたる 2 千 t、直接最終処分された量は 1.3%にあたる 1 千 t である。中間処理される 51 千 t の産業廃棄物は、破碎等の中間処理を経て 46 千 t に減量化され、そのうち 43 千 t が再生利用、3 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 83.9%にあたる 46 千 t が再生利用、9.5%にあたる 5 千 t が減量化、6.6%にあたる 4 千 t が最終処分されている。

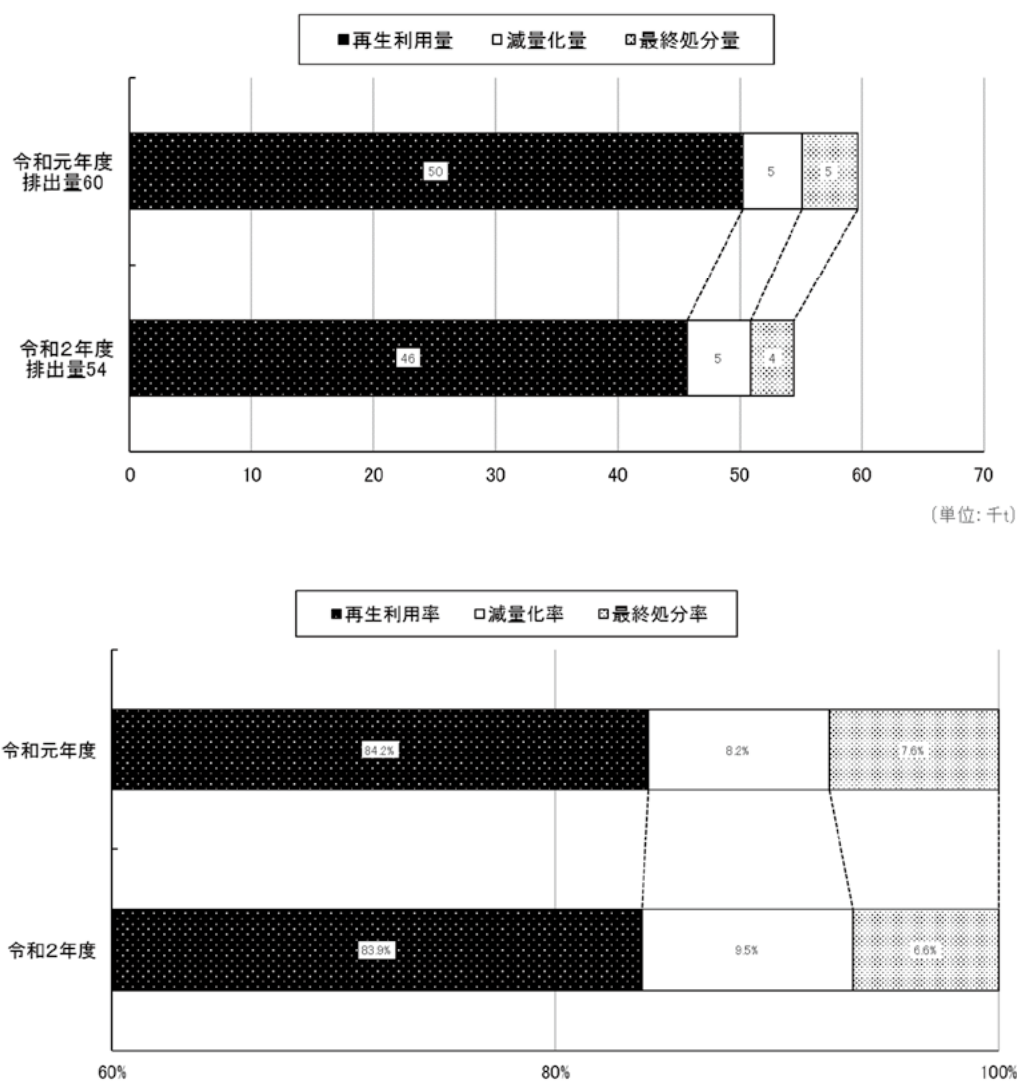


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-43 処理・処分の流れ図 (不動産業、物品賃貸業)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は0.3%減少、減量化率は1.4%増加、最終処分率は1.1%減少している。

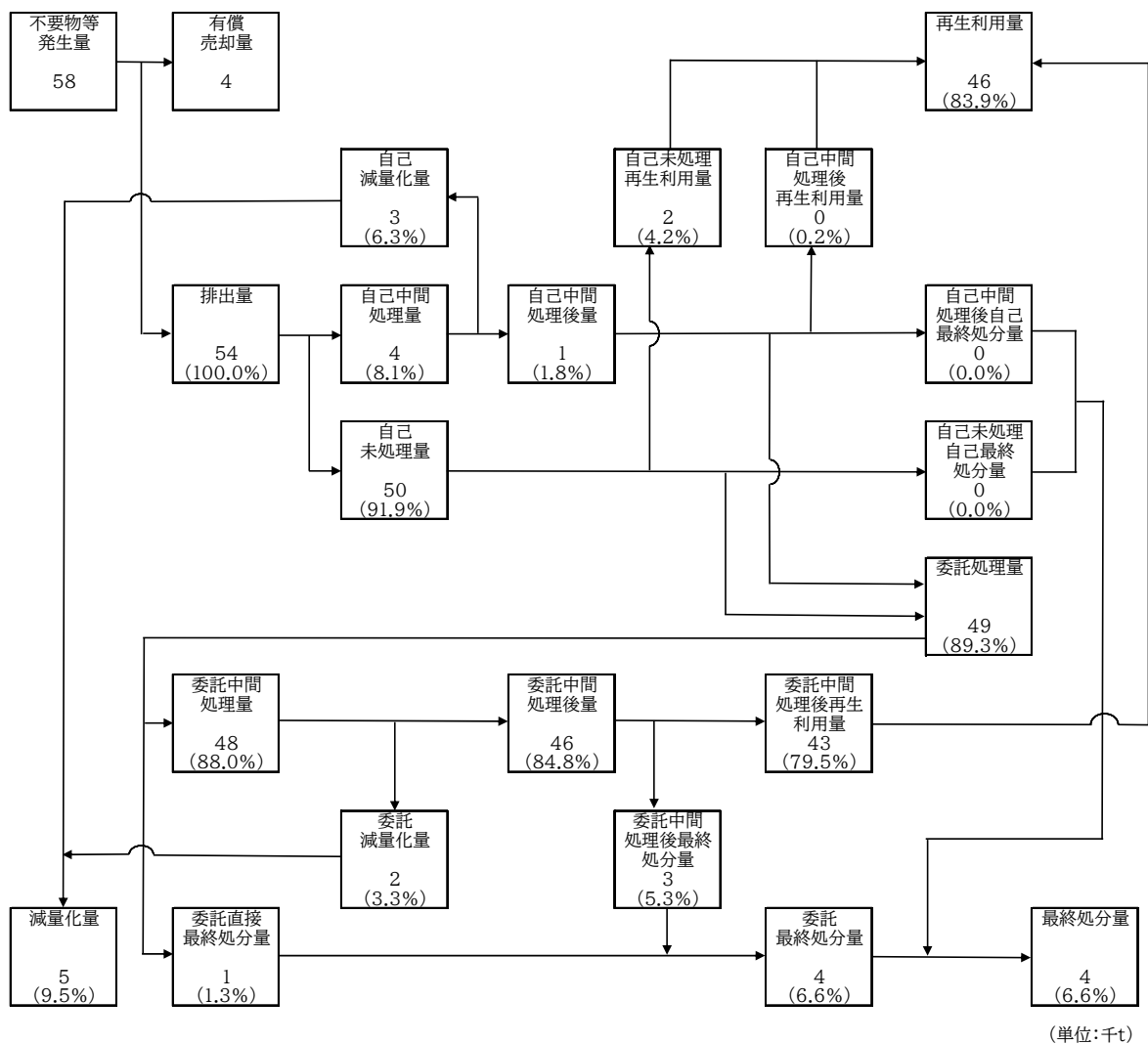


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-44 再生利用・減量化・最終処分状況 (不動産業, 物品賃貸業)

(上: 処理・処分量 下: 処理・処分割合 排出量を100%とする)

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

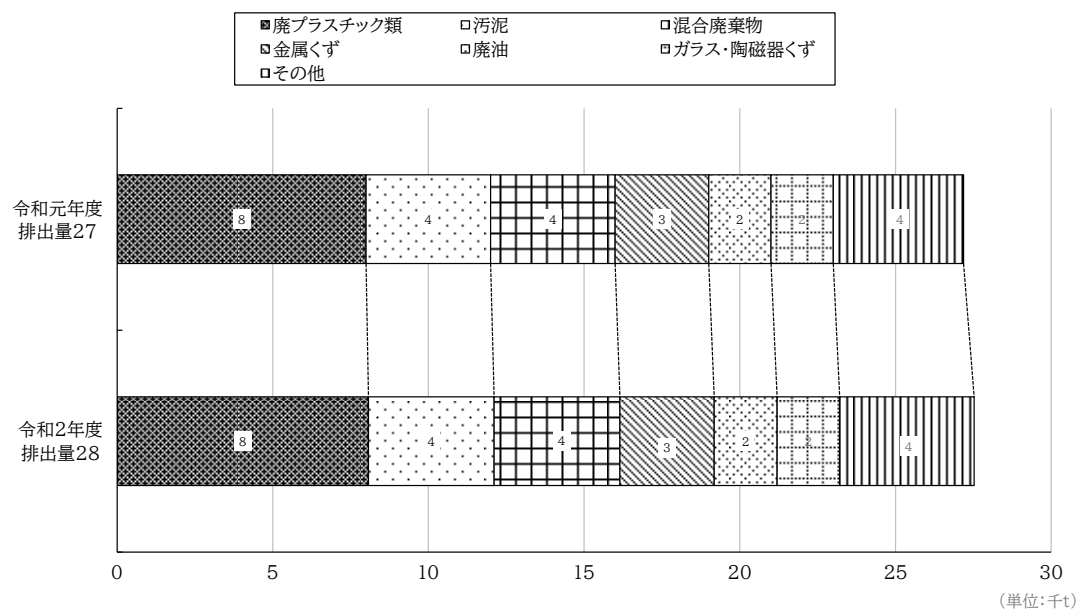
図 3-45 処理・処分の詳細流れ図 (不動産業, 物品賃貸業)

10 学術研究，専門・技術サービス業

(1) 種類別排出状況

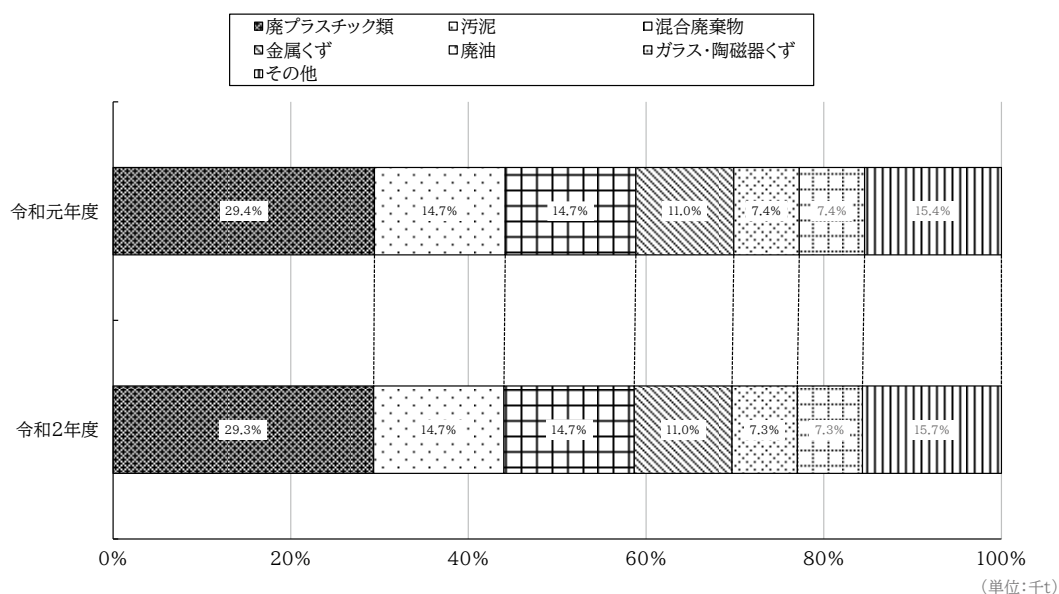
令和2年度の学術研究，専門・技術サービス業の排出量は28千tで、令和元年度の27千tと比較すると0.3千t（1.2%）増加している。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の29.3%にあたる8千t、次いで汚泥と混合廃棄物がそれぞれ14.7%にあたる4千tである。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-46 種類別排出量（学術研究，専門・技術サービス業）



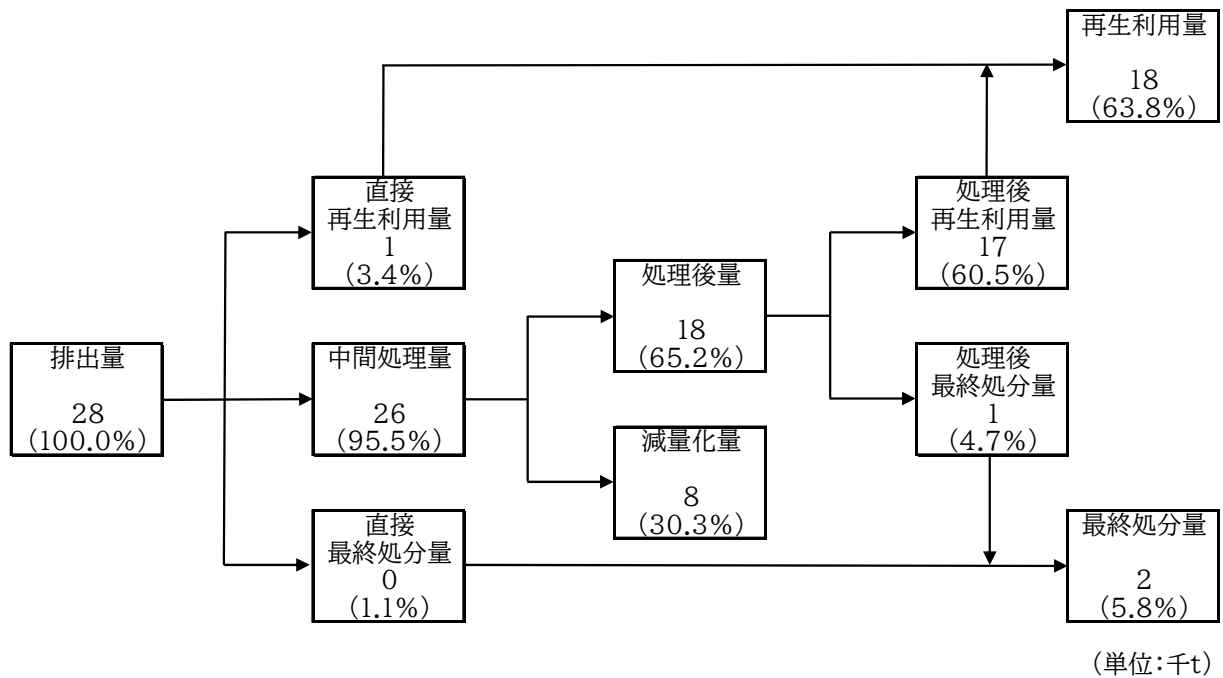
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-47 種類別排出割合（学術研究，専門・技術サービス業）

(2) 処理・処分状況

学術研究，専門・技術サービス業の排出量 28 千 t のうち、95.5%にあたる 26 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは排出量の 3.4%にあたる 1 千 t、直接最終処分された量は 1.1%にあたる 0.3 千 t である。中間処理される 26 千 t の産業廃棄物は、破碎、焼却等の中間処理を経て 18 千 t に減量化され、そのうち 17 千 t が再生利用、1 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 63.8%にあたる 18 千 t が再生利用、30.3%にあたる 8 千 t が減量化、5.8%にあたる 2 千 t が最終処分されている。

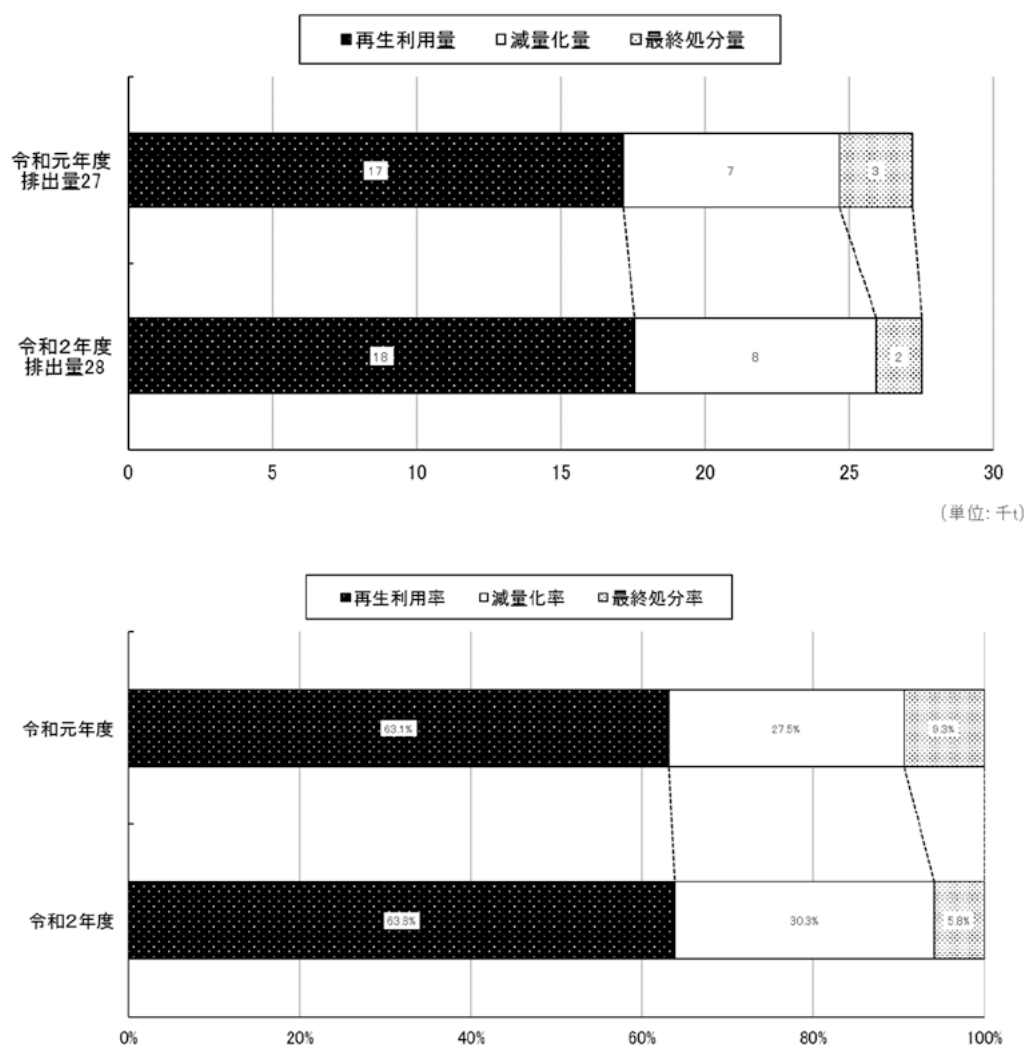


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-48 処理・処分の流れ図 (学術研究，専門・技術サービス業)

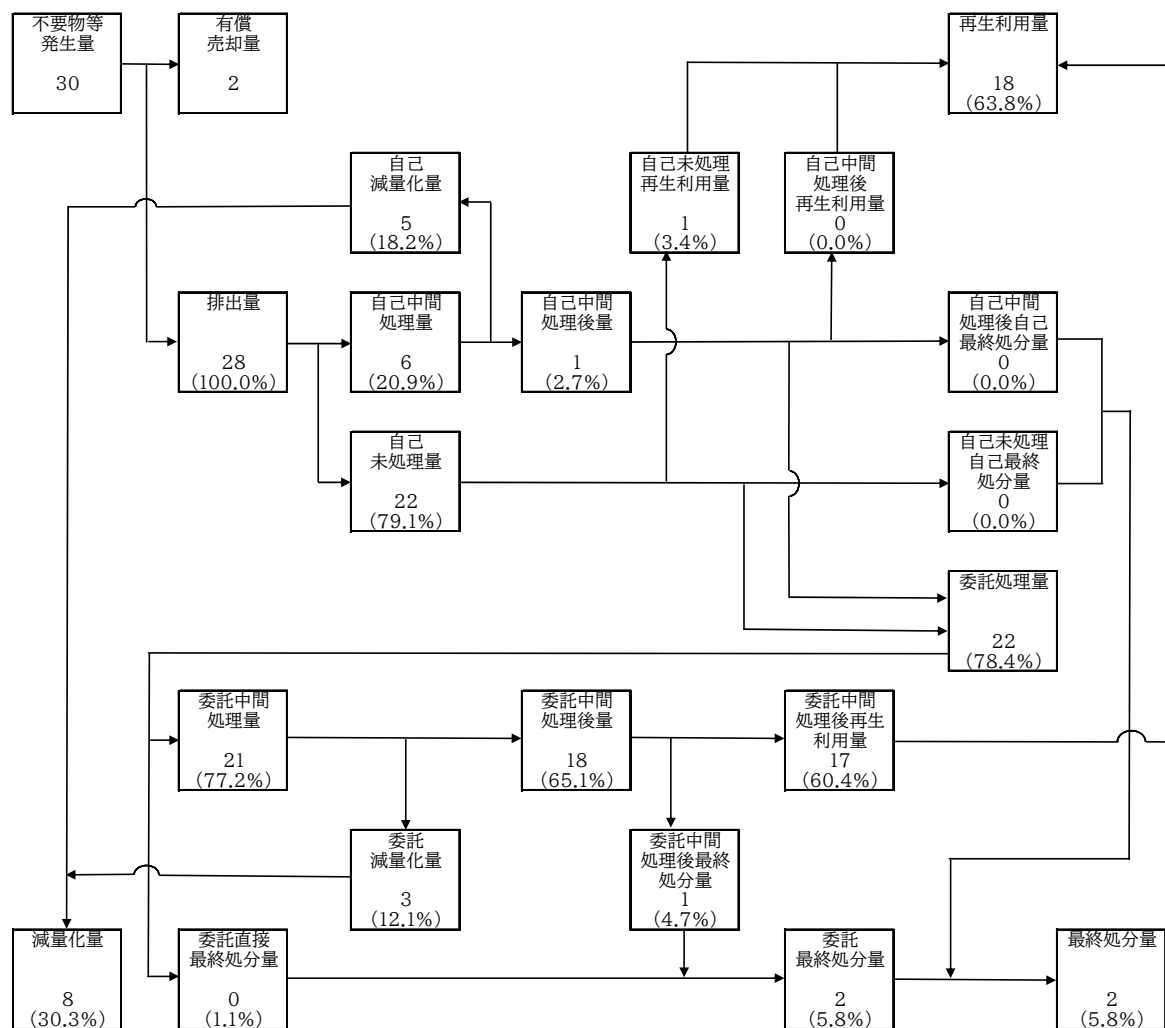
令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は 0.7%増加、減量化率は 2.8%増加、最終処分率は 3.5%減少している。



注）各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-49 再生利用・減量化・最終処分状況（学術研究，専門・技術サービス業）
（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

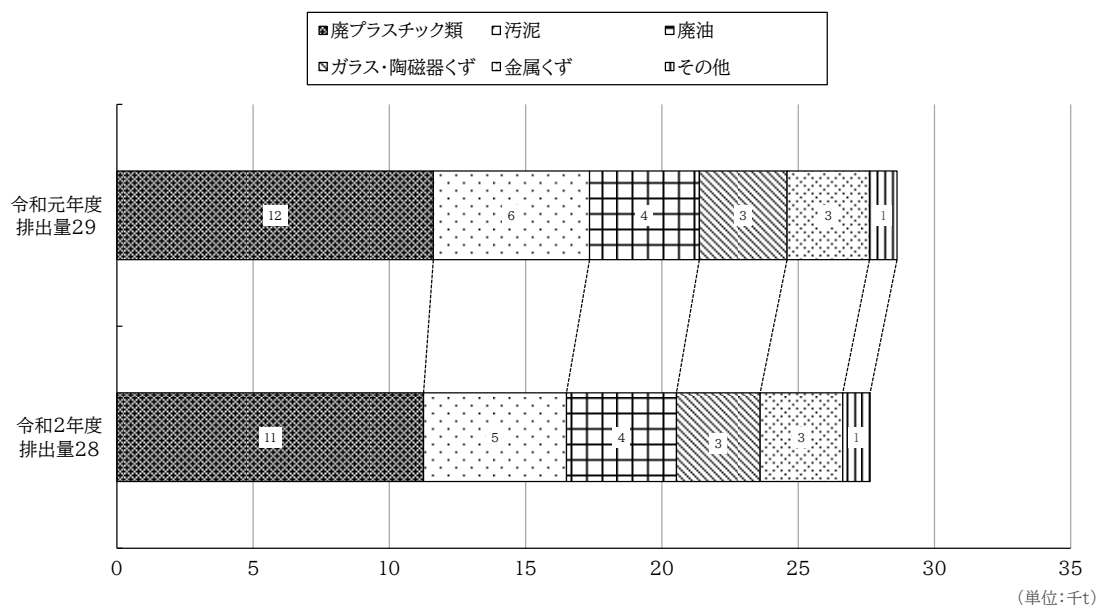
図 3-50 処理・処分の詳細流れ図 (学術研究, 専門・技術サービス業)

11 宿泊業，飲食サービス業

(1) 種類別排出状況

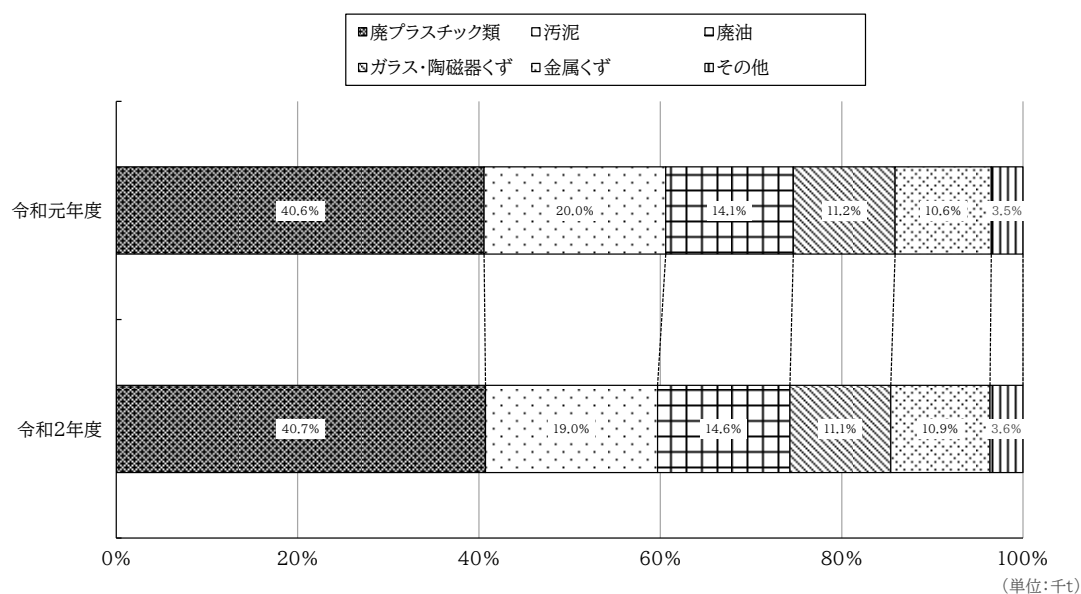
令和2年度の宿泊業，飲食サービス業の排出量は28千tで、令和元年度の29千tと比較すると1千t（3.4%）減少している。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の40.7%にあたる11千t、次いで汚泥が全体の19.0%にあたる5千tを占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-51 種類別排出量（宿泊業，飲食サービス業）



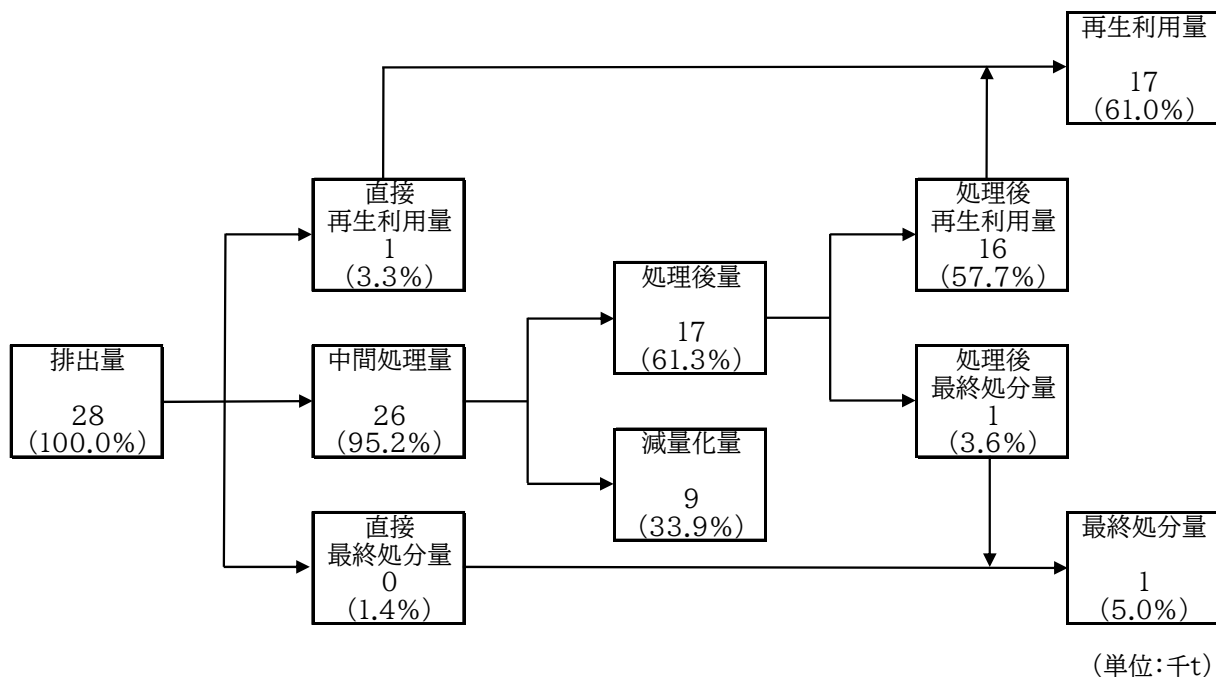
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-52 種類別排出割合（宿泊業，飲食サービス業）

(2) 処理・処分状況

宿泊業、飲食サービス業の排出量 28 千 t のうち、95.2%にあたる 26 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは排出量の 3.3%にあたる 1 千 t、直接最終処分された量は 1.4%にあたる 0.4 千 t である。中間処理される 26 千 t の産業廃棄物は、破碎、焼却等の中間処理を経て 17 千 t に減量化され、そのうち 16 千 t が再生利用、1 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 61.0%にあたる 17 千 t が再生利用、33.9%にあたる 9 千 t が減量化、5.0%にあたる 1 千 t が最終処分されている。

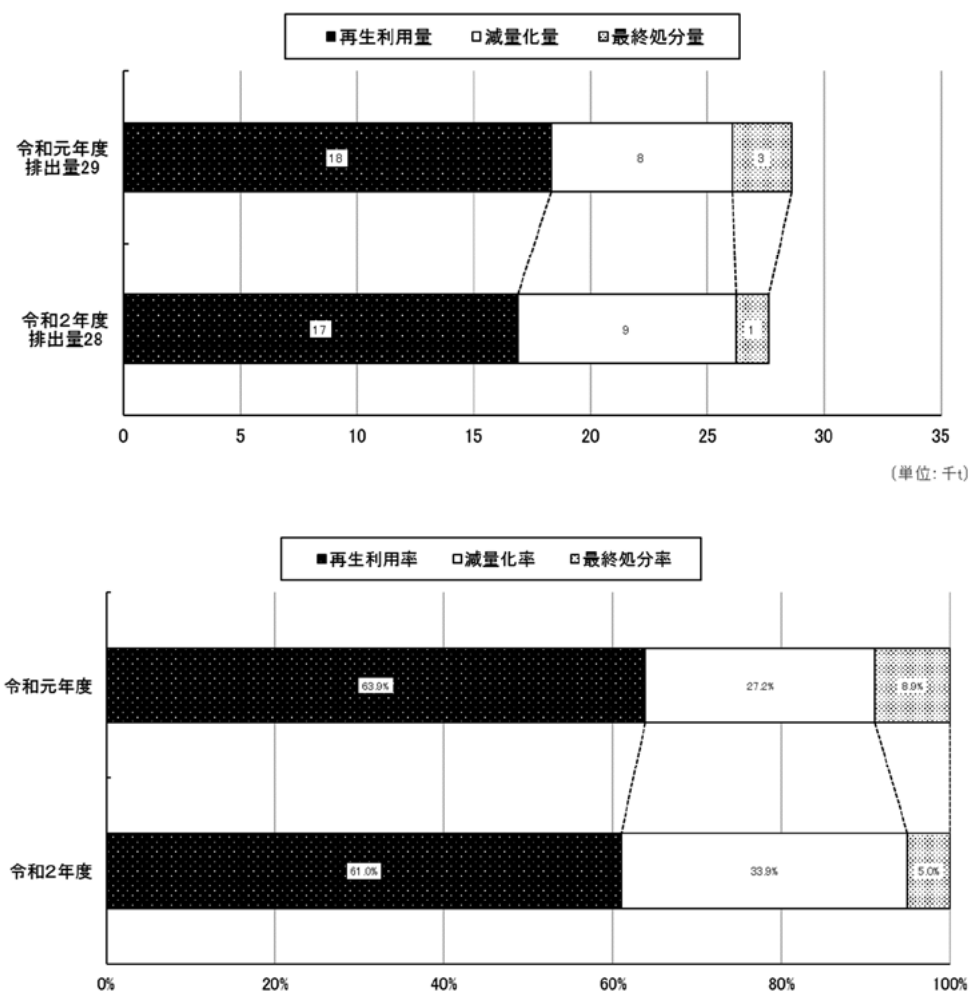


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-53 処理・処分の流れ図 (宿泊業, 飲食サービス業)

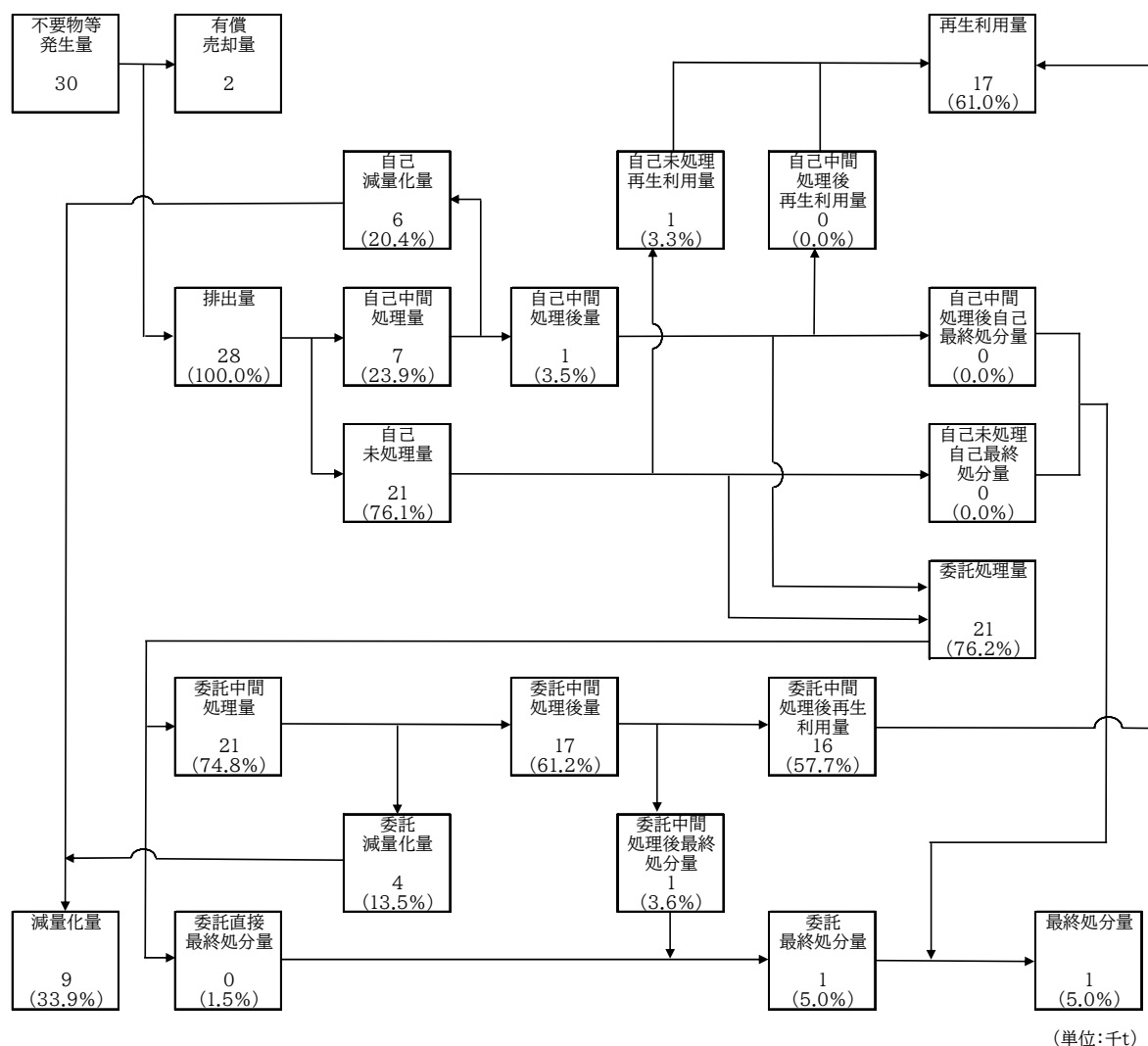
令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は 2.9%減少、減量化率は 6.7%増加、最終処分率は 3.8%減少している。



注）各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-54 再生利用・減量化・最終処分状況（宿泊業，飲食サービス業）
（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

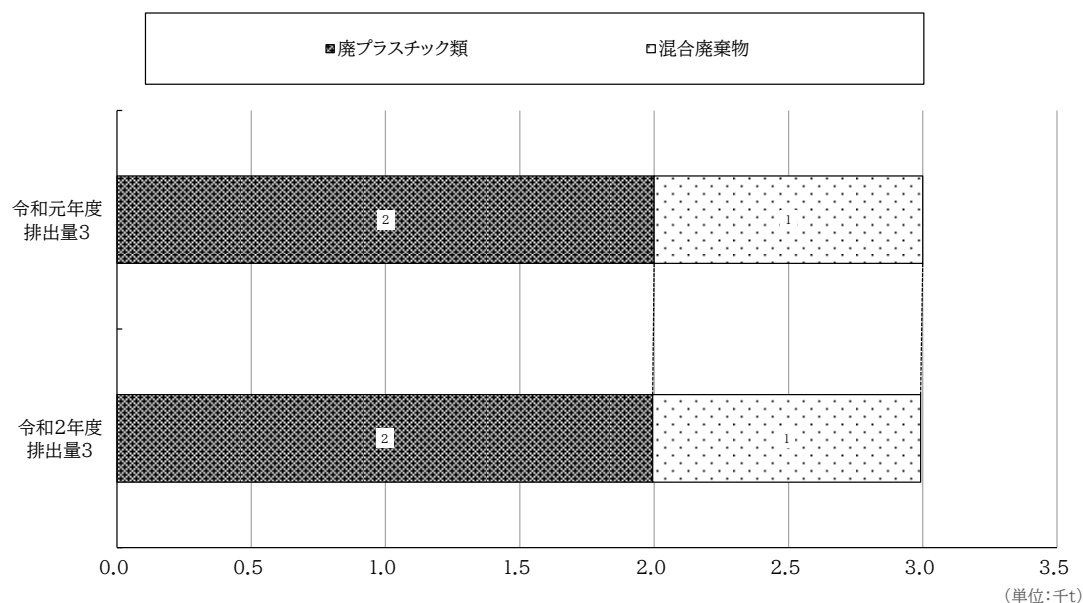
図 3-55 処理・処分の詳細流れ図 (宿泊業, 飲食サービス業)

12 生活関連サービス業，娯楽業

(1) 種類別排出状況

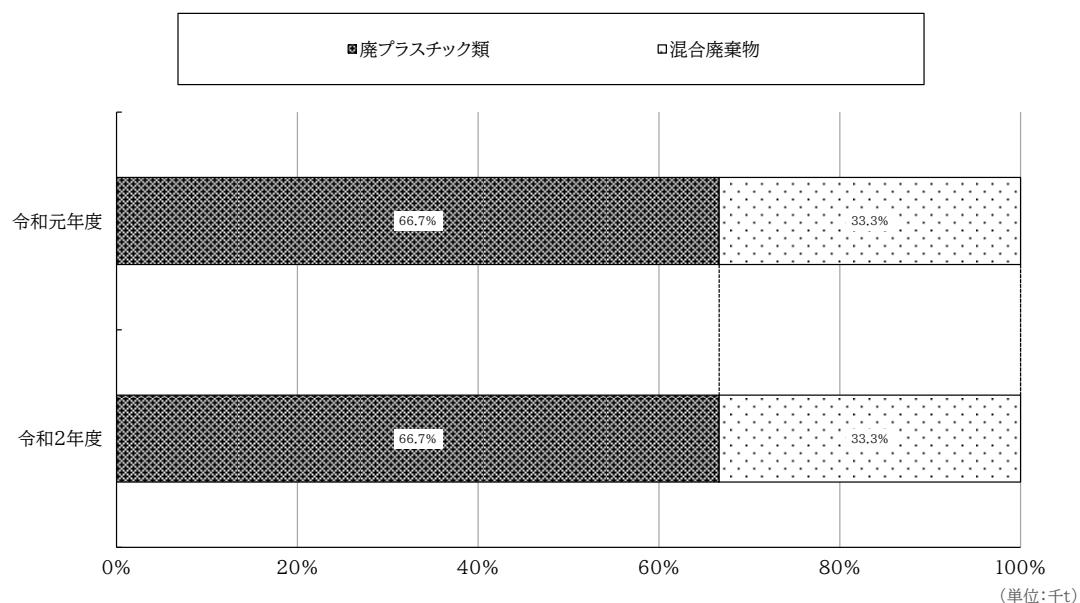
令和2年度の生活関連サービス業，娯楽業の排出量は3千tで、令和元年度と同様である。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の66.7%にあたる2千t、次いで混合廃棄物が33.3%にあたる1千tであり、この2品目で全排出量の100.0%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-56 種類別排出量（生活関連サービス業，娯楽業）



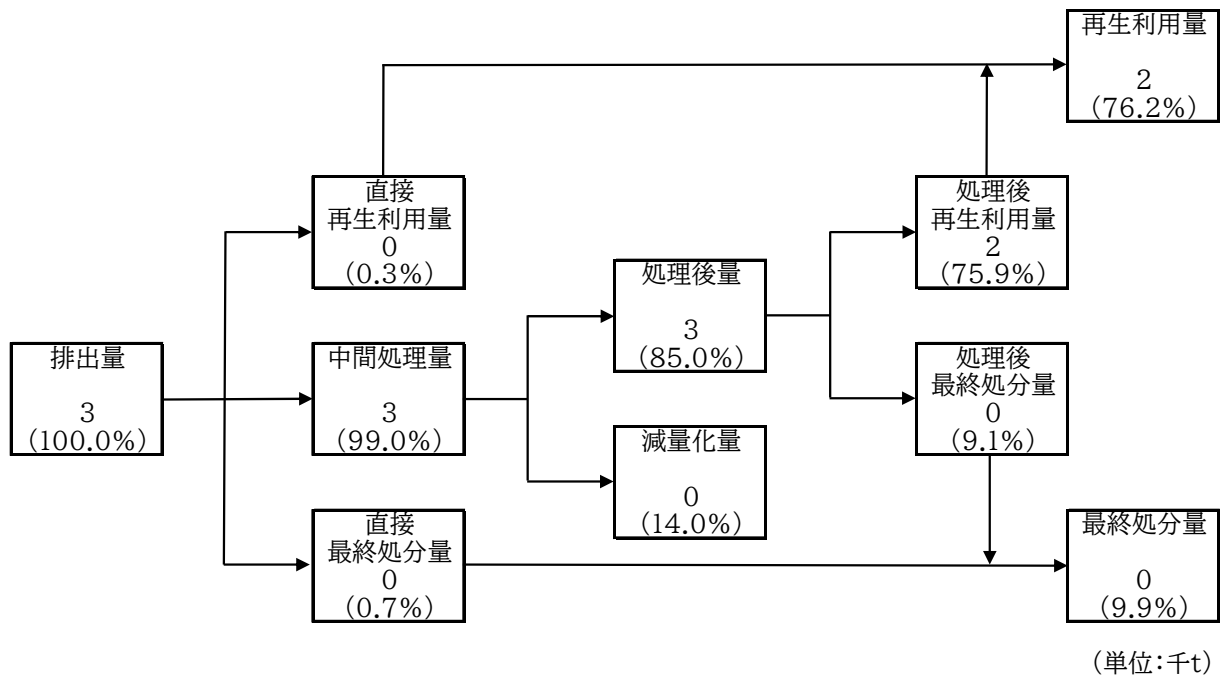
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-57 種類別排出割合（生活関連サービス業，娯楽業）

(2) 処理・処分状況

生活関連サービス業、娯楽業の排出量 3 千 t のうち、99.0%にあたる 3 千 t が中間処理され、直接再生利用されたのは排出量の 0.3%にあたる 0.01 千 t、直接最終処分された量は 0.7%にあたる 0.02 千 t である。中間処理される 3 千 t の産業廃棄物は、破碎、焼却等の中間処理を経て 3 千 t に減量化され、そのうち 2 千 t が再生利用、0.3 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 76.2%にあたる 2 千 t が再生利用、14.0%にあたる 0.4 千 t が減量化され、9.9%にあたる 0.3 千 t が最終処分されている。

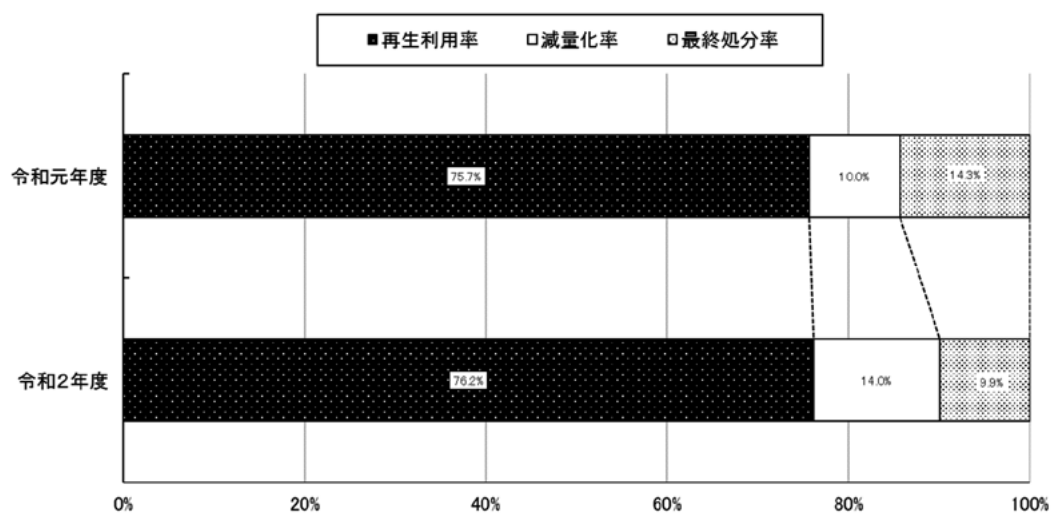
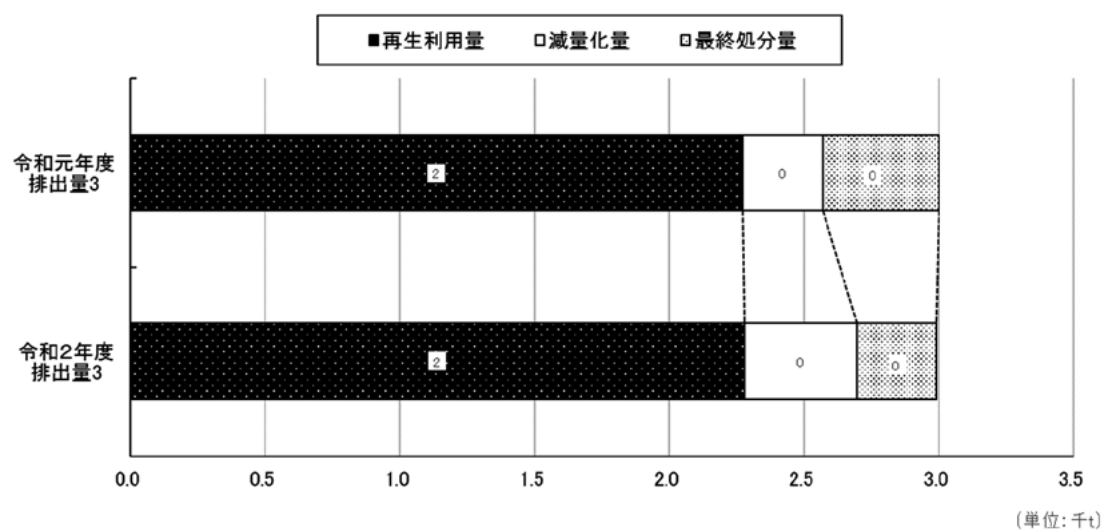


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-58 処理・処分の流れ図 (生活関連サービス業、娯楽業)

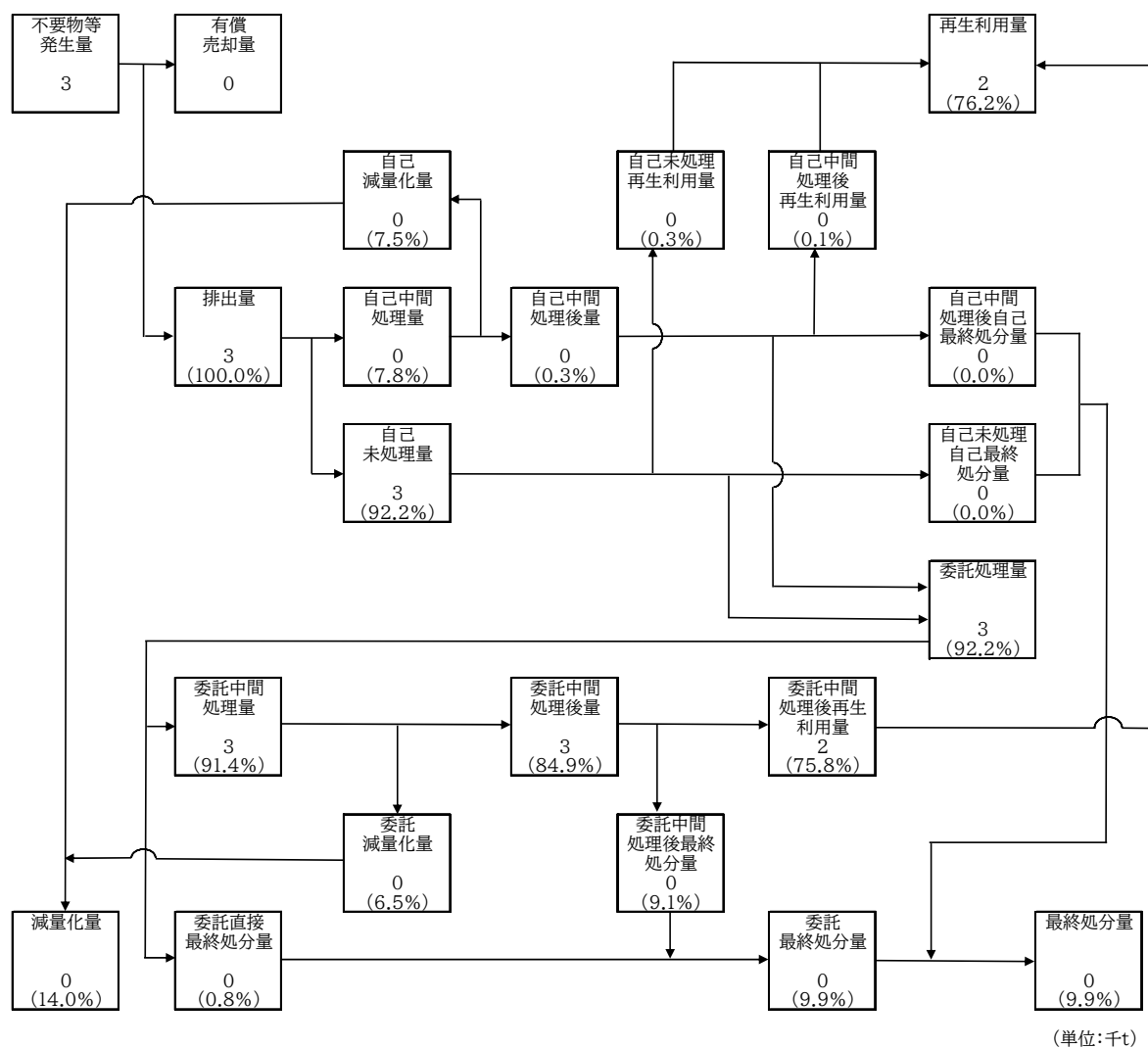
令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は 0.5%増加、減量化率は 4.0%増加、最終処分率は 4.5%減少している。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-59 再生利用・減量化・最終処分状況 (生活関連サービス業, 娯楽業)
(上: 処理・処分量 下: 処理・処分割合 排出量を 100%とする)

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

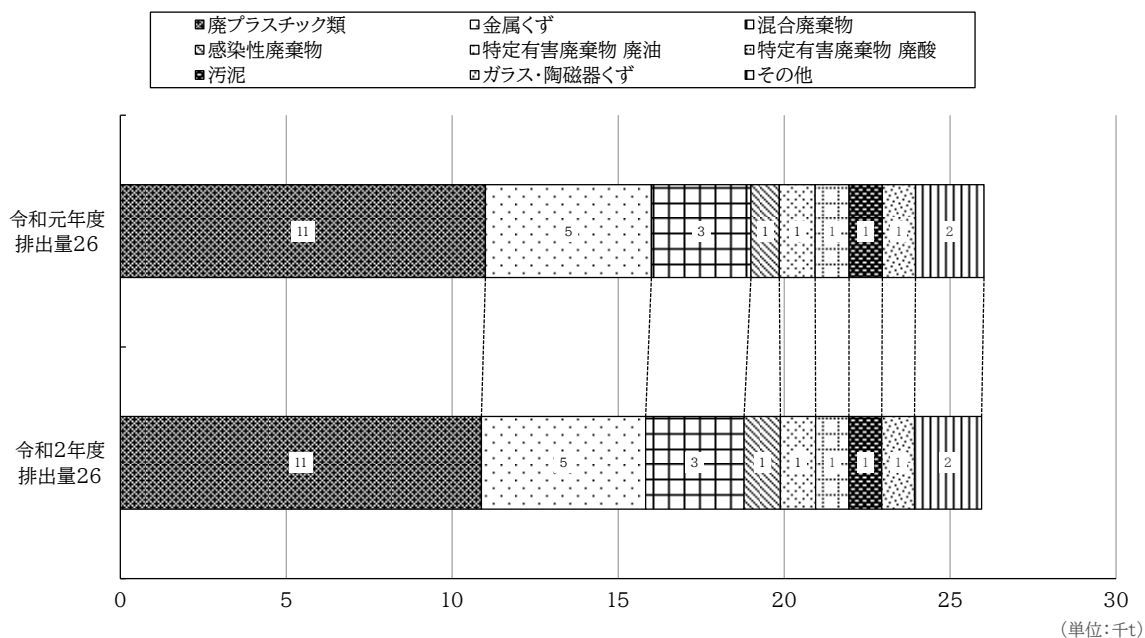
図 3-60 処理・処分の詳細流れ図（生活関連サービス業、娯楽業）

13 教育，学習支援業

(1) 種類別排出状況

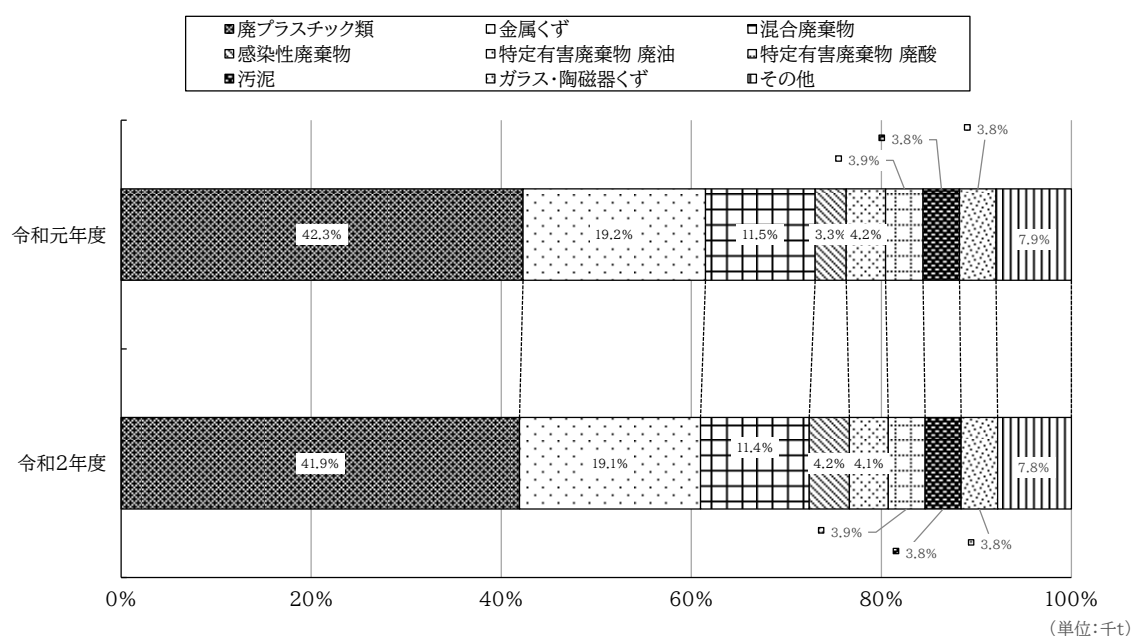
令和2年度の教育，学習支援業の排出量は26千tで、令和元年度と同様である。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の41.9%にあたる11千t、次いで金属くずが19.1%にあたる5千tを占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-61 種類別排出量（教育，学習支援業）



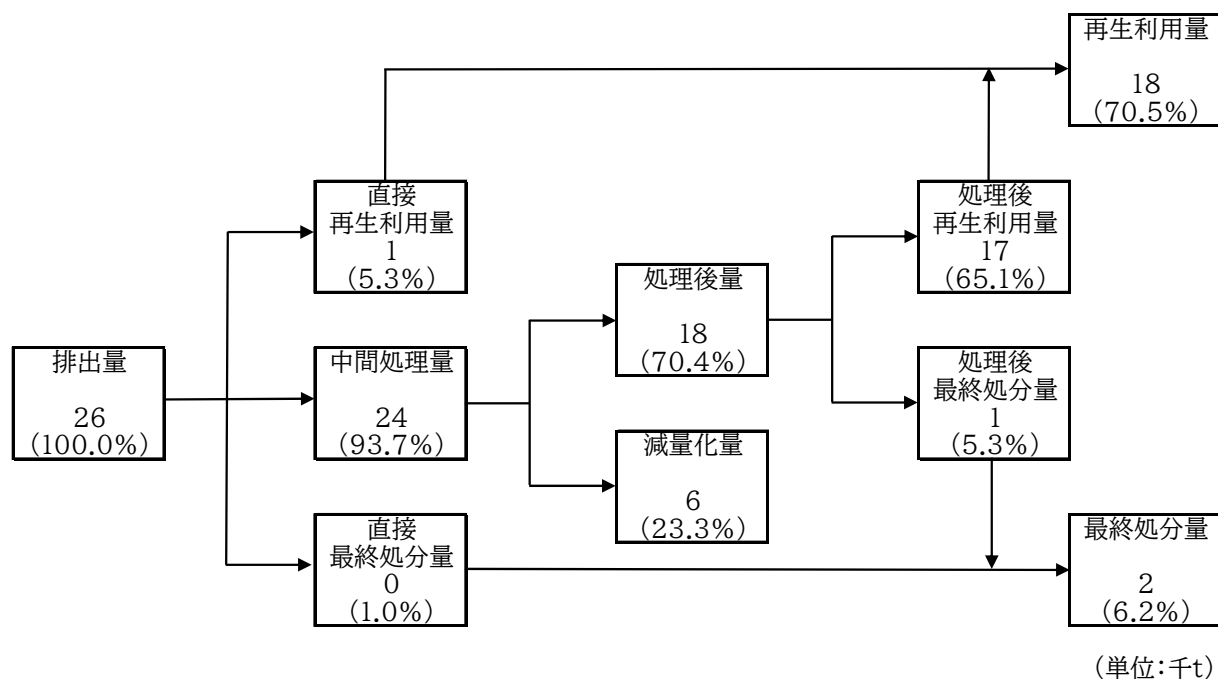
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-62 種類別排出割合（教育，学習支援業）

(2) 処理・処分状況

教育、学習支援業の排出量 26 千 t のうち、93.7%にあたる 24 千 t が中間処理され、直接再生利用されるのは、排出量の 5.3%にあたる 1 千 t、直接最終処分された量は 1.0%にあたる 0.2 千 t である。中間処理される 24 千 t の産業廃棄物は、破碎等の中間処理を経て 18 千 t に減量化され、そのうち 17 千 t が再生利用、1 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 70.5%にあたる 18 千 t が再生利用、23.3%にあたる 6 千 t が減量化、6.2%にあたる 2 千 t が最終処分されている。

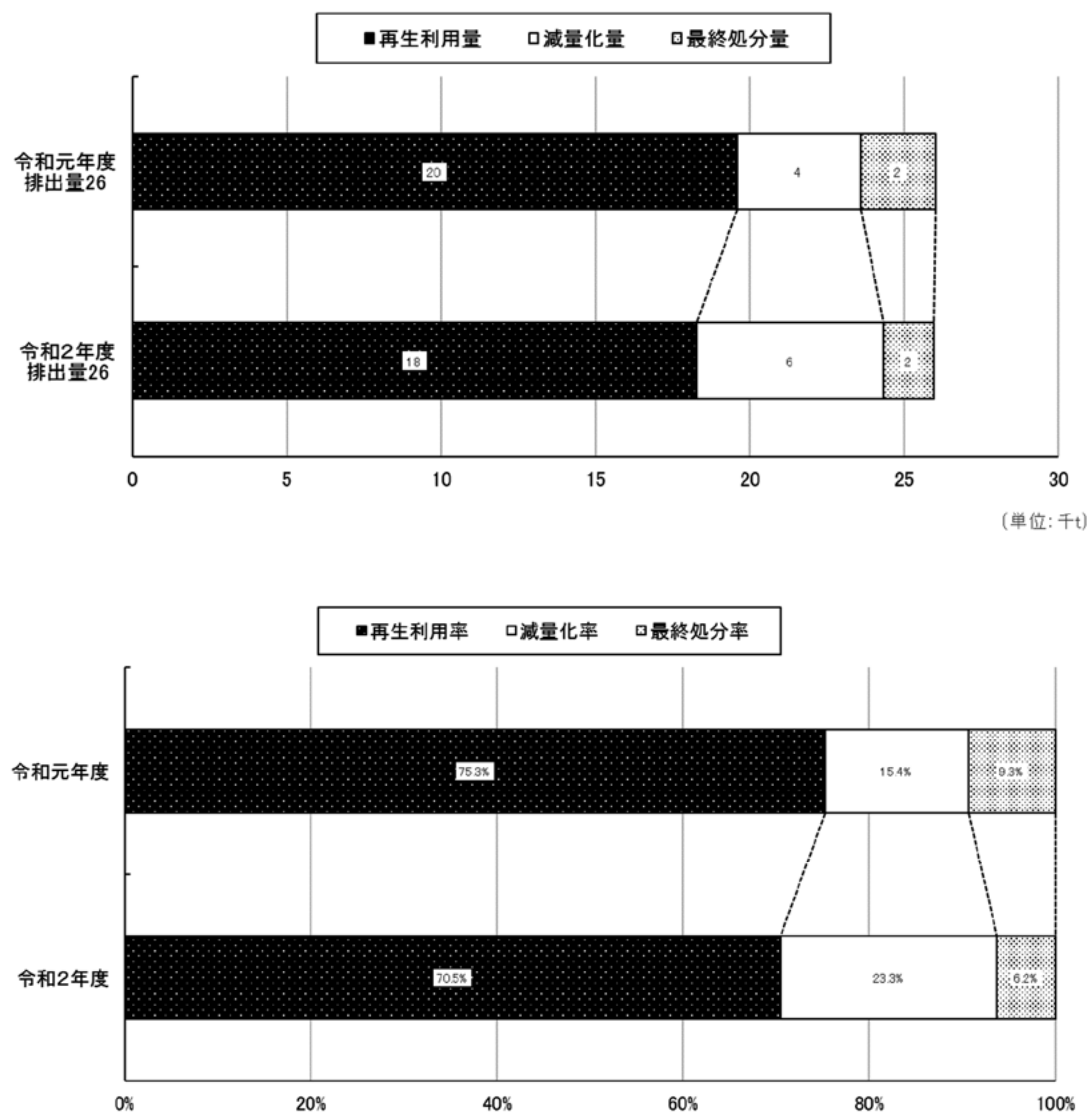


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-63 処理・処分の流れ図 (教育、学習支援業)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は4.8%減少、減量化率は7.9%増加、最終処分率は3.0%減少している。

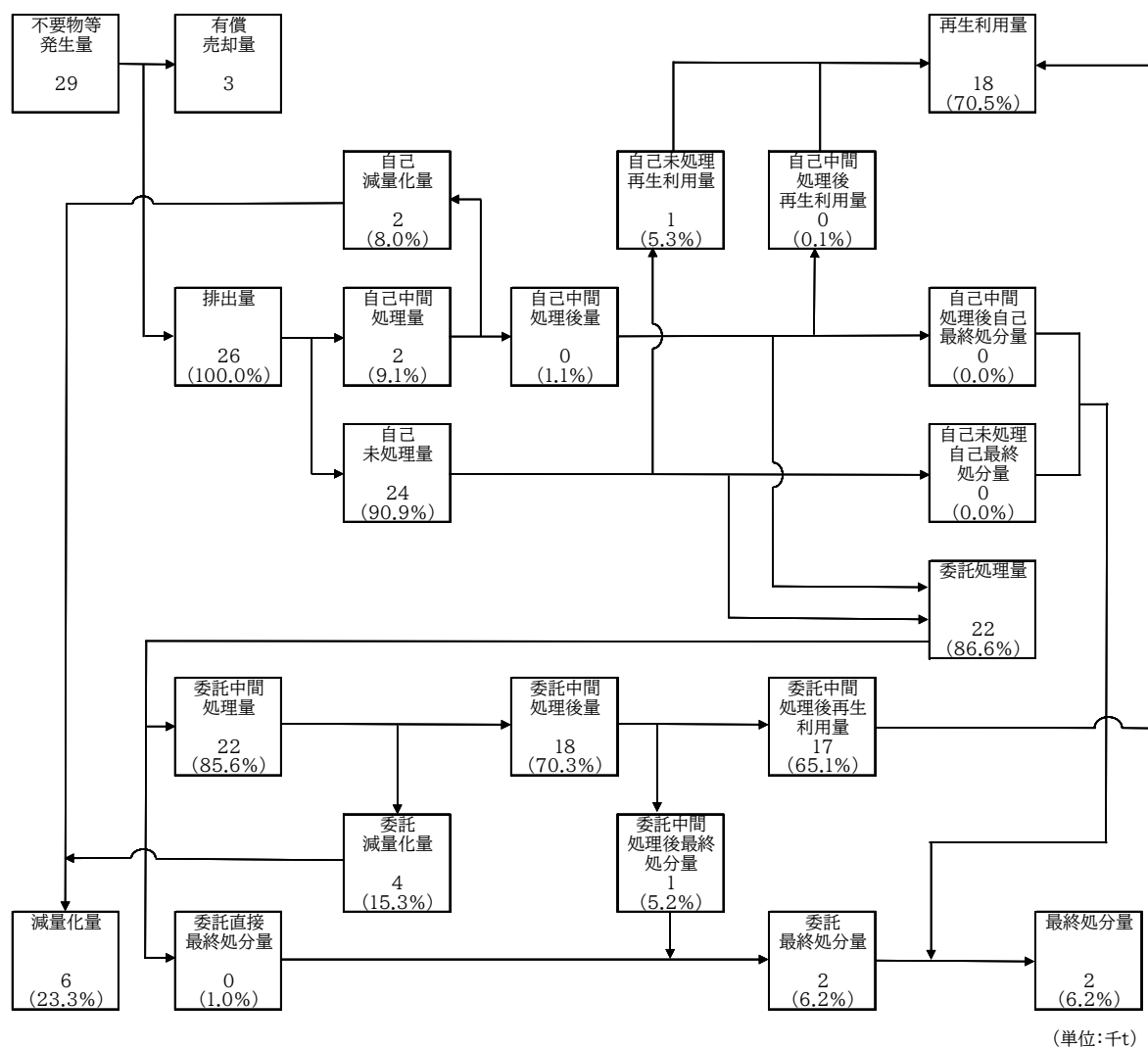


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-64 再生利用・減量化・最終処分状況 (教育, 学習支援業)

(上: 処理・処分量 下: 処理・処分割合 排出量を100%とする)

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

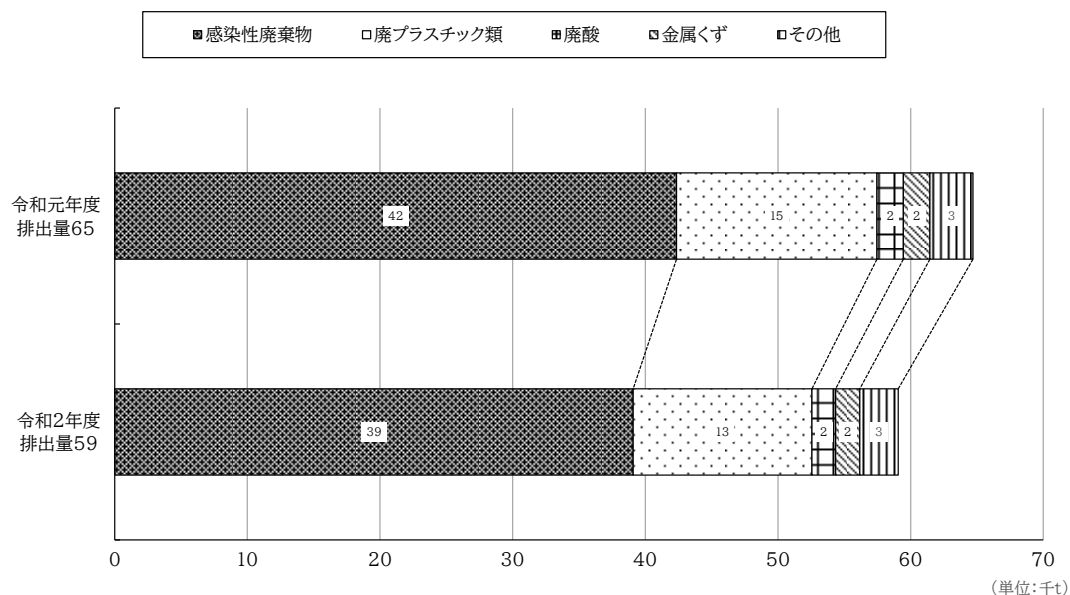
図 3-65 処理・処分の詳細流れ図（教育、学習支援業）

14 医療，福祉

(1) 種類別排出状況

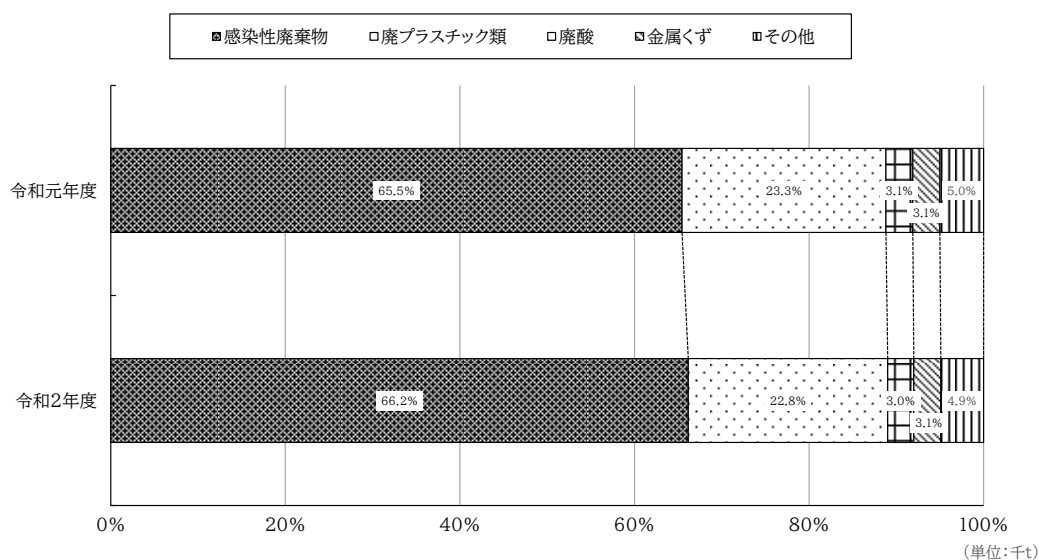
令和2年度の医療，福祉の排出量は59千tで、令和元年度の65千tと比較すると6千t（8.7%）減少している。

廃棄物の種類別にみると、感染性廃棄物が全体の66.2%にあたる39千t、次いで廃プラスチック類が22.8%にあたる13千tであり、この2品目で全排出量の89.0%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-66 種類別排出量（医療，福祉）



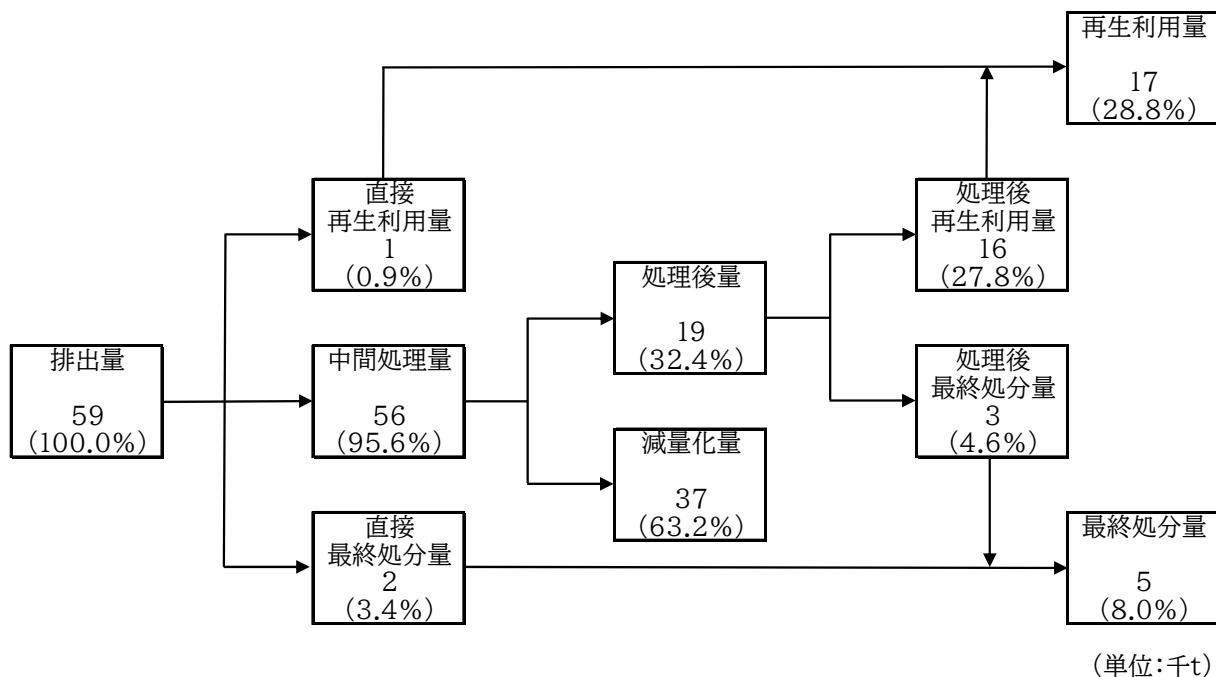
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-67 種類別排出割合（医療，福祉）

(2) 処理・処分状況

医療、福祉の排出量 59 千 t のうち、95.6%にあたる 56 千 t が中間処理され、直接再生利用されるのは、排出量の 0.9%にあたる 1 千 t、直接最終処分された量は 3.4%にあたる 2 千 t である。中間処理される 56 千 t の産業廃棄物は、破碎等の中間処理を経て 19 千 t に減量化され、そのうち 16 千 t が再生利用、3 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 28.8%にあたる 17 千 t が再生利用、63.2%にあたる 37 千 t が減量化、8.0%にあたる 5 千 t が最終処分されている。

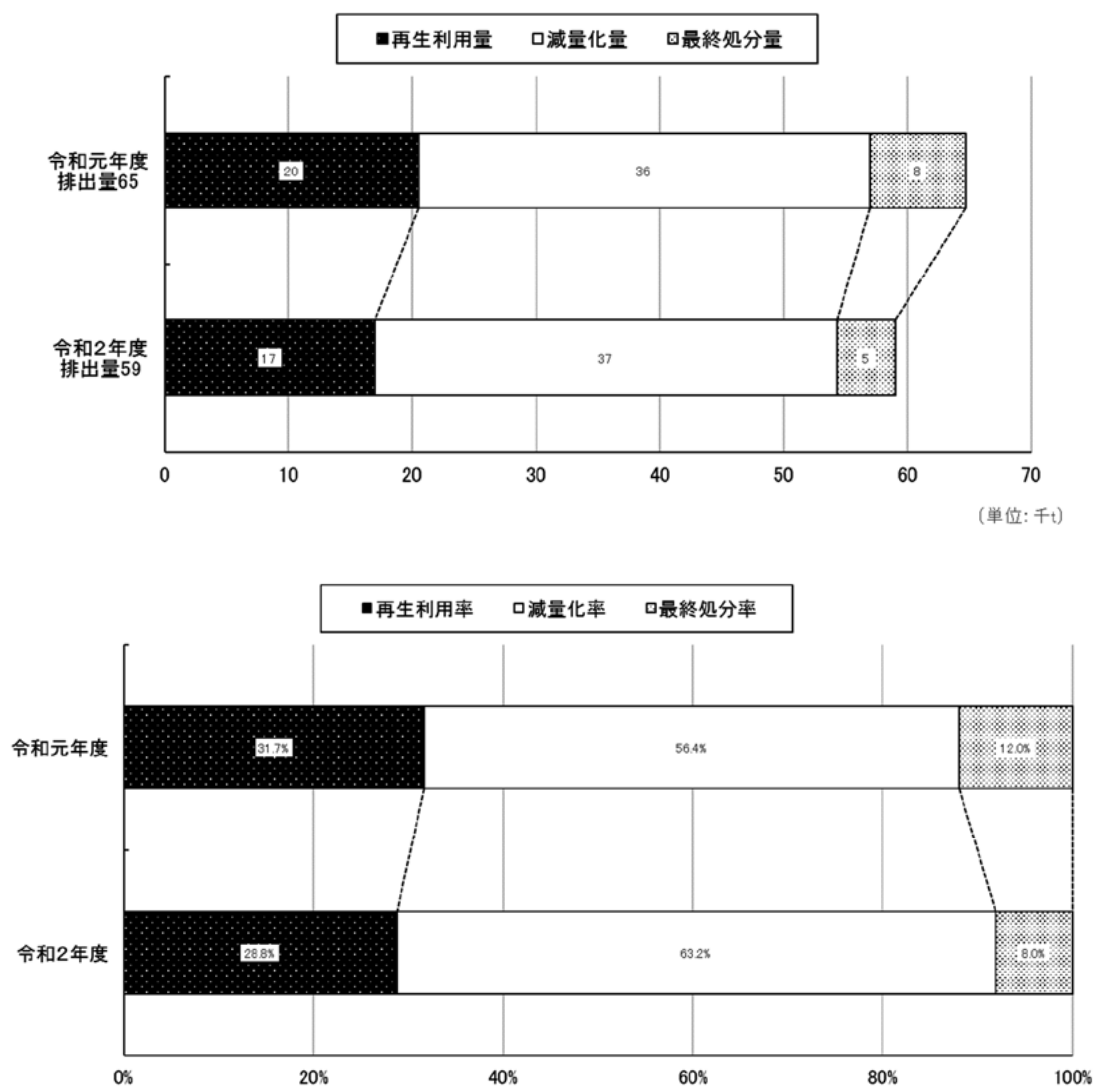


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-68 処理・処分の流れ図 (医療、福祉)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は2.9%減少、減量化率は6.8%増加、最終処分率は3.9%減少している。

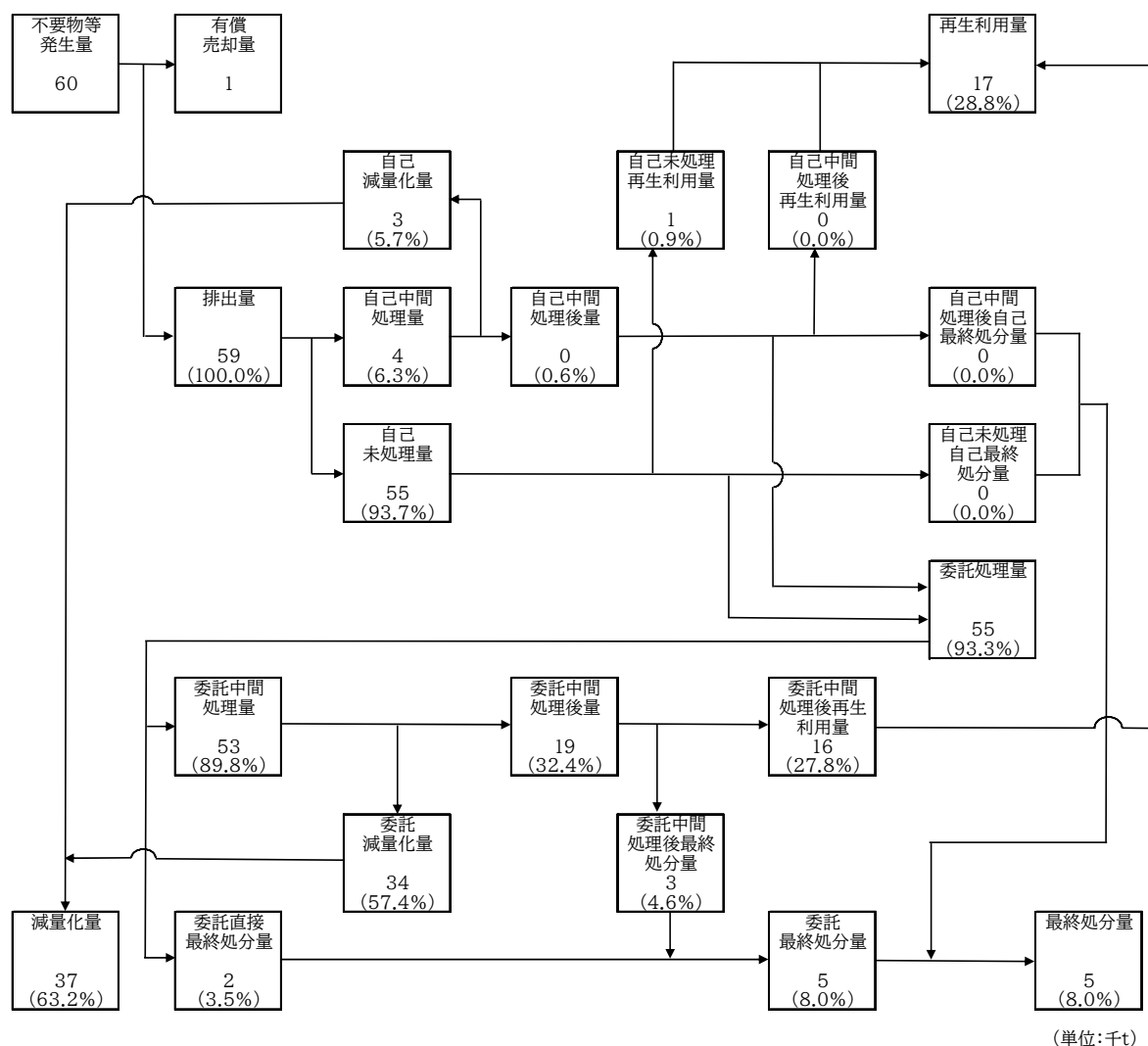


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-69 再生利用・減量化・最終処分状況（医療、福祉）

（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

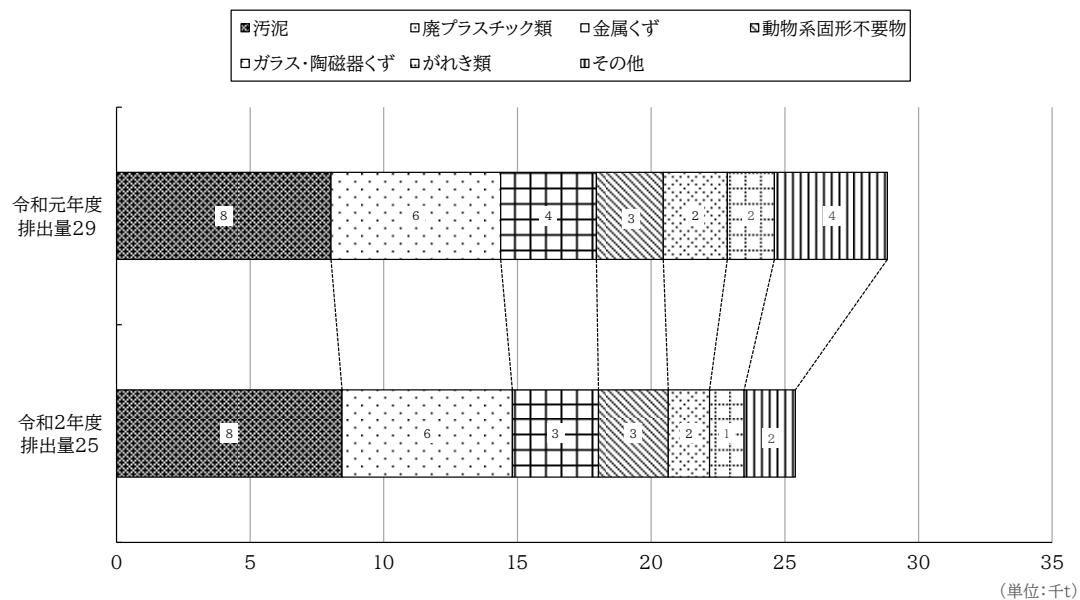
図 3-70 処理・処分の詳細流れ図 (医療、福祉)

15 サービス業

(1) 種類別排出状況

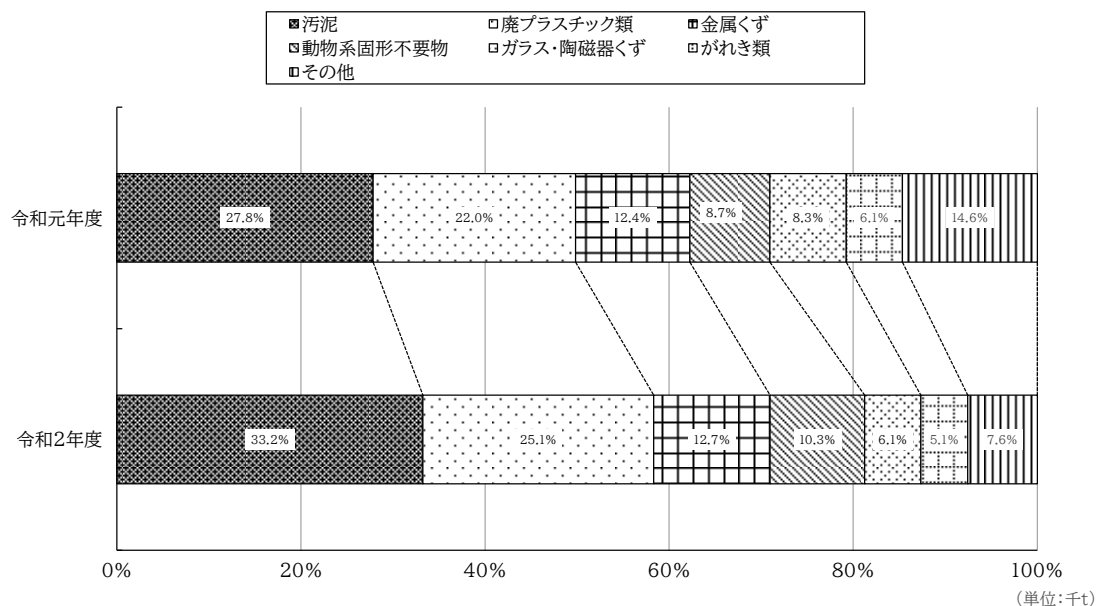
令和2年度のサービス業の排出量は25千tで、令和元年度の29千tと比較すると4千t（11.9%）減少している。

廃棄物の種類別にみると、汚泥が全体の33.2%にあたる8千t、次いで廃プラスチック類が25.1%にあたる6千tを占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-71 種類別排出量（サービス業）



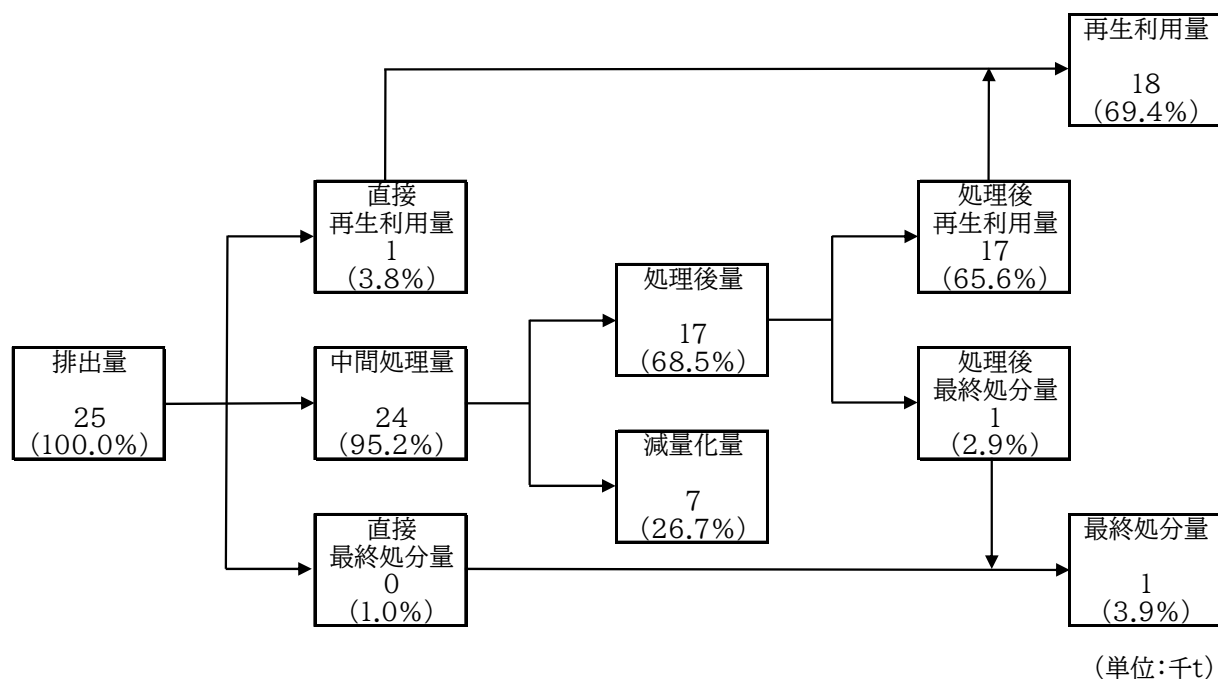
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-72 種類別排出割合（サービス業）

(2) 処理・処分状況

サービス業の排出量 25 千 t のうち、95.2%にあたる 24 千 t が中間処理され、直接再生利用されるのは、排出量の 3.8%にあたる 1 千 t、直接最終処分された量は 1.0%にあたる 0.3 千 t である。中間処理される 24 千 t の産業廃棄物は、破碎等の中間処理を経て 17 千 t に減量化され、そのうち 17 千 t が再生利用、1 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 69.4%にあたる 18 千 t が再生利用、26.7%にあたる 7 千 t が減量化、3.9%にあたる 1 千 t が最終処分されている。

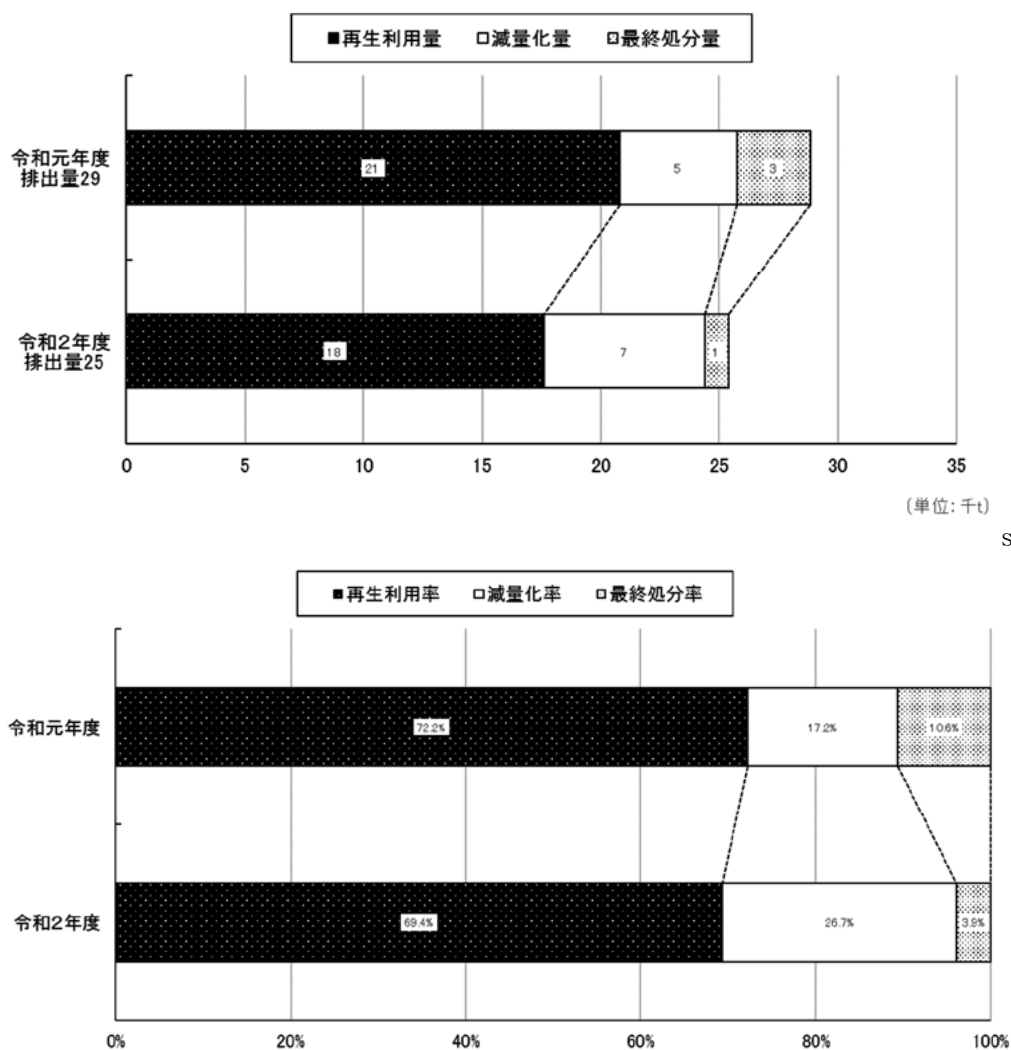


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-73 処理・処分の流れ図 (サービス業)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は2.8%減少、減量化率は9.5%増加、最終処分率は6.7%減少している。

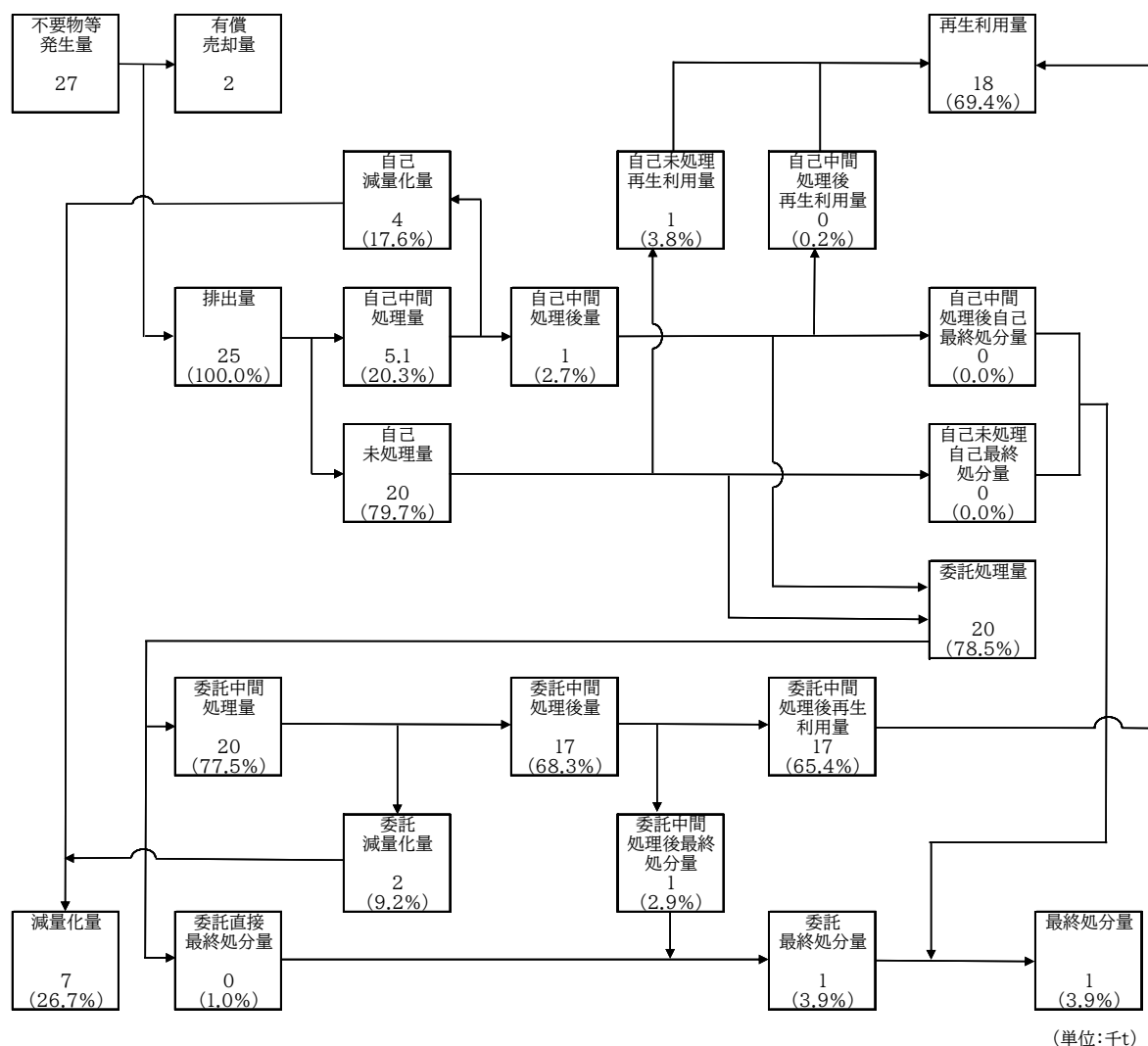


注）各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-74 再生利用・減量化・最終処分状況（サービス業）

（上：処理・処分量 下：処理・処分割合 排出量を100%とする）

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

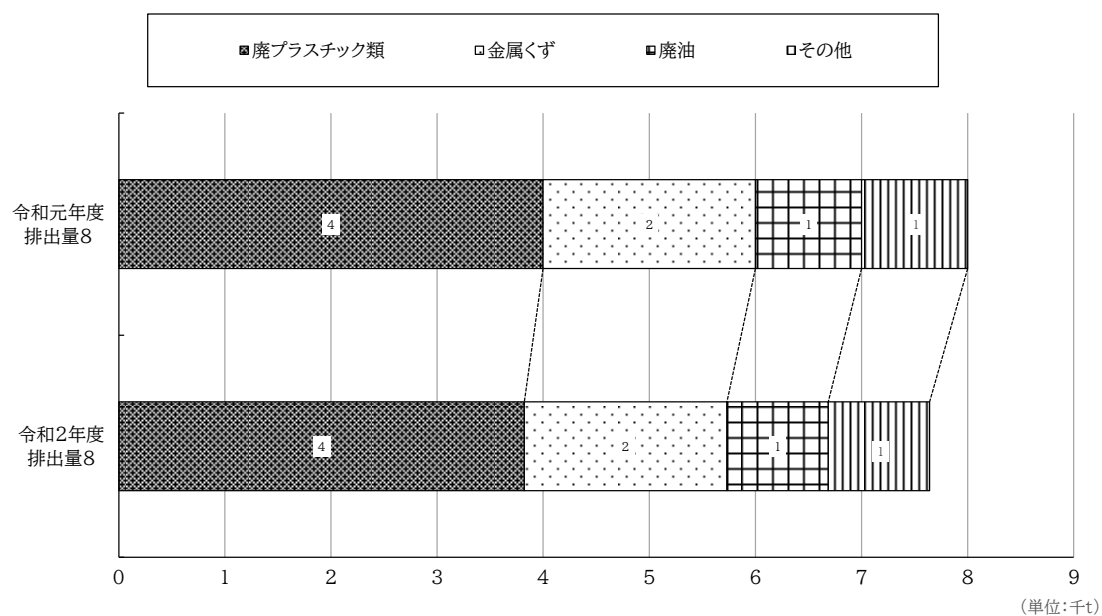
図 3-75 処理・処分の詳細流れ図 (サービス業)

16 自動車整備業

(1) 種類別排出状況

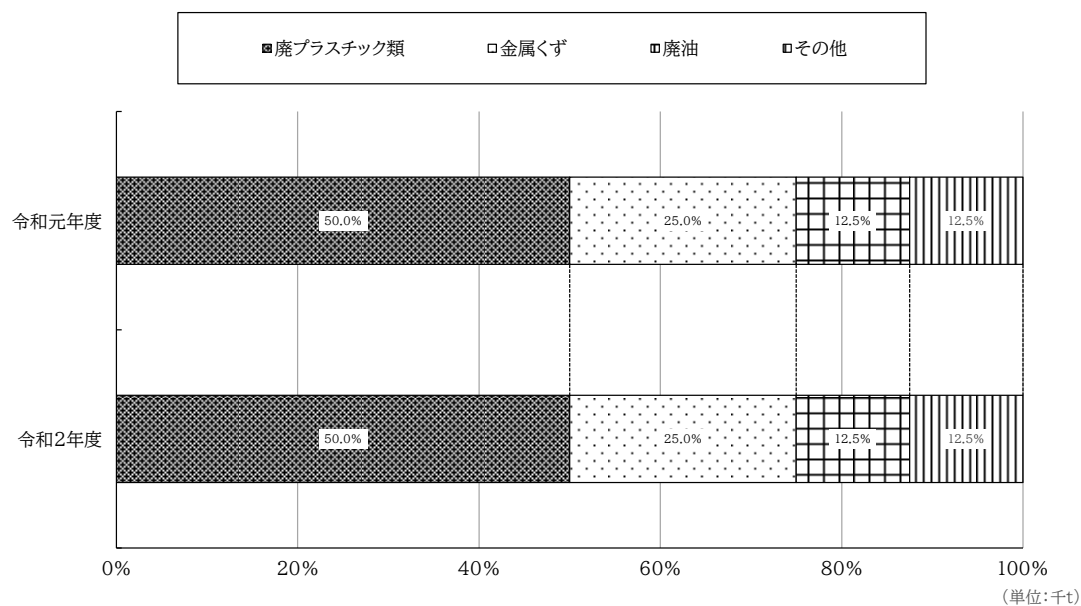
令和2年度の自動車整備業の排出量は8千tで、令和元年度と同様である。

廃棄物の種類別にみると、廃プラスチック類が全体の50.0%にあたる4千t、次いで金属くずが25.0%にあたる2千tであり、この2品目で全排出量の75.0%を占めている。



注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-76 種類別排出量 (自動車整備業)



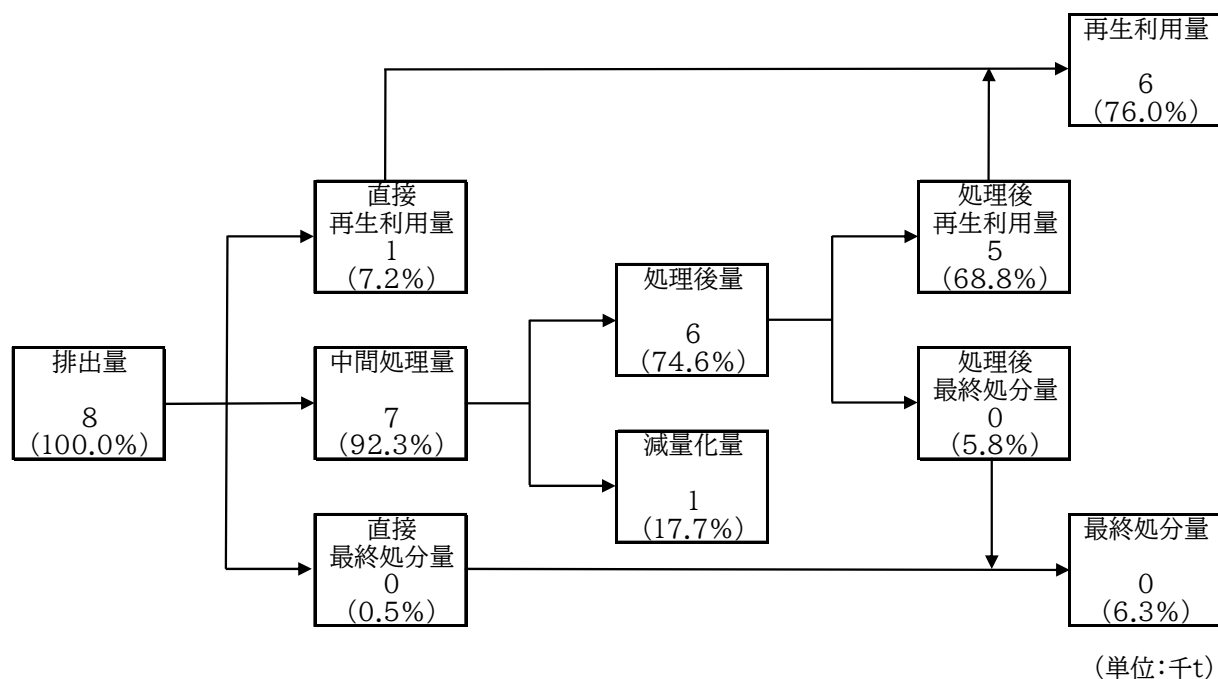
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-77 種類別排出割合 (自動車整備業)

(2) 処理・処分状況

自動車整備業の排出量 8 千 t のうち、92.3%にあたる 7 千 t が中間処理され、直接再生利用されるのは、排出量の 7.2%にあたる 1 千 t、直接最終処分された量は 0.5%にあたる 0.04 千 t である。中間処理される 7 千 t の産業廃棄物は、破碎等の中間処理を経て 6 千 t に減量化され、そのうち 5 千 t が再生利用、0.4 千 t が最終処分されている。

その結果、排出量の 76.0%にあたる 6 千 t が再生利用、17.7%にあたる 1 千 t が減量化されており、6.3%にあたる 0.5 千 t が最終処分されている。

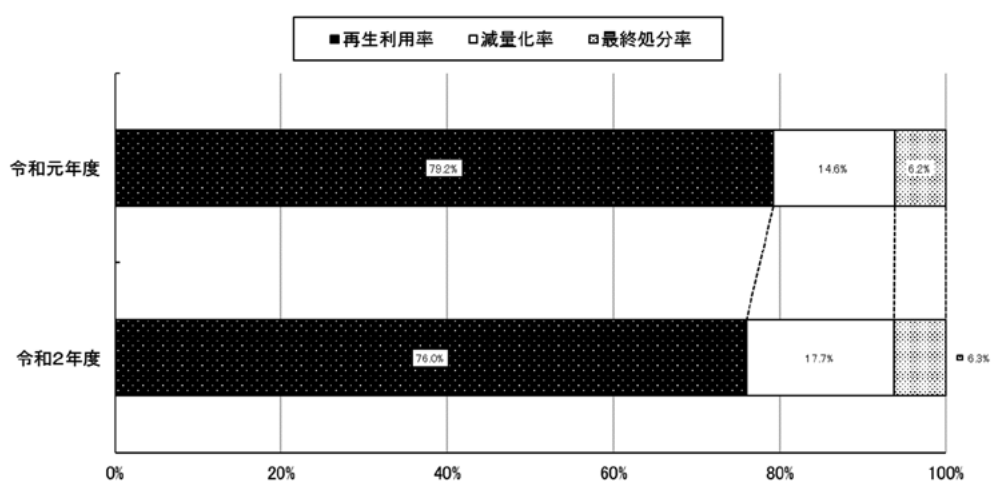
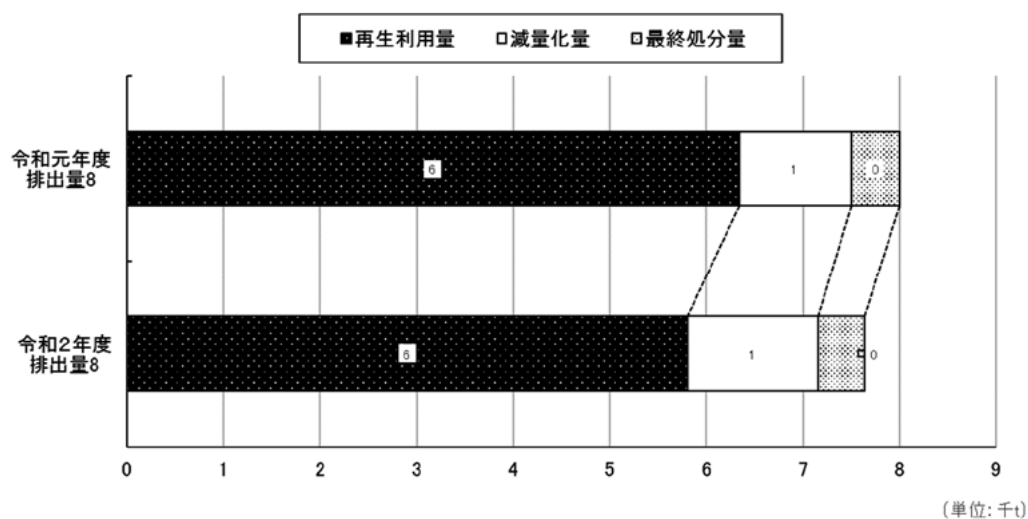


() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-78 処理・処分の流れ図 (自動車整備業)

令和元年度と令和2年度の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量とその割合を比較すると、再生利用率は3.3%減少、減量化率は3.2%増加、最終処分率は0.1%増加している。

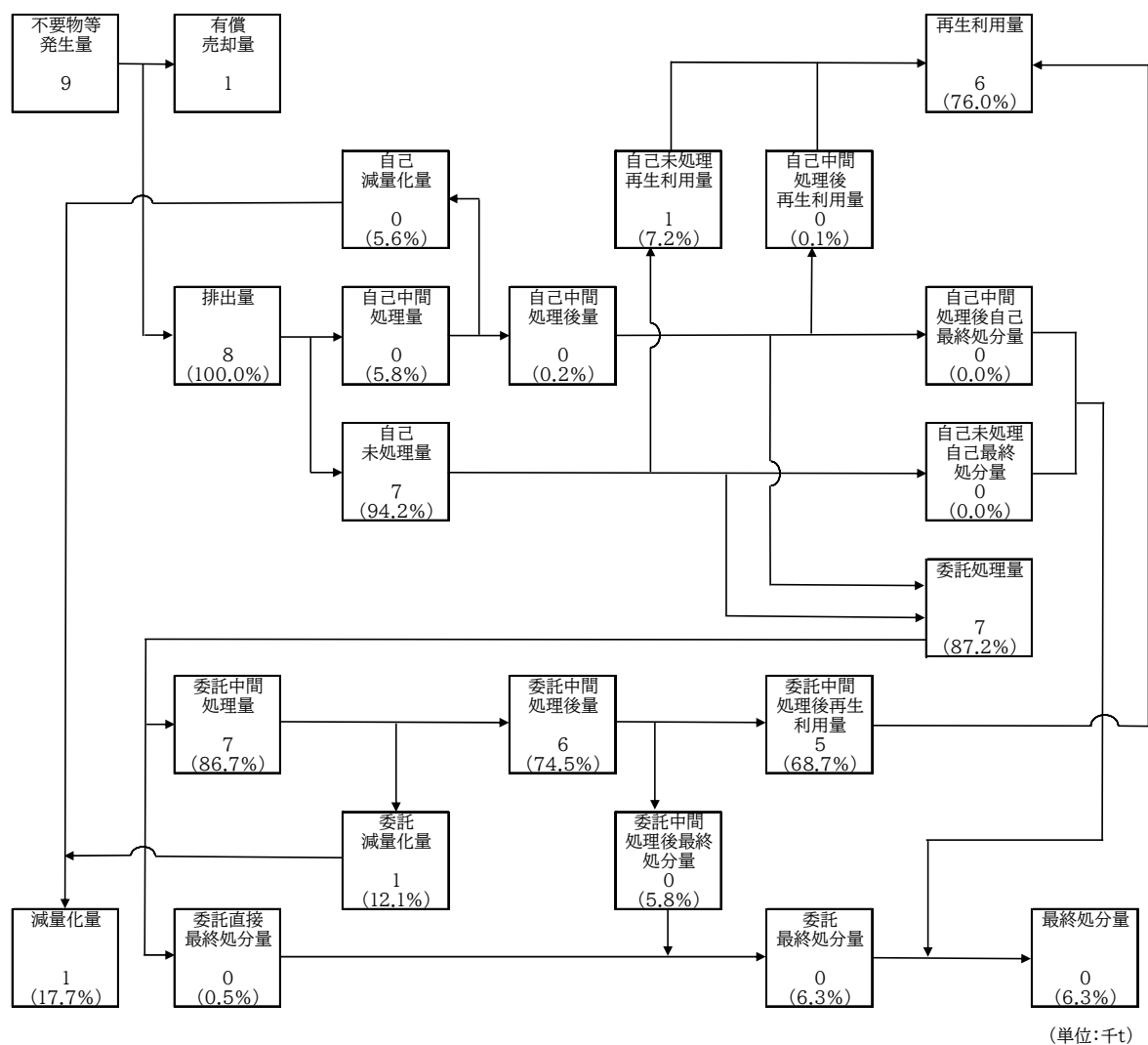


注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-79 再生利用・減量化・最終処分状況 (自動車整備業)

(上: 処理・処分量 下: 処理・処分割合 排出量を100%とする)

廃棄物の処理・処分の詳細な流れ図を以下に示す。



() 内の数字は排出量に対する割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 3-80 処理・処分の詳細流れ図 (自動車整備業)

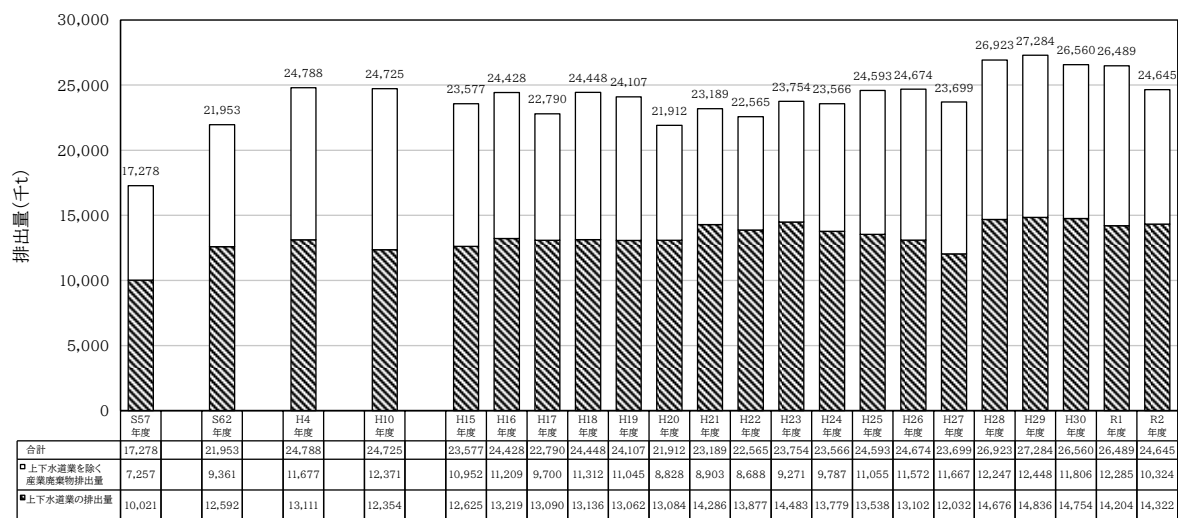
第 4 編 産業廃棄物量の推移

1 排出量の推移

(1) 全業種

都内における、全業種の産業廃棄物排出量の推移は次に示すとおりである。

排出量は、平成 15 年度から平成 27 年度までは増減を繰り返しながら、おおむね 24,000 千 t 前後で推移していたが、平成 28 年度に大幅に増え、以降平成 28 年度をピークに減少傾向にある。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

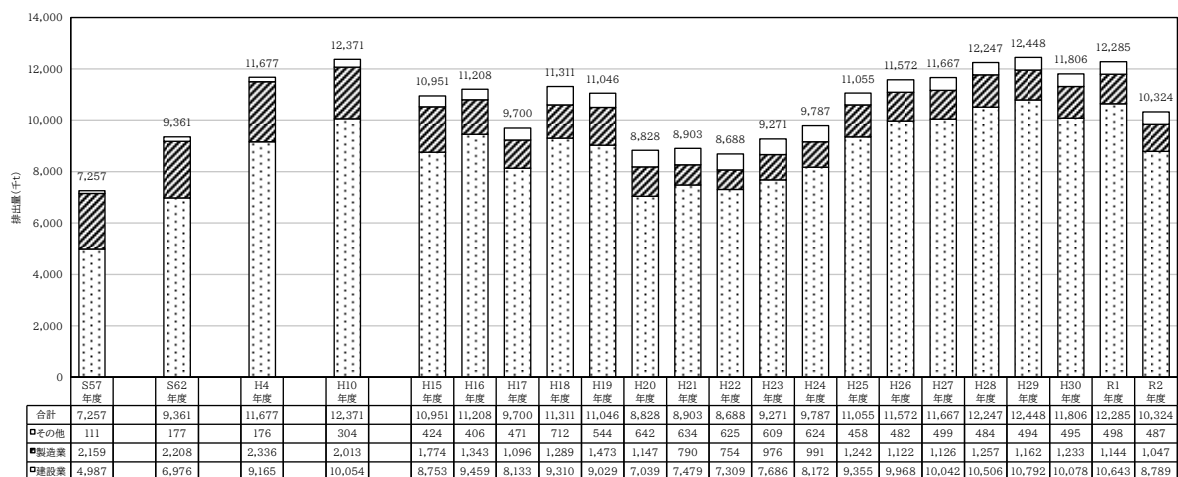
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-1 産業廃棄物排出量の推移（全業種）

(2) 業種別

図 4-1 で示すとおり、東京都の産業廃棄物排出量の約 6 割は、上下水道業から排出される上下水汚泥である。図 4-2 に示すとおり、上下水道業を除いた排出量は、建設業及び製造業の排出量が 9 割以上を占めている。

上下水道業を除いた排出量は平成 28 年度以降は横ばいで推移していたが、令和 2 年度に大きく減少した。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-2 産業廃棄物の業種別排出量の推移
(上下水道業を除く。)

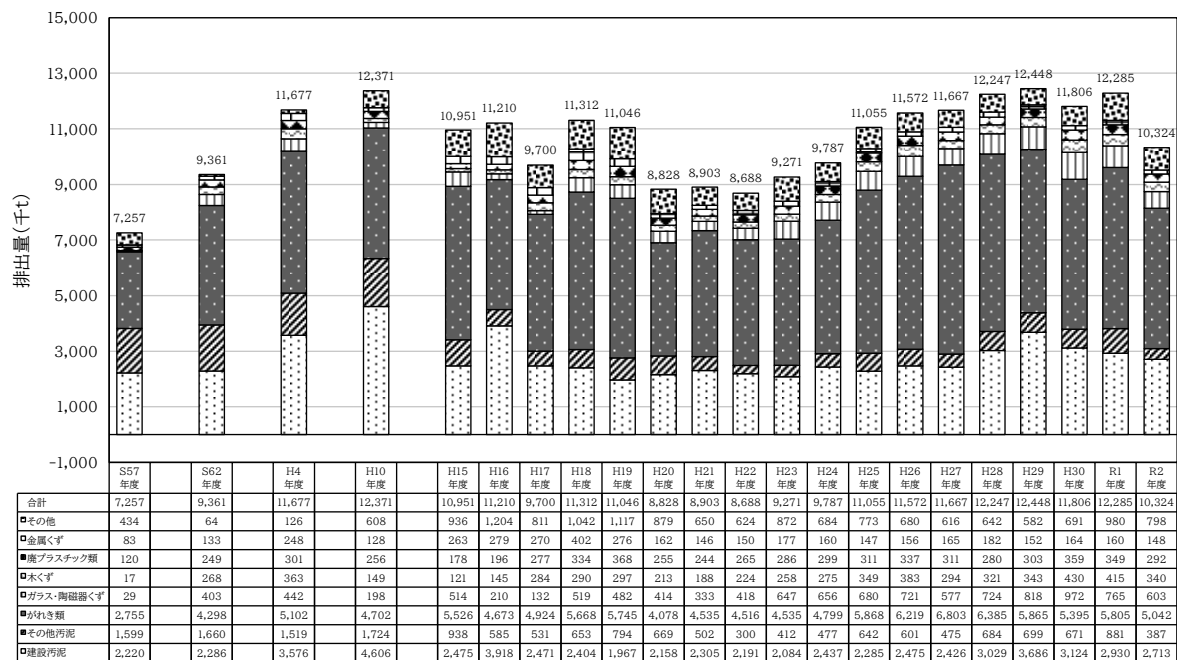
(3) 産業廃棄物の種類別

上下水道業を除く産業廃棄物の種類別排出量の推移は次に示すとおりである。

排出量に占める割合の大きい品目は、がれき類、建設汚泥である。

がれき類は平成 15 年度から平成 21 年度までは 4,000 千 t から 5,700 千 t 前後で増減を繰り返し、平成 21 年度以降は増加傾向で推移しており、平成 27 年度をピークに減少傾向にある。

また、建設汚泥は平成 17 年度から平成 27 年度はほぼ 2,000 千 t から 2,500 千 t 前後で推移し、平成 29 年度をピークに減少傾向にある。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-3 産業廃棄物の種類別排出量の推移
(上下水道業を除く。)

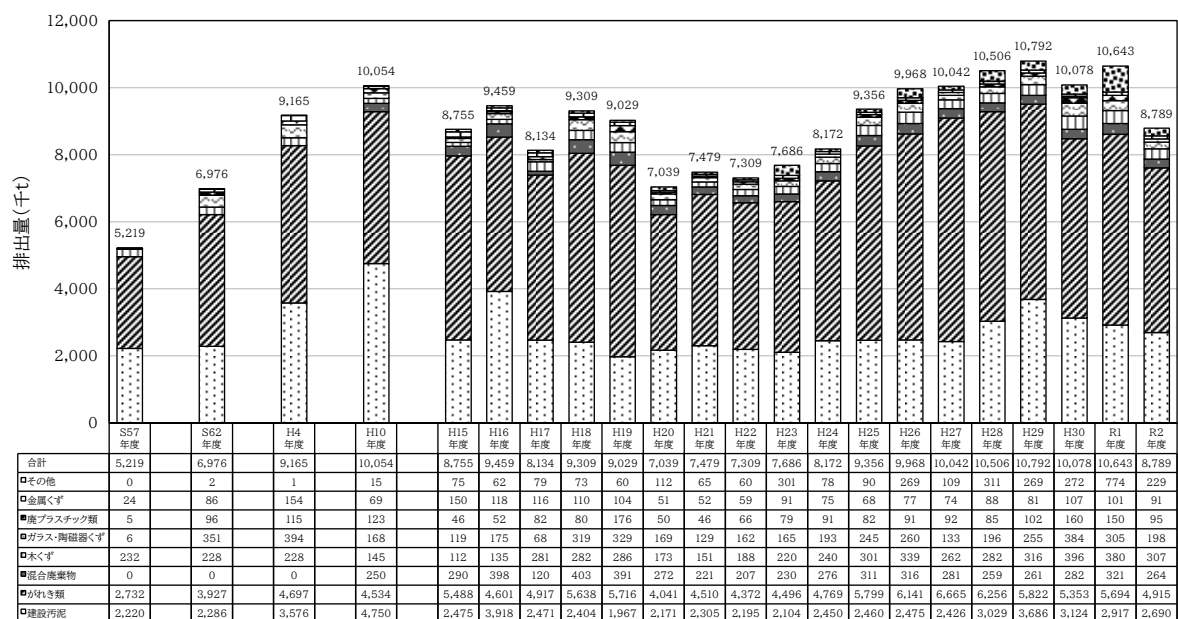
(4) 業種別の詳細

(ア) 建設業

建設業の排出量の推移は次に示すとおりである。

平成 15 年度から平成 19 年度までは 9,000 千 t 前後で推移していたが、平成 20 年度に 7,039 千 t まで減少した。その後は増加傾向で推移していたが、令和 2 年度には減少し 8,789 千 t となっている。

廃棄物の種類別にみると、がれき類が最も多く、次いで建設汚泥の順となっている。全排出量に対するこの 2 種類の排出量が占める割合は大きく、この傾向に変化はみられない。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

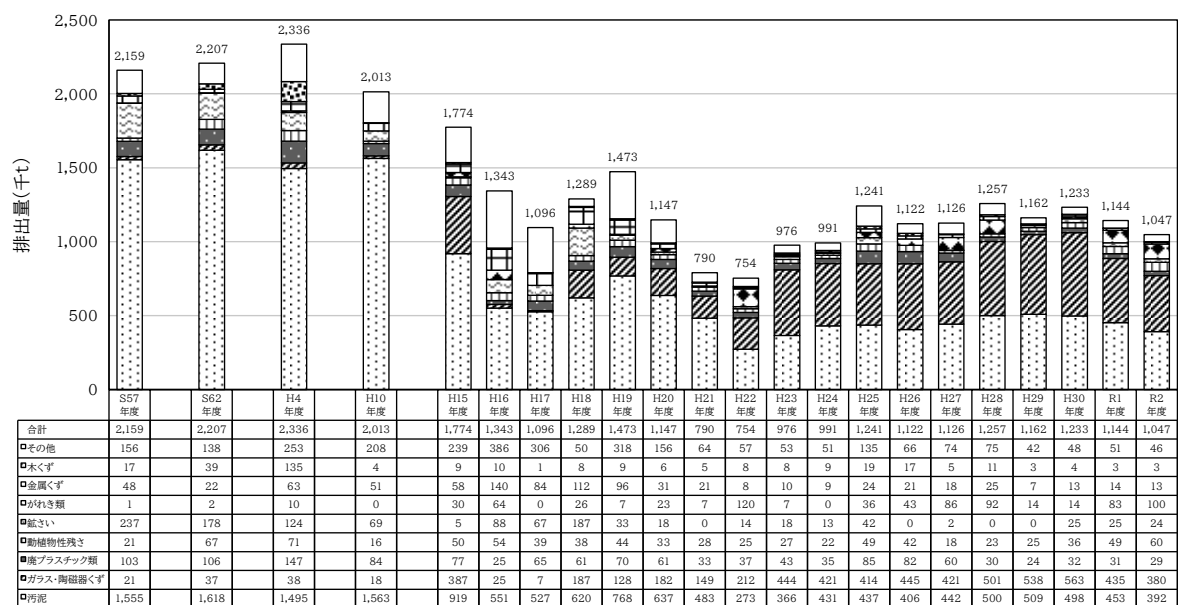
図 4-4 産業廃棄物の業種別排出量の推移
(建設業)

(イ) 製造業

製造業の排出量の推移は次に示すとおりである。

排出量は平成 16 年度から平成 22 年度までは増減を繰り返しながら、減少傾向がみられたが、平成 25 年度以降は横ばいで推移している。

廃棄物の種類別にみると、平成 21 年度までは排出量の大半を汚泥が占めていたが、平成 22 年度以降はガラス・陶磁器くずの排出量の増加に伴い、汚泥の割合はガラス・陶磁器くずとほぼ同等となっている。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

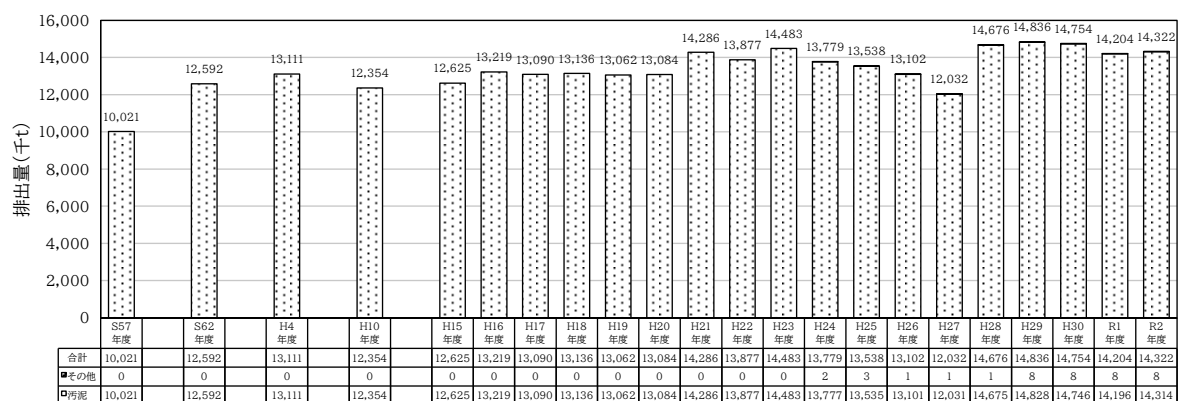
図 4-5 産業廃棄物の業種別排出量の推移
(製造業)

(ウ) 上下水道業

上下水道業の排出量の推移は次に示すとおりである。

上下水道業から排出される主たる廃棄物は上下水汚泥である。

平成 15 年度から平成 20 年度までは横ばいで推移していたが、平成 21 年度に大きく増加し、その後は減少傾向が見られた。しかし、平成 28 年度にまた大きく増加し、平成 29 年度以降は横ばいで推移している。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

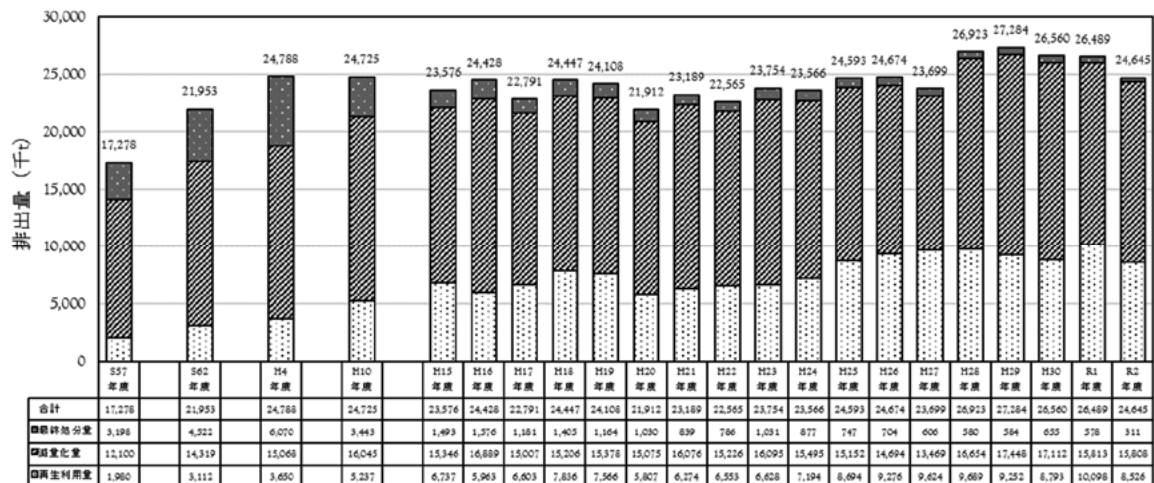
図 4-6 産業廃棄物の業種別排出量の推移
(上下水道業)

2 再生利用・減量化・最終処分状況の推移

(1) 全業種

都内における全業種の産業廃棄物再生利用量、減量化量、最終処分量の推移は、次に示すとおりである。

平成 28 年度に減量化量が大きく増加し、再生利用量及び最終処分量ともに減少傾向で推移していたが、令和 2 年度は減量化量が大きく減少し、再生利用量が増加した。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-7 産業廃棄物の再生利用・減量化・最終処分状況の推移

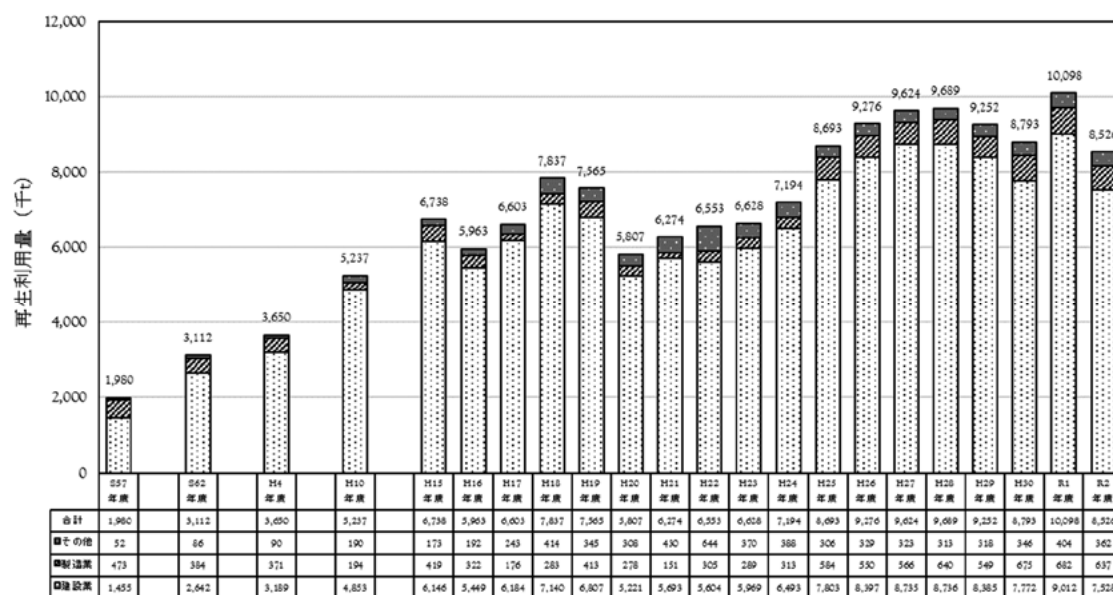
(2) 業種別

1) 再生利用量

産業廃棄物の業種別再生利用量の推移は次に示すとおりである。

再生利用量の中で占める割合の最も大きな業種は建設業である。

建設業の再生利用量は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」と表記する。）が施行された翌年の平成 15 年度以降、増加傾向で推移しており、平成 20 年度に排出量の減少に伴い一時的に大きく減少したが、平成 21 年度から平成 28 年度までは再び増加傾向で推移していた。平成 29 年度以降は減少傾向で推移している。



グラフ内の数字は再生利用量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-8 産業廃棄物の業種別再生利用量の推移

2) 減量化量

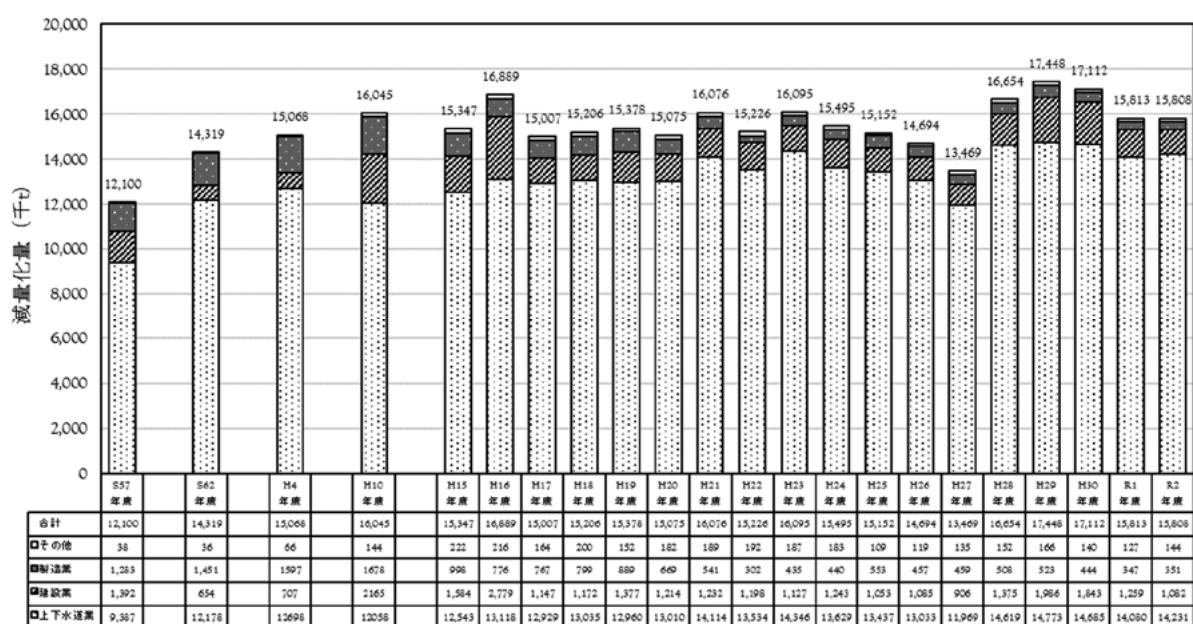
産業廃棄物の業種別減量化量の推移は次に示すとおりである。

減量化量の中で占める割合の最も大きな業種は上下水道業である。

上下水道業の減量化量は、昭和 62 年度以降、増減はあるものの、横ばいで推移していた。平成 27 年度には一時的に大幅な減少が見られたが、平成 28 年度以降は横ばいで推移している。

建設業の減量化量は平成 28 年度以降は増加傾向にあったが、令和元年度からは減少している。

製造業の減量化量は平成 16 年度以降おおむね横ばいで推移している。



グラフ内の数字は減量化量の合計を示す。

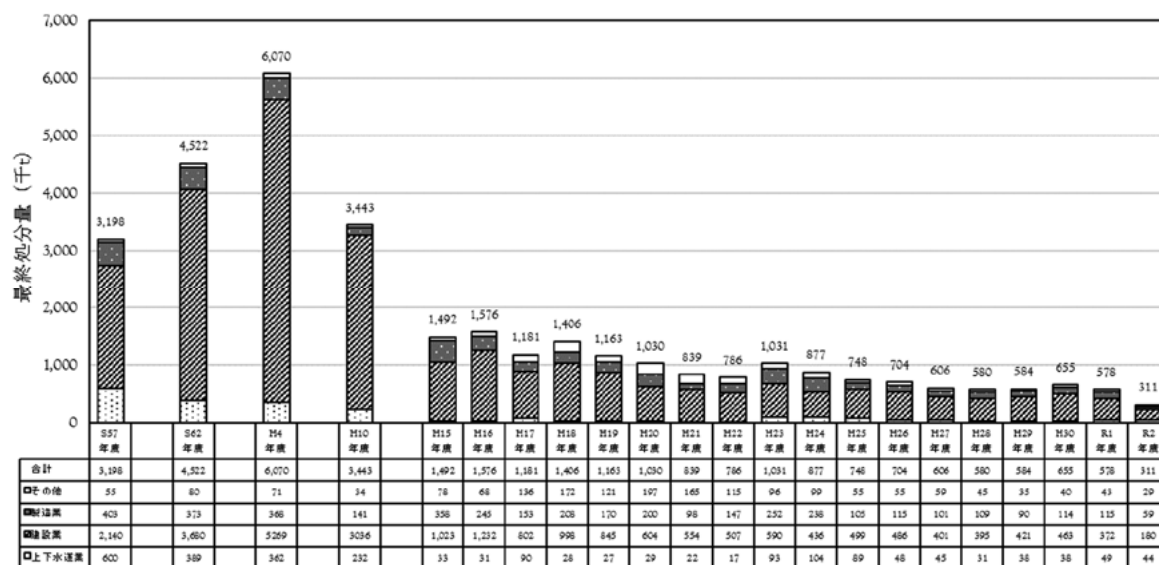
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-9 産業廃棄物の業種別減量化量の推移

3) 最終処分量

産業廃棄物の業種別最終処分量の推移は次に示すとおりである。

いずれの業種についても増減はあるが、おおむね減少傾向で推移している。また、建設業をみると、平成 15 年度以前と比較して、最終処分量が大幅に減少している。これは建設リサイクル法施行に伴うものと考えられる。



グラフ内の数字は最終処分量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-10 産業廃棄物の業種別最終処分量の推移

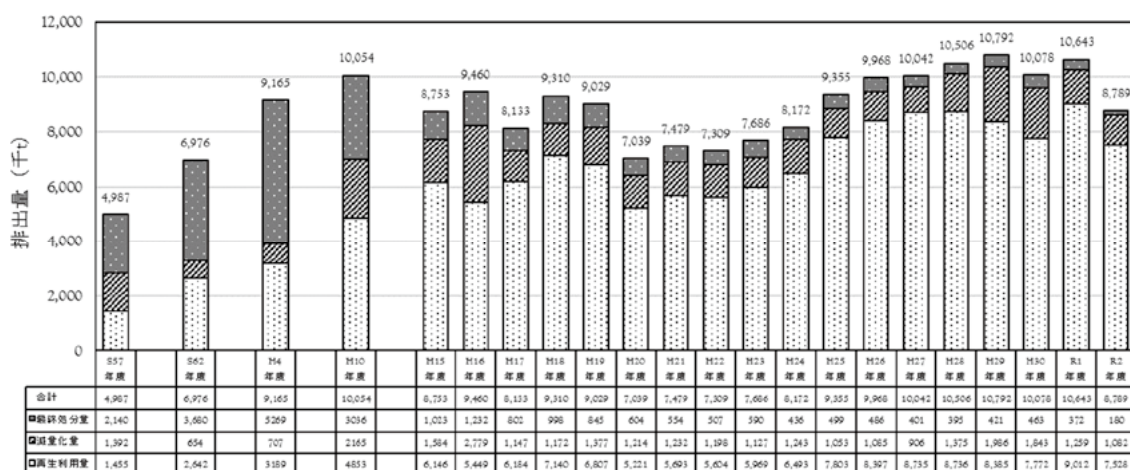
4) 業種毎の詳細

(ア) 建設業

建設業の処理状況の推移は図 4-11、処理比率の推移は図 4-12 に示すとおりである。

平成 4 年度以前の最終処分率は 50%前後であったが、建設リサイクル法施行の翌年にあたる平成 15 年度には 11.7%まで減少し、以降はおおむね減少傾向で推移している。

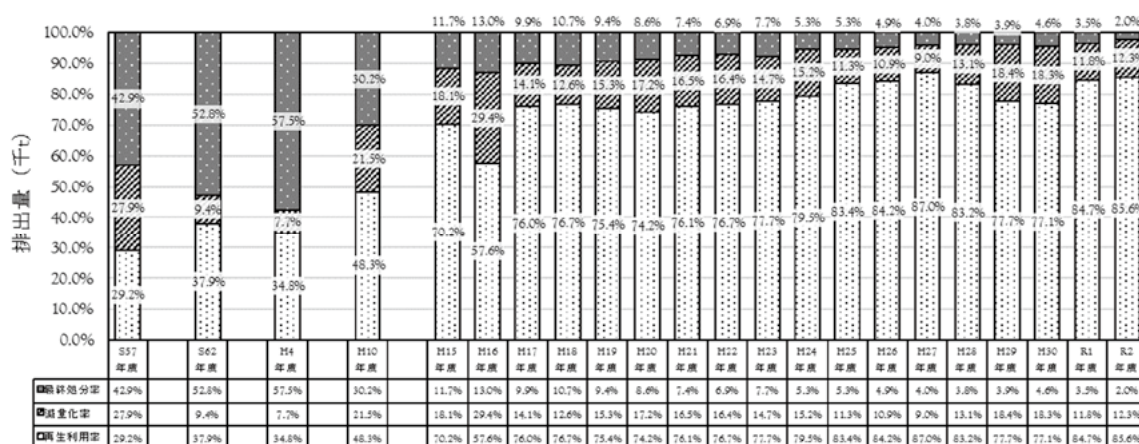
また、平成 17 年度から平成 27 年度までの再生利用率はおおむね増加傾向で推移していたが、平成 28 年度以降減量化率の増加に伴い減少傾向で推移している。しかしながら、令和元年度は増加に転じている。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-11 処理状況の推移
(建設業)



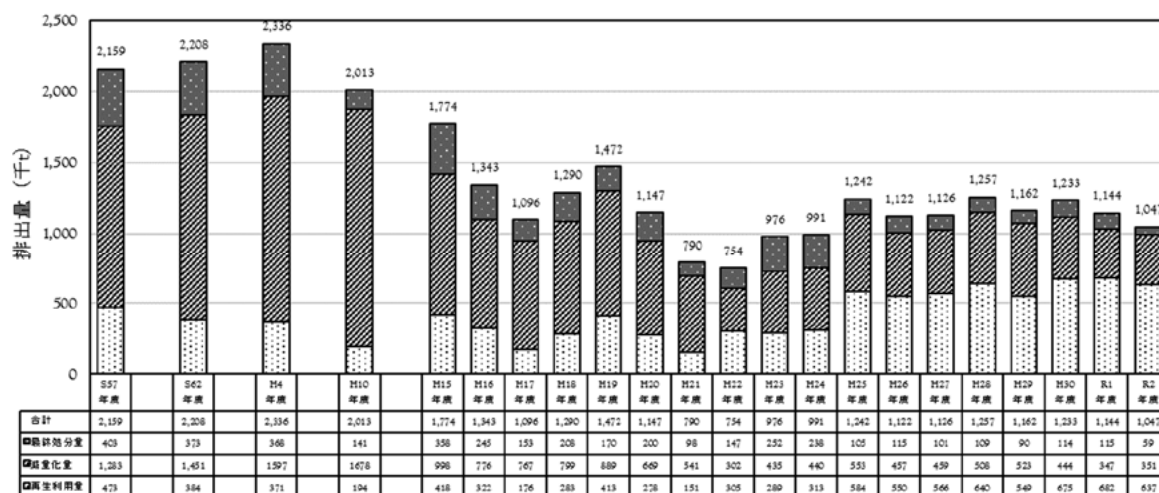
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-12 処理比率の推移
(建設業)

(イ) 製造業

製造業の処理状況の推移は図 4-13、処理比率の推移は図 4-14 に示すとおりである。

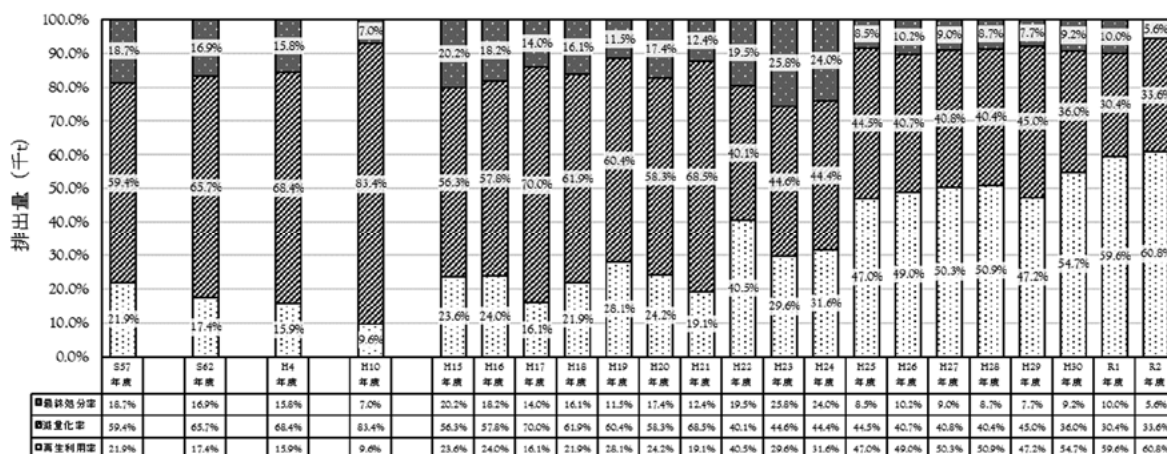
平成 21 年度以前は、減量化率が 60%から 80%前後で推移していたが、近年の排出量に占める割合はガラス・陶磁器くずが増加しており、減量化率は 40%前後まで減少し、再生利用率が増加傾向で推移している。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-13 処理状況の推移
(製造業)



グラフ内の数字は排出量の割合を示す。

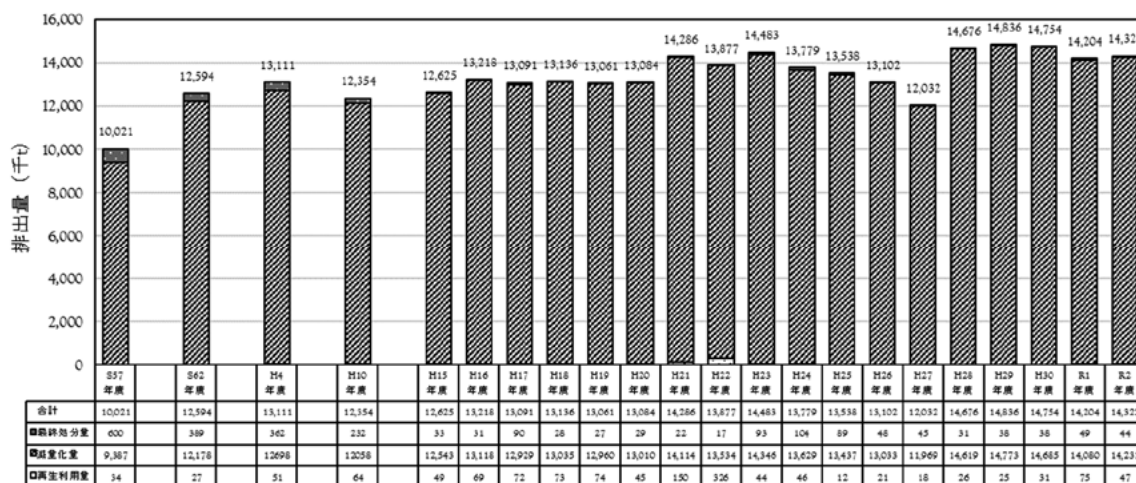
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-14 処理比率の推移
(製造業)

(ウ) 上下水道業

上下水道業の処理状況の推移は図 4-15、処理比率の推移は図 4-16 に示すとおりである。

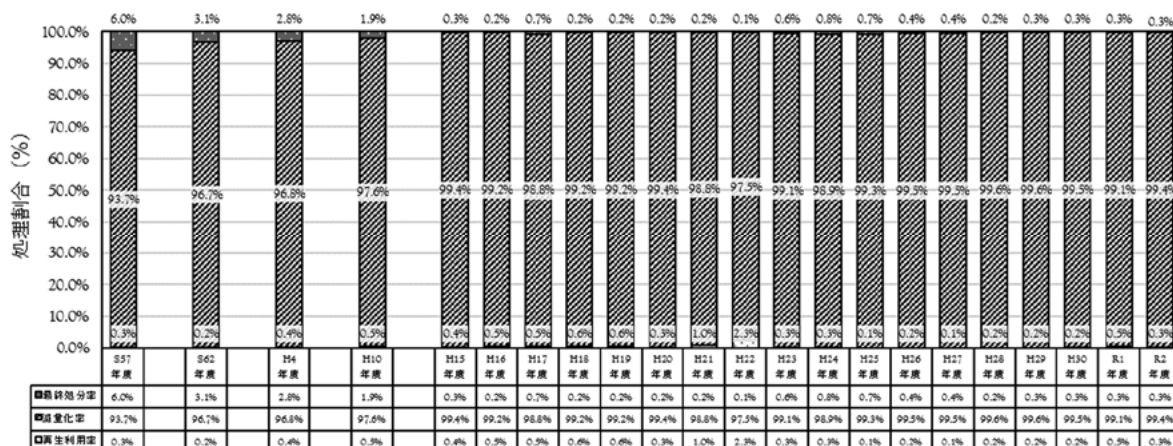
上下水道業から排出される廃棄物は、ほぼ上下水汚泥のみで構成されているため、減量化が主体となっており、平成 15 年度以降の減量化率は 99%前後で推移している。



グラフ内の数字は排出量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-15 処理状況の推移
(上下水道業)



グラフ内の数字は処理量の割合を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-16 処理比率の推移
(上下水道業)

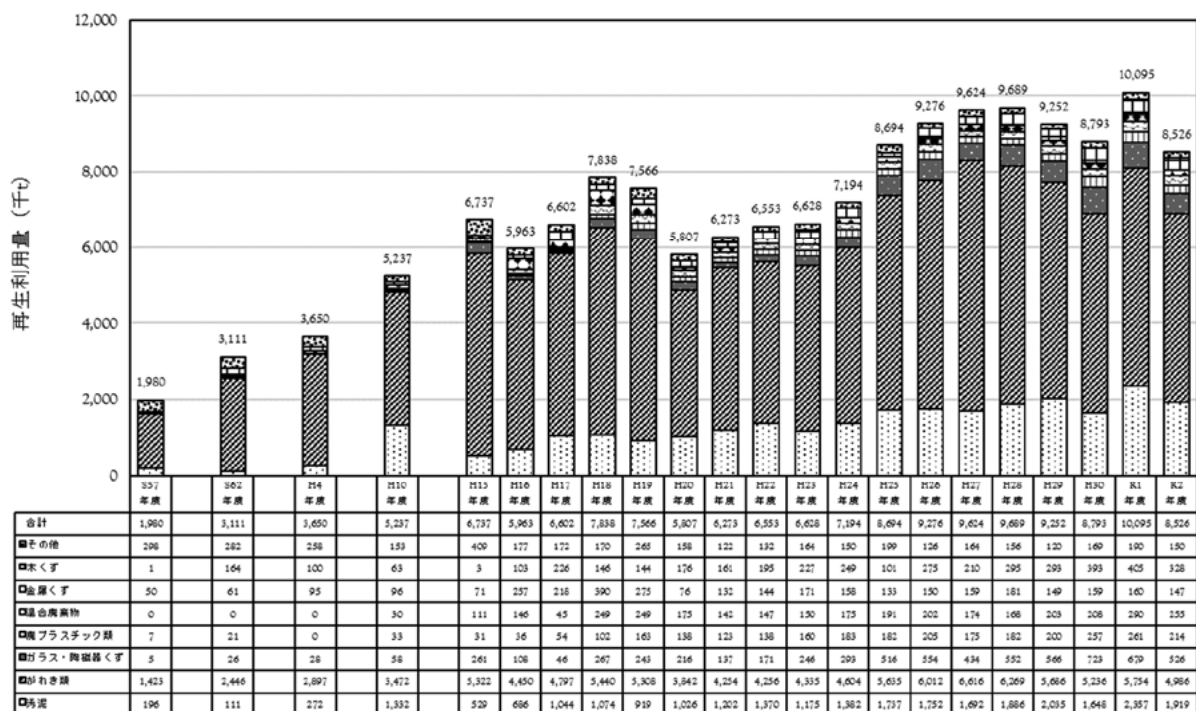
(3) 種類別

1) 再生利用量

産業廃棄物の種類別再生利用量の推移は次に示すとおりである。

再生利用量の中で占める割合が多い品目は、がれき類と汚泥（主に建設汚泥）である。

がれき類の再生利用量は、建設リサイクル法施行の翌年の平成 15 年度に大きく増加しており、平成 16 年度から平成 27 年度は増減を繰り返しつつも、増加傾向で推移していたが、平成 28 年度以降は減少傾向で推移している。



グラフ内の数字は再生利用量の合計を示す。

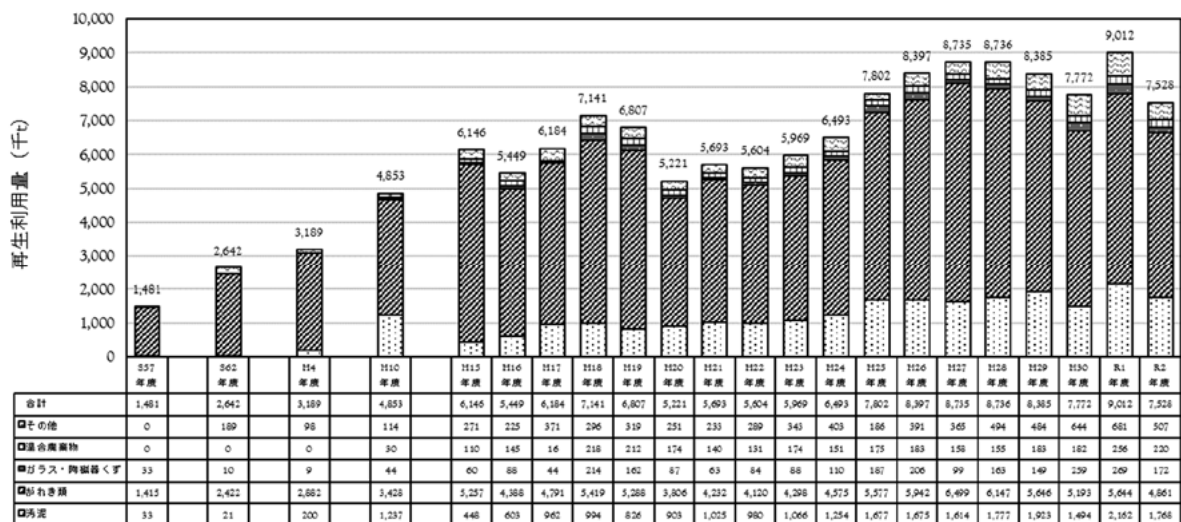
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-17 産業廃棄物の種類別再生利用量の推移

(ア) 建設業

建設業の種類別再生利用量の推移は次に示すとおりである。

建設業の再生利用量は、がれき類が最も多く、平成 20 年度に一時的な減少がみられたが、以降平成 27 年度まで増加傾向で推移していた。平成 28 年度以降は減少傾向で推移している。



グラフ内の数字は再生利用量の合計を示す。

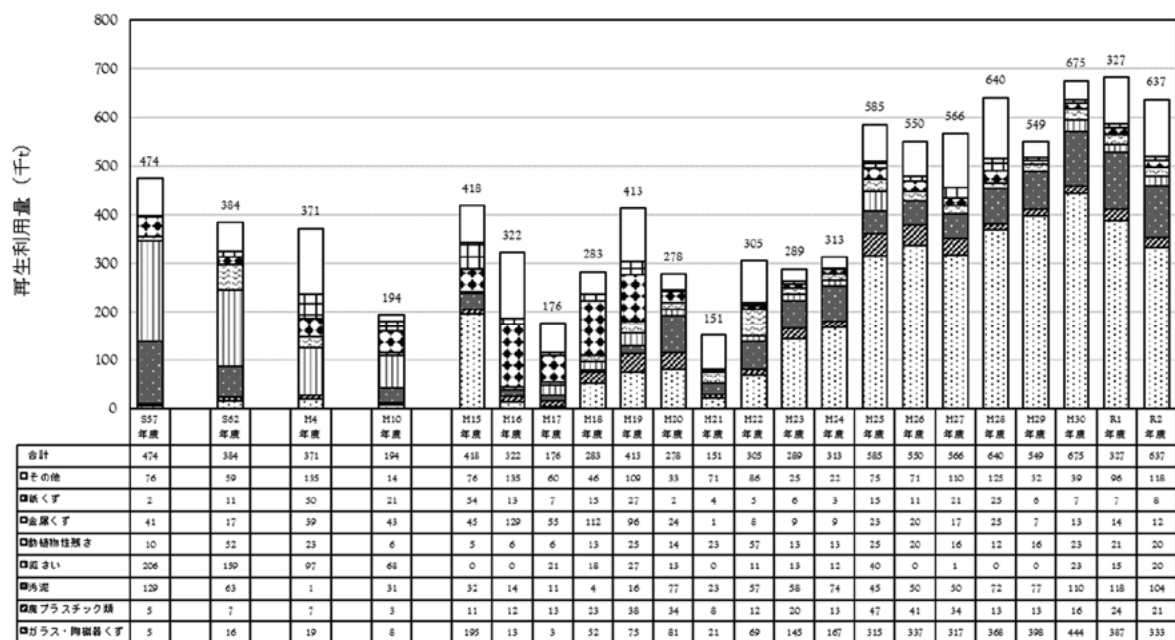
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-18 産業廃棄物の種類別再生利用量の推移
(建設業)

(イ) 製造業

製造業の種類別再生利用量の推移は次に示すとおりである。

製造業の再生利用量は、平成 10 年度までは鉱さいの占める割合が多かった。しかし、平成 15 年度から平成 30 年度はガラス・陶磁器くずが大幅に増加し、以降は増減を繰り返しながらも増加傾向で推移している。



グラフ内の数字は再生利用量の合計を示す。

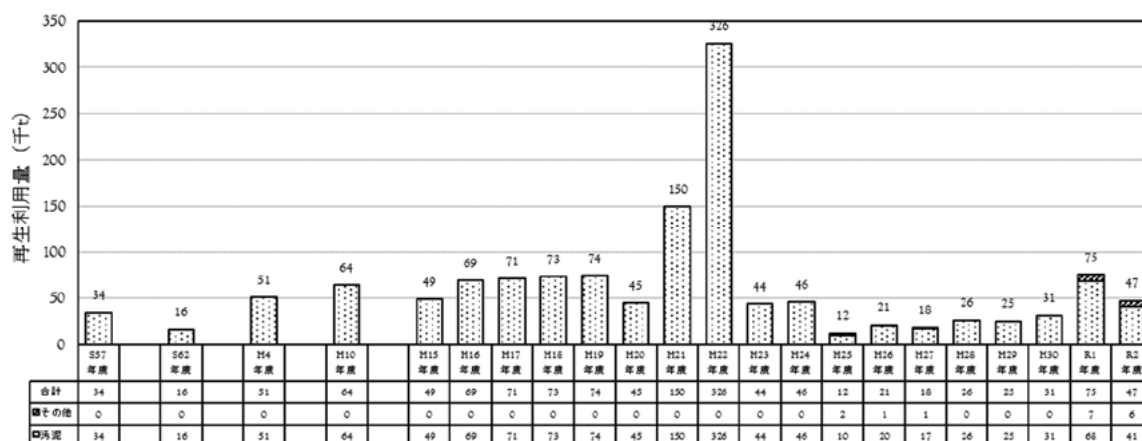
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-19 産業廃棄物の種類別再生利用量の推移
(製造業)

(ウ) 上下水道業

上下水道業の種類別再生利用量の推移は次に示すとおりである。

上下水道業の再生利用量の主たるものは上下水汚泥で、おおむね 50 千 t から 70 千 t 前後を推移していたが、平成 21 年度及び平成 22 年度には一時的に大幅な増加がみられた。平成 26 年度から平成 30 年度は横ばいで推移していたが、令和元年度に一時的に 68 千 t まで増加した。



グラフ内の数字は再生利用量の合計を示す。

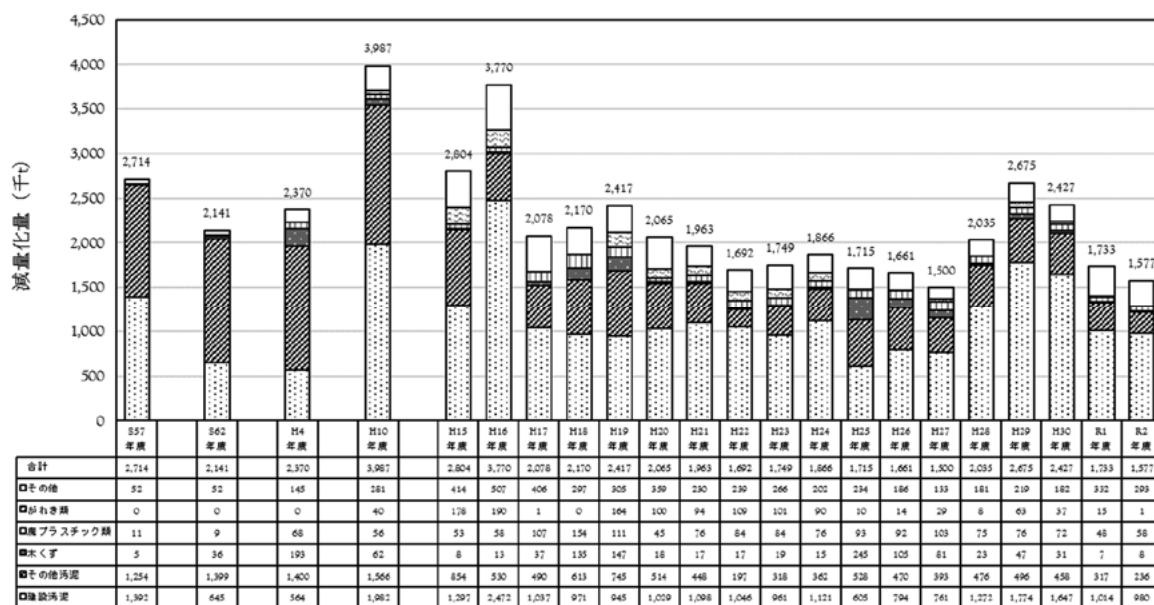
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-20 産業廃棄物の種類別再生利用量の推移
(上下水道業)

2) 減量化量

減量化量の中では上下水汚泥の占める割合が多いため、上下水道業を除く産業廃棄物の種類別減量化量の推移を次に示す。

廃棄物の種類別にみると、建設汚泥及びその他汚泥が多くを占めている。減量化量は年度による変動が大きく、平成 17 年度には一時的に大幅な減少がみられている。平成 20 年度以降については増減はあるものの減少傾向で推移し、平成 28 年度、平成 29 年度にかけて増加したが、平成 30 年度以降は減少に転じている。



グラフ内の数字は減量化量の合計を示す。

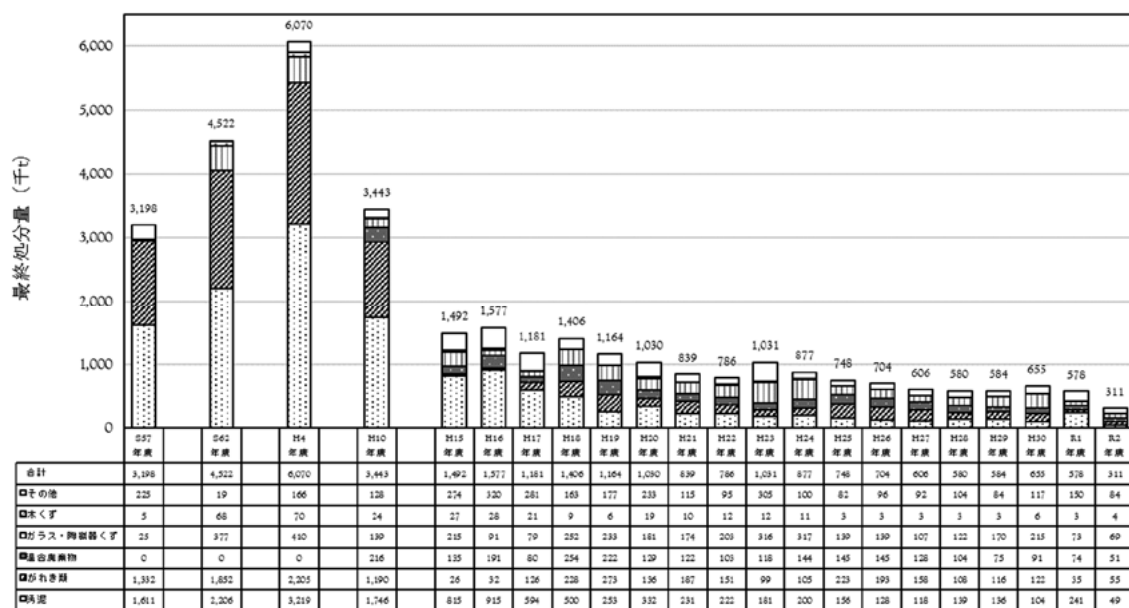
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-21 産業廃棄物の種類別減量化量の推移
(上下水道業を除く。)

3) 最終処分量

産業廃棄物の種類別最終処分量の推移は次に示すとおりである。

平成 15 年度以前の最終処分量に占める割合の多い品目は汚泥（主に建設汚泥）とがれき類で、全体量の約 8 割から 9 割を占めていた。建設リサイクル法の施行後、建設汚泥の減量化及びがれき類の再生利用化が進んだことにより、2 品目の最終処分量は大きく減少し、それに伴って全体量も大幅に減少した。それ以降、増減はあるものの減少傾向で推移している。



グラフ内の数字は最終処分量の合計を示す。

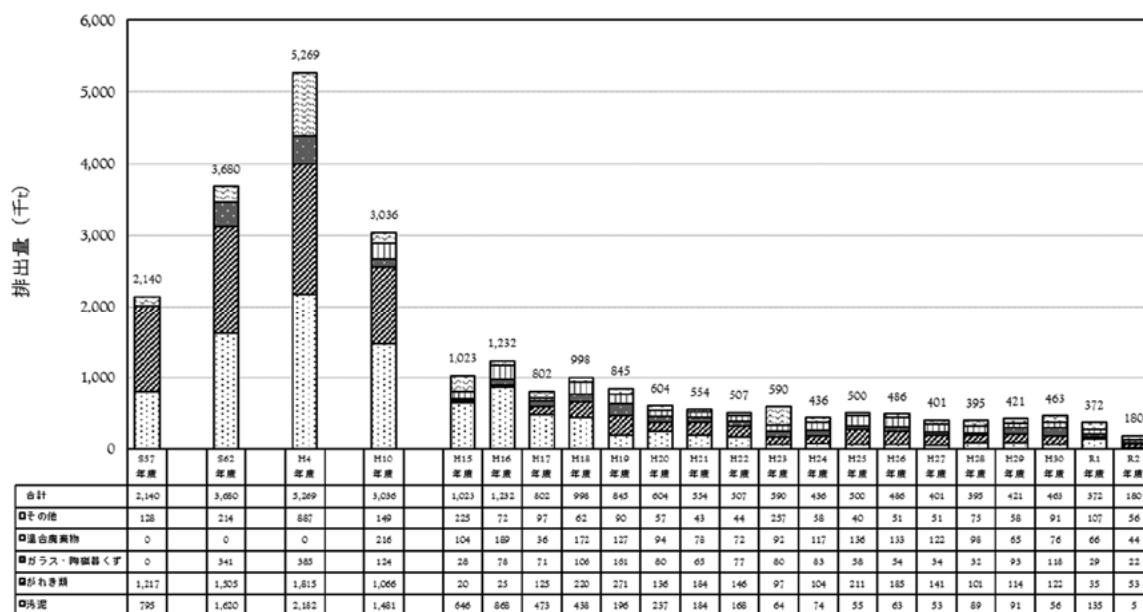
注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-22 産業廃棄物の種類別最終処分量の推移

(ア) 建設業

建設業の種類別最終処分量の推移は以下に示すとおりである。

廃棄物の種類別にみると、汚泥及びがれき類が占める割合が多かったが、建設リサイクル法の施行後に2品目の最終処分量は大幅に減少しており、以降、増減はあるもののおおむね減少傾向で推移している。



グラフ内の数字は最終処分量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

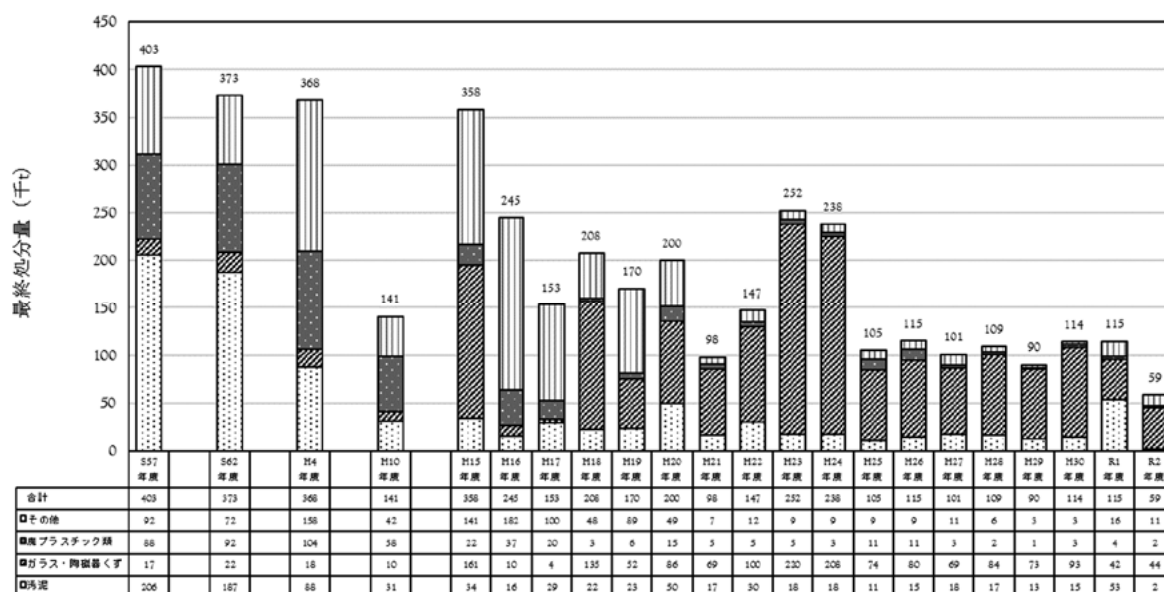
図 4-23 産業廃棄物の種類別最終処分量の推移
(建設業)

(イ) 製造業

製造業の種類別最終処分量の推移は次に示すとおりである。

最終処分量は大きく増減を繰り返しながらも、減少傾向で推移している。

廃棄物の種類別にみると、平成 10 年度までは汚泥と廃プラスチック類が多くを占めていたが、平成 15 年度に一時的にガラス・陶磁器くずが大幅に増加した。平成 16、17 年度は減少したものの、それ以降は最終処分量の大半をガラス・陶磁器くずが占めている。



グラフ内の数字は最終処分量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

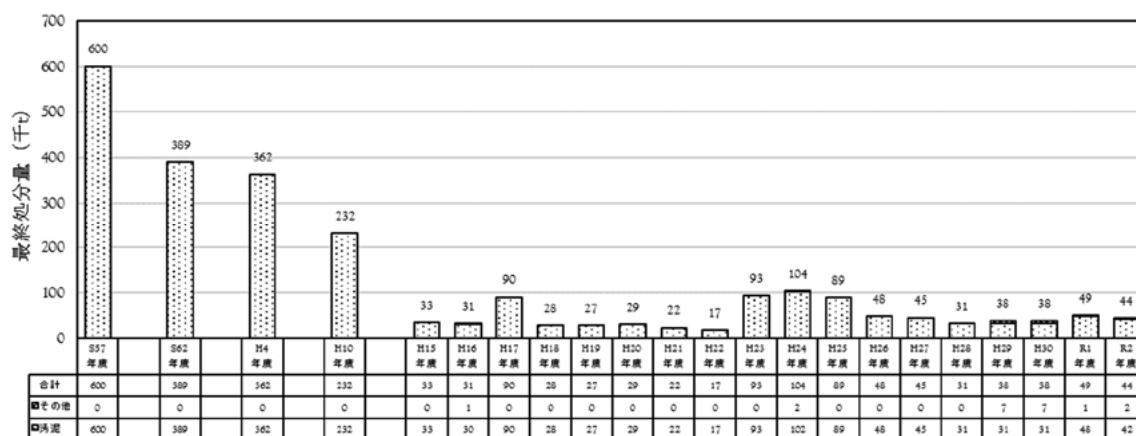
図 4-24 産業廃棄物の種類別最終処分量の推移
(製造業)

(ウ) 上下水道業

上下水道業の種類別最終処分量の推移は次に示すとおりである。

廃棄物の種類としては、おおむね汚泥である。

平成 15 年度から平成 22 年度までは、増減はあるものの、緩やかな減少傾向で推移していたが、平成 23 年度の原因事故による放射性物質の影響で再生利用が出来なくなっていたため、平成 23 年度以降 100 千 t 前後で推移していた。平成 26 年度以降は減少傾向で推移しているが、令和元年度は増加に転じた。



グラフ内の数字は最終処分量の合計を示す。

注) 各項目量は四捨五入してあるため、合算値が合わない場合がある。

図 4-25 産業廃棄物の種類別最終処分量の推移
(上下水道業)

**第 5 編 東京都資源循環・廃棄物処理計画に示す
処分量等削減目標の状況**

1 各目標値の達成状況等

産業廃棄物に関する各目標値とその達成状況等は以下に示すとおりである。

表 5-1 各目標値及びその達成状況等

計画名	目標値	達成状況等
東京都資源循環・廃棄物処理計画 平成 28 年 3 月策定 (2016-2020)	【令和 2 年度の目標量】 最終処分量：75 万 t (平成 24 年度比 14.8%減)	【令和 2 年度の状況】 最終処分量：31.1 万 t (平成 24 年度比 64.5%減)

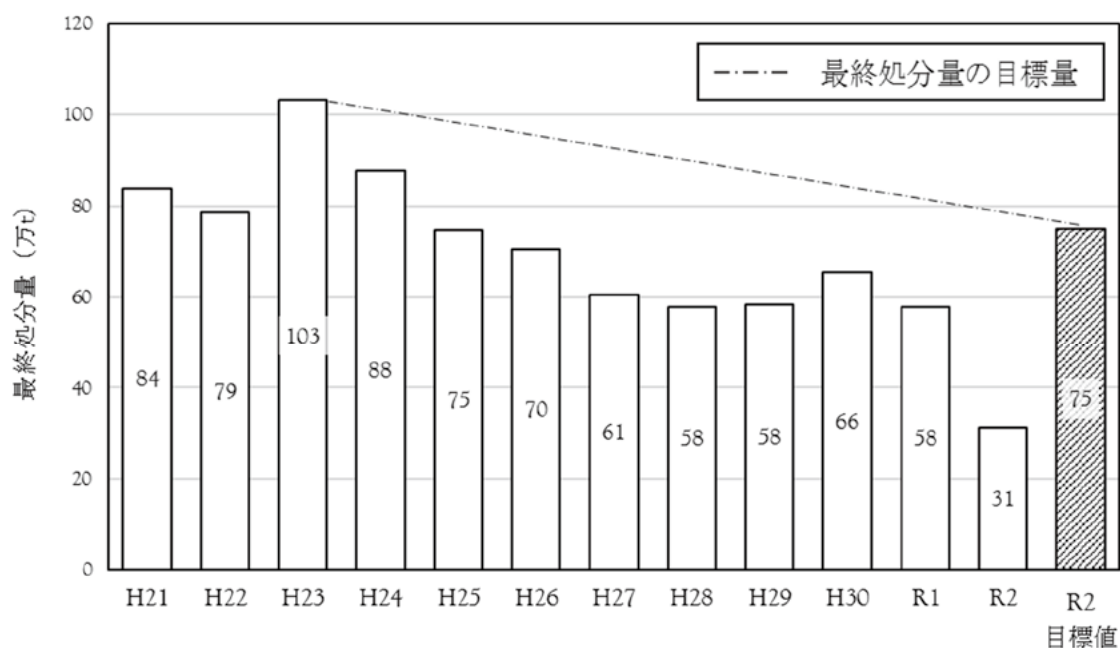


図 5-1 東京都廃棄物処理計画（最終処分量）の達成状況

資料編

1 業種別種類別不要物等発生量・排出量
1-1 不要物等発生量

(単位：千t)

	全業種 合計	建設業	製造業	上下 水道業	農業、 林業	電気・ガス・ 熱供給業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売、 小売業	不動産業	学術、専門	宿泊、 飲食業	生活、 娯楽業	教育、学習	医療、福祉	サービス業 (自動車整備業を除く)	自動車 整備業
合 計	24,769	8,848	1,067	14,337	38	19	20	55	138	58	30	30	3	29	60	27	9
燃 煤	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	17,577	2,822	392	14,329	0	0	0	2	10	2	4	5	0	1	1	8	0
上 水	413	0	4	409	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水	14,062	1	141	13,920	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建 設	2,714	2,691	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 の 汚 泥	388	131	223	1	0	0	0	2	10	2	4	5	0	1	1	8	0
廃 油	22	3	5	0	0	0	0	2	4	0	2	4	0	0	0	0	1
廃 酸	11	0	5	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0
廃 アルカリ	4	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 プラスチック類	302	98	30	0	0	1	6	23	71	15	8	12	2	11	14	7	4
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 属	214	131	18	0	0	1	3	6	19	9	4	4	0	7	3	5	3
ガラス・陶磁器くず	615	201	389	0	0	0	0	1	11	6	2	3	0	1	0	2	0
紙	33	10	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ き	5,048	4,921	100	0	0	0	4	0	2	6	0	0	0	1	0	1	0
コンクリート塊	3,016	2,928	66	0	0	12	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	1,153	1,119	31	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき類	880	874	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ば い じ ん	7	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙	49	38	9	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
紙	342	309	3	0	0	0	1	14	5	8	1	0	0	0	0	0	0
木	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	67	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物性残さ	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	38	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合廃棄物	306	264	2	0	0	0	5	4	11	9	4	1	1	3	1	1	0
その他の	10	2	1	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	1	0	1
特別管理産業廃棄物	76	6	19	0	0	4	0	0	1	0	2	0	0	4	39	0	0
廃 油	6	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
廃 酸	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感 染 性 廃 棄 物	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	39	0	0
特 定 有 害 廃 棄 物	20	6	7	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
廃 P C B 等	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 石 綿 等	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	11	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉍	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
廃 アルカリ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1 業種別種類別不要物等発生量・排出量

1-2 排出量

(単位：千t)

	全業種 合計	建設業	製造業	上下 水道業	農業、 林業	電気・ガス・ 熱供給業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売、 小売業	不動産業	学術、専門	宿泊、 飲食業	生活、 娯楽業	教育、学習	医療、福祉	サービス業 (自動車整備業 を除く)	自動車 整備業
合 計	24,645	8,789	1,047	14,322	38	18	19	52	129	54	28	28	3	26	59	25	8
燃 料	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泥	17,560	2,821	392	14,314	0	0	0	2	10	2	4	5	0	1	1	8	0
汚 泥	401	0	4	397	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上 水	14,058	1	141	13,916	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水	2,713	2,690	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建 設	388	130	223	1	0	0	0	2	10	2	4	5	0	1	1	8	0
そ の 他 の 汚 泥	20	3	4	0	0	0	0	2	4	0	2	4	0	0	0	0	1
廃 油	11	0	5	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0
廃 酸	4	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	292	95	29	0	0	1	6	22	69	15	8	11	2	11	13	6	4
廃 プラスチック類	148	91	13	0	0	1	2	4	13	6	3	3	0	5	2	3	2
金 属	607	198	384	0	0	0	0	1	10	5	2	3	0	1	0	2	0
ガラス・陶磁器くず	33	10	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱 さい	5,042	4,915	100	0	0	12	4	0	2	6	0	0	0	1	0	1	0
コンクリート塊	3,013	2,925	66	0	0	12	4	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	1,151	1,117	31	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他ののりくき類	879	874	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0
アソの他、のりくき類	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	7	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	44	34	9	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	340	307	3	0	0	0	1	14	5	8	1	0	0	0	0	0	0
繊維くず	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	60	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0
動物のふん尿	38	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合廃棄物	305	264	2	0	0	0	5	4	11	9	4	1	1	3	1	1	1
その他の	10	2	1	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1
特別管理産業廃棄物	74	6	18	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0	4	39	0	0
廃油	5	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
廃酸	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	20	6	7	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
廃PCB等	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	11	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃汚泥	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
廃アルカリ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-1 全業種

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	24,645	166	105	24,374	8,566	8,360	206	8,526	15,808	311
燃え	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
汚泥	17,560	4	3	17,554	1,961	1,915	46	1,919	15,592	49
上水汚泥	401	0	0	401	36	8	29	8	365	29
下水汚泥	14,058	0	0	14,058	47	33	14	33	14,011	14
建設汚泥	2,713	4	2	2,708	1,727	1,725	2	1,729	980	4
その他の汚泥	388	0	1	387	150	149	1	149	237	2
廃油	20	0	0	20	8	8	0	8	12	1
廃酸	11	0	0	11	4	4	0	4	7	0
廃アルカリ	4	0	0	4	1	1	0	1	2	0
廃プラスチック類	292	1	2	289	231	213	18	214	58	19
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属	148	40	0	108	108	107	1	147	0	1
ガラス・陶磁器	607	1	55	551	539	525	14	526	12	69
鉱さい	33	0	0	33	33	28	6	28	0	6
がれき	5,042	108	2	4,932	4,931	4,878	53	4,986	1	55
コンクリート塊	3,013	12	1	3,000	3,000	2,975	24	2,987	0	26
アスファルト・コンクリート塊	1,151	87	0	1,064	1,062	1,046	16	1,133	1	16
その他のがれき	879	10	0	869	869	856	12	866	0	13
石綿含有産業廃棄物	38	0	31	8	8	2	6	2	0	37
ばいじん	7	0	2	6	6	6	0	6	0	2
紙	44	3	0	41	39	37	1	41	2	1
木	340	7	0	332	325	321	4	328	8	4
繊維	3	0	0	3	3	3	0	3	0	0
植物性残渣	60	1	0	60	19	19	0	20	40	0
動物系固形不燃物	4	0	0	4	3	3	0	3	1	0
動物のふん	38	0	0	38	10	9	0	10	28	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑	305	0	3	302	302	255	48	255	0	51
その他	10	0	0	10	10	8	2	8	0	2
特別管理産業廃棄物	74	0	7	67	24	16	7	16	44	14
廃油	5	0	0	5	4	4	0	4	1	0
廃酸	8	0	0	8	4	4	1	4	4	3
廃アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
感染性廃棄物	40	0	2	38	5	3	2	33	4	4
特定有害廃棄物	20	0	5	15	10	8	2	8	5	7
廃P C B等	4	0	1	4	1	1	0	1	3	1
廃石綿等	5	0	4	1	1	1	0	1	0	4
その他	11	0	1	10	8	6	1	6	2	2
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	6	0	1	5	5	5	0	5	0	1
廃油	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃酸	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表

2-2 全業種（上下水道業を除く）

（単位：千t）

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	10,324	166	104	10,054	8,477	8,314	164	8,479	1,577	267
燃え	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
汚泥	3,247	4	3	3,240	1,878	1,875	4	1,878	1,362	7
上水汚泥	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	142	0	0	142	0	0	0	0	142	0
建設汚泥	2,713	4	2	2,708	1,727	1,725	2	1,729	980	4
その他の汚泥	387	0	1	386	150	149	1	149	236	2
廃油	20	0	0	20	8	8	0	8	12	1
廃酸	11	0	0	11	4	4	0	4	7	0
廃アルカリ	4	0	0	4	1	1	0	1	2	0
廃プラスチック類	292	1	2	289	231	213	18	214	58	19
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属	148	40	0	108	108	107	1	147	0	1
ガラス・陶磁器	607	1	55	551	539	525	14	526	12	69
鉱さい	33	0	0	33	33	28	6	28	0	6
がれき	5,042	108	2	4,932	4,931	4,878	53	4,986	1	55
コンクリート塊	3,013	12	1	3,000	3,000	2,975	24	2,987	0	26
アスファルト・コンクリート塊	1,151	87	0	1,064	1,062	1,046	16	1,133	1	16
その他のがれき類	879	10	0	869	869	856	12	866	0	13
石綿含有産業廃棄物	38	0	31	8	8	2	6	2	0	37
ばいじん	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
紙	44	3	0	41	39	37	1	41	2	1
木	340	7	0	332	325	321	4	328	8	4
繊維	3	0	0	3	3	3	0	3	0	0
植物性残渣	60	1	0	60	19	19	0	20	40	0
動物系固形不燃物	4	0	0	4	3	3	0	3	1	0
動物のふん	38	0	0	38	10	9	0	10	28	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑	305	0	3	302	302	255	48	255	0	51
その他	10	0	0	10	10	8	2	8	0	2
特別管理産業廃棄物	74	0	7	67	24	16	7	16	44	14
廃油	5	0	0	5	4	4	0	4	1	0
廃酸	8	0	0	8	4	4	1	1	4	3
廃アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
感染性廃棄物	40	0	2	38	5	3	2	3	33	4
特定有害廃棄物	20	0	5	15	10	8	2	8	5	7
廃P C B等	4	0	1	4	1	1	0	1	3	1
廃石綿等	5	0	4	1	1	1	0	1	0	4
その他	11	0	1	10	8	6	1	6	2	2
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	6	0	1	5	5	5	0	5	0	1
廃油	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃酸	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-3 建設業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理			再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量		
合計	8,799	143	60	8,586	7,504	7,385	120	1,082	180
燃え	1	0	0	1	1	1	0	1	0
汚泥	2,821	4	2	2,815	1,767	1,764	3	1,048	5
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	1	0	0	1	0	0	0	1	0
建設の汚泥	2,690	4	2	2,684	1,712	1,710	2	972	4
その他汚泥	130	0	0	130	55	54	0	75	1
廃油	3	0	0	3	1	1	0	1	2
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	95	0	1	94	76	71	6	18	6
廃ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属	91	24	0	66	66	66	1	90	1
ガラス・陶磁器	198	0	18	180	176	172	5	172	22
鉱さい	10	0	0	10	10	8	2	8	2
がれき	4,915	106	2	4,808	4,807	4,755	52	4,861	1
コンクリート塊	2,925	11	1	2,912	2,912	2,888	24	2,900	0
アスファルト・コンクリート塊	1,117	84	0	1,033	1,032	1,016	16	1,100	1
その他のがれき	874	10	0	863	863	851	12	861	0
石綿含有産業廃棄物	38	0	31	8	8	2	6	2	37
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙	34	2	0	31	29	29	1	31	1
木	307	6	0	300	294	290	3	296	7
繊維くず	3	0	0	3	3	3	0	3	0
植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑物	264	0	3	261	261	220	41	220	0
その他	2	0	0	2	2	2	0	2	0
特別管理産業廃棄物	6	0	4	3	3	2	1	2	4
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害産業廃棄物	6	0	4	3	3	2	1	2	0
廃P C B等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	5	0	4	1	1	1	1	1	4
その他	1	0	0	1	1	1	0	1	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	1	0	0	1	1	1	1	1	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-4 製造業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	1,047	8	37	1,002	650	629	22	637	351	59
燃 炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	392	0	1	391	105	104	1	104	286	2
上 水	4	0	0	4	0	0	0	0	3	0
下 水	141	0	0	141	0	0	0	0	141	0
建 設	24	0	0	24	15	15	0	15	9	0
そ の 他 の 汚 泥	223	0	1	222	89	89	1	89	133	1
廃 油	4	0	0	4	2	2	0	2	3	0
廃 酸	5	0	0	5	2	2	0	2	3	0
廃 アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃 プラスチック類	29	0	0	29	23	21	2	21	6	2
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 属	13	3	0	9	9	9	0	12	0	0
ガラス・陶磁器くず	384	1	35	349	341	332	9	333	8	44
鉱 さい	24	0	0	24	24	20	4	20	0	4
が れ き	100	3	0	98	98	97	1	99	0	1
コンクリート塊	66	0	0	66	66	66	1	66	0	1
アスファルト・コンクリート塊	31	2	0	29	29	29	0	31	0	0
その他のがれき類	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
紙	9	1	0	8	7	7	0	8	0	0
木	3	0	0	3	3	3	0	3	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
植物性残さ	60	1	0	60	19	19	0	20	40	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混 雑 廃 棄 物	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
そ の 他	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
特別管理産業廃棄物	18	0	1	17	12	8	4	8	5	5
廃 油	2	0	0	2	1	1	0	1	0	0
廃 酸	8	0	0	8	4	4	1	3	1	4
廃 アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
感 染 性 廃 棄 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特 定 有 害 廃 棄 物	7	0	1	7	6	5	1	5	1	2
廃 P C B 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 石 綿 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	7	0	1	7	6	5	1	5	1	2
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 え い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	6	0	1	5	5	5	0	5	0	1
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1
廃 水 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-5 上下水道業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	14,322	0	2	14,320	89	47	42	47	14,231	44
燃え	2	0	0	1	1	1	0	1	0	0
汚泥	14,314	0	0	14,314	83	41	42	41	14,231	42
上水汚泥	397	0	0	397	36	8	28	8	361	28
下水汚泥	13,916	0	0	13,916	47	33	14	33	13,869	14
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	6	0	1	5	5	5	0	5	0	1
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-6 農業、林業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	38	0	0	38	10	9	0	10	28	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	38	0	0	38	10	9	0	10	28	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法令13号物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-7 電気・ガス・熱供給業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	18	0	1	17	15	14	1	14	3	1
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	12	0	0	12	12	12	0	12	0	0
コンクリート塊	12	0	0	12	12	12	0	12	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	4	0	1	4	1	1	0	1	3	1
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	4	0	1	4	1	1	0	1	3	1
廃PCB等	4	0	1	4	1	1	0	1	3	1
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-8 情報通信業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	19	1	0	18	17	16	1	16	1	1
燃 炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 プラスチック類	6	0	0	6	5	4	1	4	1	0
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	2	1	0	2	2	2	0	2	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ き	4	0	0	4	4	4	0	4	0	0
コンクリート塊	4	0	0	4	4	4	0	4	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙 ず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木 ず	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混 合 廃 棄 物	5	0	0	4	4	4	1	4	0	1
その他の	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 P C B 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 石 綿 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 水 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-9 運輸業、郵便業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	52	2	0	50	41	39	2	40	9	3
燃 炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2
上 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
廃 油	2	0	0	2	1	1	0	1	1	0
廃 酸	1	0	0	1	1	1	0	1	1	0
廃 アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
廃 プラスチック類	22	0	0	22	17	16	1	16	5	1
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	4	1	0	3	3	3	0	4	0	0
ガラス・陶磁器くず	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙 ず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木 ず	14	0	0	14	13	13	0	14	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混 合	4	0	0	4	4	3	1	3	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 P C B 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 石 綿 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 じん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 水 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-10 卸売業、小売業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	129	4	2	124	96	89	7	93	28	8
燃 炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	10	0	0	10	1	1	0	1	9	0
上 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	10	0	0	10	1	1	0	1	9	0
廃 油	4	0	0	4	2	2	0	2	2	0
廃 酸	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 プラスチック類	69	0	0	68	53	49	4	50	14	4
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 属	13	4	0	10	10	9	0	13	0	0
ガラス・陶磁器	10	0	1	10	9	9	0	9	0	1
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ き	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
コンクリート塊	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木	5	0	0	5	5	5	0	5	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混 雑 物	11	0	0	11	11	9	2	9	0	2
その他の	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
特別管理産業廃棄物	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
廃 油	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 染 性 廃 棄 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 P C B 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 石 綿 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 石 の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 え い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 水 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-1 1 不動産業、物品賃貸業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	54	2	1	51	46	43	3	46	5	4
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	15	0	0	14	11	11	1	11	3	1
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	6	2	0	5	5	5	0	6	0	0
ガラス・陶磁器くず	5	0	0	5	5	5	0	5	0	1
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	6	0	0	6	6	6	0	6	0	0
コンクリート塊	3	0	0	3	3	3	0	3	0	0
アスファルト・コンクリート塊	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
その他のがれき類	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
木くず	8	0	0	7	7	7	0	7	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑	9	0	0	9	9	7	1	7	0	1
その他	2	0	0	2	2	1	0	1	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表

2-1-2 学術研究，専門・技術サービス業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	28	1	0	26	18	17	1	18	8	2
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0
廃油	2	0	0	2	1	1	0	1	1	0
廃酸	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	8	0	0	8	6	6	0	6	2	1
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	3	1	0	2	2	2	0	3	0	0
ガラス・陶磁器くず	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合廃棄物	4	0	0	4	4	3	1	3	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
廃油	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-13 宿泊業、飲食サービス業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	28	1	0	26	17	16	1	17	9	1
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	5	0	0	5	1	1	0	1	5	0
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	5	0	0	5	1	1	0	1	5	0
廃油	4	0	0	4	2	2	0	2	2	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	11	0	0	11	9	8	1	8	2	1
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	3	1	0	2	2	2	0	3	0	0
ガラス・陶磁器くず	3	0	0	3	3	3	0	3	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃P C B等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-14 生活関連サービス業、娯楽業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	3	0	0	3	3	2	0	2	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	2	0	0	2	2	1	1	1	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-15 教育、学習支援業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	26	1	0	24	18	17	1	18	6	2
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	11	0	0	11	8	8	1	8	2	1
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	5	1	0	4	4	4	0	5	0	0
ガラス・陶磁器くず	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
コンクリート塊	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑	3	0	0	3	3	2	0	2	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	4	0	0	4	1	1	0	1	3	0
廃油	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-16 医療、福祉

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	59	1	2	56	19	16	3	17	37	5
燃 灰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
上 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	13	0	0	13	11	10	1	10	3	1
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	2	0	0	1	1	1	0	2	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混 合 廃 棄 物	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
その他	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
特別管理産業廃棄物	39	0	2	37	5	3	2	3	32	4
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性産業廃棄物	39	0	2	37	5	3	2	3	32	3
特定有害産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃P C B等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 灰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-17 サービス業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	25	1	0	24	17	17	1	18	7	1
燃 炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	8	0	0	8	3	3	0	3	5	0
上 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建 設 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 の 汚 泥	8	0	0	8	3	3	0	3	5	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 プラスチック類	6	0	0	6	5	5	0	5	1	0
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 属	3	1	0	2	2	2	0	3	0	0
ガラス・陶磁器	2	0	0	1	1	1	0	1	0	0
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ き	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき類	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
植物性残渣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	3	0	0	3	2	2	0	2	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政 令 13 号 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混 廃 棄 物	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 P C B 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 石 綿 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 水 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別処理処分総括表
2-18 自動車整備業

(単位：千t)

	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理				再生利用量	減量化量	最終処分量
				処理量	処理後量	処理後 再生利用量	処理後 最終処分量			
合計	8	1	0	7	6	5	0	6	1	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	4	0	0	4	3	3	0	3	1	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	2	1	0	1	1	1	0	2	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法令13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混雑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 種類別処理区分詳細表

(单位: 千t)

[illegible]

3 種類別処理区分詳細表

3-3 建設業	発生量	有価物量	排出量	自己中間処理量										自己末処理量										委託処理量										委託最終処分量	再生利用量	減量化量	最終処分量
				自己中間処理後量					自己減量化量					自己末処理量					委託中間処理後量					委託中間処理量					委託減量化量								
				自己中間処理後量 生利用量	自己中間処理後量 最終処分量	自己中間処理後量 委託処理量	自己中間処理後量 委託最終処分量	自己中間処理後量 委託最終処分量	自己減量化量	自己減量化量	自己減量化量	自己減量化量	自己減量化量	自己末処理量	自己末処理委託量	自己末処理委託最終処分量	自己末処理委託最終処分量	自己末処理委託最終処分量	委託中間処理後量 生利用量	委託中間処理後量 委託処理量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量	委託中間処理後量 委託最終処分量		
合計	8,848	59	8,789	145	81	24	0	56	1	64	8,645	143	0	8,442	60	8,559	8,498	7,361	119	61	1,018	180	7,528	1,082	18												
燃 料	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0												
汚 泥	2,822	1	2,821	57	8	0	0	8	0	50	2,764	4	0	2,758	2	2,767	2,765	1,764	3	2	998	5	1,768	1,048	0												
上 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
汚 泥	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
下 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
汚 泥	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
建 設	2,691	1	2,690	1	1	0	0	1	0	0	2,689	4	0	2,684	2	2,686	2,684	1,710	2	2	972	4	1,714	972	0												
そ の 他 の 汚 泥	131	0	130	56	7	0	0	7	0	49	75	0	0	74	0	82	81	55	54	0	26	1	54	75	0												
廃 油	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	3	3	1	1	0	2	1	2	0													
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
廃 アルカリ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0													
廃 プラスチック類	98	3	95	9	1	0	0	1	0	8	86	0	0																								

3 種類別処理区分詳細表

[illegible]

单位: 千t)

— 163 —

3 種類別処理区分詳細表

3-1 1 不動産業, 物品賃貸業

[illegible]

3 種類別処理処分詳細表

3-1-2 学術研究, 専門・技術サービス業

3-12 学術研究, 専門・技術サービス業

	発生量	有償物量	排出量	自己中間処理量				自己減量化量	自己未処理量				委託処理量				委託中間処理量				委託減量化量	再生利用量	委託最終処分量	減量化量	最終処分量	(単位: 千t)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				自己中間処理後量					自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量							自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量

3 種類別処理処分詳細表

3-13 宿泊業、飲食サービス業

[illegible]

3 種類別処理処分詳細表
3-1-3 生活関連サービス業、娯楽業

(単位：千t)

	発生量	有償物量	排出量	自己中間処理量				自己未処理量				委託処理量				委託最終処分量				減量化量	再生利用量	最終処分量		
				自己中間処理後量				自己減量化量				自己未処理量				委託中間処理量								
				自己中間処理後量 生利用量	自己中間処理後量 最終処分量	自己中間処理後量 委託直後 最終処分量	自己中間処理後量 委託直後 最終処分量	自己減量化量	自己未処理 再生利用量	自己未処理 最終処分量	自己未処理 委託直 最終処分量	委託中間処理後量 生利用量	委託中間処理後量 最終処分量	委託中間処理後量 委託直後 最終処分量	委託最終 処分量	委託減量 化量	委託最終 処分量	再生利用 量	減量化量	最終処分 量				
合 計	3	0	3	0	0	0	0	0	3	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0		
燃 炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
下 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
建 設 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
そ の 他 の 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 プラスチック類	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0		
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金 属 くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鉄 屑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
が れ き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ば ょ り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紙 くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紙 木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
政 令 13 号 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
混 合 廃 棄 物	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0		
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
感 染 性 廃 棄 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特定有害産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 PCB 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 石 綿 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
燃 然 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ば ょ り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃 水 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

3-15 教育, 學習文獻分類別表

事業名	発生量	有価物量	排出量	自己中間処理量				自己減量 化量	自己末処理量				委託処理量						委託最終 処分量	委託減量 化量	委託最終 再生利用 量	減量化量	最終処分 量	
				自己中間処理後量			自己中間 処理後最 終処分量		自己末処 理自己最 終処分量	自己末処 理委託最 終処分量	自己末処 理委託直 接最終処 分量	委託中間 処理量	委託中間 処理後最 終処分量	委託中間 処理後最 終処分量	委託中間 処理後最 終処分量									
				自己中間 処理後最 終処分量	自己中間 処理後最 終処分量	自己中間 処理後最 終処分量																		
																自己中間 処理後最 終処分量	自己中間 処理後最 終処分量	自己中間 処理後最 終処分量						
計	29	3	26	2	0	0	0	0	2	24	1	0	22	0	22	18	17	1	0	4	2	18	6	2
燃 料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃 料	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
上 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 棄	11	0	11	1	0	0	0	0	1	10	0	0	9	0	10	8	8	1	0	1	1	8	2	1
廃 棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 棄	7	2	5	0	0	0	0	0	0	5	1	0	4	0	4	4	4	0	0	0	0	0	5	0
金 属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガ ラス	1	0	1	0	0																			

3 種類別処理処分詳細表
3-16 医療、福祉

(単位: 千t)

	発生量	有償物量	排出量	自己中間処理後量			自己未処理量				委託処理量					委託最終処分量	再生利用量	減量化量	最終処分量				
				自己中間処理後量			自己未処理量				委託処理量												
				自己中間処理後量 処理後再生利用量	自己中間処理後委託処理量	自己中間処理後委託最終処分量	自己未処理量 自己中間処理後再生利用量	自己未処理委託処理量	自己未処理委託最終処分量	自己未処理委託最終処分量	委託中間処理後量	委託中間処理後量			委託直接最終処分量								
												委託中間処理後量 処理後再生利用量	委託中間処理後委託処理量	委託中間処理後委託最終処分量									
合 計	60	1	59	4	0	0	0	0	0	0	55	1	0	53	2	2	19	16	3	5			
燃 灰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
汚 泥	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
上 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
下 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
建 設 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
そ の 他 の 汚 泥	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 酸	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 プラスチック類	14	0	13	2	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12	0	1	10	1	1	10			
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金 属 くず	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0			
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
鉄 屑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
が れ き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
紙 くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
木 くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
動物性残渣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
政 令 13 号 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
混 合 廃 棄 物	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0		
そ の 他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
特別管理産業廃棄物	39	0	39	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	37	2	2	5	3	2	32	4		
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
感 染 性 廃 棄 物	39	0	39	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	37	2	2	5	3	2	32	3		
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 PCB 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 石 綿 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
燃 灰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃 水 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

3 種類別処理処分詳細表
3-18 自動車整備業

	発生量	有償物量	排出量	自己中間処理量				自己未処理量				委託処理量				委託中間処理量				委託最終処分量				減量化量	再生利用量	委託最終処分量	最終処分量				
				自己中間処理後量				自己減量化量				自己未処理量				委託中間処理後量				委託最終処分量											
				自己中間処理後量 生利用量	自己中間処理後量 最終処分量	自己中間処理後量 委託直後最終処分量	自己中間処理後量 委託直後最終処分量	自己減量化量	自己未処理 再生利用量	自己未処理 最終処分量	自己未処理 委託直後最終処分量	自己未処理 委託直後最終処分量	自己未処理 委託直後最終処分量	自己未処理 委託直後最終処分量	自己未処理 委託直後最終処分量	委託中間処理後量 生利用量	委託中間処理後量 最終処分量	委託中間処理後量 委託直後最終処分量	委託中間処理後量 委託直後最終処分量	委託最終処分量	委託最終処分量	委託最終処分量	委託最終処分量								
合 計	9	1	8	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	7	7	6	5	0	0	1	0	6	1	0	0					
燃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
上 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
下 水 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
建 設 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
そ の 他 の 汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 油	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0					
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 プラスチック類	4	0	4	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	0	3	1	0	0					
ゴ ム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
金 属	3	1	2	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0					
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
鉄 屑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
が れ き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
アスファルト・コンクリート塊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他のがれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ば ん じ ゅ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
紙 屑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
木 屑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
動物性残渣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
動物系固形不燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
政 令 13 号 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0					
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
特定有害廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 PCB 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 石 綿 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
指定下水道汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
鉱 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
燃 さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ば ん じ ゅ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
汚 泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃 水 銀 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

4 種類別広域処理状況
4-1 全業種 (その1)

[illegible]

4-2 全業種（上下水道除く）（上下水道業を除く）（その2）

(その2)

1000000

1000000

1000000

1000000

1000000

1000000

(单位: 千t)

[illegible]

4 種類別広域処理状況
4-3 建設業（その2）

(単位：千t)

処分先	特別管理産業廃棄物																
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石棉等	その他	指定下水道汚泥	鉱さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等
合 計	3	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都	2	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東	3	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 種類別広域処理状況
4-4 製造業（その2）

(単位：千t)

処分先	特別管理産業廃棄物										その他									
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石棉等	指定下水道汚泥	鉛・さい	燃え殻	はいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等				
合 計	17	2	8	1	0	7	0	7	0	0	5	0	0	0	1	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
千葉県	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0				
東京都	15	7	0	0	6	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0				
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
関東	17	2	8	1	7	0	0	7	0	0	5	0	0	0	1	0				
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

4 種類別広域処理状況

[illegible]

4 種類別広域処理状況
4-5 上下水道業 (その2)

(单位:千t)

[illegible]

4 種類別広域処理状況
4-6 農業、林業（その1）

処分先	合計	燃え殻汚泥	汚泥				廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	紙くず	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	がれき類			繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不ふん尿要物	動物の死体	政令13号物	混合廃棄物	その他																	
			上水汚泥	下水汚泥	建設汚泥	その他の汚泥											コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他のがれき類																								
合 計	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0																	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
埼玉県	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
千葉県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0																	
東京都	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0																	
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
三重県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0																	
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
北海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
東北	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0																	
関東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
東海・中部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0																	
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	

4 種類別広域処理状況
4-6 農業、林業 (その2)

(単位:千t)

処分先	特別管理産業廃棄物										その他									
	廃油		廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石綿等	その他					廃アルカリ	廃酸	廃水銀等				
	指定下水汚泥	鉍さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃アルカリ	廃酸	廃水銀等	指定下水汚泥	鉍さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃アルカリ	廃酸	廃水銀等		
全計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

4 種類別広域処理状況
4-7 電気・ガス・熱供給業 (その1)

処分先	合計	燃え殻	汚泥	廃油			廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	紙くず	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	がれき類		繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不ふん尿要物	動物の死体	政令13号物	混合廃棄物	その他
				上水汚泥	下水汚泥	建設汚泥									コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊							
合 計	17	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	12	12	0	0	0	0	0	0	0
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
千葉県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
東京都	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	17	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12	12	0	0	0	0	0	0	0
関東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 種類別広域処理状況
4-7 電気・ガス・熱供給業 (その2)

(単位:千t)

処分先	特別管理産業廃棄物										その他									
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石棉等	指定下水道汚泥	銅さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等				
合 計	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東京都	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
関東	4	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

4 種類別広域処理状況

4-8 情報提供業 (その1)	処分先	合計	燃え殻 汚泥	汚泥			廃油	廃炭	廃アル カリ	廃プラ スチック類	ゴム くず	金属 くず	ガラス・ 陶磁器 くず	鋭い・ 鋸ぎ くず	いれか れき類	その他 の が れ き 類			石綿含 有産業 廃棄物	ばい じん	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	動物系 固形不 要物	動物の ふん尿	動物の 死体	政令3 号物	(単位：トン)																					
				下水 汚泥	建設 汚泥	その他 の汚泥											コン クリ 塊	アスファ ルト・コ ンクリ ート塊	その他 の が れ き 類																															
合	計	18	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2	0	0	4	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1																			
北海道		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
青森県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
岩手県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
宮城県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
秋田県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
山形県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
福島県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
茨城県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
栃木県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
群馬県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
埼玉県		2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0																			
千葉県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			
東京都		11	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1																			
神奈川県		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0																																			

4 種類別広域処理状況
4-8 情報通信業 (その2)

(単位:千t)

処分先	特別管理産業廃棄物																その他															
	廃油		廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石綿等	指定下水道汚泥	鉱さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等															
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
関東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															

4 種類別広域処理状況 (その2)

(単位：千t)

処分先	特別管理産業廃棄物										その他									
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石棉等	指定下水道汚泥	鉛・さい	燃え殻	はいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等				
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
関東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

4 種類別広域処理状況

[illegible]

4 種類別広域処理状況
4-10 倒売業、小売業 (その2)

(単位：千t)

処分先	特別管理産業廃棄物										その他									
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石棉等	指定下水道汚泥	鉛さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等				
合 計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東京都	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
関東	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

4-11 不動産業、物品賃貸業 (その1)

[illegible]

4-11 不動産業, 物品賃貸業 (その2)

特別管理産業廃棄物

(単位: 千t)

[illegible]

4 種類別広域処理状況
4-1 2 学術研究, 専門・技術サービス業 (その2)

(単位: 千t)

処分先	特別管理産業廃棄物																
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石綿等	その他	廃アルカリ								
									指定下水道汚泥	鉱さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等
全計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 種類別広域処理状況

4-13 宿泊業、飲食サービス業

特別管理産業廃棄物

[illegible]

(その1)

(その1)

(その1)

[illegible]

4-14 生活関連サービス業、娯楽業（その2）

処分先	特別管理産業廃棄物
-----	-----------

[illegible]

4-15 教育、学習支援業 (その2)

特別管理産業廃棄物

(単位: 千t)

[illegible]

(その2)

(单位:千t)

[illegible]

(その1)

[illegible]

4 種類別広域処理状況
4-17 サービス業

(その2)

(単位：千t)

処分先	特別管理産業廃棄物										その他									
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃PCB等	廃石棉等	指定下水道汚泥	鉛・さい	燃え殻	ばいじん	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等				
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
関東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
甲信越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東海・中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

東京都産業廃棄物経年変化実態調査報告書
(令和2年度実績)

令和5年3月発行

編集・発行 東京都環境局資源循環推進部計画課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第二本庁舎19階
電話 03-5388-3577 (直通)

印刷・製本 社会福祉法人 東京コロニー 東京都大田福祉工場
東京都大田区大森西二丁目22番26号
電話 03-3762-7611

令和4年度

登録番号 (72) 号

環境資料第 34060 号

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。



古紙配合率70%再生紙を使用しています
白色度70%再生紙を使用しています

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。